

徳島県立博物館年報

第 35 号 (令和 7 年度)

Annual Report of the Tokushima Prefectural Museum
No. 35 (for the fiscal year of 2025)

目 次

徳島県立博物館の使命…………… 2

I 展 示

1. 常設展…………… 3
2. 企画展…………… 6
3. 特別陳列……………11
4. 館外での展示……………13
5. 常設展の活性化に向けての取り組み……………14
6. 展示関係出版物……………15

II 普及教育

1. 普及行事……………16
2. 学校教育等支援事業……………21
3. 普及教育関係出版物……………25

III 調査研究

1. 課題調査……………26
2. 日本最古級恐竜化石含有層の
調査・文化観光活用事業……………27
3. 分野別（個別）調査研究……………28
4. 分野別（個別）調査研究等の
館内公表会（セミナー）……………31
5. 科学研究費補助金等による研究……………32
6. 他機関との共同研究……………32
7. 研究成果の公表……………33

IV 資料の収集・保存と活用

1. 採集資料……………39
2. 購入資料……………39
3. 寄贈資料……………40
4. 寄託資料……………41
5. 資料の貸し出し……………41
6. 写真・映像の提供……………42
7. 資料の提供……………43
8. 資料の交換……………44
9. 館蔵資料数……………44
10. 資料収集委員会……………44
11. 文献資料の収集……………44
12. 資料の保存……………44

V 情報の発信と公開

1. 博物館の広報活動……………47

2. テレビ・ラジオへの出演等……………47
3. インターネットによる情報提供……………48
4. 外部ネットワークとの連携……………50
5. 情報システムの概要……………50
6. デジタルコンテンツ等の拡充……………50

VI 県民協働・参画

1. 博物館友の会……………51
2. 博物館ボランティア……………52
3. 各種事業での県民協働・参画活動の推進……………53

VII シンクタンクとしての社会貢献

1. レファレンス業務……………55
2. 各種委員会委員等の受諾……………55
3. 講師の派遣……………57
4. 大学教育への寄与……………59
5. 学会・研究会等の運営への寄与……………60
6. 博物館ネットワーク……………61

VIII 管理運営・マネジメント

1. 組織・職員……………63
2. 予算……………63
3. 文化の森の連携事業……………64
4. 文化の森長寿命化事業……………64
5. 防災及び危機管理……………64
6. 博物館協議会……………64
7. 各種研修会への参加……………65
8. 視察等博物館関係来訪者……………65

IX 中期活動目標と自己評価

1. 中期活動目標……………66
2. 令和7年度実績と自己評価……………75

X 観覧者等統計……………89

XI 施設の概要

1. 沿革……………98
2. 施設の概要……………99
3. 博物館各室面積……………101

XII 例 規……………103

徳島県立博物館の使命

徳島の自然、歴史、文化の交流拠点

—だれもがとどえる博物館、楽しく学べる博物館—

徳島県立博物館は、世界的な視点を踏まえながら、徳島の自然、歴史、文化についての資料・情報にもとづき、体験と学びの場を創ります。また、県民のみなさんとともに活動し、地域の持続と活性化に貢献します。

知

知と出会う博物館

博物館は、多様な資料・情報にもとづき、県民のみなさんが楽しく学べる場を創ります。

探

地域の魅力を探る博物館

博物館は、県民のみなさんとともに様々な資料を調べ、新たな地域の魅力を見つけます。

伝

未来にまもり伝える博物館

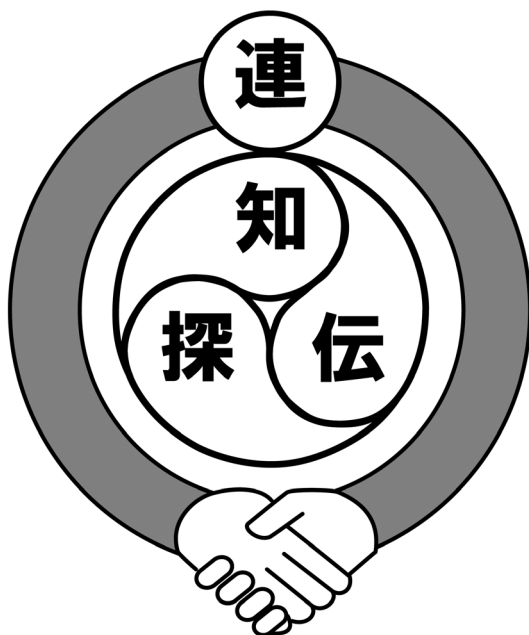
博物館は、県民のみなさんとともに資料を集め、「みんなの宝」として受け継ぎ、未来にまもり伝えます。

連

つながりを大切にし、だれもがとどえる博物館

博物館は、県民のみなさんと連携し、だれもがとどえる場を創ります。

博物館では、効率的でバランスのよい運営を心がけながら、以上の使命を実現するために努力していきます。



使命と事業の関係

- 1 知 知と出会う博物館
 - (1) 展示
 - (2) 普及教育
- 2 探 地域の魅力を探る博物館
 - (1) 調査研究
- 3 伝 未来にまもり伝える博物館
 - (1) 資料の収集・保存と活用
- 4 連 県民とのつながりを大切にする博物館
 - (1) 情報の発信と公開
 - (2) 県民協働・参画
 - (3) シンクタンクとしての社会貢献
- 5 使命の実現に向けての効率的な運営
 - (1) 管理運営・マネジメント

本文における事業の配列は、この構成にもとづいたものである。

徳島の自然、歴史、文化の交流拠点
—だれもがとどえる博物館、楽しく学べる博物館—

「徳島県立博物館の使命」における要素間の関係

I 展 示

博物館の展示は、主に常設展と企画展から成る。

常設展については、令和3年度に全面リニューアルを行い、3年8月9日より公開している。リニューアル後の常設展は、「徳島まるづかみーいのち」と「とき」のモノ語りー」をコンセプトとし、徳島の自然と歴史・文化を概観できるようにしている。また、生命の歴史や生物の多様性に関するテーマ・資料を深く理解できるようにしている。基本的な展示構成を定めて運用しているが、部分的な展示替えや資料の入れ替えを随時行っている。

常設展の特徴は次の4点である。

- ①実物資料との出会い：最新の調査研究や資料収集の成果を踏まえ、徳島の自然と歴史・文化を見て、触れて感じることができる展示
- ②先端技術を活用した体験：AR、VRや高精細映像を活用した体験型展示
- ③誰もが楽しめる場所：多言語解説や、音声・手話解説等に対応するアプリ、さらに多機能解説設備を用いて、誰もが快適に利用できる展示
- ④地域の交流拠点：レファレンス機能の充実や、県民の調査研究成果の発信を通して、県民とのつながりを大切にする展示

次に企画展については、専用の企画展示室を使って開催している。学芸員の研究成果にもとづく地域自然史や歴史・文化の紹介、全国的あるいは世界的な広がりのある資料の展示など、様々なテーマを織り交ぜ、3年先までのスケジュールをたてて計画的に取り組んでいる。また、外部資金の獲得や、民間との連携等、予算を獲得するための工夫をしている。

1. 常設展

(1) 常設展の構成

常設展は、徳島セクション、コレクションセクション、地球セクションの3セクションで構成されている。また、エントランスに位置するロビーゾーン、コミュニケーションゾーンや、各セクションをつなぐミュージアムストリートでも展示を行っている。

●ロビーゾーン

常設展の導入展示として、徳島を象徴する資料を紹介している。

介している。

- ・徳島まるづかみコレクション
- ・キッズスペース こどもゆさん

●コミュニケーションゾーン

博物館と利用者、利用者同士の対話、交流のための多目的スペース。学芸員の活動紹介展示、展示案内映像等を設置している。

●ミュージアムストリート

観覧者が自由に動線を選択できるよう各コーナーをつなぐとともに、展示を兼ねた回廊型のスペース。

●徳島セクション

常設展のコンセプトである「徳島まるづかみ」の中核を成すセクションで、徳島の自然と歴史・文化を概観できるよう、次の8つの大テーマに沿って展示を展開している。

1. 徳島恐竜コレクション
2. 地質時代の徳島
3. 先史・古代の徳島
4. 中世の徳島
5. 近世の徳島
6. 近現代の徳島
7. 徳島のまつりと芸能
8. 徳島の自然とくらし

●コレクションセクション

自然史コレクションと歴史・文化コレクションでは、テーマと期間を決めて資料を公開している。また、県民コレクションでは、県民等の自主的な学びや地域活動を支えるため、県民との協働による各種事業成果にもとづき展示している。

9. 自然史コレクション
10. 歴史・文化コレクション
11. 県民コレクション

●地球セクション

化石と岩石から見た地球と生命の歴史、現在の地球で見られる多様な生物を展示している。

12. 地球と生命の歴史
13. 生物の多様性

(2) コレクションセクションの展示替え

テーマと期間を決め、各分野の収蔵資料等により、計画的に展示替えを行っている。

4 展示

①自然史コレクション

●ドイツの化石—水野吉昭氏のフンスリュック粘板岩の化石コレクション—

4月1日（火）～8月24日（日）

展示資料数 44点（館蔵資料44点）

展示解説シート等 なし

展示解説 1回

化石愛好家である水野吉昭氏が当館に寄贈したフンスリュック粘板岩の化石を中心に、ドイツ産の化石を紹介した。

●東北の植物

8月26日（火）～2月1日（日）

展示資料数 16点（館蔵資料16点）

展示解説シート等 なし

展示解説 1回

調査研究を目的とした資料の交換を通して得られた標本の中から、東北各県の代表的な種を選んで展示した。

●魚類化石展

2月3日（火）～8年度（6月7日（日））

展示資料数 24点（館蔵資料24点）

展示解説シート等 なし

展示解説 なし

古生代カンブリア紀に出現した魚類について、その化石を紹介した。

②歴史・文化コレクション

●阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚—あらたな寄贈資料を中心に—

4月22日（火）～7月6日（日）

展示資料数 23点（館蔵資料23点）

展示解説シート等 あり

展示解説 3回

令和6年度の新規寄贈をふまえ、守住勇魚を中心に、3人の画家を輩出した同家の画業を紹介した。

●戦後80年 戦争の記憶を伝える

7月8日（火）～9月28日（日）

展示資料数 80点（館蔵資料76点）

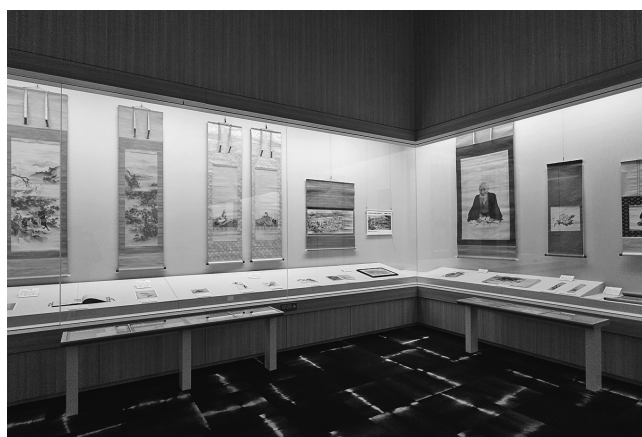
展示解説シート等 あり

展示解説 3回

戦後80年を経て、しだいに遠のく「戦争の記憶」を次世代に伝えとともに、あらためて戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える契機となることを願い、



「ドイツの化石」の展示



「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」の展示



「東北の植物」の展示



「発掘！阿波の城」の展示解説

関連資料を紹介した。

●米とくらし

9月30日（火）～12月21日（日）

展示資料数 29点（館蔵資料29点）

展示解説シート等 あり

展示解説 2回

現在まで受け継がれてきたコメ作りに関わる生業、技術、食、儀礼、暦などを、関連資料を通じて紹介した。

●発掘！阿波の城

12月23日（火）～3月22日（日）

展示資料数 103点（館蔵資料3点）

展示解説シート等 あり

展示解説 3回

徳島県内に400ヵ所以上存在した城館のうち、発掘調査が行われたものを中心に、出土資料などを通じて紹介した。

●新出！断絶した人形座の資料

3月24日（火）～8年度（5月31日（日））

展示資料数 54点（館蔵資料54点）

展示解説シート等 あり

展示解説 2回

徳島市出身の洋画家・伊原宇三郎氏の遺族から令和5年度に寄贈を受けた阿波人形浄瑠璃の資料が、鳴門市にあったとされる「宮田座」の道具であることが確認でき、断絶した人形座の資料として紹介した。

③県民コレクション

●徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち

4月1日（火）～9月28日（日）

展示資料数 196点（館蔵資料約3点）

展示替え 2回

四国の岩石・鉱物Ⅰ 4月1日（火）～5月25日（日）

四国の岩石・鉱物Ⅱ 5月27日（火）～7月27日（日）

四国の岩石・鉱物Ⅲ 7月29日（火）～9月28日（日）

展示解説シート等 なし

展示解説 5回

県内在住の岩石・鉱物愛好家のグループである徳島鉱石クラブにより採集された岩石鉱物コレクションを展示した。

●学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展

9月30日（火）～3月29日（日）

展示資料数 10点（館蔵資料0点）

展示解説シート等 なし

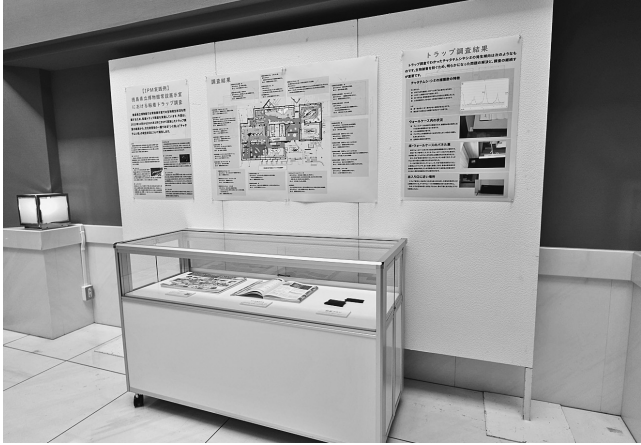
展示解説 なし

徳島県立博物館における資料保存の取り組みのうち、学芸員資格取得を目指す学生との協働事業として実施した常設展示室における虫などの発生状況調査に焦点をあて、博物館資料の生物被害とその対策について紹介した。

コミュニケーションゾーンでの小展示

展示期間	タイトル	展示資料等点数	
		資料	パネル
4月1日（火） ～9月28日（日）	徳島お魚オタク 第1回：シロウオ		2
	ここまで分かった！徳島のクモ	1	2
	野生絶滅種・ナルトオウギの保全活動		1
	高知県安田町の穴内層産貝化石		2
	デジタル技術と古生物学		2
	博物館展示室の環境調査		2
	阿波名所図会をあるく～大滝山持明院～		1
	鳥居きみ子の人物像について		1
	樹皮からつくるタフ（太布）		2
9月30日（火） ～8年度（4月12日（日））	海岸に住むハチ		2
	未の刻に咲く？ヒツジグサの開花		2
	徳島県小松島市の南西部に分布する白亜紀の地層（外和泉層群）から産出する化石		2
	城を壊す一役目を終えた城のその後—		2
	中世の古文書作成と起請		2
	鳥居龍蔵による中国西南部調査		1
	念仏と鉦		1
	松平定信と渡辺広輝		2

6 展示



「学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展」の展示

(3) コミュニケーションゾーンでの小展示

7年度は、学芸員による活動紹介やトピック紹介を目的として、学芸員活動紹介コーナーにおいて、前頁表のとおり展示を行った。

(4) 徳島セクションでの展示替え

7年度は、次の展示替えを行った。

●徳島恐竜コレクション

6年度（3月13日（木））～8月31日（日）

展示資料：鳥脚類の歯1点、獣脚類の歯1点、竜脚類の歯2点（館蔵資料4点）

勝浦町の発掘調査で新たに発見された恐竜の化石を展示した。

3月12日（木）～8年度

展示資料：鳥脚類の歯1点、竜脚類の歯1点（館蔵資料2点）

勝浦町の発掘調査で新たに発見された恐竜の化石を展示した。

●先史・古代の徳島

阿波国名方郡大豆処図（複製）を展示した。

●中世の徳島

絵巻物等の場面替え

●近世の徳島

絵巻物の場面替え

●徳島のまつりと芸能

絵巻物の場面替え

今月のおまつり情報12月分の追加差替

●徳島の自然とくらし

6年度（6月25日（火））～12月14日（日）

「徳島県を舞うガたち」と題して、ホワイトボード壁にて、徳島県各地の様々な環境で見られるガと、徳島県との関連が深いガについて、写真や解説パネル、手書きのイラストなどを用いて紹介した。

12月16日（火）～8年度

「阿波市・美馬市から見つかった新種のクモ バンドウヤミサラグモについて」と題して、ホワイトボード壁にて、新種のクモ発見の経緯や特徴について、写真や解説パネル、実物標本、手描きのイラストなどを用いて紹介した。

展示解説 1回

(5) 地球セクションでの展示替え

7年度は、次の展示替えを行った。

●生物の多様性

10月29日（水）～8年度

栄養繁殖に関する内容を新たに展示した。

(6) 博物館ロビー等での小展示

7年度は、2階の受付横において小規模な展示を行った。定期的な展示ではないが、タイムリーなテーマがあれば実施することになっている。

●徳島県から新種発見！！

1月17日（土）～3月29日（日）

展示資料数 2点（館蔵資料2点）

展示解説 2回

県内で採集された新種のガの標本を解説パネルとともに展示した。

●木下覺氏植物標本コレクション

1月17日（土）～3月29日（日）

展示資料数 3点（館蔵資料3点）

展示解説 2回

県内の植物研究家である木下覺氏より寄贈された植物標本を展示した。

2. 企画展

令和7年度は、次の2回の企画展を行った。

(1) 第1回企画展「タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—」

「中世」とはおおむね、平安時代の11世紀後半から戦国時代の16世紀後半を指している。この時代は、武士と戦乱の時代というイメージが強く、近年はとくに、阿波にゆかりの三好長慶など戦国武将が関心を集めている。

しかし、「中世」の実像は、武士と戦乱だけではない。社会に目を向けると、生産と流通がさかんになり、躍動感にあふれる側面が見出せる。また、「この世」と「あの世」を結ぶ、さまざまな信仰が生きていた時代でも

あった。

この展示では、絵画や古文書、遺跡からの出土品などといった幅広い資料を通じ、阿波を中心とする中世の人びとのくらしの諸相を紹介した。会期がおおむね夏休み期間であることから、歴史に詳しくなくても中世の世界を楽しんでもらえることをねらったものでもあった。

●主 催 徳島県立博物館

●期 間 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)
(開催日数39日間)

●会 場 博物館企画展示室

●観覧料 一般200円(65歳以上100円)、高校・大学生100円、小・中学生50円

●観覧者数 4,521人

●展示構成

(1) オニがいた！—中世のころ—

①いろいろなオニ

②地獄の風景

③くらしの中のいのり

[コラム①] 現代に生きる大般若経(映像コーナー)

(2) 日々を生きる

①ムラのくらし

[コラム②] 古文書をめぐるフシギ

②あそび

③しごと

(3) 旅する人とモノ

①広がる流通

[コラム③] 地中に埋もれた中世

②霊場と旅

●おもな展示資料

- ・銅経筒(重要文化財) 大山寺蔵
- ・三木家文書(徳島県指定有形文化財) 個人蔵(当館保管)
- ・地福寺大般若経(徳島県指定有形文化財) 地福寺蔵(当館保管)
- ・鬼神面 個人蔵(当館保管)
- ・人形富作酒吞童子人形(三好市指定有形民俗文化財) 個人蔵(当館保管)
- ・仙光寺文書 個人蔵(当館保管)
- ・百鬼夜行絵巻 兵庫県立歴史博物館蔵
- ・熊野観心十界図 兵庫県立歴史博物館蔵
- ・徳島県内出土中世考古資料 徳島県立埋蔵文化財総合センター蔵ほか
- ・粟拾穂集 徳島県立文書館蔵
- ・化もの絵巻 当館蔵
- ・三十二番職人歌合絵巻 当館蔵

●展示資料数 180点(館蔵資料20点)

●マスコミによる報道件数 6件

●関連行事

①記念講演会

演 題: 謎解き 阿波の中世文書

講 師: 春田直紀氏(熊本大学教授)

日 時: 8月17日(日) 13:00～15:30

会 場: 文化の森 イベントホール

参加者: 79人

②こどもワークショップ 地獄たんけん—熊野観心十界図をかんさつしよう—

講 師: 藁科有美氏(兵庫県立歴史博物館学芸員)

日 時: 8月10日(日) 13:30～15:30

参加者: 4人

会 場: 実習室、企画展示室

③展示解説

第1回 7月27日(日) 13:30～14:30

参加者: 72人

第2回 8月11日(月・祝) 13:30～14:30

参加者: 59人



「タイムトリップ中世！」の展示



子ども向けクイズラリー

タイムトリップ 中世!

—くらしのモノがたり—

徳島県立博物館
企画展

2025
7.19 (土) ~ 8.31 (日)

【会場】 徳島県立博物館 企画展示室
【開催時間】 9:30~17:00
【休館日】 月曜日(7/21、8/11を除く)、7/22(木)
【観覧料】 一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円

※土・日曜日、祝日、夏休みは入館料以下無料 ※学校・学芸会、社会福祉施設等の利用は無料
※観覧料は10歳以上15歳未満は半額(小学生以下は無料) ※中学生以下は半額(小学生以下は無料)
※観覧料は10歳以上15歳未満は半額(小学生以下は無料) ※中学生以下は半額(小学生以下は無料)
※観覧料は10歳以上15歳未満は半額(小学生以下は無料) ※中学生以下は半額(小学生以下は無料)
※観覧料は10歳以上15歳未満は半額(小学生以下は無料) ※中学生以下は半額(小学生以下は無料)

【主催】 徳島県立博物館

土・日・祝・夏休み 高校生以下無料

文化の発展公費 平770-8070 徳島市八万町向山
徳島県立博物館 TEL 088-668-3636 / FAX 088-668-7197
<https://museum.bunimori.tokushima.jp>

「タイムトリップ中世!」チラシ表面

タイムトリップ 中世!

—くらしのモノがたり—

「中世」とはおおむね、平安時代の11世紀後半から戦国時代の16世紀後半を指しています。この時代は、武士と戦乱の時代というイメージが強く、近年はとくに戦国武将が関心を集めています。

しかし、「中世」の実像は、武士と戦乱だけではなく、社会に目を向けると、生産と流通がさかになり、躍動感にあふれる側面が見出せます。また、「この世」と「あの世」を結ぶ、さまざまな信仰が生きていた時代でもありました。

この展示では、絵画や古文書、遺跡からの出土品など、幅広い資料をもとに、阿波を中心とする中世の人びとのくらしの世界を訪ねてみます。

さあ、時間旅行(タイムトリップ)に出かけましょう!

展示構成

- 1 オニがいた! —中世のこころ—**
 - ①いろいろなオニ
 - ②地獄の風景
 - ③くらしの中のり
 - 【コラム①】 現代に生きる大般若経
- 2 日々を生きる**
 - ①ムラのくらし
 - 【コラム②】 古文書をめぐるフシギ
 - ②あそび
 - ③こと
- 3 旅する人とモノ**
 - ①広がる流通
 - 【コラム③】 地中に埋もれた中世
 - ②産物と旅

関連行事

- ①記念講演会「謎解き 阿波の中世文書」**
日時: 8月17日(日) 午後1時30分~午後3時
会場: 文化の森 イベントホール
講師: 森田直紀氏(熊本大学 教授)
※事前申し込み不要・参加無料
- ②展示解説**
日時: 7月27日(日)、8月11日(月・祝)、8月31日(日)
いずれも午後1時30分~2時30分
会場: 企画展示室 ※事前申し込み不要・観覧料必要
- ③こどもワークショップ**
地獄たんけん—熊野戦国十景園をかんさつしよう—
日時: 8月10日(日) 午後1時30分~午後3時30分
定員: 小学生5名~中学生15名(小学生は保護者同伴)
講師: 渡辺孝典氏(兵庫県立歴史博物館 学芸員)
※事前申し込み必要・参加無料
※受付時間: 7/19~7/29
博物館HPのイベント情報ページからお申し込みください

① 徳島県立博物館 企画展示室 ② 徳島県立博物館 企画展示室 ③ 徳島県立博物館 企画展示室

④ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑤ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑥ 徳島県立博物館 企画展示室

⑦ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑧ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑨ 徳島県立博物館 企画展示室

⑩ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑪ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑫ 徳島県立博物館 企画展示室

⑬ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑭ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑮ 徳島県立博物館 企画展示室

⑯ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑰ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑱ 徳島県立博物館 企画展示室

⑲ 徳島県立博物館 企画展示室 ⑳ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉑ 徳島県立博物館 企画展示室

㉒ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉓ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉔ 徳島県立博物館 企画展示室

㉕ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉖ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉗ 徳島県立博物館 企画展示室

㉘ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉙ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉚ 徳島県立博物館 企画展示室

㉛ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉜ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉝ 徳島県立博物館 企画展示室

㉞ 徳島県立博物館 企画展示室 ㉟ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊱ 徳島県立博物館 企画展示室

㊲ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊳ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊴ 徳島県立博物館 企画展示室

㊵ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊶ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊷ 徳島県立博物館 企画展示室

㊸ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊹ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊺ 徳島県立博物館 企画展示室

㊻ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊼ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊽ 徳島県立博物館 企画展示室

㊾ 徳島県立博物館 企画展示室 ㊿ 徳島県立博物館 企画展示室

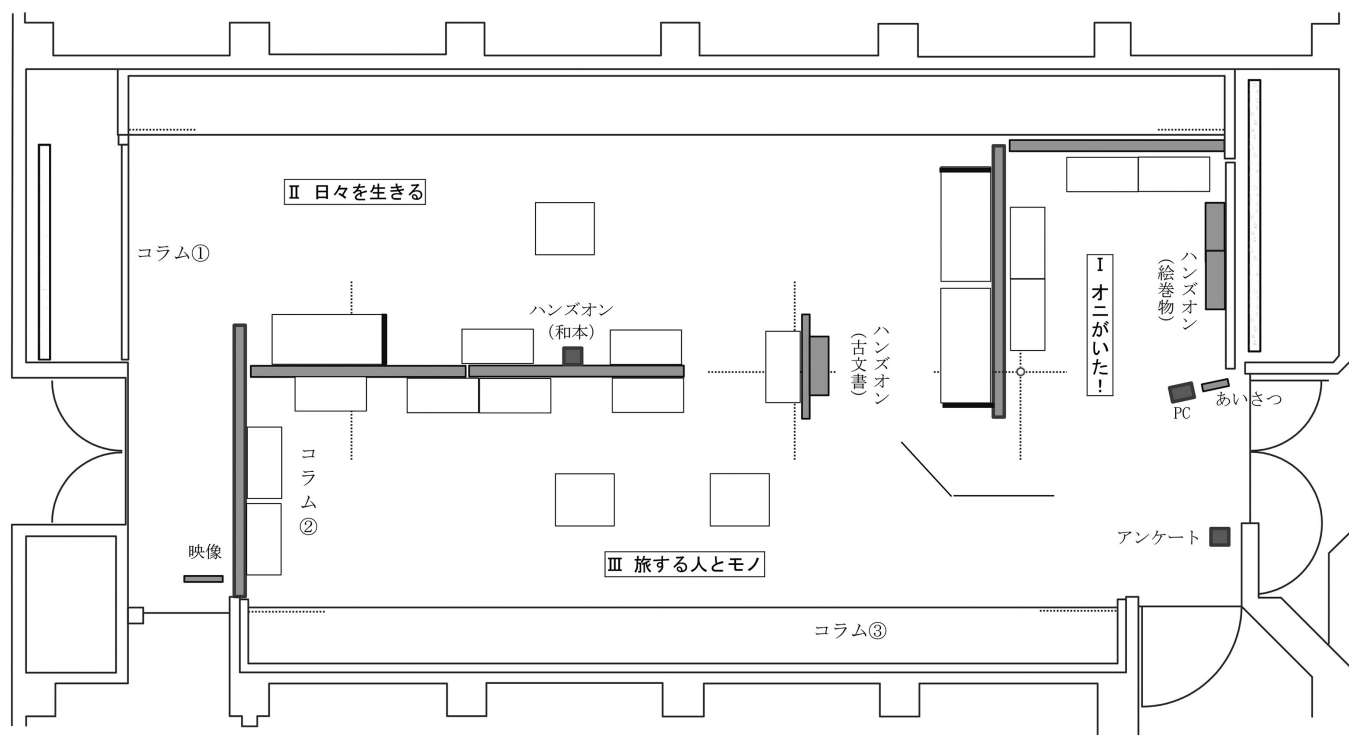
みんなおいでよ! 友の会

博物館友の会では、博物館を積極的に利用し、自然や歴史・文化に親しみ、参加・体験することで子どもから大人まで楽しく学んでいます。多くの方のご入会をお待ちしています。

○年 会 費 個人会員 2,000円 家族会員 3,000円 (10月~3月の半年会費は半額)
○会員の特典 博物館の常設展・企画展の観覧料が無料になります。
借し物案内、博物館ニュース、会報等お届けします。
友の会行事に参加できます(一部参加料が必要です)。
友の会の出版物やミュージアムショップの品物を割引価格で購入できます。

徳島県立博物館友の会
〒770-8070 徳島市八万町向山
TEL 088-668-3636 / FAX 088-668-7197

「タイムトリップ中世!」チラシ裏面



「タイムトリップ中世!」の展示配置

第3回 8月31日(日) 13:30～14:30

参加者：39 人

●夏休みの家族連れや子ども向けの取り組み

①子ども向けクイズラリーの実施

会場内でクイズ3問に答えてもらい、記念品としてオリジナルマグネットを贈呈した。

②ハンズオンコーナーの設置

絵巻物や古文書などの複製物に触れることができるコーナーを3か所設置した。

③ガイドマップの配布

歴史に詳しくなくても楽しく観覧できるよう、面白さを強調して見どころを紹介するマップを配布した。

(2) 第2回企画展「ポケモン化石博物館」

人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」には、カセキから復元されるポケモン（以下「カセキポケモン」と呼ぶ）がいくつか知られている。

この展示は、国立科学博物館による巡回展で、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでもらう

ものである。

●主 催 徳島県立博物館、国立科学博物館

●企画協力／ポケモン展示品制作 株式会社ポケモン

●協力 三笠市立博物館、群馬県立自然史博物館、
豊橋市自然史博物館、島根県立三瓶自然館

●期 間 令和7年10月4日(土)～12月28日(日)
(開催日数74日)

●会 場 博物館企画展示室、多目的活動室

●観覧料 一般 1,000 円 (65 歳以上 800 円)、高校・
大学生 600 円、小・中学生 500 円

●観覧者数 49,535 人

●展示構成

①それぞれの世界のかせき研究

②比べてみよう！カセキポケモンと古生物

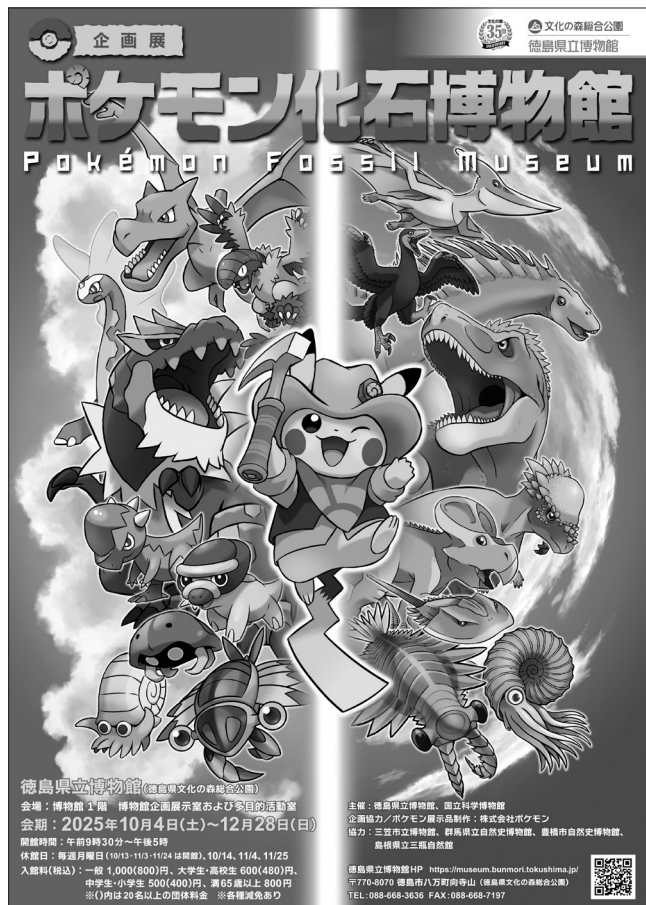
③かせき研究のこれまで・これから

●展示資料数 131 点（館蔵資料 42 点）

●マスコミによる報道件数 13 件

●開会式

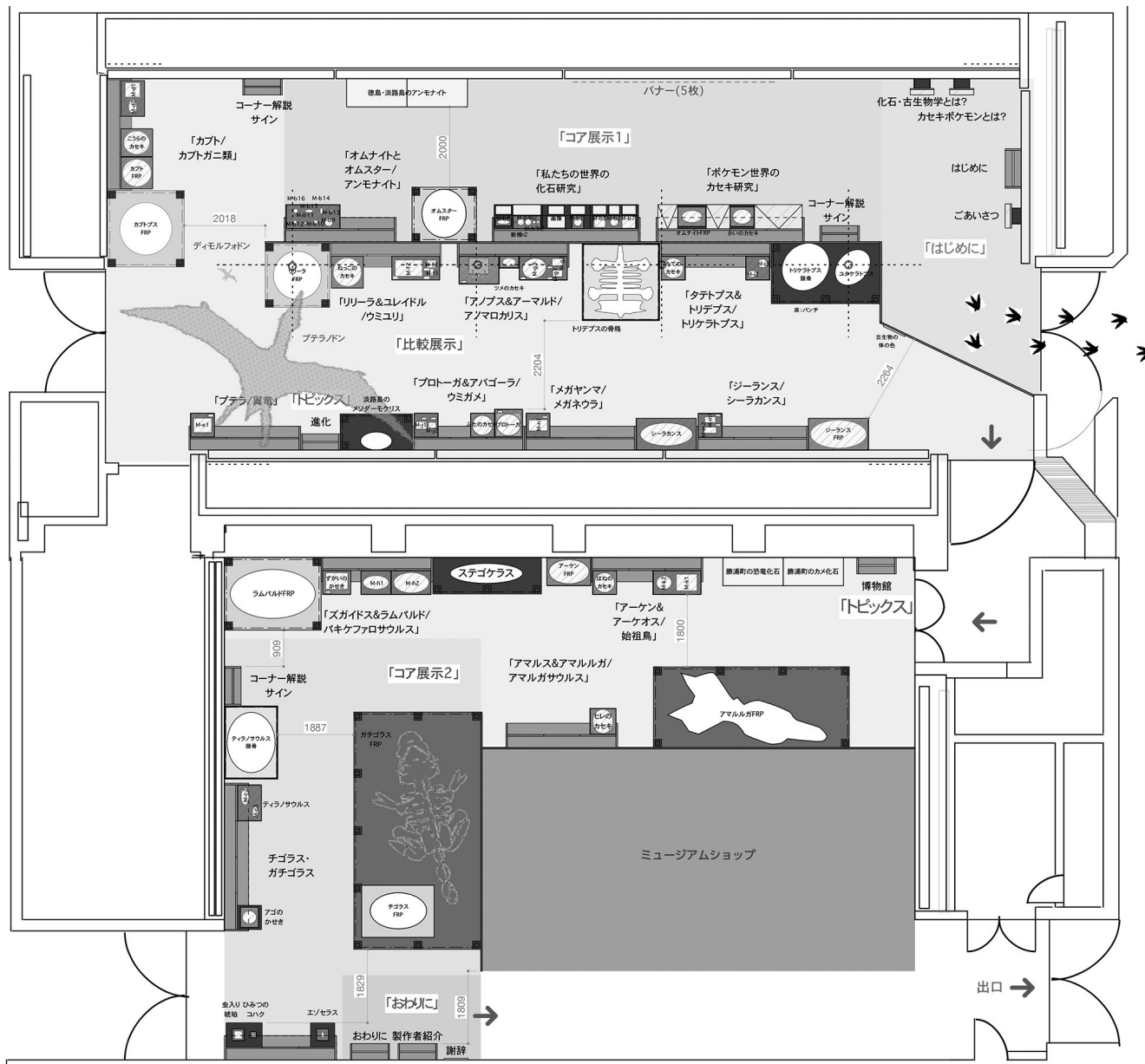
後藤田正純氏（徳島県知事）、小松孝彰氏（国立科学博物館展示部長）、服部悦哉氏（株式会社ポケモン My First Pokémon プロジェクト アートディレクター）、相場大佑氏（深田地質研究所主査研究員・本



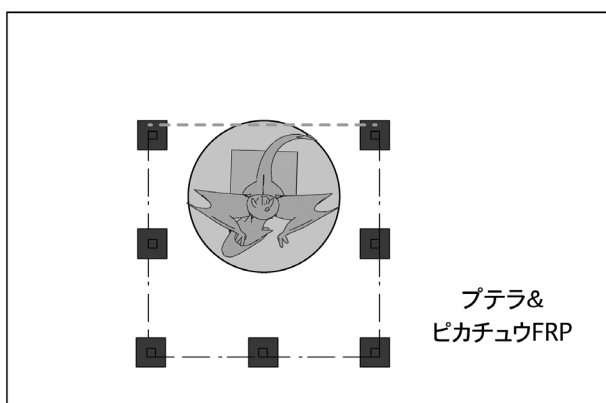
「ポケモン化石博物館」チラシ表面



「ポケモン化石博物館」チラシ裏面



「ポケモン化石博物館」の展示配置



「ポケモン化石博物館」ロビー展示



「ポケモン化石博物館」開会式

展総合監修)の4人によって、開会のテープカットが行われた。

日 時:10月4日(土)9:00~9:30

場 所:1階エントランスホール

●関連行事

①記念講演会

演 題:「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学

講 師:相場大佑氏(深田地質研究所主査研究員)

日 時:10月4日(土)13:30~15:00

場 所:文化の森 イベントホール

参加者:166人

②「発掘ピカチュウ」グリーティング

第1回 10月4日(土)10:30~11:00、12:00~12:30、15:30~16:00

第2回 12月6日(土)11:00~11:30、13:00~13:30、14:30~15:00、16:00~16:30

●その他

券売機による観覧料の徴収に際し、初めてQRコード決済を導入した。

3. 特別陳列

(1) 民俗資料にみる こどもの世界

博物館に寄贈された民俗資料の中から、こども用の道具に焦点を当て、徳島のこどもたちがどのように育まれてきたかを紹介した。

●主 催 徳島県立博物館

●期 間 令和7年4月26日(土)~5月25日(日)
(開催日数26日)

●会 場 博物館企画展示室

●観覧料 無料

●観覧者数 5,264人

●展示構成

1 こどもの衣装

2 初節供の贈物

3 遊びと学び

●展示資料数 75点(館蔵資料75点)

●マスコミによる報道件数 6件

●展示解説

第1回:4月29日(火・祝) 13:30~14:30

参加者:45人



「ポケモン化石博物館」の展示



「民俗資料にみる こどもの世界」の展示



「ポケモン化石博物館」記念講演会



「民俗資料にみる こどもの世界」の展示解説

令和七年度
徳島県立博物館 特別陳列

民俗資料にみる
こどもの世界

めんこ (昭和30(1955)年頃 使用地：勝浦町)

ビー玉 (年代不明 使用地：徳島市)

令和7年(2025)
4/26(土)～5/25(日)

【休館日】4/28(月)、5/7(水)、5/12(月)、5/19(月)
* 5/5(月・祝日)、5/6(火・振替休日)は開館

【全 場】徳島県立博物館 企画展示室(1階)

【開館時間】9:30～17:00

【観覧料】無料

徳島県立博物館
TOKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM
〒770-8070 徳島市八万町向香山 文化の森総合公園内
TEL.088-668-3636 FAX.088-668-7197
https://museum.bunmori.tokushima.jp

「民俗資料にみる こどもの世界」チラシ表面

令和七年度
徳島県立博物館 特別陳列

民俗資料にみる
こどもの世界

こどもは、昔からかけがえない宝とされてきました。県立博物館に寄贈された民俗資料の中から、こどもの道具に焦点を当て、徳島のこどもたちがどのように育まれてきたかを紹介します。

(1) こどもの衣装

七五三の着物 (昭和30(1955)年頃 使用地：徳島市)

(2) 初節供の贈物

五月節供織 (部分) (年代不明、使用地：那賀町)

(3) 遊びと学び

英語の教科書 (昭和26(1951)年頃 使用地：徳島市)

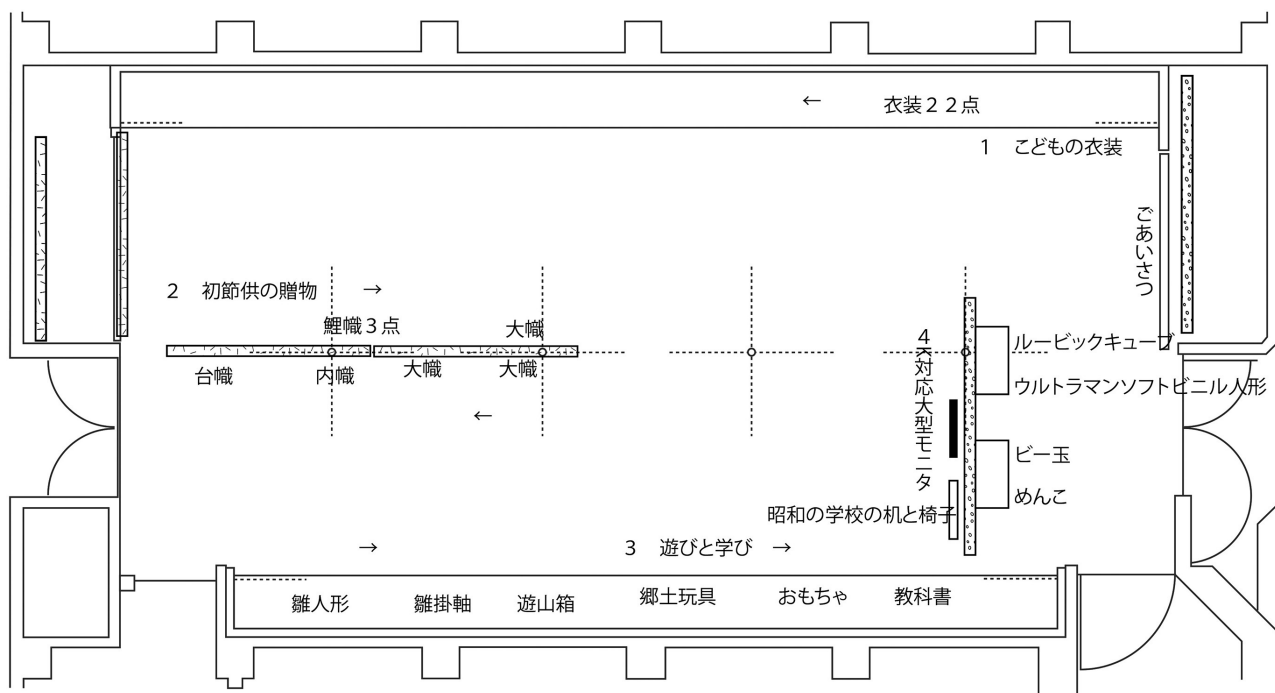
展示解説

日時：令和7年4月29日(火・祝) 13:30～14:30
令和7年5月5日(月・祝) 13:30～14:30
令和7年5月25日(日) 13:30～14:30

会場：徳島県立博物館 企画展示室(1階)

〒770-8070
徳島市八万町向香山 文化の森総合公園内
TEL.088-668-3636 FAX.088-668-7197
https://museum.bunmori.tokushima.jp

「民俗資料にみる こどもの世界」チラシ裏面



「民俗資料にみる こどもの世界」の展示

第2回：5月5日（月・祝） 13：30～14：30

参加者：154人

第3回：5月25日（日） 13：30～14：30

参加者：49人

(2) 中国西南部の旅人―鳥居龍蔵と高原の少数民族―

徳島県出身の人類学者である鳥居龍蔵（1870～1953）は、1902年から翌年にかけて中国西南部を旅し、現地に住む少数民族を調査した。この調査は鳥居の研究方法に変化をもたらすなど、鳥居の生涯において大きな節目になったといわれている。鳥居が中国西南部を旅したのは1度だけであるが、同地域に対する関心を晩年まで持ち続けたことが近年明らかになってきた。

この展示では、鳥居が中国西南部の調査を計画した背景、鳥居が現地で出会った少数民族、調査終了後の鳥居と中国西南部とのつながりについて紹介した。

●主 催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、徳島県立博物館

●期 間 令和8年1月31日（土）～3月8日（日）
（開館日数32日）

●会 場 博物館企画展示室

●観覧料 一般200円（65歳以上100円）、高校・大学生100円、小・中学生50円

●マスコミによる報道件数 6件

●観覧者数 1,607人

●展示構成

第1章 動機としての台湾調査

第2章 鳥居龍蔵、中国西南部を旅する

第3章 旅を終えた後の鳥居龍蔵と中国西南部

●展示資料数 188点（館蔵資料1点）

4. 館外での展示

(1) 展示パッケージの貸し出し

県内の博物館等の支援及び収蔵資料の展示機会の増加を図るため、必要に応じて展示パッケージ（テーマに応じた展示資料、ラベル等のセット）の貸し出しを行っている。令和7年度は貸し出しがなかった。

(2) 移動展

収蔵資料の活用を促進するため、当館が主体となって展示を企画・構成する移動展に取り組んでいる。7年度は移動展を5件実施した。

●サテライト展示「勝浦町周辺の恐竜時代の地層と化石」

主 催 徳島県立博物館

期 間 4月1日（火）～8年度

会 場 かんきつテラス徳島

展示資料数 7点（館蔵資料7点）

●美馬市立図書館令和7年度企画展「日本植物学黎明期の研究家～鴨島町出身の笠井文夫の足跡を辿る～」

主 催 美馬市立図書館、徳島県立博物館

期 間 6月11日（水）～7月16日（水）

会 場 美馬市立図書館2階フリースペース

観覧者数 8,721人

展示資料数 16点（館蔵資料0点）

関連行事

①展示解説

6月14日（土）13：30～14：00

講師：茨木 靖

②記念講演会

6月14日（土）14：00～15：00

講師：加藤ゆき恵氏（釧路市立博物館学芸員）

●阿波かつうら恐竜フェスティバル2025 企画展「徳島と世界の恐竜×復元画」

主 催 勝浦町、徳島県立博物館

期 間 7月19日（土）～8月17日（日）

会 場 勝浦町図書館 郷土資料展示室

観覧者数 1,775人

展示資料数 39点（館蔵資料26点）

●「戦後80年」戦争の記憶を次世代へ 徳島大空襲と平和への願い パネル・資料展

主 催 徳島市

共 催 徳島県立博物館、徳島県立文書館

期 間 7月23日（水）～8月15日（金）

会 場 徳島市立図書館

観覧者数 7,369人

展示資料数 24点（館蔵資料7点）

関連行事

講演会「徳島大空襲の経験―平和への願いをこめて―」（徳島市立図書館）

8月10日（日）

講師：橋本保子氏、小林篤正

●美馬市立図書館令和7年度企画展「VIVA! 美馬のちいさな生き物たち」

主 催 美馬市立図書館、徳島県立博物館

期 間 7月25日（金）～9月4日（木）

会 場 美馬市立図書館2階フリースペース

観覧者数 14,424人

14 展示

展示資料数 229 点（館蔵資料 229 点）

関連行事

展示解説

8 月 9 日（土）13：30～14：30

講師：外村俊輔

(3) 「飛び出せ！文化の森」での展示

二十一世紀館主催の「飛び出せ！文化の森」ユニバーサルミュージアム推進事業に協力し、博物館の地学資料（ティラノサウルス及びトリケラトプスの頭骨複製）を展示した。

期 間 1 月 12 日（月・祝）

会 場 ゆめタウン徳島

観覧者数 1,236 人

展示資料数 2 点（館蔵資料 2 点）



「飛び出せ！文化の森」での展示

5. 常設展の活性化に向けての取り組み

(1) 常設展の改修・改善

令和 7 年度は、以下の改修・改善を行った。

①「コミュニケーションゾーン」及び「地球セクション」の壁紙の張り替え

「コミュニケーションゾーン」のエントランス側において、壁紙の浮きが見られたため、張り替えを実施した。また、「地球セクション」の天井においても、壁紙の浮きが数か所見られたため、張り直しを行った。作業は、3 月 23 日（月）の休館日に行った。



壁紙の張り替え作業の様子

②展示資料の清掃

常設展の展示資料の中で、学芸員による清掃が困難な箇所について、専門業者による清掃（クリーニング）を実施した。作業は、1 月 18 日（日）の閉館後と 1 月 19 日（月）の休館日に実施した。清掃の実施場所は、「先史・古代の徳島」の貫頭衣、「徳島の祭りと芸能」の屋台、「徳島の自然と暮らし」の動物剥製や植物レプリカ等である。

③QR コード決済の導入

1 月 6 日（火）より、常設展示室の券売機において QR コード決済を導入した。

(2) 常設展の運用における各種の取り組み

7 年度は、6 年度に引き続き、常設展示室内での「遊山ナビ」（多言語・音声解説等の機能をもつアプリ）の運用やタブレットの貸し出しを行った。主な取り組みは、以下のとおりである。

①コレクションセクションにおける多様な展示の開催

自然史コレクション、歴史・文化コレクション、県民コレクションでは、各分野のテーマを織り交ぜて 11 回の展示（自然史 3 回、歴史・文化 6 回、県民 2 回）、10 回の展示替えを行った（p.3～6 参照）。

②コミュニケーションゾーンにおける展示、イベントの開催

学芸員活動紹介コーナーでは、各学芸員が担当してパネル展示等を行った。7 年度は 2 回の展示を行った（p.5～6 参照）。また、文化の森こどもの日フェスティバル（5 月 5 日）、文化の森サマーフェスティバル（8 月 11 日）、文化の森秋祭り（11 月 3 日）、文化の森ウィンターフェスティバル（2 月 11 日）のイベントにおいて、当該スペースを活用した（p.19～20 参照）。

③ロビーゾーン「キッズスペース こどもゆさん」におけるイベントの開催

7年度は、6年度に引き続き、月1回のクイズラリーの日（毎月第2土曜日）にあわせて、学芸員が主体となり開催する子ども向けイベント「こどもゆさん」を実施した（p.20～21 参照）。

また、文化の森こどもの日フェスティバル（5月5日）、文化の森サマーフェスティバル（8月11日）、文化の森秋祭り（11月3日）のイベントにおいて当該スペースを活用した（p.19～20 参照）。

④参加型展示・対話型展示の実施・運用

・「先史・古代の徳島」では、県内の遺跡情報、考古分野の展覧会情報等を、随時更新・発信するコーナーを設置し、運用している。

・「徳島のまつりと芸能」では、身近な祭り等の情報を記入してもらうコーナーを設置し、運用している。

⑤展示解説等の促進

自然史コレクション「ドイツの化石」、「東北の植物」、歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」、「戦後80年 戦争の記憶を伝える」、「米とくらし」、「発掘！阿波の城」、県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」、ホワイトボード展示「阿波市・美馬市から見つかった新種のクモ バンドウヤミサラグモについて」、博物館ロビー小展示「徳島県から新種発見！！」、「木下覺氏植物標本コレクション」で展示解説を行った。

⑥展示解説シート等の配布

歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」、「戦後80年 戦争の記憶を伝える」、「米とくらし」、「発掘！阿波の城」、「新出！断絶した人形座の資料」で展示解説シートを作成し、配布した。

⑦常設展示室の維持・管理

常設展示室の維持・管理を目的に、専門業者による点検を実施した（年1回）。



企画展図録「タイムトリップ中世！
—くらしのモノがたり—」の表紙

6. 展示関係出版物

●企画展図録「タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—」

編集・発行 徳島県立博物館

令和7年7月19日発行

A4判 58ページ、500部

友の会増刷 300部

Ⅱ 普及教育

普及教育事業、特に普及行事は「開かれた博物館」をめざし、館員が県民と直接交流できるよい機会であることから、力点をおいて取り組んでいる。

令和7年度は、年間96回計画し、18回追加、5回中止で109回実施した。

これまでの積み重ねにより、普及行事は県民のあいだにかなり定着している。参加者は徳島市内とその近郊の在住者が多いが、県西部・県南部のほか、県外からの参加も見られた。さらに、「歴史散歩」、「野外自然かんさつ」、「海部自然・文化セミナー」等において遠隔地域で開催するなど、できるだけ多くの人に参加してもらえよう努めている。

また、ロビーゾーン「キッズスペース こどもゆさん」において、クイズラリーと同じ毎月第2土曜日に、子ども向けイベント「こどもゆさん」を実施した。

1. 普及行事

(1) 行事の開催実績

■野外自然かんさつ

野外に出かけて、季節に応じた動植物の観察を行うシリーズ。

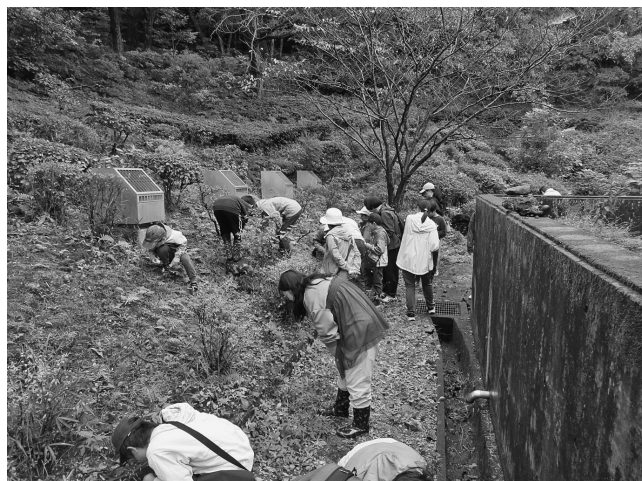
5月3日(土・祝)	チョウから自然を調べてみよう	21人
5月18日(日)	花巡り！植物かんさつハイキング 5月～風薫る季節を体感～	10人
5月18日(日)	文化の森クモかんさつ会(春編)	14人
5月25日(日)	川魚かんさつ春編 河川が増水したため中止	
6月15日(日)	初めての植物かんさつ(梅雨期編)	23人
7月6日(日)	川魚かんさつ夏編	18人
7月12日(土)	初めての植物かんさつ(夏編)	18人
7月13日(日)	花巡り！植物かんさつハイキング 7月～山開き自然の中へ～	16人
7月20日(日)	文化の森で夜のこん虫かんさつ(夏編)	29人

7月27日(日)	漂着物を探そう！	34人
9月21日(日)	花巡り！植物かんさつハイキング 9月～秋の七草探してみませんか？～	15人
9月28日(日)	川魚かんさつ秋編	15人
10月26日(日)	文化の森クモかんさつ会(秋編)	20人
11月16日(日)	花巡り！植物かんさつハイキング 11月～植物の冬支度を見に行こう！～	15人
11月16日(日)	文化の森で夜のこん虫かんさつ(秋編)	20人
12月14日(日)	初めての植物かんさつ(冬編)	18人
3月22日(日)	初めての植物かんさつ(早春編)	25人

■生きものしらべ隊

昆虫や植物等の調べ方を学び、自然の専門家を目指すシリーズ。

6月29日(日)	顕微鏡で植物を観察しよう！	32人
8月3日(日)	スンプでかんたん顕微鏡かんさつ	13人
9月7日(日)	魚類の頭骨標本をつくろう	9人
11月2日(日)	落ち葉の下の生きものをしらべよう	16人



野外自然かんさつ「文化の森クモかんさつ会(秋編)」

- 1月25日(日) ミクロの植物観察 電子顕微鏡が故障したため中止
 2月22日(日) 植物輪読会 10人

■たのしい地学体験教室

地層や化石、岩石・鉱物等の野外観察や室内での実習を通して自然を学ぶシリーズ。

- 6月14日(土) 恐竜化石をさがそう! 6月 23人
 8月2日(土) 化石のレプリカをつくろう 24人
 8月10日(日) ミクロの化石 電子顕微鏡が故障したため中止
 12月21日(日) 恐竜化石をさがそう! 12月 21人
 2月15日(日) アンモナイト標本をつくろう 25人
 2月22日(日) 恐竜化石をさがそう! 2月 21人
 3月8日(日) 貝化石標本をつくろう 12人

■海部自然・文化セミナー

海陽町立博物館との共催で行う講座。全3回のうち2回は当館の職員が講師を務めた。

- 5月11日(日) 宍喰浦竹ヶ島周辺の地質見学 20人
 6月8日(日) 鳥居龍蔵の徳島県内調査について 一県南地域を中心に— 10人
 8月3日(日) 銅鏡を作ってみよう 16人

■考古学スタートアップ講座

考古学について基礎から学ぶシリーズ。

- 7月6日(日) はじめて学ぶ考古学①—入門・旧石器時代編— 20人
 8月10日(日) はじめて学ぶ考古学②—縄文時

- 代・弥生時代編— 14人
 9月7日(日) はじめて学ぶ考古学③—古墳時代編— 14人
 10月5日(日) はじめて学ぶ考古学④—歴史時代編— 13人

■歴史散歩

県内外の遺跡、町並み、建造物等を見学して回るシリーズ。

- 6月1日(日) 徳島市八万町歴史散歩・中津浦編 18人
 10月19日(日) たんけん! 若杉山辰砂採掘遺跡 15人
 11月9日(日) 池田を歩こう 15人

■ワクワクむかし体験

昔の人びとの生活に関係のある体験を通じて、ものの性質や人びとの生活の知恵を学ぶシリーズ。

- 7月13日(日) 先取り自由研究! 民具にチャレンジ 2人
 11月30日(日) 焼き物をつくろう①(成形) 18人
 1月11日(日) 焼き物をつくろう②(焼成) 天候不良のため中止

■古文書で学ぶ歴史入門

古文書を読み、歴史について学ぶシリーズ。

- 5月24日(土) ゼロからの古文書① 16人
 6月7日(土) ゼロからの古文書② 15人
 6月21日(土) ゼロからの古文書③ 11人
 7月5日(土) ゼロからの古文書④ 15人
 9月20日(土) 古文書に親しむ① 22人
 10月18日(土) 古文書に親しむ② 19人



生きものしらべ隊「魚類の頭骨標本をつくろう」



考古学スタートアップ講座
 「はじめて学ぶ考古学①—入門・旧石器時代編」

18 普及教育

11月15日(土)	古文書に親しむ③	18人
12月20日(土)	古文書に親しむ④	18人
1月17日(土)	古文書に親しむ⑤	15人
2月21日(土)	古文書に親しむ⑥	13人

■ミュージアムトーク

学芸員が、各自の研究テーマや身近な話題について話をするシリーズ。

4月20日(日)	ゼロから始める植物学—植物用語編—	15人
6月15日(日)	ゼロから始める植物学—名前の調べ方編—	23人
7月12日(土)	ゼロから始める植物学—標本の作り方編—	11人
9月28日(日)	「鳴門わかめ」の誕生	10人
10月26日(日)	中世の荘園をさぐる	15人
11月16日(日)	徳島藩と絵師	18人
11月30日(日)	徳島県の哺乳動物のお話～レッドリスト改訂を見越して～	28人
12月7日(日)	沼島と徳島藩	34人
12月14日(日)	ゼロから始める植物学—植物の名前編—	13人
1月18日(日)	水に浮かぶ花—スイレンのふしぎ—	31人
2月1日(日)	ここまでわかった！徳島のクモたち	28人
2月8日(日)	阿波の城館の考古学	25人
3月22日(日)	ゼロから始める植物学—標本整理・分類学入門編—	14人

■企画展・特別陳列等関連行事

企画展や特別陳列等の開催中に行う、展示解説等。



歴史散歩「たんけん！若杉山辰砂採掘遺跡」

●特別陳列「民俗資料にみる こどもの世界」関連行事

4月29日(火・祝)	展示解説	45人
5月5日(月・祝)	展示解説	154人
5月25日(日)	展示解説	49人

●企画展「タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—」関連行事

7月27日(日)	展示解説	72人
8月11日(月・祝)	展示解説	59人
8月17日(日)	記念講演会「謎解き 阿波の中世文書」	79人
8月31日(日)	展示解説	39人

●企画展「ポケモン化石博物館」関連行事

10月4日(土)	記念講演会「「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学」	166人
----------	-----------------------------	------

■常設展示関連行事

●コレクションセクション関連行事

4月19日(土)	自然史コレクション「ドイツの化石」展示解説	20人
4月27日(日)	歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」展示解説	20人
5月4日(日・祝)	県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」展示解説	35人
5月5日(月・祝)	歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」展示解説	47人
6月22日(日)	歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」展示解説	20人
7月13日(日)	県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」展示解説	



ミュージアムトーク「中世の荘園をさぐる」

ブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」展示解説

示解説

5人

15人

7月20日(日) 歴史・文化コレクション「戦後80年 戦争の記憶を伝える」展示解説 20人

8月2日(土) 歴史・文化コレクション「戦後80年 戦争の記憶を伝える」展示解説 26人

8月10日(日) 県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」展示解説 37人

8月11日(月・祝) 県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」展示解説 38人

9月14日(日) 歴史・文化コレクション「戦後80年 戦争の記憶を伝える」展示解説 27人

9月15日(月・祝) 県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」展示解説 49人

10月12日(日) 歴史・文化コレクション「米とくらし」展示解説 45人

12月21日(日) 歴史・文化コレクション「米とくらし」展示解説 45人

1月12日(月・祝) 歴史・文化コレクション「発掘！阿波の城」展示解説 83人

1月25日(日) 自然史コレクション「東北の植物」展示解説 30人

2月23日(月・祝) 歴史・文化コレクション「発掘！阿波の城」展示解説 60人

3月1日(日) 自然史コレクション「魚類化石展」展示解説 中止

3月15日(日) 歴史・文化コレクション「発掘！阿波の城」展示解説① 26人

3月15日(日) 歴史・文化コレクション「発掘！阿波の城」展示解説② 21人

●徳島セクション・ロビー等小展示関連行事

12月28日(日) 阿波市・美馬市から見つかった新種のクモについて 30人

1月18日(日) 木下覺氏植物標本コレクション展示解説 20人

2月1日(日) 「徳島から新種発見！！」展示解説 40人

2月1日(日) 「バンドウヤミサラグモ」展示解説 24人

3月15日(日) 木下覺氏植物標本コレクション展

■その他の普及行事等

●文化の森こどもの日フェスティバル

5月5日(月・祝)

文化の森6館による春季の共同イベントで、各館を回るウォークラリーとともに、館ごとのイベントを実施した。博物館では、実演コーナー「化石クリーニング」、体験コーナー「昔のあそびいろいろ」、「いきものトークショー」、特別陳列「民俗資料にみる こどもの世界」展示解説、歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚—あらたな寄贈資料を中心に—」展示解説を行った。参加者：1,039人

●藍の葉っぱで遊ぼう

7月20日(日)

タデアイを使い、藍染めについて体験的な活動を行った。参加者：38人

●文化の森サマーフェスティバル

8月11日(月・祝)

文化の森6館による夏季の共同イベントで、各館を回るウォークラリーとともに、館ごとのイベントを実施した。博物館では体験コーナー「化石と鉱物にさわってみよう」、「標本のウラをみてみよう」、「博物館パズルであそぼう」、企画展「タイムトリップ中世！」の展示解説を行った。参加者：2,101人

●標本の名前を調べる会

8月24日(日)

毎年8月に行う恒例の行事で、学芸員のほか2名の外部講師の応援を得て実施した。単に名前を教えるのではなく、一緒に調べたりする点に重点を置いている。参加者：22人

●文化の森よるあそび

9月19日(金)



文化の森よるあそび「とくしまナイトミュージアム」

文化の森開園 35 年を記念して実施した文化の森 6 館による夜間の共同イベントで、館ごとのイベントを実施した。博物館では、学芸員が通常開館時とは異なる夜の博物館を特別に案内する「とくしまナイトミュージアム」を行った。参加者：141 人

●文化の森秋祭り

11 月 3 日（月・祝）

文化の森 6 館による秋季の共同イベントで、各館を回るウォークラリーとともに、館ごとのイベントを実施した。博物館では、体験コーナー「絵巻を観察しよう」、「和鏡をのぞいてみよう」、「バックヤード見学」、「いきものトークショー秋編」を行った。

参加者：2,234 人

●文化の森ウィンターフェスティバル

2 月 11 日（水・祝）

文化の森 6 館による冬季の共同イベントで、各館を回るウォークラリーとともに、館ごとのイベントを実施した。博物館では、博物館ボランティアとの協働イベント「化石タッチング」、「いきものトライアスロン」、「おゆまるメンコであそぼう！」を行った。

参加者：1,112 人

●移動展関連行事

7 月 6 日（日） 移動展「日本植物学黎明期の研究家～鴨島町出身の笠井文夫の足跡を辿る～」展示解説（美馬市立図書館） 32 人

8 月 9 日（土） 移動展「VIVA！美馬のちいさな生き物たち」展示解説（美馬市立図書館） 17 人

8 月 10 日（日） 移動展「「戦後 80 年」戦争の記憶を次世代へ 徳島大空襲と平和への願い」講演会「徳島大空襲の経験—平和への願いをこめ

て—」（徳島市立図書館） 15 人

●鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

2 月 14 日（土）

鳥居龍蔵記念博物館との共催。少年時代に徳島の歴史や文化についてフィールドワークを行い、後に世界的な研究活動を展開した鳥居龍蔵を記念し、中学生・高校生による自主的な歴史文化研究の支援と人材育成のため、平成 28 年度から実施している。今回で 10 回目となり、研究レポート（鳥居龍蔵研究、地域研究）を公募し、フォーラム（発表会）での口頭発表をしてもらった上で、優れた成果を表彰した。中学生 3 組、高校生 3 組の計 6 組が研究発表を行い、すべてを表彰対象とした。参加者：25 人

●クイズラリー

毎月第 2 土曜日を基本に、高校生以下が対象のクイズラリーを実施している。この行事は、子どもたちがクイズ等を通して博物館に親しみ、自然や歴史・文化に対する好奇心を高め、自ら学ぼうとする意欲を育むことを目的としている。参加者全員に対して、記念品を贈呈している。

4 月 12 日 29 人（未就学 13、小 14、中 1、高 1）

5 月 10 日 24 人（未就学 14、小 10、中 0、高 0）

6 月 14 日 32 人（未就学 12、小 17、中 3、高 0）

7 月 12 日 39 人（未就学 22、小 13、中 4、高 0）

8 月 9 日 85 人（未就学 41、小 39、中 5、高 0）

9 月 13 日 49 人（未就学 20、小 28、中 0、高 1）

10 月 11 日 85 人（未就学 37、小 46、中 1、高 1）

11 月 8 日 110 人（未就学 56、小 49、中 5、高 0）

12 月 13 日 59 人（未就学 30、小 27、中 1、高 1）

1 月 10 日 27 人（未就学 21、小 6、中 0、高 0）

2 月 14 日 50 人（未就学 26、小 20、中 2、高 2）

3 月 14 日 41 人（未就学 29、小 10、中 2、高 0）

参加者合計 630 人

（未就学 321、小 279、中 24、高 6）

●子ども向けイベント「こどもゆさん」

さまざまな遊びや体験を通して、徳島の自然や歴史・文化に対する親しみや好奇心を高めることを目的としている。

4 月 12 日 午前：古代人にヘンシン！ 4 人
午後：やみつき！ぬけがらあそび

24 人

5 月 10 日 午前：こんちゅう〇×クイズ 22 人
午後：めんこにチャレンジ 8 人

6 月 14 日 午前：楽しく学ぼう！恐竜かるた 21 人

午後：いろいろな帽子をかぶってみよう！ 27 人



文化の森秋祭り「いきものトークショー秋編」

7月12日	午前：古代のボードゲーム「かりうち」 で遊ぼう！	10人
	午後：マグネット魚釣り	39人
8月9日	午前：飛ぶタネ	58人
	午後：化石にさわってみよう	58人
9月13日	午前：博物館パズルで遊ぼう！	18人
	午後：モンゴルの楽器をひいてみよう	44人
10月11日	午前：ハニワパズルにちょうせん	20人
	午後：古い鏡をのぞいてみよう！	47人
11月8日	午前：くずし字クイズにちょうせん	47人
	午後：葉っぱで遊ぼう	105人
12月13日	午前：なげなわぐもゲーム	76人
	午後：博物館資料のプラバンをつくろう！	58人
1月10日	午前：恐竜おり紙、化石にさわってみよう	27人
	午後：古代のボードゲーム「かりうち」 で遊ぼう！	27人
2月14日	午前：ぬけがらであそぼう	24人
	午後：化石と鉱物をさわってみよう	55人
3月14日	午前：マグネット魚釣り	47人
	午後：こん虫〇×クイズ	27人
参加者合計		893人

●「文化の森で化石発掘体験」

7月18日（金）～9月28日（日）

（土曜日、日曜日、祝日に開催）（7月と8月は金曜日も実施）（33日間）



子ども向けイベント「こどもゆさん」
「古い鏡をのぞいてみよう！」



「文化の森で化石発掘体験」

日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業の関連行事として、化石発掘体験イベント「文化の森で化石発掘体験」を実施した。なお、行事運営は、民間事業者へ委託した。

場所：すだちくん森のシアター横

参加者：2,610人

●「飛び出せ！文化の森」ユニバーサルミュージアム推進事業

二十一世紀館主催の「飛び出せ！文化の森」ユニバーサルミュージアム推進事業に協力し、以下の4会場にて「化石にさわってみよう」を行った。

11月29日（土）	海部病院	172人
12月19日（金）	ひのみね支援学校	98人
1月12日（月・祝）	ゆめタウン徳島	183人
2月14日（土）	アミコビル	261人

(2) 普及行事の申し込み方法について

これまでの往復はがきでの申し込みに加え、5年度より導入したWeb上の専用フォームによる普及行事申し込み受付システムを継続している。この受付システムを利用した申し込みが増加している。

2. 学校教育等支援事業

博物館は本来、実物資料に基づく体験的な学習ができる場であり、学校教育にとっては、遠足での見学以外にもさまざまな活用ができる施設である。また、学習指導要領においても、博物館等の社会教育施設の活用が明記され、博物館に対しても積極的な学校教育への支援が要請されている。

当館では、学校の授業での博物館利用への支援（館内授業）、学校の授業への講師派遣（出前授業）、博物館資料の学校への貸し出し（資料貸出）、職場体験の

22 普及教育

受け入れ等を積極的に行っている。学校には定期的にチラシ等の広報物を配布することにより、博物館の学校教育支援事業の周知を図っている。

減免要綱の改正（令和6年4月）により、学校のみならず、放課後等デイサービスなどの社会福祉事業への支援にも努めている。

(1) 学校の授業での博物館利用への支援（館内授業）

講座室や実習室、常設展示室、イベントホールにおいて、社会や理科の授業と関連し、学年単位で博物館が利用されている。受け入れに際しては、展示資料だけでなく、必要に応じて収蔵資料を見たり触れたりしてもらうなどの体験的な活動も取り入れている。

- ①上八万小学校（徳島市） 5月16日（金）
1年生 49人
恐竜化石の解説と化石観察（講師：辻野）
- ②上八万小学校（徳島市） 5月16日（金）
2年生 57人
昆虫の観察（講師：外村）
- ③森山小学校（吉野川市） 6月24日（火）
6年生 16人
縄文、弥生～奈良時代の遺物や史跡（講師：植地、大塩）
- ④徳島県立城ノ内中等教育学校（徳島市） 7月29日（火）
1～3年生 8人
うっちーな体験塾（園瀬川での魚類観察・魚類標本作製）（講師：井藤）
- ⑤堀江南小学校（鳴門市） 11月28日（金）
1～4年生 15人
火とむかしの人びと、火おこし体験（講師：植地、大塩）
- ⑥徳島県立海部高等学校（海陽町） 12月21日（日）
高校生 9人
館内見学（海部高等学校科学部 校外研修）（講師：小布施、内藤）
- ⑦佐那河内小学校（佐那河内村） 2月5日（木）
3年生 8人
昔の道具とくらし（講師：庄武）
- ⑧八万南小学校（徳島市） 3月13日（金）
3年生 116人
かわる道具とくらし（講師：庄武）

(2) 学校の授業への講師派遣（出前授業）

学校からの依頼に応じ、学芸員を講師として派遣した。授業では教員と協働し、持参した博物館資料を活

用するなどして、児童・生徒の理解が深められるように努めた。

- ①山城中学校（三好市） 7月4日（金）
1・2年生 10人
ふるさと学習「山城の鉦踊」（講師：庄武）
- ②セサミ山城幼稚園（徳島市） 8月7日（木）
園児 48人
サマープログラム「昆虫のはなし」（講師：外村）
- ③加茂名南小学校（徳島市） 10月17日（金）
3年生 97人
植物の一生（講師：茨木）
- ④西麻植小学校（吉野川市） 11月6日（木）
6年生 18人
戦争と人々のくらし（講師：小林）
- ⑤富岡西高等学校（阿南市） 11月14日（金）
1・2年生 20人
博物館における保存科学（講師：植地）
- ⑥助任小学校（徳島市） 12月16日（火）
6年生 136人
戦争と人々のくらし（講師：松永）
- ⑦川島小学校（吉野川市） 1月14日（水）
6年生 27人
大地のつくりと変化（講師：中尾）
- ⑧浦庄小学校（石井町） 1月20日（火）
3年生 11人
かわる道具とくらし（講師：磯本）
- ⑨石井小学校（石井町） 1月22日（木）
3年生 93人
かわる道具とくらし（講師：庄武）
- ⑩沖洲小学校（徳島市） 1月23日（金）
3年生 87人
変わるわたしたちのくらし（講師：磯本）
- ⑪牛島小学校（吉野川市） 1月26日（月）
3年生 21人
かわる道具とくらし（講師：庄武）
- ⑫応神小学校（徳島市） 1月28日（水）
3年生 28人
かわる道具とくらし（講師：庄武）
- ⑬内町小学校（徳島市） 1月28日（水）
3年生 43人
かわる道具とくらし（講師：磯本）
- ⑭上八万小学校（徳島市） 1月30日（金）
3年生 44人
かわる道具とくらし（講師：磯本）
- ⑮鴨島小学校（鴨島町） 1月30日（金）
3年生 68人
かわる道具とくらし（講師：庄武）

遠足等での地域別入館件数

単位：校・園・施設等

年度	徳島市	板野郡	鳴門市	小松島市 勝浦郡	阿南市	名西郡 名東郡	阿波市	吉野川市	那賀郡 海部郡	美馬市 美馬郡	三好市 三好郡	県外	計
R5	59	19	6	13	13	5	2	6	4	2	0	3	132
R6	71	26	8	12	13	9	3	5	3	4	1	7	162
R7	88	34	11	17	19	11	5	7	5	4	3	7	211

遠足等での施設種別入館件数

単位：校・園・施設等

年度	保育所 幼稚園	小学校	中学校	高校	その他 (社会福祉施設、大学、専修学校)	計
R5	15	51	6	3	57	132
R6	34	50	4	6	68	162
R7	41	67	2	6	95	211

⑯藍畑小学校（石井町） 2月4日（水）

3年生 31人

かわる道具とくらし（講師：庄武）

⑰学島小学校（吉野川市） 2月6日（金）

3年生 13人

かわる道具とくらし（講師：磯本）

⑱加茂名小学校（徳島市） 2月9日（月）

3年生 61人

昔の道具とくらし（講師：庄武）

⑲八万小学校（徳島市） 2月10日（火）

3年生 101人

かわる道具とくらし（講師：庄武）

⑳川島小学校（吉野川市） 2月13日（金）

3年生 27人

かわる道具とくらし（講師：磯本）

㉑知恵島小学校（吉野川市） 2月16日（月）

3年生 17人

変わるわたしたちのくらしと道具（講師：磯本）

㉒吉井小学校（阿南市） 2月17日（火）

3年生 10人

かわる道具とくらし（講師：磯本）

㉓一宮小学校（徳島市） 2月17日（火）

3年生 4人

昔の道具（講師：庄武）

㉔山梨県立日川高等学校（山梨市） 3月18日（水）

SSHクラス2年生 19人

兵庫県南あわじ市灘地野での地層・和泉層群の地層と化石産状の観察（講師：辻野）

㉕高川原小学校（石井町） 3月19日（木）

3年生 49人

わたしたちの市の歩み（講師：庄武）

(3) 遠足

保育所、幼稚園、こども園、各種学校、社会福祉施設等からの遠足を受け入れている。各団体に対し、学芸員や企画担当職員による常設展の解説や体験的な活動、ワークシートを使った案内などを行っている。

過去3年間の地域別入館件数、施設種別入館件数は、上表のとおりである。地域別では、徳島市と板野郡の合計が半数以上を占める。施設種別では、社会福祉施設（児童発達支援や放課後等デイサービスなど）の利用が約4割を占めた。

また、常設展示室コミュニケーションゾーンを活用した館内授業と展示見学を組み合わせた取り組みを実施した場合もある。

(4) 博物館資料の学校への貸し出し

小・中学校及び高等学校の授業等で活用してもらうため、平成10年度から博物館資料の学校への貸し出しを行っている。貸出用資料の一層の利用促進を図るため、平成15年度末に「学校貸出用資料解説シート」を印刷し、小・中学校及び高等学校に配布した。また、来館した教職員に、必要に応じて解説シートを配布し、利用を勧めている。

①牛島小学校（吉野川市） 4月25日～5月9日

貸出資料：石鏃27、復元青銅器・銅鐸1、復元青銅器・銅剣1、復元青銅器・銅戈1、復元青銅器・銅矛1 計31点

使用目的：授業

②鳴門教育大学附属小学校（徳島市）

24 普及教育

- 10月26日～11月13日
貸出資料：三葉虫10、マダガスカル産アンモナイト10、サメの歯10、モササウルスの歯10、アンモナイト断面標本1、ヒマラヤ産アンモナイト1、ナウマンゾウ臼歯レプリカ1、植物化石1 計44点
使用目的：6年理科の授業
- ③勝浦中学校（勝浦町） 10月28日～11月7日
貸出資料：勝浦町産植物化石6、勝浦町産貝類化石8 計14点
使用目的：第61回中国四国中学校理科教育研究会徳島（勝浦）大会
- ④高川原小学校（石井町） 10月28日～11月11日
貸出資料：三葉虫6、マダガスカル産アンモナイト6、ナウマンゾウ臼歯レプリカ1、植物化石（クラドフレビス）1 計14点
使用目的：6年理科の授業
- ⑤内町小学校（徳島市） 11月10日～28日
貸出資料：吉成葎亭筆 阿波盆踊図屏風（写真） 1点
使用目的：徳島県の小学校研究大会（図画工作科）
- ⑥新町小学校（徳島市） 11月12日～19日
貸出資料：マダガスカル産アンモナイト4、モロッコ産三葉虫4、ヌンムリテス4、サメの歯4、モササウルスの歯4、勝浦町産の植物化石4 計24点
使用目的：6年理科の授業
- ⑦阿南光高等学校（阿南市） 11月18日～23日
貸出資料：写真パネル8
使用目的：文化祭で展示するため
- ⑧助任小学校（徳島市） 12月2日～12日
貸出資料：プテロトリゴニア2、クラドフレビス1、コダイアマモ1、ナウマンゾウの歯レプリカ1、泥岩1、花こう岩1、モロッコ産三葉虫16、マダガスカル産白亜紀アンモナイト16、マダガスカル産ジュラ紀アンモナイト1 計40点
使用目的：6年理科の授業
- ⑨助任小学校（徳島市） 12月3日～16日
貸出資料：写真パネル11、徳島大空襲遺物2、焼夷弾1 計14点
使用目的：平和への理解を深めるため
- ⑩山瀬公民館（吉野川市） 2月5日～2月7日
貸出資料：肥桶1、チギ1 計2点
使用目的：山瀬小学校3年社会科「わたしたちの市の歩み」の学習の中で展示、体験する
- ⑪城西中学校（徳島市） 2月25日

貸出資料：火縄銃1
使用目的：社会科の授業

(5) 職場体験・インターンシップ等の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・インターンシップ等の受け入れを行い、生徒に博物館業務を体験してもらうことにより、博物館に対する理解を深めてもらった。

- ①津田中学校（徳島市） 6月17～18日
2年生 2人
- ②鳴門教育大学附属中学校（徳島市） 7月3～4日
2年生 2人
- ③小松島西高等学校（小松島市） 7月15～16日
3年生 1人
- ④城北高等学校（徳島市） 8月26日
2年生 1人
- ⑤上八万中学校（徳島市） 10月15～16日
2年生 1人
- ⑥南部中学校（徳島市） 10月22～23日
2年生 3人
- ⑦八万中学校（徳島市） 2月25～27日
2年生 5人

(6) 教員のための研修

徳島県教育委員会等からの依頼により、館内外における教員対象の研修会において、職員が指導に当たった。

- ①フレッシュ研修Ⅱ 7月22・23日
参加者 4人
実習「歴史資料の整理」（講師：松永、矢野）
実習「地学資料の整理」（講師：辻野）
- ②令和7年度「教員のための博物館の日 in 徳島」 7月23日
参加者 23人（フレッシュ研修Ⅱの4人を含む）
講義「授業で博物館をどうやって使うの？」（講師：鉄谷）
展示案内A 理科コース
「徳島の自然」（動物・植物）（講師：茨木）、「徳島鉱物クラブコレクション、ドイツの化石」（講師：中尾）
展示案内B 社会科コース
「徳島の歴史・文化」（講師：庄武）、「タイムトリップ中世！」（講師：長谷川）
見学ツアー「鳥居龍蔵記念博物館」（講師：小林、坂東）
見学ツアー「博物館の裏側」
理科コース（講師：井藤、小布施）
地学収蔵庫（講師：中尾）
社会科コース（講師：磯本、松永）

見て触れて聞いて実感！「徳島の自然と歴史・文化」
(講師：博物館学芸員、企画担当)

③徳島県小学校理科教育研究会研修 (助任小学校)

2月21日

参加者6人

講演「大地のつくりと変化」(講師：中尾)

(7) その他

学校の授業や放課後等デイサービスの活動などにおいて、自然観察、生活体験、歴史学習等を実施する際、資料の活用方法等を、学芸員が教員の相談に応じている。

3. 普及教育関係出版物

(1) 博物館ニュース

博物館の広報紙で、内容は、学芸員の調査研究の一端を紹介する“CultureClub”、館蔵品紹介、野外博物館、企画展案内、情報ボックス、レファレンス Q&A、普及行事の案内と記録等から構成されている。A4判8ページ(全ページカラー)で各号8,000部を印刷している。

令和7年度は、次の4号を発行した。また、当館ホームページでも公開している。

●No.139 (2025年6月15日発行)

表紙 熊野観心十界図

CultureClub 徳島県小松島市南西部に分布する白
亜紀の地層(外和泉層群)について

企画展 タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—

情報ボックス 博物館のIPM

歴史散歩 城山の午砲とその記憶

Q&A 「徳島大空襲」について教えてください。

●No.140 (2025年9月15日発行)

表紙 企画展「ポケモン化石博物館」

CultureClub 絵画を味わう—蓬萊山に込めた思い—

企画展 ポケモン化石博物館

館蔵品紹介 京都府木津川のアユモドキ標本

情報ボックス 三好ジオパーク

Q&A 海外でも藍染が行われている地域はありますか？

●No.141 (2025年12月1日発行)

表紙 円通寺遺跡の土塁と堀

CultureClub 阿波国の荘園・富田荘と寺社造営

野外博物館 出羽島観栄寺の半鐘

歴史・文化コレクション 発掘！阿波の城

情報ボックス 大きなキノコにびっくり！スマレホ
コリタケ

Q&A 落ち葉の下の生き物はどうやって採集すればよいのですか？

●No.142 (2026年3月25日発行)

表紙 松葉松毬蒔絵重箱・台

CultureClub 広がる園芸スイレンの脅威

企画展 まぼろしの漆器 阿波の半田塗

館蔵品紹介 勝浦町産の竜脚類の歯化石

情報ボックス 技の継承を支えるもの—阿波の太布
製造技術から考える—

Q&A ルーミスジミはどこにいますか？

(2) その他

●年間催し物案内

1年間の普及行事予定を掲載したA3判二つ折りリーフレットを65,000部印刷し、県内の小・中・高校生及び教職員に配布した。さらに、博物館ニュースとともに県内の大学や図書館に発送するほか、展示室の入口に置いて来館者に自由に取ってもらったり、普及行事の参加者に配布したりしている。

●月間催し物案内

各月の普及行事の実施要領や申し込み方法等の案内を印刷したA3判のチラシで、報道関係機関等に提供するほか、来館者にも配布している。

●徳島県立博物館を活用しよう

博物館が行っている学校教育支援事業を内容別に紹介したA4判のチラシ。

Ⅲ 調査研究

調査研究は、博物館における諸活動の根幹をなすものである。質の高い調査研究に裏付けられてこそ、最新の情報を盛り込んだ展示や質の高いコレクションの収集、内容豊かな普及活動が可能となるからである。当館の調査研究事業には、必要に応じて館外の研究者も含め、特定のテーマを定めて年度単位で集中的に取り組む課題調査、各学芸員がそれぞれの分野や専門とするテーマにもとづいて計画し、日常的に取り組んでいる個別調査研究、翌々年以降に予定されている企画展のための事前資料調査等がある。

令和7年度は、19人の学芸スタッフがこの業務に携わった。

1. 課題調査

令和7年度は、次の1件の課題調査を行った。

(1) 西祖谷の神代踊再考―継承と再興に向けて―

令和4年(2022)に「風流踊」の一つとしてユネスコの無形民俗文化遺産に登録された西祖谷の神代踊は、大型の締太鼓を用い、仮面・仮装の行列「練り」という要素が踊りに付随した特徴的な民俗芸能である。昭和51年(1976)に国の重要無形民俗文化財に指定され貴重な伝統文化と認められてきたが、その由来や系譜について調査される機会はなかった。また、現在は継承地の人口減少や高齢化などにより、踊りを継承していくのが困難な状況となっている。



山城(寺野)の鉦踊(三好市)

四国には西祖谷の神代踊を起点として、同類の大型の締太鼓や仮面・仮装の「練り」が見られる民俗芸能が四国山地を中心に特異に分布している。この調査では、西祖谷神代踊りとともに同類の要素が見られる四国内の民俗芸能を調査記録し、相互比較することによって、西祖谷の神代踊の文化財としての価値をより明確にすることを目的とする。

7年度は四国内で西祖谷の神代踊と同様の太鼓、仮面・仮装の「練り」が見られる民俗芸能について調査記録を行った。

●調査メンバー

博物館学芸員：庄武憲子(民俗)

館外調査員：水野一典氏(四国民俗学会理事)

梅野光興氏(高知県立歴史民俗資料館学芸員)

●調査概要及び結果

- 7月6日(日) 滝宮の念仏踊のうち西分組の踊り、大川の念仏踊の調査記録
- 7月19日(土) 西祖谷(善徳)の神代踊の調査記録
- 7月27日(日) 南川百万遍祭の調査記録
- 8月5日(火) 地吉の大念仏の調査記録
- 8月6日(水) 古城の大念仏の調査記録
- 8月16日(土) 信政の鉦踊の調査記録
- 8月20日(水) 田野々の二十日念仏の調査記録
- 8月24日(日) 滝宮の念仏踊、新宮の鐘踊の調査記録
- 9月14日(日) 佐川町の四遍念仏の調査記録
- 10月5日(日) 栗山の鉦踊の調査記録
- 10月11日(土) 西祖谷(徳善)の神代踊の調査記録
- 10月13日(月) 都の太鼓踊調査記録
- 2月11日(水) 戸立の太鼓踊調査記録

以上の調査で、滝宮の念仏踊(香川県)、地吉の念仏踊(高知県)、山城の鉦踊(徳島県)で同銘の鉦を用いていることが確認できた。

また、南川百万遍祭(高知県)で西祖谷の神代踊と同様の大型の締太鼓を用いることが明確となった。これらの関係性については、8年度引き続いて検証していく予定である。

また、西祖谷(善徳)の神代踊の小歌一つについて、

継承用の映像番組を作成した。オンラインで活用していく予定である。

2. 日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業

徳島県勝浦町には、白亜紀前期(約1億3000万年前)の地層である立川層が分布する。平成6年に立川層から四国初となる鳥脚類イグアノドン類の歯化石が発見された。その後、28年に徳島県で2つ目の恐竜の化石(竜脚類ティタノサウルス形類の歯)が発見された。この発見を受け、当館は、福井県立恐竜博物館や徳島県内の化石愛好家の協力を得て、同年冬から30年春まで、断続的に恐竜化石発見地点周辺の地質調査を行ってきた。その結果、30年4月に恐竜化石等の脊椎動物化石を多く含む層(ボーンベッド)を発見し、多数の恐竜化石を採集した。30年冬以降、継続して発掘調査を行い、令和7年度は10月14日から12月19日までの約2か月間、発掘調査を実施した。

7年度の発掘調査は、6年度の調査の続きで、ボーンベッドが分布する斜面上部から重機による掘削を行った。化石が含まれる可能性が高い岩石は、後方支援施設(徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校勝浦かんきつテラス徳島)に運搬し、県内の化石愛好家や阿波勝浦井戸端塾等の協力を得て、岩石の小割作業と化石の探索を行った。発掘調査では、恐竜化石2点をはじめ、多数の脊椎動物化石を発見した。

●調査メンバー

博物館学芸員：辻野泰之(地学)
 中尾賢一(地学)
 小布施彰太(地学)
 小林亮介(地方創生推進員)
 中田健太郎(福井県立恐竜博物館)
 藺田哲平(福井県立恐竜博物館)
 小笠原憲四郎(筑波大学名誉教授)
 黒島健介(広島大学総合博物館)
 新山颯大(沖縄県立博物館・美術館)
 小布施莉奈(勝浦町)
 橋本寿夫(元・板野中学校)
 調査協力者：31名(広島大学理学部生、愛媛大学理学部生、阿波勝浦井戸端塾、阿南市科学センター、化石愛好家等)

業務委託業者：5名

延べ調査参加者数：254人(業務委託業者を除く)

●調査日程

10月14日(火)～12月19日(金)

化石発掘現場での調査(準備・片付けを含む)

10月31日(金)～12月19日(金)

後方支援施設での作業

●調査概要及び結果

化石発掘現場の調査及び後方支援施設での小割作業において、280点の脊椎動物化石を発見した。

内訳は以下のとおりである。

・恐竜化石	2点
・カメ類化石	221点
・ワニ類化石	5点
・硬鱗魚などの硬骨魚類化石	4点
・淡水生サメ類化石	6点
・その他 骨片(恐竜の可能性のある化石を含む)	42点

採集された脊椎動物化石は、現在も徳島県立博物館で整理作業を行い、岩石から取り出すためのクリーニングを実施中である。

また、岩石中の骨化石の探索のために、10月に産業用X線CTスキャナーを導入した。

●勝浦町恐竜化石発掘活性化協議会

徳島県をはじめ、勝浦町、関係団体等による密接な連携のもと、恐竜化石産地周辺の環境に配慮した発掘調査を促進しさらに県民参加型の発掘の仕組みの検討や、恐竜を核とした魅力の発信等を行い、徳島県及び勝浦町の地方創生、地域活性化を図ることを目的に協議会を設置している。

7年度から、協議会の事務局を勝浦町教育委員会へ移管した。勝浦町教育委員会主催の第14回勝浦町恐竜化石発掘活性化協議会において、7年度の発掘調査の成果を報告した。

第14回 日時 3月10日(火) 13:30～15:00

会場 勝浦町住民福祉センター3階ホール



恐竜化石の発掘調査の様子 2025年11月20日撮影

●勝浦町恐竜発掘活性化協議会委員等名簿
(令和8年3月31日現在)

氏 名	役 職 等
小笠原 憲四郎 (委員長)	筑波大学名誉教授、元国立科学博物館 客員研究員
石田 啓祐	徳島大学名誉教授
岩城 秀行	徳島県化石同好会代表(代理)
国清 一治	特定非営利活動法人阿波勝浦井戸端塾 理事長
中田 明男	地元自治区長
永戸 彰人	徳島県観光スポーツ文化部副部長
石畑 久美子	徳島県文化の森振興センター副所長
戸川 美史 (副委員長)	徳島県立博物館長
大久保 康雄 (副委員長)	勝浦町教育委員会教育長
石木 正昭	勝浦町教育委員会事務局長
平畠 充祐	徳島県企画総務部地域連携課長
原 祐二	徳島県観光スポーツ文化部観光企画課 長
寺尾 由美	勝浦町企画交流課長
東 洋一 (オブザーバー)	福井県立恐竜博物館名誉顧問、福井県 立大学名誉教授

3. 分野別(個別)調査研究

井藤大樹(動物・脊椎動物)

- ①四国における魚類の分布に関する研究
四国や徳島県初記録となる魚類の研究を進めた。
- ②ホトケドジョウ類の進化及び分類学的研究
ホトケドジョウ類の進化や分類に関する研究を進めた。
- ③ナガレホトケドジョウの色彩多型に関する研究
ナガレホトケドジョウで知られる色彩多型に関連し、サンプル採集、DNA分析等を実施した。
- ④地下水性ミミズハゼ属魚類に関する研究
イドミミズハゼやドウクツミミズハゼ等の地下水性のミミズハゼ属魚類について研究を進めた。

鈴木佑弥(動物・無脊椎動物(昆虫以外))

- ①坂東治男氏クモ類コレクションの構築
坂東治男氏のクモ類コレクションの整理を進め、一部の標本に基づく調査結果を報告した。
- ②徳島県産クモ類の分類学的研究
阿波市・美馬市脇町からバンドウヤミサラグモを記載した。
- ③湿地性カラカラグモにおける生活史形質の進化
湿地性カラカラグモの食性調査および系統解析を

実施した(藤原ナチュラルヒストリー財団研究課題)。

- ④日本産タマゴグモ科の分類学的検討
日本産タマゴグモ科ハネグモ属を分類学的に整理し、論文を執筆した(受理済み)。
- ⑤日本産ユアギグモ科の分類学的検討
宮古島でユアギグモ科のサンプリングを行った。
- ⑥ポリエチレングリコール含浸標本の作製方法の検討
サワガニを対象に試験的に実施した。

外村俊輔(動物・無脊椎動物(昆虫))

- ①日本産マルハキバガ科の分類と生態の研究
日本産マルハキバガ科に関してサンプルの収集と分類学的検討、分子実験を行い、成果を学会等で発表した。
- ②日本列島における腐食性鱗翅目昆虫の適応放散と幼虫腸内フローラの網羅的解明
解析に用いるサンプルとしてキバガ上科ほか小蛾類各種の幼虫を採取し、研究代表者に提供した(九州大学科研費プロジェクト)。
- ③徳島県における蛾類相の解明
県内各地でサンプリングを行い、日本、四国、徳島県初記録種、新種を見出した。また、成果を学術雑誌および徳島県立博物館研究報告にて公表したほか、博物館ロビー小展示にて成果を展示した。

- ④樋口博美氏の蛾類コレクションの整理
新たに219個体の標本を受け入れた。標本を同定、整理し、成果を徳島県立博物館研究報告にて公表した。
- ⑤徳島県における外来種昆虫の調査
県内各地で調査を行い、既知外来種の追加記録を得たほか、新規外来種を発見し、成果を学術雑誌および蛾類同好会誌にて公表した。

- ⑥徳島県における海浜性昆虫の調査
県内各地の海岸で調査を行い、徳島県初記録種を見出した。また、成果を学芸員紹介コーナーにて展示したほか、徳島県立博物館研究報告にて公表した。

茨木 靖(植物)

- ①県産植物相の調査
徳島県の植物相の調査を行った(木下 覺氏等と共同)。
- ②イネ科植物の比較研究
国内外各地のイネ科植物について、その異同、分布等に関する調査を行った。
- ③県内における海流種子等の漂着状況に関する調査
(濱 直大氏等と共同)

内藤芳香(植物)

- ①県産植物相の調査

徳島県の植物相の調査を行い、四国初記録種を見出した。また、阿波学会の調査を兼ねて上勝町、勝浦町の植物相について調査を行った（木下 覺氏等と共同）。

②水生植物の分類・生態に関する研究

水生植物の分類・生態に関する研究を行い、成果を学芸員紹介コーナーにて展示したほか、学術雑誌及び学会で発表した。

③絶滅危惧種標本種子の発芽可能性に関する研究

徳島県立博物館に収蔵されている絶滅危惧 IA 類以上のさく葉標本について写真撮影を行い、研究代表者に提供した（新潟大学科研費プロジェクト）。

④木下覺氏の植物標本の整理及び収蔵

木下覺氏の 10,000 点の植物標本を受け入れ、整理を進めるとともに、成果の一部を博物館ロビー小展示として展示した。

中尾賢一（地学）

① 5 万分の 1 図幅「鳴門海峡地域の地質」、陸海シームレス地質情報集作製のための調査

オンライン会議で打ち合わせ等を行い、これまでのデータをまとめた（産総研地質調査総合センター、徳島大学理工学部と共同）。

②勝浦町に分布する白亜紀層に関する調査

勝浦町で発見された恐竜化石含有層の発掘調査を実施した（福井県立恐竜博物館や福井県立大学恐竜学研究所、徳島県化石同好会等と共同）。

③小松島市の遺跡から出土した貝類の調査

小松島市教育委員会からの依頼で、同市の遺跡から発掘された貝類について、同定作業及び古生態学的検討を行った（徳島大学理工学部と共同）。

④西日本における新第三紀鮮新世～第四紀更新世の貝化石に関する分類学的研究

西日本の新第三紀鮮新世～第四紀更新世の貝化石に関する分類学的研究を、おもに高知県穴内層で行った（一部を三本健二氏と共同）。

辻野泰之（地学）

①北海道の蝦夷層群より産出するアンモナイト化石に関する研究

特に白亜系蝦夷層群より産出する異常巻きアンモナイト：バキュリテス類の分類、進化に関する研究を行った。

②勝浦町に分布する白亜紀層に関する調査

勝浦町で発見された恐竜化石含有層の発掘調査を実施した（福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学部、徳島県化石同好会等と共同）。

③小松島市櫛淵地域に分布する白亜紀層と産出化石についての研究

徳島南部自動車道の工事にともなって露出した白亜紀層（櫛淵層）から産出した化石についての研究を行った。

④モロッコ産の化石を利用した博物館学に係わる研究

モロッコ南東部エフフード周辺に分布する白亜紀層の調査と化石のサンプリングを行った（名古屋芸術大学科研費プロジェクト）。

小布施彰太（地学）

①勝浦町に分布する白亜紀層に関する調査

勝浦町で発見された恐竜化石含有層の発掘調査を実施した（福井県立恐竜博物館や福井県立大学恐竜学研究所、徳島県化石同好会等と共同）。また、調査で発見された脊椎動物化石について研究を行った。

②福井県勝山市より産出するワニ形類化石に関する研究

手取層群（福井県勝山市）より産出するワニ形類化石について分類や古生態、古生物地理に関する研究を行った。

植地岳彦（考古・保存科学）

①水銀朱の生産や使用に関する研究

県内外の水銀朱生産遺跡や、古墳内で使用された水銀朱、水銀朱の生産に使用された石器や土器に関する調査・研究を行った。

②博物館等の展示及び収蔵に関する環境・設備の調査

展示室、収蔵庫の温度・湿度の変動と有機酸・アンモニアの発生状況、資料害虫菌の発生状況、紫外線や可視光線が資料に及ぼす影響について調査した。

③文化財保存環境の調査

県内市町のエド委員会、博物館・資料館、個人等の依頼を受け、温湿度や文化財加害害虫菌といった保存環境の調査を行った。

④文化財等の調査分析・保存修復

県内の博物館・資料館、個人等の依頼を受け、資料の赤外線調査や拡大観察調査、エックス線撮影調査などを行った。

大塩啓一郎（考古）

①中世阿波の土器・陶磁器からみた地域文化・流通の基礎的研究

中世阿波の地域文化・流通を土器・陶磁器から分析するため、関係資料を調査し、データの集積などを行った（当館科研費プロジェクト）。

②中世阿波の城館の考古学的研究

中世阿波の城館について調査し、出土している遺物・遺構から検討を加えた。また、その成果の展示を行った。

③鳥居龍蔵の台湾フィールドノートに関する調査

鳥居龍蔵が記録した台湾フィールドノートの翻刻作業や記述内容の検討作業に参加した。また、台湾での現地調査を行った。

松永友和（歴史）

①四国遍路に関する調査

江戸時代の四国遍路について、遍路日記の所在調査及び翻刻作業を行った。

②徳島藩郡代関係資料の調査

徳島藩郡代について、その履歴等に関する資料の翻刻作業を行った。

③徳島における戦争関係資料の調査

主に当館収蔵の戦争関係資料について、資料整理や翻刻作業を行った。いくつかの資料については、歴史・文化コレクション「戦後80年 戦争の記憶を伝える」で紹介した。

④井藤正一日記に関する調査

徳島水平社を主導した井藤正一が記した日記について、解読の確認作業を行うとともに、日記の内容や記事の背景などを調査した（とくしま社会運動資料センターとの共同）。

⑤鳥居龍蔵の台湾フィールドノートに関する調査

鳥居龍蔵が記録した台湾フィールドノートの翻刻作業を行うとともに、調査の実態について検討を加えた。

長谷川賢二（歴史）

①阿波における山伏の中近世移行に関する研究

中近世移行期における山伏の組織性の実態について明らかにするため、関係資料の検討や情報収集を行った。

②古代神への信仰の中近世における変容に関する研究

古代阿波忌部の祖神である天日鷲命の位置づけや信仰者の性格に関する近年の研究の妥当性の検証のため、資料の調査及び検討を行った。

③四国遍路に関する調査

雲辺寺などの所蔵資料を調査し、霊場の個別的な形成・展開について検討した。

④井藤正一日記に関する調査

徳島水平社を主導した井藤正一が記した日記について、解読の確認作業を行うとともに、日記の内容や記事の背景等を調査した（とくしま社会運動資料センターと共同）。

⑤鳥居龍蔵の台湾フィールドノートに関する調査

鳥居龍蔵が記録した台湾フィールドノートの翻刻作業や記述内容の検討を行った。また、台湾での現地調査を行った。

小林篤正（歴史）

①鳥居龍蔵の台湾における活動履歴に関する調査

鳥居龍蔵による台湾での調査について、フィールドノートの解読、鳥居が出版した台湾関係の調査文献及び鳥居龍蔵記念博物館所蔵の台湾関連資料を照合し、鳥居の台湾における活動履歴を確認した。

②鳥居龍蔵の妻鳥居きみ子に関する調査

鳥居きみ子の生涯について、文献や資料を渉猟し、検討した。特に、モンゴル調査のフィールドノートや家族間で交わされた書簡の解読と関連資料の調査を行った。

③井藤正一日記に関する調査

徳島水平社を主導した井藤正一が記した日記について、解読の確認作業を行うとともに、日記の内容や記事の背景等を調査した（とくしま社会運動資料センターと共同）。

④阿波藍の盛衰と近代徳島地域社会の変容に関する調査

当館所蔵の藍商関係資料や、県立図書館所蔵の徳島県関係出版物、阿波藍関係出版物などから近代徳島の藍作の動向、精藍技術の研究開発、吉野川の治水状況について検討した。

坂東 泰（歴史）

①鳥居龍蔵の中国西南部研究に関する調査

鳥居龍蔵の中国西南部調査に対する同時代の反響や、鳥居が残した中国西南部関係の研究資料について調査した。

②鳥居龍蔵の台湾フィールドノートに関する調査

鳥居龍蔵が記録した台湾フィールドノートの翻刻作業や記述内容の検討を行った。

③日中戦争期の徳島から出征した兵士の従軍日記に関する調査

日中戦争期の徳島から出征した兵士が従軍時に作成した日記を、当時戦場となっていた中国に関する記録として取り上げ、その内容について調査した。

矢野大輔（歴史）

①中世阿波国の荘園制に関する研究

平安時代末期から鎌倉時代初期の阿波国の荘園制について、阿波国の知行国主に注目して資料の検討を行った。

②中世前期の荘園領主による港湾編成に関する研究

領域内に港を持つ荘園であった春日社領阿波国富田荘について、資料の検討を行った。

③中世阿波国の政治史に関する研究

当館が所蔵する阿波守護細川氏関連資料の調査を行った。また、阿波守護細川氏が行っていた国衙領の代官請負について、阿波守護家奉行人や国衙領の

知行者に注目して資料の検討を行った。

④喜田貞吉に関する調査

徳島県出身の歴史学者喜田貞吉について、その関連資料の調査を行った。

⑤鳥居龍蔵の台湾フィールドノートに関する調査

鳥居龍蔵が記録した台湾フィールドノートの翻刻作業や記述内容の検討を行った。また、台湾での現地調査を行った。

庄武憲子（民俗）

①四国の風流踊調査

令和7年度から開始した課題調査「西祖谷の神代踊再考―継承と再興に向けて―」の一環として四国で継承されている風流踊のうち、西祖谷の神代踊に関係すると思われる風流踊について現地調査を行った。このうち踊りに使用される鉦、太鼓に共通点が見られることが確認できた。8年度も継続して調査を進め、論文、展示などでの公表につなげる予定。

②徳島県祭り・行事調査事業

特別調査員として徳島県文化資源活用課からの委嘱を受け、宇佐八幡神社のお御供神事、川田八幡神社例祭、漁祈祷・数珠回し、投げ銭供養、大山寺力餅大会、三番叟まわしの補足調査を行い、報告書を提出した。また宇佐八幡神社のお御供について論文にて公表した。

③佐那河内村史編纂にかかる調査

佐那河内村内で村史執筆委員として人生儀礼に関する聞き取り調査を行った。

④勝浦町・上勝町の社寺、堂庵の石造物調査

郷土建築研究会と合同で勝浦町・上勝町内の社寺、堂庵にある石造物の調査を行った。令和8年度に報告書提出予定。

磯本宏紀（民俗）

①移動する釣り漁民集団による海域ネットワークの歴史と変遷の解明と文化資源化

徳島県を出身地とする移住漁民、特に一本釣り漁民を対象に、移住の経緯と都市部定住後の技術移動や生業、コミュニティの形成、文化伝播の把握を目的に調査研究を行った（当館科研費プロジェクト）。

②19世紀以降の東アジア世界における海藻の生産・流通・消費に関する総合研究

19世紀以降の東アジア世界で生じた海藻の生産、加工・流通、消費をめぐる構造変化の実態を明らかにするために、歴史学、社会学・人類学・民俗学、水産学の研究者による学際的共同研究を行った（三重大学科研費プロジェクト）。

③フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発に関する調査研究

地域の知恵や歴史が凝縮された伝統文化を取り入れ、持続可能で多様性にみちた社会のあり方を、保存科学、人類学、民俗学、歴史学、生態学、言語学などの横断的な領域から検証し、社会／文化の創発に積極的に参与することを目的とした研究を行った（国立歴史民俗博物館共同研究）。

④朝鮮海出漁資料からみた植民地社会の実態研究

香川県観音寺市、北海道岩内町において、戦前期の朝鮮海出漁資料の調査、撮影を行った。また、韓国全羅南道麗水市巨文島等において、植民地期の漁業関係資料の調査を行った（国立歴史民俗博物館科研費プロジェクト）。

⑤祭り・行事調査

徳島県域の祭り・行事3件について現地調査を行い、報告書の原稿を執筆した（徳島県文化資源活用課と共同）。

⑥『佐那河内村史』編さん事業に係る調査

社会生活、信仰に関する現地調査を行った。

大橋俊雄（美術工芸）

①半田塗についての調査

江戸から昭和にかけて美馬郡つるぎ町半田で生産された半田塗について、その実態を調査した。

②蒔絵師飯塚桃葉についての調査

徳島藩御用蒔絵師の飯塚桃葉について、初代の事跡を概括した。

③阿波の画壇の調査

江戸時代の阿波にどのような画家がいるか、流派と作品をもとに調査した。

松浦靖也（美術工芸）

①徳島藩絵師の粉本資料に関する研究

当館が所蔵する森崎家資料の粉本について整理を進め、江戸時代に編纂された目録との照合調査を行った。

②江戸時代の四国ゆかりの画家に関する研究

江戸時代に活躍した四国ゆかりの画家について、作品の所在調査と画家の事績に関する調査を行った。

4. 分野別（個別）調査研究等の館内公表会（セミナー）

学芸員相互の情報交換と研究の資質向上を図ることを目的として、館内公表会（セミナー）を随時実施している。必要に応じて、学芸員の調査研究の協力者等、館外の研究者に発表を依頼することもある。令和7年度は次のとおり実施した。

- 7月29日(火) 内藤芳香「水生植物の不思議!在来スイレンを用いた研究」
 10月29日(水) 松浦靖也「江戸時代の異国イメージ」
 2月20日(金) 矢野大輔「日本中世の社会システムとしての荘園制」

5. 科学研究費補助金等による研究

- 若手研究：ナガレホトケドジョウにおける色彩多型の発現機構とその地理的分布成立過程の解明（令和5～9年度）
 研究代表者：井藤大樹
- 研究活動スタート支援：中世阿波の土器・陶磁器からみた地域文化・流通の基礎的研究（令和6～7年度）
 研究代表者：大塩啓一郎
- 基盤研究（C）：移動する釣り漁民集団による海域ネットワークの歴史と変遷の解明と文化資源化（令和5～8年度）
 研究代表者：磯本宏紀
- 基盤研究（B）日本列島における腐食性鱗翅目昆虫の適応放散と幼虫腸内フローラの網羅的解明（令和5～7年度）
 研究代表者：広渡俊哉氏
 （九州大学農学部教授・現特任教授）
 当館の研究分担者：外村俊輔
- 基盤研究（B）：絶滅危惧植物の保全における博物館標本種子の利用可能性の評価（令和6～8年度）
 研究代表者：志賀 隆氏（新潟大学教育学部准教授）
 当館の研究分担者：内藤芳香
- 基盤研究（A）：民族誌アーカイブズとフィールド調査の接合による植民地初期台湾の先住民族社会の探究（令和4～8年度）
 研究代表者：野林厚志氏（国立民族学博物館教授）
 当館の研究分担者：長谷川賢二
- 基盤研究（A）：19世紀以降の東アジア世界における海藻の生産・流通・消費に関する総合研究（令和4～8年度）
 研究代表者：塚本 明氏（三重大学人文学部教授）
 当館の研究分担者：磯本宏紀
- 基盤研究（B）：朝鮮海出漁資料からみた植民地社会の実態研究（令和5～8年度）
 研究代表者：松田睦彦氏（国立歴史民俗博物館教授）
 当館の研究分担者：磯本宏紀

- 基盤研究（C）：博物館と市民が共同で調査から研究成果の活用までを実施する活動のモデルケースの構築（令和7～10年度）
 研究代表者：東條文治氏（名古屋芸術大学教授）
 当館の研究分担者：辻野泰之
- 藤原ナチュラヒストリー財団研究助成：湿地環境が水面性クモ類の生活史形質におよぼす影響の解明（令和7年度）
 研究代表者：鈴木佑弥

6. 他機関との共同研究

- 蛍光エックス線分析法による赤色顔料の調査
 遺跡から出土した玉類について、蛍光エックス線分析法による材質調査を行った（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターと共同）。
- 勝浦町の恐竜化石含有層発掘調査
 勝浦町の恐竜化石含有層の周辺地域の地質調査や化石採集、及び発見化石の調査を実施した（福井県立恐竜博物館や福井県立大学恐竜学部と共同）。
- 「鳴門海峡地域の地質」図幅及び陸海シームレス地質情報集の作製のための調査
 鳴門市、兵庫県南あわじ市で地質調査を行った（産総研地質調査総合センター、徳島大学理工学部と共同）。
- 井藤正一日記の翻刻及び調査研究
 徳島水平社を主導した井藤正一が記した日記（当館保管）について、翻刻、内容や記事の背景などを調査研究した（とくしま社会運動資料センターと共同）。
- フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発に関する調査研究
 地域の知恵や歴史が凝縮された伝統文化を取り入れ、持続可能で多様性にみちた社会のあり方を、保存科学、人類学、民俗学、歴史学、生態学、言語学などの横断的な領域から検証し、社会／文化の創発に積極的に参与することを目的とした研究を行った（国立歴史民俗博物館と共同）。
- ナルトオウギ（マメ科）の保全に関する研究
 国内では鳴門市のみに記録のある野生絶滅種ナルトオウギについて、自然更新による持続的な個体群維持を目指して生育適地の探索等の調査を実施した（摂南大学薬学部統合薬学研究室、韓南大学生物科学・生物工学科と共同）。
- ラオスとベトナムのカルスツ地における植物の多様性評価
 ラオスとベトナムの石灰岩地域における植物種の多

様性の解明を目的に、現地調査により植物分布情報を収集し、植物標本を作製・保管・管理をおこなってデータベースを整備した(公益財団法人長尾自然環境財団、鹿児島大学総合研究博物館と共同)。

7. 研究成果の公表

(1) 徳島県立博物館研究報告第 36 号の発行

2026 年 3 月 31 日発行、A4 判 180 ページ、500 部

(* 印：館外研究者)

調査報告

鈴木佑弥：2025 年 3 月から 11 月にかけて徳島県で採集したクモ類 p.1-19.

松田春菜*・多田 昭*・矢野重文*：西三子山系およびその周辺地域の陸産貝類相 p.21-41.

外村俊輔・樋口博美*：樋口博美ガ類コレクション(II)：2017 年から 2018 にかけて徳島県文化の森総合公園で採集されたガ類 p.43-61.

外村俊輔：徳島県で採集された蛾類 I p.63-87.

外村俊輔・今田舜介*：徳島県立博物館所蔵石田正明コレクションのヒゲナガゾウムシ科に関する報告 p.83-87.

井藤大樹・奥村大輝*・北尾圭梧*・古川 学*・上田悠哉*・庄野耕生*・佐藤陽一*：徳島県南部を流れる 4 河川(内妻川・古江川・鯖瀬川・栗ノ浦川)の魚類相 p.89-105.

藤川智之*：小松島市前山遺跡から出土した鞍形埴輪について p.107-115.

大塩啓一郎：高越寺経塚における常滑焼広口壺の搬入の背景 p.117-120.

短報

鈴木佑弥・外村俊輔：「湊 貴司氏寄贈標本(徳島県産昆虫類)」から発見されたゴミアシナガサシガメの標本 p.121-125.

鈴木佑弥・辻 雄介*・芹田凌平*：高知県および愛媛県におけるオオスミコガネグモ(クモ目：コガネグモ科)の記録 p.127-130.

Ibaragi, Y., Choi, I.-S.*, Ito, Y.*, Kinoshita, S.*, Kogame, T.*, Koyama, M.*, Naito, H., Yamada, I.*, and Yamada, M.* : Studies on the Conservation of *Astragalus sikokianus* (Fabaceae) (2) : Toward the Sustainable Maintenance of Populations through Natural Regeneration p.131-135.

内藤芳香・須田倭子*・古山道子*・乾 和輝*・茨木 靖・末次健司*：徳島県および四国地方におけるキリシマギンリョウソウ *Monotropastrum kirishimense*

Suetsugu の初記録 p.137-142.

事業報告

長谷川賢二：徳島県立博物館における常設展リニューアル構想の変遷 p.143-176.

(2) 公表論文・報告・記事等一覧

(* 印：館外研究者)

●動物

〈学術的著述〉(☆：査読付学術雑誌)

☆井藤大樹(2025.8) 徳島県からのラクダハコフグの記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 58 : 22-25.

☆ Ito, T., Matsui, S.*, Hirashima, K.*, and Inui, R.* (2025.9) Is *Luciogobius dormitoris* (Perciformes: Gobiidae) a valid species? Comparative morphology of two subterranean species of the genus *Luciogobius*. *Journal of Asia-Pacific Biodiversity*, In Press, Corrected Proof: <https://doi.org/10.1016/j.japb.2025.08.005>.

☆井藤大樹・竹内 基*・鈴木正貴*・旗 薫*・赤池貴大*・杉山秀樹* (2026.1) 岩手県奥州市で採集されたホトケドジョウの形態および遺伝的特徴. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 63 : 12-20.

☆井藤大樹・庄野耕生* (2026.1) 徳島県内妻川からのタメトモハゼの記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 63 : 32-36.

☆北尾圭梧*・庄野耕生*・井藤大樹(2026.2) 高知県から得られた北限記録となるハヤセボウズハゼ. 魚類学雑誌, 早期公開版 : 10.11369/jji.25-025.

井藤大樹・奥村大輝*・北尾圭梧*・古川 学*・上田悠哉*・庄野耕生*・佐藤陽一* (2026.3) 徳島県南部を流れる 4 河川(内妻川・古江川・鯖瀬川・栗ノ浦川)の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, (36) : 89-105.

☆ Suzuki, Y., Lee, J.-G.* and Kumada, K.* (2025.9) Taxonomic notes on a comb-footed spider, *Yunohamella mneon* (Bösenberg & Strand, 1906) (Araneae: Theridiidae) in East Asia. *Zootaxa*, 5691 (2) : 359-375.

☆ Suzuki, Y. (2025.10) A remarkable new species of *Arcuphantes* (Araneae: Linyphiidae: Micronetinae) from northeastern Shikoku, Japan, with observations on mating behavior and preliminary molecular analysis. *Species Diversity*, 30 (2) : 225-240.

☆ Hidaka, R.*, Fukasawa, Y.* and Suzuki, Y. (2025.12)

- Overlooked instances of earthworm predation by spiders in temperate Asia. *Acta Arachnologica*, 74 (2) : 125-128.
- ☆ Ono, H.*, Suzuki, Y., Okumura, K.* and Aung, M. M.* (2026.2) Spider fauna of Myanmar, with a checklist of the species recorded from 1878 to 2025 (Arachnida, Araneae). *Bulletin of the National Museum of Nature and Science Tokyo (A)* 52 (1) : 1-56.
- 鈴木佑弥・渡部晃平* (2025.8) 岡山県井原市でキノボリトタテグモの巣を確認. *Kishidaia*, 127 : 24-25.
- 鈴木佑弥・大宮 悠* (2025.8) 茨城県におけるスズキコモリグモの記録. *Kishidaia*, 127 : 27-29.
- 鈴木佑弥 (2025.8) 佐賀県におけるヤギスマノセマルトラフカニグモの初記録. *Kishidaia*, 127 : 34.
- 鈴木佑弥 (2025.8) 小型イソウロウグモ類によるクモ食い 2 例. *Kishidaia*, 127 : 39-40.
- 鈴木佑弥 (2026.3) このクモを探せ No. 11, ハラオビヒメグモ. *Kishidaia*, 128 : 16-18.
- 山佐啓斗*・鈴木佑弥 (2026.3) 長崎県におけるオオスミコガネグモの初記録. *Kishidaia*, 128 : 37-38.
- 大生唯統*・鈴木佑弥 (2026.3) 鳥取県におけるムナアカナルコグモの初記録. *Kishidaia*, 128 : 42.
- 鈴木佑弥・仲間信道* (2026.3) *Ammophilomima rikioi* (双翅目: ムシヒキアブ科: ホソムシヒキ亜科) によるオオジョロウグモの捕食例. *Kishidaia*, 128 : 49-50.
- 鈴木佑弥 (2026.3) アシダカグモによるヌマガエルの捕食事例. *Kishidaia*, 128 : 50-51.
- 鈴木佑弥 (2026.3) アシブトハエトリによるトウキョウウズグモ属の一種の捕食. *Kishidaia*, 128 : 51-52.
- 鈴木佑弥・内田晃士*・仲宗根和哉*・千代田創真*・上原友太郎*・梅林俊太郎*・鈴木智大*・仲間信道*・田村常雄*・盛口 満* (2026.3) 南西諸島 16 島で採集したクモ類. *Kishidaia*, 128 : 87-100.
- 鈴木佑弥・上原友太郎*・吉野広軌*・辻 尚道*・久末 遊* (2026.3) 小笠原諸島 14 島で採集されたクモ類. *Kishidaia*, 128 : 101-132.
- 鈴木佑弥 (2026.3) 2025 年 3 月から 11 月にかけて徳島県で採集したクモ類. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 1-19.
- 鈴木佑弥・外村俊輔 (2026.3) 「湊 貴司氏寄贈標本 (徳島県産昆虫類)」から発見されたゴミアシナガサシガメの標本. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 121-125.
- 鈴木佑弥・辻 雄介*・芹田凌平* (2026.3) 高知県および愛媛県におけるオオスミコガネグモ (クモ目: コガネグモ科) の記録. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 127-130.
- 上原友太郎*・岡崎洸太郎*・鈴木佑弥 (2026.3) 久米島初記録のサシガメ科 3 種. 琉球の昆虫, 49 : 58-59.
- ☆ Park, J.*, Tomura, S., Yagi, S.* and Hirowatari, T.* (2025.4) Discovery of *Moerarchis rectitrigonia* Yang & Li from Japan (Lepidoptera, Tineidae). *Lepidoptera Science*, 76 (2) : 75-80.
- ☆ Arashima, H.*, Oku, J.*, Sohn, J.C.*, Yagi, S.*, Tomura, S., Oka, T.* and Hirowatari, T.* (2025.10) Two new species of the genus *Odites* Walsingham, 1891 (Lepidoptera: Peleopodidae) from Japan with taxonomy and larval biology of *Odites sungsookimi* (Sohn & Wu, 2023) comb. nov. *Zootaxa*, 5716 (3) : 349-364.
- ☆ Park, J.H.*, Tomura, S., Yagi, S.* and Hirowatari, T.* (2025.11) Discovery of *Ectropoceros* Diakonoff in Japan (Lepidoptera, Tineidae), with description of a new species. *Journal of Insect Biodiversity*, 72 (1) : 16-27.
- ☆ Sakagami, K.*, Tomura, S., Yagi, S.* and Shimizu, S.* (2026.2) Distribution range, genetic structure, and natural enemies of an invasive pest moth *Thecobathra lambda* (Lepidoptera: Yponomeutidae) damaging Liquidambar trees in Japan. *Applied Entomology and Zoology*, 61 : 23-33.
- 須黒達巳*・外村俊輔・綿引大祐* (2025.3) 慶應義塾幼稚舎で採集された鱗翅目昆虫の追加記録. 慶應義塾大学日吉紀要・自然科学, 71 : 1-16.
- 外村俊輔・久末 遊* (2025.12) 徳島県の博物館の粘着板トラップで捕獲されたヤマトナナフシヤドリバチの記録. すがれおい, 9 : 60-62.
- 荒島 弾*・外村俊輔・樋口博美*・真鍋泰彦* (2025.12) *Agonopterix* 属 (ヒラタマルハキバガ科) 4 種の四国初記録について. 蛾類通信, (316) : 481-482.
- 外村俊輔 (2025.12) シナチクノメイガの四国および徳島県の初記録. 蛾類通信, (316) : 493-494.
- 外村俊輔・樋口博美* (2026.3) 樋口博美ガ類コレクション (II) : 2017 年から 2018 年にかけて徳島県文化の森総合公園で採集されたガ類. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 43-61.
- 外村俊輔 (2026.3) 徳島県で採集された蛾類 I. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 63-87.
- 外村俊輔・今田舜介* (2026.3) 徳島県立博物館所蔵石田正明コレクションのヒゲナガゾウムシ科に関する

る報告. 徳島県立博物館研究報告, 36 : 83-87.

〈一般著述〉

- 細谷和海* (編・監修)・内山りゅう* (写真)・藤田朝彦*・川瀬成吾*・井藤大樹 (解説) (2025.8). 山溪ハンディ図鑑 日本の淡水魚 第4版. 山と溪谷社.
- 井藤大樹 (2025.9) 京都府木津川のアユモドキ標本. 徳島県立博物館ニュース (館蔵品紹介), (140) : 5.
- 鈴木佑弥 (2025.12) 落ち葉の下の生き物はどうやって採集すればよいのですか? 徳島県立博物館ニュース (レファレンス Q and A), (141) : 7.
- 外村俊輔 (2025.12) ミクロレピの世界. 神奈川昆虫談話会 花蝶風月, (190) : 6-7.
- 外村俊輔 (2026.3) ルーミスシジミはどこにいますか? 徳島県立博物館ニュース (レファレンス Q&A), (142) : 7.

●植物

〈学術的著述〉(☆: 査読付学術雑誌)

- Ibaragi, Y., Choi, I-S*, Ito, Y.*, Kinoshita, S.*, Kogame, T.*, Koyama, M.*, Naito, H., Yamada, I.* and Yamada, M.* : Studies on the Conservation of *Astragalus sikokianus* (Fabaceae) (2) : Toward the Sustainable Maintenance of Populations through Natural Regeneration. Bulletin of Tokushima Prefectural Museum, (36) : 131-135.
- ☆ Shimono, Y.*, Ibaragi, Y. and Katuyama, T.*. (2026.2). *Vulpia fasciculata* (Poaceae), a New Alien Species Introduced by Grain Trade into Japan. The Journal of Japanese Botany, 101 (1) : 35-42.
- ☆ Komada, N.*, Moriwaki, H.*, Nakajima, K.*, Okamoto, A.*, Okano, T.*, Nakama, S.*, Ibaragi, Y. and Takyu, M.*. (2026.2). *Eustachys petraea* (Poaceae) Discovered on Iriomote Island: A New Record for Japan. Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, 77 (1) : 51-55.
- ☆ 茨木 靖・中西弘樹*. (2026.3) 徳島県に漂着発芽する熱帯産ヒルガオ科植物の記録. 漂着物学会誌, 23 : 23-24.
- ☆ Naito, H., Kato, S., Shutoh, K.*, Lu, Q.*, Hu, M.*, Wang, T.* and Shiga, T.* (2026. 2) Morphological and phylogenetic analyses reveal the taxonomic distinctiveness between *Nymphaea pygmaea* and *N. tetragona* (Nymphaeaceae) in East Asia. Journal of Asia-Pacific Biodiversity, Available online 18 February 2026
- 内藤芳香・須田倭子*・古山道子*・乾 和輝*・茨木靖・末次健司* (2026.3) 徳島県および四国地方におけるキリシマギンリョウソウ *Monotropastrum*

kirishimense Suetsugu の初記録. 徳島県立博物館研究報告, (36) : 137-142.

〈一般著述〉

- 茨木 靖 (2025.12) 大きなキノコにびっくり! スミレホコリタケ. 徳島県立博物館ニュース (情報ボックス), (141) : 6.
- 内藤芳香 (2026.3) 広がる園芸スイレンの脅威. 徳島県立博物館ニュース (Culture Club), (142) : 2-3.
- 地学
- 〈一般著述〉
- 中尾賢一 (2024.12) 三好ジオパーク. 徳島県立博物館ニュース (情報ボックス), (140) : 6.
- 中尾賢一 (2024.11) 132 年年会記事 (熊本大会) 巡検報告 H コース 2026 年熊本地震の痕跡と布田川断層. 日本地質学会 News, 28 (11), 16.
- 辻野泰之 (2025.8) アンモナイト亜綱 (アンモノイド). 高嶋礼詩・安藤寿男 (編)「地球生命史シリーズ. 4: 恐竜の時代 (中生代), 共立出版 : 243-267.
- 辻野泰之 (2025.12) 化石友の会普及講演会「北海道の化石の魅力を語る」. 化石, (118) : 73.
- 辻野泰之 (2025.6) 徳島県小松島市南西部に分布する白亜紀の地層 (外和泉層群) について. 徳島県立博物館ニュース (Culture Club), (139) : 2-3.
- 辻野泰之 (2026.3) 勝浦町産の竜脚類の歯化石. 徳島県立博物館ニュース (館蔵品紹介), (139) : 5.
- 小布施彰太 (2025.5) 徳島県で発見された世界最古のアドクス化石. 亀崎直樹 (編著)「日本のいきものビジュアルガイド はっけん! スッポン」, 緑書房: 124-125.

●考古

〈学術的著述〉

- 大塩啓一郎 (2026.3) 高越寺経塚における常滑焼広口壺の搬入の背景. 徳島県立博物館研究報告, (36) : 117-120.
- 〈一般著述〉
- 植地岳彦 (2025.9) 1922 年の鳥居龍蔵による徳島調査と徳島の弥生時代. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (8) : 2-3.
- 植地岳彦 (2025.11) 朱の硫黄同位体分析と伝長者ヶ原 1 号銅鐸付着赤色物質の分析について. 邪馬台国時代の朱について一瀬戸内東部から探る一, 15-18.
- 大塩啓一郎 (2025.11) 徳島の自然・歴史・文化の宝箱 徳島県立博物館一常設展示中のやきものを中心に. セラミックス, 60 (12) : 874-875.
- 大塩啓一郎 (2025.12) 円通寺遺跡の土塁と堀. 徳島県立博物館ニュース (表紙), (141) : 1.
- 大塩啓一郎 (2025.12) 鳥居龍蔵が見た勝瑞城跡. 鳥

居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER (ゆかりの地今昔), (9): 6.

●歴史

〈学術的著述〉

松永友和 (2025.10) 江戸時代中期の大坂代官 万年長十郎について一大和川の付替え後の動向を中心に一. 鴻池新田会所日記を読む会編「[鴻池新田会所日記]を紐解く」, 和泉書院: 103-139.

松永友和・石井伸夫*・小林篤正・野林厚志*・長谷川賢二・坂東 泰・宮岡真央子*・植地岳彦・大橋俊雄・下田順一* (2026.3) 資料紹介 鳥居龍蔵の第四回台湾調査関連資料「たかさごのたびー」(上). 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告, (6): 1-54.

長谷川賢二 (2025.11) 辺路修行と熊野信仰. 山岳修験, (76): 39-53.

長谷川賢二 (2026.3) 徳島県立博物館における常設展リニューアル構想の変遷. 徳島県立博物館研究報告, (36): 143-176.

〈一般著述〉

松永友和 (2025.6) 「徳島大空襲」について教えてください。徳島県立博物館ニュース(Q&A), (139): 7.

長谷川賢二 (2025.3) 古代・中世の薬王寺. 徳島県編「[四国八十八箇所霊場と遍路道] 調査報告書 29 医王山無量寿院薬王寺 四国八十八箇所霊場 第23番札所」, 徳島県: 5.

大石雅章*・長谷川賢二・町田 哲* (2025.3) まとめ. 徳島県編「[四国八十八箇所霊場と遍路道] 調査報告書 29 医王山無量寿院薬王寺 四国八十八箇所霊場 第23番札所」, 徳島県: 144-145.

長谷川賢二 (2025.4) 阿波忌部氏. 地球の歩き方編集室編「地球の歩き方 J22 徳島 2025～2026年版」, Gakken: 316-317.

長谷川賢二 (2025.6) 熊野観心十界図. 徳島県立博物館ニュース (表紙), (139): 1.

長谷川賢二 (2025.6) 宗教的交流から見た内海世界—熊野信仰にかかわる往来の様相. 歴史研究, (732): 74-82.

長谷川賢二 (2025.12) 鳥居龍蔵記念博物館の成り立ちについて—開館15周年によせて—. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (9): 2-3.

長谷川賢二 (2026.2) 〈コラム〉優婆塞と山伏. 阿波志調査会編「現代語訳 阿波志 卷二 城府」, 阿波志調査会: 70-71.

長谷川賢二 (2026.3) 古代・中世の大日寺. 徳島県編「[四国八十八箇所霊場と遍路道] 調査報告書 31 大栗山花藏院大日寺 四国八十八箇所霊場 第13番札所」, 徳島県: 11.

大石雅章*・長谷川賢二・町田 哲* (2026.3) まとめ. 徳島県編「[四国八十八箇所霊場と遍路道] 調査報告書 31 大栗山花藏院大日寺 四国八十八箇所霊場 第13番札所」, 徳島県: 71.

大石雅章*・長谷川賢二・町田 哲* (2026.3) まとめ. 徳島県編「[四国八十八箇所霊場と遍路道] 調査報告書 32 瑠璃山真福院井戸寺 四国八十八箇所霊場 第17番札所」, 徳島県: 81.

小林篤正 (2025.6) 城山の午砲とその記憶. 徳島県立博物館ニュース (歴史散歩), (139): 6.

小林篤正 (2025.9) 資料整理の最前線鳥居きみ子と龍蔵のモンゴル行きについて—夫婦の共有日記をもとに—. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (8): 7.

坂東 泰 (2025.9) 海外でも藍染めが行われている地域はありますか?. 徳島県立博物館ニュース(レファレンス Q & A), (140): 7.

坂東 泰 (2025.9) 鳥居龍蔵が調査した中国貴州省の現在—企画展「中国西南部の旅人たち」に向けて—. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (8): 2-3.

坂東 泰 (2025.12) 中国西南部調査における支出記録. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (9): 1.

坂東 泰 (2025.12) 戦場となった地域に関する記録としての従軍日記—日中戦争従軍者の日記を例に一. 民具マンスリー, 58 (9): 17-19.

岩佳奈子*・崔 嘉琛*・ブラザートン・ポール*・矢野大輔・山本航* (2025.6) 史料の断片性・背景と歴史研究. 神戸大学史学年報, (40): 141-143.

矢野大輔 (2025.12) 阿波国の荘園・富田荘と寺社造営. 徳島県立博物館ニュース (Culture Club), (141): 2-3.

矢野大輔 (2025.12). 資料整理の最前線 台湾フィールドノートの挿絵. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (9): 7.

矢野大輔 (2025.12) 全国歴史民俗系博物館協議会 令和七年度年次集会参加記. 地方史研究, (438): 65-68.

●民俗

〈学術的著述〉(☆: 査読付学術雑誌)

庄武憲子 (2025.11) 宇佐八幡神社のお御供. 四国民俗, (54): 36-41.

☆磯本宏紀 (2026.3) 地域で継承された漁業者による移動の比較研究—徳島県出身漁業者の近代産業型漁業と在来型漁業による移動—. 常民文化研究, (4): 1-34.

磯本宏紀 (2026.3) 『鳴門わかめ』ブランドの歴史と変遷—ワカメの生産・流通構造の変遷. 徳島地域文化研究, (23): 32-55.

〈一般著述〉

- 庄武憲子 (2025.12) 出羽島観栄寺の半鐘. 徳島県立博物館ニュース (野外博物館), (141): 5.
- 磯本宏紀 (2026.3) ちいさなミュージアム 公益社団法人三本文庫. 民具マンスリー, 58 (11): 18-20.
- 磯本宏紀 (2026.3) 技の継承を支えるもの—阿波の太布製造技術から考える—. 徳島県立博物館ニュース, (142): 6.
- 磯本宏紀 (2025.11) 書誌紹介「民俗学 パブリック編—みずから学び、実践する」. 日本民俗学, (324): 86.
- 磯本宏紀 (2025.10) 「鳴門わかめ」の誕生と変遷. 「REKIHAKU」, 国立歴史民俗博物館: 34-38.
- 磯本宏紀 (2025.9) フィールドノート「那賀のあら妙」に描かれた七夕飾り. 鳥居龍蔵記念博物館 NEWS LETTER, (8): 6.
- 磯本宏紀 (2025.8) 書誌紹介「家族写真の歴史民俗学」. 日本民俗学, (323): 65.
- 磯本宏紀 (2025.7) 研究会報告 第167回日本民具学会研究会 シンポジウム「コレクションの系譜学」. 民具研究, (169): 53-55.
- 磯本宏紀 (2025.6) 漁業者の移動と交流から見た紀伊水道内海世界. 歴史研究, (732): 52-61.
- 磯本宏紀 (2025.5) 書評「箕 自然を編む知恵と技」. 民具研究, (168): 66-69.
- 磯本宏紀 (2025.5) 座談会 石鎚黒茶—後編生産者団体「石鎚さつき会」の現在. 民具マンスリー, 58 (2): 1-7.

●美術工芸

〈一般著述〉

- 大橋俊雄 (2026.3) 松葉松毬蒔絵重箱・台. 徳島県立博物館ニュース (表紙), (142): 1.
- 松浦靖也 (2025.9) 絵画を味わう—蓬萊山に込めた思い—. 徳島県立博物館ニュース (Culture Club), (140): 2-3.

(3) 学会・研究会等での発表

(* 印: 館外研究者)

●動物

- 井藤大樹・高橋弘明*・清水孝昭*・安芸昌彦*・川田正明*・高木基裕* (2026.3) 四国産淡水魚類図鑑の制作に向けて. 第49回四国魚類研究会 (愛媛).
- 鈴木佑弥・久末 遊*・吉野広軌* (2025.9) 小笠原諸島のクモ相の研究史と現状および今後の展望. 日本蜘蛛学会第57回大会 (東京).
- 鈴木佑弥 (2025.9) 徳島県北東部から発見されたヤミサラグモ属の一未記載種の交接行動について. 日本

蜘蛛学会第57回大会 (東京).

- Suzuki, Y., Yoshino, H.* and Hisasue, Y.* (2025.11) The spider fauna of the Ogasawara Islands: history, present status, and future directions. 9th Asian Conference of Arachnology in Vang Vieng, Laos.

外村俊輔 (2025.9) 国内で得られているマルハキバガ科の未記録属について (鱗翅目: キバガ上科). 日本昆虫学会第85回大会 (神奈川).

外村俊輔 (2025.10) マルハキバガの生息環境に関する知見 (キバガ上科: マルハキバガ科). 日本鱗翅学会第71回大会 (東京).

●植物

- 平井鈴音菜*, 野田博士*, 茨木 靖, Sawita Yooprasert*, 布施 静香*, 田村 実* (2025.9) 日本とタイに分布するメヒシバ属 (イネ科) の微細形態と葉緑体系統. 日本植物学会第89回大会 (福岡).
- 下野嘉子*・茨木 靖・勝山輝男* (2026.3) 輸入穀物に混入して日本に侵入した新外来種オニナギナタガヤ. 日本雑草学会第65回大会 (秋田).
- 内藤芳香・外村俊輔・志賀 隆* (2025.8) ヒツジグサの開花周期と訪花昆虫. 水草研究会第47回全国集会 (熊本).
- 志賀 隆*・加藤 将*・海老原淳*・大森威宏*・尾形 灯*・黒沢高秀*・齊藤由紀子*・首藤光太郎*・高山浩司*・内藤芳香・三浦克仁*・横川昌史* (2026.3) 標本庫調査に基づく絶滅危惧植物標本および標本種子収蔵量の評価. 日本植物分類学会第89回大会 (熊本).

●地学

- 中尾賢一・西山賢一* (2025.9) 第23回地震火山 小松島市営グラウンド遺跡の下位成層から産出した貝類—その古環境と AMS¹⁴C 年代— (ポスター発表). 日本地質学会第132年学術大会 (熊本).
- 辻野泰之 (2025.6) 徳島県小松島市櫛淵地域に分布する白亜系外和泉層群櫛淵層の堆積年代 (ポスター発表). 日本古生物学会 2025 年年会 (札幌).
- 中山健太郎*・安里開土*・辻野泰之・中尾賢一・小布施彰太・中田健太郎* (2025.6) 徳島県勝浦地域に分布する下部白亜系立川層より産出した汽水・淡水生貝類 (ポスター発表). 日本古生物学会 2025 年年会 (札幌).
- 黄木陽人*・小松俊文*・辻野泰之・穴井千里*・高橋修* (2025.12) 北海道古丹別地域に分布する白亜系蝦夷層群羽幌川層の地質構造と放散虫化石層序 (ポスター発表). 日本古生物学会第175例会 (薩摩川内).

辻野泰之（2025.12）インクルーシブデザインに基づく博物館の展示の取り組み. 日本古生物学会 第175 例会「シンポジウム：化石産地に近い博物館の研究, 展示と学習プログラムを考える」（薩摩川内）.

●考古

大塩啓一郎（2025.9）中世阿波の国産陶器. 考古フォーラム蔵本 9 月例会（徳島）.

大塩啓一郎（2026.2）中世阿波の陶磁器における諸問題. 徳島地方史研究会 2 月例会（徳島）.

●歴史

矢野大輔（2025.7）中世成立期の港津と荘園領主—山城国「木津」を題材にして—. 大阪歴史学会中世史部会 7 月例会（大阪）.

矢野大輔（2025.9）院政期の複合的荘域構成下における包摂所領と荘園整理. 徳島地方史研究会 9 月例会（徳島）.

●民俗

庄武憲子（2025.11）山城の鉦踊 継承に向けての活動. 四国民俗学会（東温）.

磯本宏紀（2025.7）「鳴門わかめ」のブランド成立の歴史と地域の生業変化. 徳島地域文化研究会（徳島）.

磯本宏紀（2025.11）太布の製造技術—現存する技術と失われた技術. 日本民具学会大会（郡上）.

IV 資料の収集・保存と活用

資料の収集と保存は、博物館にとって最も基本的な機能である。当館では開館以来、次の4つを基本方針として資料を収集している。

- (1) 徳島の自然と人文に関する資料のすべてを収集の対象とする。
- (2) 地域に根ざしたテーマを設定し、計画的かつ集中的な収集をする。
- (3) 徳島の概要あるいは特性を把握するため、世界を対象とした比較資料の収集をめざす。
- (4) 一次資料のみならず、すべての二次資料をも収集の対象とする。

資料の収集手段としては、採集・購入・寄贈・交換等様々な方法で行っている。学芸員自らが積極的に収集しているほか、県民や官公庁からの資料の寄贈も多い。

収集した資料は、調査研究、展示、普及教育活動、他の博物館や研究者への貸し出し等を通じて有効に活用している。

令和7年度は4人（人文1、自然3）の会計年度任用職員の補助を得て、資料の整理作業を進めた。

徳島県産セミ標本 4点
新潟県産昆虫標本 37点

●地学

勝浦町恐竜化石含有層産出脊椎動物化石 280点

●植物

県内各地の標本 多数

2. 購入資料

●地学

獣脚類ゴルゴサウルスの尾椎化石 1点

鳥脚類バクトロサウルスの上部脊椎骨 1点

分椎類スクレロセファルス 1点

三葉虫プラティペルトイデス 1点

三葉虫パラレユルス 1点

●歴史

蜂須賀家政黒印状（慶長9年7月9日付） 1点

蜂須賀家政黒印状（慶長10年2月6日付） 1点

購入資料点数7点

1. 採集資料

●動物（脊椎動物）

北海道産淡水魚類 14点

イドミミズハゼ類 多数

ホトケドジョウ類 多数

徳島県産淡水魚類 多数

●動物（無脊椎動物）

茨城県産ハラオビヒメグモ 1点

徳島県産ハラオビヒメグモ・サトヒメグモ 6点

徳島県産クモ類 多数

徳島県産ザトウムシ類 多数

徳島県産カニムシ類 多数

●動物（昆虫）

徳島県産鱗翅類標本 多数

徳島県産甲虫類標本 多数

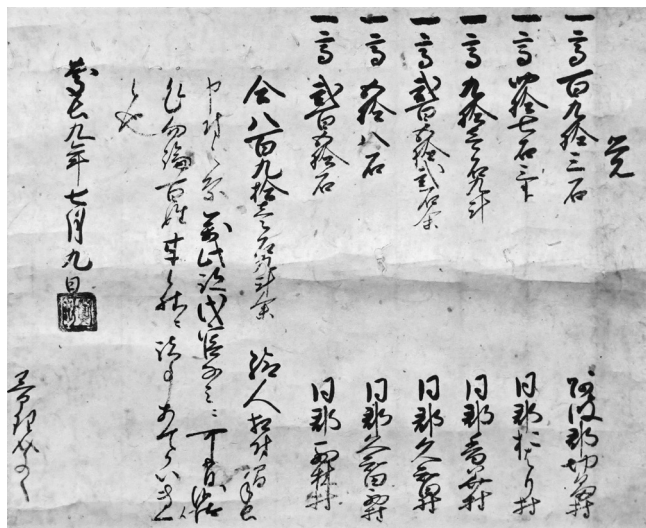
徳島県産ハチ類標本 多数

徳島県産トンボ類標本 10点

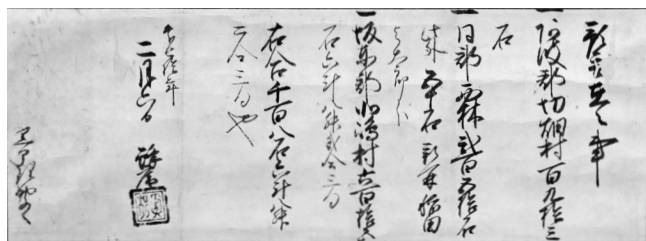
徳島県産直翅類標本 9点



鳥脚類バクトロサウルスの上部脊椎骨



蜂須賀家政黒印状（慶長9年7月9日付）



蜂須賀家政黒印状（慶長10年2月6日付）

3. 寄贈資料

●動物（脊椎動物）

ヒメハゼ属魚類	4点	山川宇宙氏・山下龍之丞氏
ラクダハコフグ	1点	椿泊漁業協同組合
ハシブトガラス	1点	側垣共生氏・高山あかね氏
愛媛県産魚類	15点	清水孝昭氏
ニホンジカ頭骨	1点	辻野泰之氏
アオダイショウ脱皮殻	1点	炭谷保子氏
タメトモハゼ	1点	庄野耕生氏
クロコショウダイ	1点	庄野耕生氏
ウミヘビ類	8点	齊藤知己氏
高知県・愛媛県産淡水魚類	19点	山川宇宙氏
愛媛県産魚類	16点	清水孝昭氏
徳島県産海水魚類	2点	竹之内栄一郎氏
高知県・徳島県産魚類	5点	庄野耕生氏
トサシマドジョウ	6点	高橋弘明氏
四国産魚類	22点	清水孝昭氏
肱川産淡水魚類	19点	辻 幸一氏

愛媛県産魚類	多数	清水孝昭氏
徳島県産鳥類	8点	鹿草 誠氏

●動物（無脊椎動物）

兵庫県産無脊椎動物	9点	山下龍之丞氏・山川宇宙氏
石垣島産 <i>Xantharia</i> sp.	1点	信太理央氏
大分県産ハラオビヒメグ	3点	日野佑飛氏・中村 敦氏
三重県産ハラオビヒメグモ	2点	熊田憲一氏
日本各地のハラオビヒメグモ・シモフリヒメグモ	17点	谷川明男氏
愛媛県・高知県産無脊椎動物	29点	山川宇宙氏
愛媛県産トウガタイカ	1点	高木基裕氏
埼玉県産クモ類	7点	嶋田順一氏
那賀町西三子山産陸貝類	79点	松田春菜氏
ヤミサラグモ属2種	10点	Francesco Ballarin 氏
愛媛産ユメユムシ	2点	清水孝昭氏

●動物（昆虫）

徳島県産サツマゴキブリ	6点	竹島雅峰氏
徳島県産蛾類標本	212点	樋口博美氏
徳島県産クビアカツヤカミキリ	11点	野崎 渉氏
長野県産キバネツノトンボ標本	3点	香川周大氏
徳島県産ミナミアオカメムシ赤色型標本	1点	香川周大氏
徳島県産ナベブタムシ標本	4点	佐藤日向氏
徳島県産サツマニシキ	4点	橋本茂幸氏

●植物

徳島県産植物	8点	角宮美香氏
新潟県産イネ科	2点	菊地卓弥氏
香川県産植物	50点	久米 修氏
徳島県産植物	10点	橋本茂幸氏
長野県産植物	4点	香川周大氏
イネ科同定依頼品（小林禱樹採集）	1点	高野温子氏
<i>Silene caroliniana</i>	1点	斎藤 博氏
香川県産植物	95点	三浦勝美氏
徳島県産標本	6点	山橋純子氏
鳥取県産イネ科	2点	狩山俊悟氏
アブラナ科、アカネ科	2点	小亀とも子氏
ホウチャクモドキ	1点	森本淳二氏
沖縄県産イネ科植物	69点	森脇大樹氏
オヒョウ、サイカチ	2点	水口秀樹氏
ハナイカリ他維管束植物	205点	

千葉県立中央博物館 (CBM)

マダイオウ、イチゴツナギ	5 点	中村俊之氏
コケミズ、コバノイラクサ	2 点	中野宏一郎氏
キヌゲチチコグサ	1 点	田中節子氏
イネ科 <i>Miscanthus</i> , <i>Deyeuxia</i> 同定依頼品	43 点	土屋 守氏
ゲンカイツツジ	1 点	東 衛史氏
<i>Eustachys</i>	3 点	楠本良延氏
ツチアケビ	1 点	武内幸行氏
徳島県産植物	10,000 点	木下 覺氏
イネ科 <i>Setaria</i> 同定依頼品	6 点	高野哲司氏

●地学

石灰岩ほか 四国産岩石・鉱物	3 点	阿部 肇氏
徳島県産の化石	12 点	三本健二氏
ナウマンゾウ第三臼歯 (左下顎骨付き)	1 点	川西清俊氏
北海道及び徳島県産無脊椎動物化石	60 点	平島 昭氏
層孔虫を含む石灰岩	1 点	田上浩久氏

●歴史

飢饉絵巻物	1 点	銭林里枝氏
グラマン機銃掃射の弾丸	1 点	川脇希右氏
写真アルバム (海軍経理学校のときの写真)	1 点	市原久弓氏
焼夷弾	1 点	伊藤修身氏
徳島県知事等写真アルバム	1 点	保家良司氏
満州帝国政府第壱回報国公債証書ほか	87 点	楠 正彦氏
卒業記念アルバム (皇紀二千六百〇四年横浜専門学校高等商業科)	1 点	忠津博之氏

●民俗

桶、火のし、遊山箱	5 点	近藤雅彦氏
ジョレン (アサリ掘り用) ほか	54 点	徳政英和氏
伸子針	1 点	太内宏文氏
農具ほか	10 点	徳島市応神小学校
男児用緋の羽織ほか	6 点	坂東協二氏
毘沙門面ほか	6 点	中山千恵美氏
面劇の面	8 点	松永弘子氏

●美術工芸

薙刀 銘三日月	1 点	倉吉光盛氏
鍬 銘阿州眉山下龍泉子佐寿 (拵付)	1 点	後藤田道明氏

4. 寄託資料

令和7年度末時点で寄託されている資料は78点であり、7年度に新たに寄託された資料は、次のとおりである。

●歴史

王子大権現扁額	1 点	椿本恵庸氏
遺老物語 老談一言記 (阿波国文庫) ほか	21 点	安岡洸貴氏
奉公袋ほか	23 点	竹治富士夫氏

●美術工芸

桃葉作 秋草蒔絵印箱ほか	6 点	大島 博氏
--------------	-----	-------

5. 資料の貸し出し

実物やレプリカ、模型等資料の貸し出しは次の通りである。なお、学校への資料の貸し出しは「学校教育等支援事業」に記載した (p.23 ~ 24 参照)。

●地学

アンモナイト (キャナドセラス・パキディスカス)	3 点	阿南市科学センター
パラプゾシア化石複製	1 点	福井県立恐竜博物館
勝浦町産カメ類化石	2 点	勝浦町教育委員会
マガダスカル産アンモナイトほか	10 点	地域福祉計画土成地区実行委員会
勝浦町産植物化石・貝類化石	14 点	勝浦町教育委員会
勝浦町産竜脚類の歯ほか	3 点	福井県立恐竜博物館
中国産の裸子植物、昆虫 (エフェメロプシス) 化石ほか	7 点	長崎市恐竜博物館
勝浦町産イグアノドン類の歯化石ほか	12 点	福井県立大学恐竜学部

●考古

吉野川市大日寺跡 (川島廃寺) 出土品	9 点	吉野川市鴨島公民館
伝長者ヶ原1号銅鐸	1 点	徳島県埋蔵文化財センター

42 資料の収集・保存と活用

木簡レプリカ	5 点	牟岐町教育委員会
勾玉	6 点	徳島市立考古資料館

●歴史

徳島大空襲関係パネル	4 点	徳島県企画総務部政策企画課
阿弥陀三尊種子板碑（双式）ほか	3 点	徳島市立考古資料館
延喜式ほか	4 点	牟岐町教育委員会

●民俗

肥桶ほか	3 点	吉野川市山瀬公民館
------	-----	-----------

●美術工芸

吉成葭亭筆 阿波盆踊図屏風	1 点	徳島市立徳島城博物館
海部大小（氏吉銘）拵付ほか	2 点	海陽町立博物館

アンモナイト標本の写真（データ）	11 点	株式会社技術評論社
白亜紀及び三畳紀のアンモノイドの写真（データ）	1 点	共立出版株式会社
勝浦町産の恐竜化石の写真（データ）	1 式	勝浦町教育委員会
勝浦町産の恐竜化石の写真（データ）	4 点	徳島市中学校教育研究会理科部会
プラセンチセラス及びニッポニテスの写真（データ）	2 点	阿南市科学センター
勝浦町産恐竜化石発掘紹介動画（データ）ほか	2 点	徳島市中学校教育研究会理科部会
勝浦町産ティタノサウルス形類歯の復元画など（データ）	3 点	勝浦町教育委員会
オウムガイの殻の内部構造の写真（データ）	1 点	香川県立ミュージアム
徳島県勝浦町産クリオセラタイテスの写真（データ）	1 点	株式会社 幻冬舎

●考古

段ノ塚穴墳丘図	1 点	美馬市立図書館
伝長者ヶ原 1 号銅鐸写真	2 点	（株）新泉社
徳島県立博物館 YouTube【徳島県立博物館トピックビデオ 03】若杉山辰砂採掘遺跡（徳島県阿南市）	1 点	テレビ朝日

●歴史

徳島城下町絵図 写真	1 点	徳島県埋蔵文化財センター
徳島大空襲後の徳島市街地 写真	1 点	岡山空襲展示室
オオカミ頭骨 写真	1 点	日本溪流 JP 翠溪会 日本狼之棲館
徳島大空襲後の徳島市街地ほか 写真	2 点	佐那河内村役場
三十二番職人歌合絵巻 写真	1 点	IVS テレビ制作会社
七十一番職人歌合 写真	1 点	株式会社河合出版

6. 写真・映像の提供

フィルム等媒体の貸し出し及びデジタルデータの提供は、次のとおりである。

●動物

ニホンカワウソ標本写真（デジタルデータ）	1 点	愛媛県総合科学博物館
オヤニラミ写真（デジタルデータ）	1 点	徳島県生活環境部サステナブル社会推進課
シコクベッコウ標本写真（デジタルデータ）	2 点	徳島大学水圏科学センター 松田春菜氏

●地学

勝浦町産ティタノサウルス形類の歯写真（データ）	1 点	岐阜県博物館
藍鉄鉱の写真（データ）	1 点	（株）小学館クリエイティブ
勝浦町産植物・貝化石写真（データ）ほか	36 点	勝浦町教育委員会
ティラノサウルス全身骨格を含む常設展写真（データ）	1 点	中央宣伝企画株式会社

大日本六十余将阿波三好修理大夫長慶 写真
1点 徳島県立図書館
徳島御城下絵図 写真 1点
徳島大学埋蔵文化財調査室
七十一番職人歌合 写真 1点 株式会社 KIES
大日本六十余将阿波三好修理大夫長慶 写真
1点
徳島県西部総合県民局
井藤正一日記（昭和8年） 写真
一式 朝治 武氏
七十一職人歌合 写真 3点 株式会社 KIES
大日本六十余将阿波三好修理大夫長慶ほか 写真
3点
徳島新聞社大阪支社
徳島大空襲後の徳島市街地ほか 写真
2点 佐那河内村役場
徳島御城下絵図 写真 1点
NPO 法人写楽の会
西林寺の磬 写真 1点 佐那河内村役場
阿波国渭津城之図 写真 1点 板東紀彦氏
徳島御城下絵図 写真 1点
読売新聞徳島支局
大日本六十余将阿波三好修理大夫長慶 写真
1点
四国放送株式会社
徳島御城下絵図 写真 1点
四国放送株式会社
「解放令」布達文書写 写真 1点
徳島県中学校人権教育研究会
鶴岡放生会職人歌合絵巻 写真
1点
NHK 京都放送局
拝知手引草 写真 1点 徳島県立文書館
大日本六十余将阿波三好修理大夫長慶 写真
1点
株式会社毎日放送
火縄銃 写真 1点

来て見てみい、とくしま。実行委員会

徳島御城下絵図 写真 1点
徳島大学埋蔵文化財調査室

●民俗

御神酒徳利と神酒口 写真 1点 山本亮子氏
昭和45年、46年民謡調査記録（No.6） 音声
1点 坂本留美子氏
山村の食膳（日常の食膳）模型 写真
1点 新楽社

和錠 写真 2点
来て見てみい、とくしま。実行委員会
徳島県立博物館 YouTube【徳島県立博物館トピッ
クビデオ 02】阿波晩茶（徳島県 那賀町・上勝町）
映像 1点
株式会社阪急阪神百貨店 阪急うめだ本店
フードマーケティング部外販企画部
人形芝居図 写真 1点 徳島県立図書館
徳島県立博物館 YouTube【徳島県立博物館トピッ
クビデオ 02】阿波晩茶（徳島県 那賀町・上勝町）
映像 1点
株式会社 ytv Nextry

●美術工芸

刀 銘国広自為無銘国正切之／寛永九年二月日の画
像 1点 井本悠紀氏
吉成葭亭筆 阿波盆踊図屏風の画像
1点
徳島市内町小学校
海部大小（氏吉銘）拵付の写真
1点 平山直弥氏
古兜図の写真 1点 石尾和仁氏
守住貫魚「全国名勝絵巻」鞆湊の巻ほかの画像
2点 白井比佐雄氏
守住貫魚「全国名勝絵巻」巖島の巻の画像
1点 田口慶太氏
大熊氏広作 守住貫魚胸像の画像
1点
川口市立文化財センター「郷土資料館」
正好銘「海老之図目貫」ほかの画像
6点 武間達也氏
刀 銘阿州泰吉作写真 1点
来て見てみい、とくしま。実行委員会

7. 資料の提供

●植物

徳島県産植物標本 117点 東北大学
徳島県産植物標本 72点 北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター植物園
徳島県産植物標本 67点 福島大学
徳島県産植物標本 94点 福井総合植物園
徳島県産植物標本 91点
千葉県立中央博物館
徳島県産植物標本 36点
神奈川県立生命の星・地球博物館

44 資料の収集・保存と活用

●分野別収蔵資料数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

分 野	点 数	内 訳			
		実 物	レプリカ	模型・模写	文 献
脊 椎	27,046	26,959	67	14	6
無 脊 椎	49,609	49,542	0	59	8
昆 虫	300,354	299,023	0	2	1,329
植 物	211,098	210,713	95	8	282
地 学	12,486	12,335	148	3	0
考 古	8,554	8,403	73	19	59
歴 史	13,978	13,190	26	4	758
民 俗	19,471	19,461	5	5	0
美術工芸	13,306	13,295	2	4	5
合 計	655,902	652,921	416	118	2,447

8. 資料の交換

研究や展示、普及等様々な活動に活用するため、国内外の標本館と標本交換を行っている。標本交換とは、徳島県内等で採集した標本を、他の地域の大学・博物館等との間で交換することである。

植物標本について、例年、東北大学、北海道大学、福島大学等国内の研究機関のほか、オレゴン州立大学及びソウル大学校と定期的な標本交換を行っている。（「3. 寄贈資料」及び「7. 資料の提供」参照）。

9. 館蔵資料数

令和 8 年 3 月 31 日現在の分野別収蔵資料数は、上表のとおりである。

収蔵資料については、整理、標本作製等が終わったものから順次コンピュータ入力し、資料データベースに登録している。

10. 資料収集委員会

本委員会は、博物館が収蔵する資料の適正な購入を図るため、購入予定資料（予定価格 100 万円以上）について審査する目的で設置されている。委員は、対象となる資料に応じて、その都度 5 名以内を観光スポーツ文化部長が委嘱する。

令和 7 年度は、委員会を開催していない。

11. 文献資料の収集

文献資料から得られる情報は、調査研究はもちろん

ん、展示や普及教育等の博物館活動全般にわたるレベルアップを図る上で不可欠である。当館では、人文・自然史分野の専門書や学会誌のほか、徳島県を中心とした地方史誌類や普及教育用図書も収集している。また、内外の博物館等の研究報告・年報・展示解説書等も交換により収集している。

●図書冊数（データベース登録数による）

15,044 冊（うち令和 7 年度分 寄贈図書 26 冊、購入図書 54 冊）

●購入雑誌

自然史系（7 タイトル）：科学、海洋と生物、月刊海洋、遺伝、月刊むし、昆虫と自然、地学雑誌

人文系（23 タイトル）：美術研究、美術史、地方史研究、地理、芸能史研究、月刊考古学ジャーナル、月刊文化財、文化財発掘出土情報、季刊考古学、古代文化、国華、古文書研究、考古学研究、考古学雑誌、文化人類学、日本歴史、歴史学研究、歴史評論、史林、史学雑誌、民具研究、人文地理、日本史研究

博物館学（1 タイトル）：博物館研究

●当館刊行物の定期発送先（令和 8 年 3 月末現在）

博物館ニュース	1,217 所
博物館年報	322
研究報告（国内）	399
（国外）	37
企画展図録（自然）	182
（人文）	276

12. 資料の保存

(1) 資料の燻蒸

①燻蒸庫での燻蒸

まとまった量や大型の資料は、一時保管庫（24 時間温湿度管理）に仮収蔵し、資料が適当な量になった

時点で燻蒸を行う。燻蒸庫は床面積 20㎡×高さ 3m(約 60㎡)であり、燻蒸は文化財専門の燻蒸業者に委託している。平成 17 年 1 月から資料の燻蒸に使用していた酸化エチレン製剤である「エキヒューム S」が令和 7 年 3 月末で販売終了となった。令和 7 年度には、当該製剤の在庫を燻蒸 1 回分確保できたため、令和 7 年 5 月に燻蒸庫での資料燻蒸を 1 回実施した。さらに、フッ化スルフリル製剤である「ヴァイケーン」を使用し、移動式燻蒸車にて 2 回の燻蒸を実施した。

②収蔵庫の全室密閉燻蒸

収蔵庫への出入り等に伴って、資料の保存に悪影響を与える害虫やカビ等が侵入することがある。そのため、原則として 3 年に 1 回、専門業者に委託して収蔵庫の全室密閉燻蒸を行っている。7 年度は、実施していない。

③二酸化炭素を用いた殺虫処理

寄贈や寄託を受けた資料のなかで、虫害が目立つものの、またその恐れがあるものについては、燻蒸庫燻蒸に先んじて二酸化炭素を用いた殺虫処理を行っている。7 年度は 3 回実施した。



移動式燻蒸車での燻蒸（資料搬入後の様子）

(2) 展示室における資料保存環境の管理

常設展示室は、収蔵庫のような密閉可能な空間ではないため、害虫の侵入を防ぐことができず展示室全体の燻蒸が不可能である。また、室内の空調は温度設定のみ可能であり、湿度のコントロールができない。さらに、近年は省エネルギー化のため、空調の運転時間が減少していることから、室温上昇による資料への影響が懸念される。

このような環境の中で、資料の虫菌害を防ぐとともに、資料保存に適した温湿度を維持するため、外気温が上昇する夏季等は、設備調整等により適宜温湿度の

管理を行っている。常設展リニューアルにあたり、部分的に空調設備を増設し、環境整備を進めた。

第 3 期中期活動目標（平成 26～30 年度）では、常設展示室の定期点検を目標として定め、26～27 年度に、資料害虫のモニタリング、温湿度の計測を中心とした点検項目を検討した。28 年度からは、学芸員の輪番制で月に 1 回程度点検を実施した。令和 3 年の常設展リニューアル後は、引き続き状況を把握するため、資料収集保存委員会を中心に調査を行っている。

7 年度は、常設展示室内及びケース内の温湿度について、設置型の測定センサー及びデータロガーでモニタリングを継続した。また、資料の劣化を促進する光の状況を把握するため、紫外線強度や照度を計測し記録するデータロガーを設置し、モニタリングを開始した。

資料加害生物については、四国大学の学生の協力を得て、月に 1 度の頻度でトラップ調査を実施した。トラップ調査の分析から、6 月以降の高温多湿期間には、展示室床でチャタテムシの発生が確認され、10 月にピークに達し、冬季になると減少してほぼ終息した。この状況は 4 年度以降確認されていることから、常設展示室における資料加害生物発生の季節性サイクルとして認識することができる。なお、展示ケース内などこれまでの調査で生物が捕獲できない場所は設置を取りやめなどして、合計 25 か所で調査を継続した。

館内の生物の活動状況について検討するため、ATP（アデノシン三リン酸）拭き取り検査を 6 年度より試験的に実施している。7 年度は収蔵庫内側と外側で月 1 回の頻度で実施した。現段階では目立った生物の活動痕跡は確認していない。

企画展示室については、ガス検知管による空気環境調査を行った。その結果、壁面ケース内における有機酸、アンモニアの濃度は基準値以下であった。

(3) 収蔵庫における資料保存環境の管理

収蔵庫を日常的に点検することは、燻蒸とともに資料の安全な保存管理手段の一つである。それにより、害虫の発生や侵入を事前に防除あるいは早期に発見できるだけでなく、収蔵スペースの確保、耐震対策にもつながり、収蔵庫の適正な管理が可能となる。

当館では、平成 25 年度より学芸員の輪番制で月に 1 回程度、収蔵庫定期点検表に基づく各収蔵庫の点検を行っており、令和 7 年度も継続して実施した。

7 年度は、生物収蔵庫・歴史民俗収蔵庫・特別収蔵庫で、ガス検知管による空気環境のモニタリングを行った。その結果、基準値以下であったが、有機酸の濃度の上昇が確認された。空気環境の適正化のため、

生物収蔵庫、歴史民俗収蔵庫、生物液浸収蔵庫、特別収蔵庫、地学収蔵庫でケミカルフィルターを交換し、有機酸の濃度低減を確認した。

(4) 資料保存に関する設備・機器の管理

開館から30年以上が経過し、資料保存に関する設備・機器についても老朽化が進んでいる。燻蒸庫及び燻蒸設備の不備は十分な燻蒸効果を妨げるうえ、重大な事故や環境汚染につながりかねない。そのため、定期的なメンテナンスを行い、常に万全の状態を保ちながら運用する必要がある。

7年度は、日常的な温湿度の点検に使用しているデジタル温湿度計の湿度を、アスマン式通風乾湿計を用いて校正した。

V 情報の発信と公開

博物館の活動を広く知ってもらい、多くの方がたに利用してもらえるよう、事業に関する情報を継続して発信することは、博物館にとって重要な活動である。近年は、インターネットによる情報発信の重要性が高まっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

1. 博物館の広報活動

博物館ニュース、企画展のポスターやチラシ、年間催し物案内、月間催し物案内等の定期発行と配布、県庁だよりへの掲載、県庁記者クラブを通じての資料提供等により、博物館事業の広報活動を行っている。

●博物館ニュース、ポスター等の主な定期発送先

小学校	207 箇所
中学校	103
高等学校、高等専門学校、支援学校、専修学校、大学	131
学会、研究所	59
知事部局、県教育委員会	54
市町村教育委員会	25
公民館、児童館	189
市町村立図書館	48
博物館施設	337
宿泊施設	35
報道機関	57

●報道機関への資料提供

令和7年度は、次のとおり資料提供を行った（月間催し物案内を除く）。

4月15日	歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚—あらたな寄贈資料を中心に—」の開催について
4月18日	特別陳列「民俗資料にみる こどもの世界」の開催について
7月2日	「文化の森で化石発掘体験」の実施について
7月4日	企画展「タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—」の開催について
7月4日	歴史・文化コレクション「戦後80年

戦争の記憶を伝える」の開催について
8月8日 企画展「ポケモン化石博物館」の開催について

9月9日	自然史コレクション「東北の植物」
11月26日	福井県立大学との連携・協力に関する協定締結式の開催について
11月28日	「発掘ピカチュウ」が企画展「ポケモン化石博物館」に再び登場！
11月28日	木下覺氏からの植物標本の寄贈について
12月9日	阿波市・美馬市脇町から新種のクモを発見「バンドウヤミサラグモ」として記載
12月12日	徳島県の眉山と剣山から新種のガを2種発見「トガリゴマフシロハビロキバガ」「ホソバゴマフシロハビロキバガ」として記載
12月12日	歴史・文化コレクション「発掘！阿波の城」の開催について
1月14日	期間限定特別公開のお知らせ—新種のガと希少植物の展示
1月27日	徳島県内妻川から確認された四国初記録の魚類（タメトモハゼ）について
2月10日	自然史コレクション「魚類化石展」について
3月3日	第14回「勝浦町恐竜発掘活性化協議会」の開催について
3月10日	令和7年度の発掘調査で新たに発見された恐竜化石2点について
3月17日	四国初記録かつ分布の北限記録となる希少魚類（ハヤセボウズハゼ）の発見について
3月17日	徳島県立博物館 歴史・文化コレクション「新出！断絶した人形座の資料」の開催について

2. テレビ・ラジオへの出演等

出演等を、月日・出演者・内容の順に記す。

4月10日	大橋俊雄	四国放送テレビ「フォーカ
-------	------	--------------

	ス徳島」(阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚)		ス徳島」(ホワイトボード展示「阿波市・美馬市から見つかった新種のクモ バンドウヤミサラグモについて」)
4月30日	戸川美史 四国放送テレビ(特別陳列「民俗資料にみる こどもの世界」)	12月17日	鈴木佑弥 NHK 徳島放送局「とく6徳島」(ホワイトボード展示「阿波市・美馬市から見つかった新種のクモ バンドウヤミサラグモについて」)
5月28日	大橋俊雄 ケーブルテレビあなん「トレンドカフェ」(歴史・文化コレクション「阿波ゆかりの画家守住貫魚・勇魚」)	12月18日	内藤芳香 NHK 徳島「おはよう四国」「昼のニュース」「とく6徳島」(木下覺氏寄贈標本について)
5月17日	辻野泰之 四国放送テレビ「フォーカス徳島」(自然史コレクション「ドイツの化石」)	1月14日	大塩啓一郎 NHK 徳島放送局「昼のニュース」「とく6徳島」(歴史・文化コレクション「発掘!阿波の城」)
6月22日	辻野泰之 エーアイテレビ「テレビミュージアム」(自然史コレクション「ドイツの化石」)	1月26日	大塩啓一郎 四国放送「フォーカス徳島」(歴史・文化コレクション「発掘!阿波の城」)
7月4日	庄武憲子 NHK 徳島「とく6徳島」(山城中学校ふるさと学習「山城の鉦踊」)	2月6日	井藤大樹 NHK 徳島放送局「おはよう四国」「昼のニュース」「とく6徳島」(徳島県内妻川から確認された四国初記録の魚類(タメトモハゼ)について)
7月17日	松永友和 NHK 徳島放送局「“物”に託す戦争の記憶」(歴史・文化コレクション「戦後80年 戦争の記憶を伝える」展示資料の紹介)	3月13日	辻野泰之 NHK 徳島放送局「フォーカス徳島」(令和7年度の発掘調査で発見された恐竜化石について)
7月18日	辻野泰之 エフエムびざん「とくしま子育て課」(文化の森で化石発掘体験の紹介)	3月20日	井藤大樹 四国放送(四国初記録かつ分布の北限記録となる希少魚類(ハヤセボウズハゼ)の発見について)
7月22日	長谷川賢二 四国放送テレビ「フォーカス徳島」(企画展「タイムトリップ 中世!」)	3月24日	庄武憲子 四国放送テレビ「徳島新聞ニュース」(歴文コレクション「新出!断絶した人形座の資料」)
7月23日	庄武憲子 四国放送テレビ「フォーカス徳島」(山城中学校ふるさと学習「山城の鉦踊」)	3月27日	辻野泰之 NHK 徳島放送局「おはよう四国」や「とく6徳島」(令和7年度の発掘調査で発見された恐竜化石について)
7月23日	長谷川賢二 ケーブルテレビあなん「トレンド・カフェ」(企画展「タイムトリップ 中世!」)		
8月1日	長谷川賢二 ケーブルテレビ徳島「ステップ」(企画展「タイムトリップ 中世!」)		
8月7日	小布施彰太 四国放送テレビ「フォーカス徳島」(文化の森で化石発掘体験の紹介)		
11月3日	小布施彰太 エフエム徳島「Station×Station」(企画展「ポケモン化石博物館」)		
11月26日	磯本宏紀 四国放送「フォーカス徳島」(歴史・文化コレクション「米とくらし」)		
11月26・29日	磯本宏紀 ケーブルテレビあなん「トレンド・カフェ オトナのマナビ」(歴史・文化コレクション「米とくらし」)		
12月17日	鈴木佑弥 四国放送テレビ「フォーカ		

3. インターネットによる情報提供

(1) ホームページ

①概要

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供に取り組んできた。平成11年7月よりホームページ <http://www.museum.comet.go.jp/> を開設した20年10月に「徳島県文化の森総合公園情報提供システム」が構築されたことから、ホームページを <https://museum.bunmori.tokushima.jp/> に変更した。

令和3年の常設展示室リニューアルに伴い、ホーム

ページシステム改修を行い、4年4月に新ホームページでの情報発信を開始した。ホームページシステム改修にあたっては、利用者のアクセシビリティやユーザビリティの向上と、ホームページシステムの効率的な管理運営を目標とし、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を導入した。

新ホームページシステムの主な特徴は、セキュリティの重視、誰でも情報にアクセスしやすいようにJIS X 8341-3:2016 レベル A への準拠、外国語への翻訳対応、スマートフォンに代表される携帯端末での利用を念頭に、どんな機器でも最適化された表示の実現、アクセスログの解析機能、ビジュアルエディターによるコンテンツ作成機能、画像管理機能などである。ただし、旧ホームページシステムで蓄積してきた情報は膨大な量であることから、システムが移行された後も、原則としてこれらの情報にアクセスができるようにしている。

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の利用案内（開館日・交通案内・観覧料等）
- ・博物館の紹介（使命、事業、プレスリリース等）
- ・展示案内（企画展、特別陳列、常設展示、自然史コレクション、歴史・文化コレクション、県民コレクション）
- ・催し物、普及行事の案内
- ・調査研究活動の紹介
- ・収集保存活動（データベース）
- ・学校等への利用案内
- ・出版物（展示解説、研究報告、博物館ニュース等の案内）
- ・関連活動紹介（友の会、県博物館協議会等）
- ・学芸員関連のページ
- ・特別メニュー（子ども向けメニュー、映像コーナー、自宅で博物館を楽しもう！等）

ホームページには内容の全文検索やサイトマップを設置し、閲覧者が目的の内容にたどり着きやすくしている。資料データベースでは、人文、動物、植物、地学の各分野で収蔵資料を検索できるシステムを構築している。資料の詳細情報や動植物の分布図等を公開している。また、当館に収蔵している図書についても、図書データベースを公開している。情報提供する項目のテキストデータ及び画像情報を専用フォルダーに入れておけば、自動的に情報提供用のデータベースに取り込まれる仕組みになっている。

ホームページの更新や追加は、常設展示の各コレクション展示の展示更新や企画展開催のタイミングに合わせて行っている。このほか、各事業の担当者が随時更新や追加をしている。

普及行事の申し込みについて、ホームページのカレンダーシステムと連動した普及行事申し込みシステムを導入し、運用を開始した。

②アクセス

7年度は、1年間でホームページへの総アクセス数が約2,546万件あった。ホームページへの総訪問者数は約94万人であった。

●月別のホームページへの総アクセス数と訪問者数

	訪問者数	アクセス数
2025年 4月	38,169	1,127,005
2025年 5月	57,091	1,531,919
2025年 6月	61,242	1,501,447
2025年 7月	65,818	1,911,022
2025年 8月	98,768	2,328,641
2025年 9月	73,674	2,491,543
2025年 10月	157,397	4,855,745
2025年 11月	114,738	3,096,386
2025年 12月	100,504	2,452,890
2026年 1月	59,789	1,470,711
2026年 2月	58,615	1,346,162
2026年 3月	59,175	1,354,100
合 計	944,980	25,467,571

(2) SNS の利用

インターネットメディアの多様化とソーシャルネットワークサービス（以下、SNS）の普及に伴い、博物館をはじめとする社会教育機関においても SNS 等を活用した情報発信、情報交流が進められている。

当館では、公式 Facebook アカウントを開設し 28 年 3 月 18 日より運用を開始した。3 年度からは YouTube、5 年度からは X（旧 Twitter）と Instagram で公式アカウントの運用を開始し、幅広いユーザー層に向けた情報発信を 7 年度も引き続き行った。内容は、企画展の告知、普及行事の実施状況、勝浦町の恐竜化石に関する情報発信といった博物館の日常の活動紹介である。ホームページでは見られない即時性が特徴となり、情報提供のツールの一つとして活用している。

① Facebook（フェイスブック）

7 年度は、168 件の記事を掲載した。フォロワー数は 1,519 人となった。

② X（エックス：旧 Twitter（ツイッター））

7 年度は、168 件の記事を掲載した。フォロワー数は 962 人となった。

③ Instagram（インスタグラム）

7 年度は、168 件の記事を掲載した。フォロワー数は 989 人となった。

④ YouTube（ユーチューブ）

7年度末時点でチャンネル登録者数が514人となり、総視聴回数は68,231回、総再生時間2,347時間、平均視聴時間2分3秒であった。

(3) デジタルアーカイブの構築

「徳島県文化の森デジタルアーカイブ構築事業」により、新たに34点の資料を撮影した（累計206点）。また、TRC-ADEAC株式会社が制作・運営する、デジタルアーカイブの検索・閲覧を行うためのプラットフォームシステム「ADEAC」において、撮影データを公開した。

4. 外部ネットワークとの連携

当館では、文部省の補助事業の一つとして、平成12年度及び13年度に環瀬戸内自然史系博物館ネットワーク推進事業に参加し、博物館の横断検索やいきものマップなどの外部とのネットワーク連携事業を行ってきた。

さらに、18年度からは、国立科学博物館が行っている自然系博物館における収蔵品データ整備事業に参加し、さらなる連携を深めている。事業の内容は、全国の科学系博物館のホームページの内容を横断検索するものである。サイエンスミュージアムネット (<https://science-net.kahaku.go.jp/>) を使うことによって、160館以上のホームページを一度に検索することができる。収蔵品データの検索も準備されており、26年度には当館から徳島県産維管束植物及び昆虫類のデータを整備し提供した。日本語の検索及びGBIF（Global Biodiversity Information Facility: 地球規模生物多様性情報機構）のデータとしても横断検索できるようになった。

5. 情報システムの概要

第5期文化の森システム更新が平成23年度に行われ、29年度には第6期文化の森のシステム更新が行われた。基本的には前システムのパソコン等ハード、ソフトの置き換えである。令和2年度には、文化の森全館の知事部局への移管に伴い、徳島県文化の森総合公園情報提供システムを構築することになった。3年度からは第7期文化の森のシステム更新に向けた検討が始まり、当該システムは5年度に運用を開始した。

博物館のコンピュータシステムは、職員が日常的に

使う業務用、来館者や館外者が利用する情報提供用の2つに大別できる。次のような構成で第7期システムの運用にあたっている。

①業務用システム

業務用システムでは、コンピュータ室・研究室・作業室・収蔵庫・事務室等をイーサネット（1000BaseT）のLANでつないでいる。ファイルサーバ（Windowsサーバ）とデータベースサーバ（FileMakerServer 16Advanced）の2台のサーバを設置している。サーバのデータは、二十一世紀館に常駐するSE（システムエンジニア）によって毎日バックアップがとられている。職員1人に1台の端末を配置し、データベースやファイルを共有している。これらの端末は、作業の内容に応じた仕様となっており、たとえば収蔵庫では常設の端末ではなく、ノート型パソコンを活用している。

②情報提供用システム

情報提供用としては、Linuxサーバを用いて、WWWサーバと資料データベースを構築している。

柔軟なデータベース公開ができるように、MySQLサーバによるWebデータベースを構築し、博物館資料データベース、図書データベース及び新聞記事データベースを、WWWサーバと連携させて公開している。

インターネットの回線が徳島県立総合教育センターに集約されていたが、2年10月には、文化の森総合公園内に独立した情報提供用サーバを構築し、外部系サーバをコンピュータ室に設置、館内用サーバとともに管理している。

また、3年度にはホームページシステム刷新に伴い新たにCMSサーバを導入し、WWWサーバと連携させた。4年度より運用を開始した。

6. デジタルコンテンツ等の拡充

新型コロナウイルス感染症拡大への対応を契機として、ホームページに「自宅で博物館を楽しもう！」のコーナーを設けるなど、来館できなくても博物館の展示等を楽しめるコンテンツを提供している。また、オンライン会議ツールを導入し、リモート授業や遠隔会議を実施できる態勢を整えている。

ホームページ内のデジタルコンテンツ「重村コレクション剥製デジタル図鑑」において、哺乳類剥製2点の3Dモデルを新たに公開した。

VI 県民協働・参画

博物館は、主として県民をサービスの対象として各種の事業を展開している。より県民に親しまれる博物館となっていくためには、利用者が主体的に関わって博物館と協働したり、博物館の事業に参画したりする機会をもつことが重要である。博物館が地域にしっかりと根を下ろすとともに、社会教育・生涯学習の振興、ひいては地域の活性化につながっていくよう、より一層の県民協働・参画を推進する必要がある。

1. 博物館友の会

■会員（令和7年度末）

個人会員（年会費	2,000 円）	41 人	
（半年会費	1,000 円）	1 人	
家族会員（年会費	3,000 円）	41 組	145 人
（半年会費	1,500 円）	4 組	14 人

■役員（令和7年度）

会 長：結城孝典
 副会長：徳野壽治、本田壮一、戸川美史（博物館長）
 幹 事：幸坂敏行、坂井なつ、行成正昭、大杉洋子
 監 査：石尾和仁、中村由香

■事業

●博物館出版物の印刷・販売

令和7年度博物館企画展の図録等（「タイムトリップ中世!」、「中国西南部の旅人」）の印刷・販売を行った。

●企画展関連グッズの作成・販売

企画展関連グッズとして「タイムトリップ中世!」クリアファイルの作成・販売を行った。

●広報活動

新規会員の獲得を目指し、勧誘ポスターの掲示や会員募集案内チラシの配布を行ったほか、催し物案内、博物館ニュース、企画展チラシ等を活用した。また、館内の掲示板や博物館ホームページを活用して、会員募集や活動報告等の情報発信に努めた。

友の会会報「アワーミュージアム」No.76・77を発行し、会員に配付した。

① No.76（2025年9月15日発行）

ウミアメンボとの出会い

EXPO2025を機会に、徳島や県立博物館の賑わいを期待する

私も万博に行ってきました

友の会行事報告 徳島中央公園の史跡めぐり

友の会行事報告 ビスマスの結晶をつくろう

友の会行事報告 化石をさがそう

報告 令和7年度総会

新スタッフ紹介

② No.77（2026年1月31日発行）

阿波市・美馬市から新種のクモを発見!

友の会で学ぶ徳島の自然

友の会で出会ったカブトムシ

友の会行事報告 たのしい!おさかなかんさつ

友の会行事報告 夜の文化の森たんけん



たのしい!おさかなかんさつ



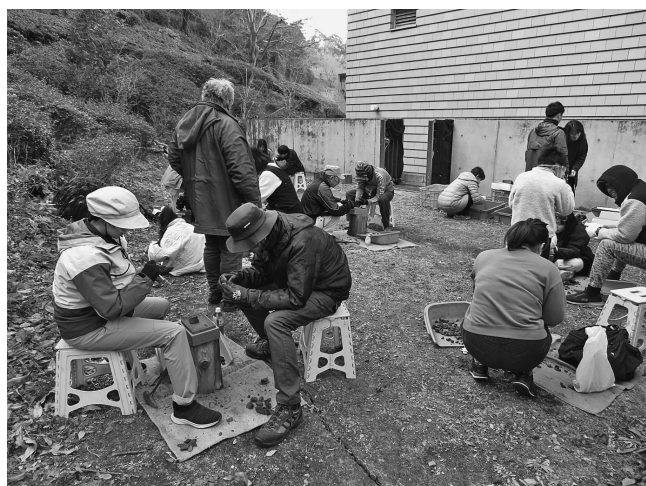
夜の文化の森たんけん

友の会行事報告 漂着物をさがそう

●会員対象行事

会員を対象とする行事を6回実施した。

- ①たのしい！おさかなかんさつ 6月7日（土）
場所：徳島市園瀬川 16人
- ②夜の文化の森たんけん 7月26日（土）
場所：文化の森総合公園 24人
- ③漂着物をさがそう 9月28日（日）
場所：海部郡美波町 8人
- ④ひょうたん島クルーズと歴史散歩 10月18日（土）
場所：徳島市内 11人
- ⑤化石をさがそう！ 2月21日（土）
場所：県立博物館 33人
- ⑥室戸岬めぐりバス旅行 3月15日（日）
場所：高知県室戸市 36人



化石をさがそう！

2. 博物館ボランティア

(1) イベント企画を中心とする公募ボランティア

平成17年度から、博物館の常設展示室を活用し、博物館や博物館資料の魅力を伝えるためのイベントを企画・運営するボランティアを公募し、毎年2月11日に開催するボランティア企画イベント「博物館Vキング」に向けて、年間を通して活動してきた（年報15号p.43～44参照）。

7年度に参加したボランティアは13名で、動物班、地学班、考古班の3班に分かれ、年間を通じて6回の活動を行った。博物館学芸員とボランティアメンバーが議論を行い、2月11日に実施する催し物の内容を考えた。内容は、観覧者が博物館資料に興味をもつことができるものを基本にした。

動物班は、「生きものトライアスロン」というタイトルで、クモの投げ縄釣りゲーム、マグネット魚釣りゲーム、マグネット昆虫分類ゲームの3つゲームを順



文化の森ウィンターフェスティバル「化石タッチング」



室戸岬めぐりバス旅行



文化の森ウィンターフェスティバル
「生きものトライアスロン」

番に行い、総点数を競うものにした。地学班は、「化石タッチング」という催し物を実施した。ボランティアメンバーが興味のある化石資料を選び、自ら解説パネルを作成するとともに観覧者に資料の解説を行った。考古班は「おゆまるメンコであそぼう」という催し物を実施した。近世の泥メンコを参考にして、おゆまる（プラスチック樹脂）を使ってメンコを作成し、観覧者に昔の遊びを楽しんでもらった。

●文化の森ウィンターフェスティバル

2月11日（水・祝）の「文化の森ウィンターフェスティバル」において、動物班、地学班、考古班が、次の3つ催し物（生きものトリアスロン、化石タッチング、おゆまるメンコであそぼう）を実施した。

来館者：1,112人

参加したボランティア：7人

(2) 博物館事業を支援するボランティア

「日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業」に協力して、後方支援施設（かんきつテラス徳島）で恐竜化石含有層の岩石の小割をし、化石の探索を行った。

参加した博物館ボランティア：4人

3. 各種事業での県民協働・参画活動の推進

(1) 展示

●県民コレクション

徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち

4月1日（火）～9月28日（日）



文化の森ウィンターフェスティバル
「おゆまるメンコであそぼう」

県内在住の岩石・鉱物愛好家のグループである徳島鉱石クラブにより採集された岩石・鉱物（大型標本、博物館に寄贈された標本などを含む）コレクションを展示し、同鉱石クラブ代表による展示解説を5回行った。

学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展

9月30日（火）～3月29日（日）

徳島県立博物館における資料保存の取り組みのうち、学芸員資格取得を目指す学生との協働事業として実施した常設展示室における虫などの発生状況調査に焦点をあて、博物館資料の生物被害とその対策について紹介した。

(2) 普及教育

●野外自然かんさつ

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 5月18日（日） | 文化の森クモかんさつ会（春編） |
| 5月18日（日） | 花巡り！植物かんさつハイキング2月—風薫る季節を体感— |
| 6月15日（日） | 初めての植物かんさつ（梅雨期編） |
| 7月12日（土） | 初めての植物かんさつ（夏編） |
| 7月13日（日） | 花巡り！植物かんさつハイキング7月—山開き自然の中へ— |
| 9月21日（日） | 花巡り！植物かんさつハイキング9月—秋の七草探してみませんか？— |
| 10月26日（日） | 文化の森クモかんさつ会（秋編） |
| 11月2日（日） | 落ち葉の下の生き物をしらべよう |
| 11月16日（日） | 花巡り！植物かんさつハイキング11月—植物の冬支度を見に行こう！— |
| 12月14日（日） | 初めての植物かんさつ（冬編） |
| 3月22日（日） | 初めての植物かんさつ（早春編） |

●生きものしらべ隊

- 9月7日（日） 魚類の頭骨標本をつくろう

●ミュージアムトーク

- | | |
|-----------|---------------------|
| 4月20日（日） | ゼロから始める植物学—植物用語編— |
| 6月15日（日） | ゼロから始める植物学—名前編— |
| 7月12日（土） | ゼロから始める植物学—標本の作り方編— |
| 12月14日（日） | ゼロから始める植物学—植物の名前編— |
| 3月22日（日） | ゼロから始める植物学—標本整理編— |

理・分類学入門編一

●県民コレクション

徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた
岩石・鉱物たち展示解説

5月4日（日・祝）、7月13日（日）、8月10日（日）、
11日（月・祝）、9月15日（月・祝）

(3) 調査研究

●日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業

徳島県勝浦町で行われた恐竜化石含有層の発掘調査では、県内の化石愛好家や阿波勝浦井戸端塾等のボランティア 35 人の協力を得て、化石の探索作業を行った。7 年度から恐竜化石発掘調査に係るボランティアは公募とした。

10月31日（金）～12月19日（金）：恐竜化石発掘調査に係る後方支援施設（かんきつテラス徳島）での作業（延べ日数 33 日間）

●漂着物の調査

県内の漂着物研究会である「とくしま海の観察会」と、年 4 回定期的に県内海浜において漂着物の調査を実施している。調査結果は、展示や県民向けの講座等で活用している。

(4) 資料収集保存

●常設展示室の IPM（総合的有害生物管理）調査

常設展示室の IPM を実施するにあたり、博物館学芸員資格取得を目指している大学生と協働で、博物館資料を加害する生物の種類や数量について、月 1 度の定期的な調査を行った。7 年度は、四国大学の学生 1 名が参加した。

VII シンクタンクとしての社会貢献

博物館は、その活動を通じて様々な資源（資料、情報、学芸員の知識・経験）を蓄積している一種のシンクタンクである。これらの資源を活用して地域社会に貢献し、また、県政の課題解決に寄与することも、博物館の重要な役割であると考え、積極的に取り組むこととしている。

1. レファレンス業務

一般の県民や児童・生徒・学生、教職員、行政職員、マスコミ、企業等から寄せられた質問や問い合わせに対応する業務を、当館ではレファレンス業務と呼んでいる。問い合わせ方法としては、来館、電話、Eメール、文書によるもの等がある。当館ではこれらの問い合わせを、対応の記録や博物館に対するニーズを把握する目的で、データベース化している。

令和7年度に行ったレファレンスの件数は404件で、分野別内訳は下表のとおりである。この記録は、博物館レファレンス記録データベースに記録されたデータに基づいている。ただし、同様の問い合わせが集中したときなどは、すべてを記録することはできないため、実際の件数はこれより多いと考えられる。

●分野別レファレンス件数（令和8年3月31日現在）

分 野	件 数
動物（脊椎）	22
（無脊椎）	16
（昆虫）	32
植 物	73
地 学	42
考 古	51
歴 史	90
民 俗	38
美術工芸	20
保存科学	1
そ の 他	19
合 計	404

職業別の割合を見ると、一般（不明を含む）からの問い合わせが234件（58%）で最も多く、次いでマスコミ・出版関係が109件（27%）、博物館・図書館・官公庁等が20件（5%）、大学生・院生・研究者等が14件（3%）、高校生以下の児童・生徒及び教員等が17件（4%）、一般企業などその他が10件（2%）であった。

2. 各種委員会委員等の受諾

令和6年度に、博物館職員が委嘱を受けた各種委員会委員、学会役員等は次の通りである。

戸川美史

（公財）日本博物館協会参与

（令和7.4.1～8.3.31）

日本博物館協会四国支部長

（令和7.4.1～8.3.31）

四国地区博物館協議会会長

（令和7.4.1～8.3.31）

徳島県博物館協議会会長

（令和7.4.1～9.3.31）

植地岳彦

松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館協議会委員

（令和6.4.1～7.3.31）

史跡若杉山辰砂採掘遺跡調査整備検討委員会

（令和3.8.2～）

茨木 靖

徳島県希少野生生物保護検討委員会委員

（令和7.4.1～8.3.31）

環境省希少野生動植物種保存推進員

（平成24.7.1～令和9.6.30）

徳島県土木工事環境配慮アドバイザー

（令和7.4.1～8.3.31）

愛媛県総合科学博物館魅力向上戦略策定検討会構成員

（令和7.7.1～8.3.31）

阿波学会評議員

（令和7.4.1～9.3.31）

中尾賢一

- 産業技術総合研究所客員研究員
(令和元. 5. 1 ~)
- 三好ジオパーク構想推進協議会学術顧問
(令和元年~事業終了の年)
- 辻野泰之
日本古生物学会 化石友の会幹事
(令和 7. 6. 26 ~ 9. 6. 30)
道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会委員
(令和 7. 7. 8 ~ 7. 12. 27)
- 井藤大樹
徳島県田園環境検討委員
(令和 8. 2. 14 ~)
- 鹿児島大学総合博物館「Ichthy-Natural History of Fishes of Japan」編集委員
(令和 4. 3. 1 ~)
- 奈良県自然環境保全審議会専門委員
(令和 5. 6. 12 ~)
- 奈良県レッドデータブック改訂分科会委員
(令和 5. 6. 12 ~)
- 国土交通省四国地方整備局「河川・溪流環境アドバイザー」
(令和 7. 4. 1 ~)
- 令和 7 年度徳島県希少野生生物保護検討委員会委員
(令和 7. 4. 1 ~令和 8. 3. 31)
- 日本魚類学会編集委員
(令和 7. 5. 18 ~)
- 佐那河内村史編纂委員会執筆委員
(令和 7. 8. 7 ~編纂事業終了の日)
- 外村俊輔
令和 7 年度徳島県希少野生生物保護検討委員会委員
(令和 7. 4. 1 ~令和 8. 3. 31)
日本鱗翅学会四国支部 評議員
(令和 7. 4. 1 ~)
- 徳島博物同好会事務局
(令和 7. 4. 1 ~)
- 鈴木佑弥
日本蜘蛛学会誌 Acta Arachnologica 編集幹事
(令和 6. 4. 1 ~)
- 東京蜘蛛談話会 Kishidaia 編集委員
(令和 6. 4. 1 ~)
- 令和 7 年度徳島県希少野生生物保護検討委員会委員
(令和 7. 4. 1 ~令和 8. 3. 31)
- 阿波学会紀要第 66 号編集委員
(令和 7. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
- 徳島博物同好会事務局
(令和 7. 4. 1 ~)
- 内藤芳香
令和 7 年度徳島県希少野生生物保護検討委員会委員
(令和 7. 4. 1 ~令和 8. 3. 31)
- 徳島県田園環境検討委員
(令和 8. 2. 14 ~令和 10. 2. 13)
- ヒメオオイワボタン保全連絡協議会会計
(令和 8. 1. 14 ~)
- 阿波学会紀要第 66 号編集委員
(令和 7. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
- 庄武憲子
四国民俗学会理事
(令和 7. 4. 1 ~ 9. 3. 31)
- 徳島県祭り・行事調査委員会調査特別調査員
(令和 6. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
- 佐那河内村史編纂委員会執筆委員
(令和 6. 5. 20 ~編纂事業終了の日)
- 磯本宏紀
公益財団法人徳島県文化振興財団民俗資料委員会委員
(令和 7. 4. 1 ~ 9. 3. 31)
- 阿波学会紀要第 66 号編集委員
(令和 7. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
- 阿波学会評議員・監事
(令和 7. 4. 1 ~ 9. 3. 31)
- 藍住町文化財保存活用地域計画推進協議会委員
(令和 7. 9. 12 ~ 9. 3. 31)
- 日本民具学会理事・評議員
(令和 4. 10. 1 ~ 10. 9. 30)
- 日本民俗学会理事・評議員
(令和 6. 9. 1 ~ 8. 8. 31)
- 徳島県祭り・行事調査委員会調査委員
(令和 5. 5. 19 ~ 8. 3. 31)
- 神奈川大学日本常民文化研究所『民具マンスリー』編集委員
(令和 5. 4. 1 ~)
- 佐那河内村史編纂委員会執筆委員
(令和 6. 10. 10 ~編纂事業終了の日)
- 松茂町広島背継三匹獅子舞調査員
(令和 7. 10. 21 ~ 9. 3. 31)
- 松永友和
徳島地方史研究会運営委員
(平成 23. 5 ~)
- 歴史資料保全ネットワーク・徳島運営委員
(平成 25. 9. 1 ~)
- 徳島県戦没者記念館企画委員会委員
(令和 5. 4. 1 ~)
- 阿波学会紀要第 66 号編集委員

(令和 7. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
 四国遍路関係資料調査研究会 (近世) 委員
 (令和 7. 6. 1 ~ 8. 3. 31)
 長谷川賢二
 日本博物館協会賞選考委員
 (令和 8. 1. 1 ~ 10. 12. 31)
 徳島県人権教育啓発推進委員会専門委員
 (平成 19. 5. 1 ~)
 阿波遍路道・札所寺院保存検討委員会委員
 (令和 6. 7. 1 ~ 8. 6. 30)
 高大連携教育研究会専門委員
 (令和 7. 4. 1 ~ 8. 3. 31)
 海陽町立博物館協議会委員
 (令和 7. 8. 1 ~ 9. 7. 31)
 佐那河内村史編纂委員会委員
 (令和 6. 5. 20 ~ 事業終了の日)
 高知県立歴史民俗資料館運営協議会委員
 (令和 6. 8. 1 ~ 8. 7. 31)
 瀬戸内海歴史民俗資料館保存活用等あり方検討委員会委員
 (令和 7. 12. 5 ~ 所掌事項終了の日)
 日本山岳修験学会副会長
 (令和 6. 11 ~ 9. 11)
 国際熊野学会委員
 (令和 6. 4. 1 ~ 9. 3. 31)
 地方史研究協議会委員
 (令和 6. 10. 1 ~ 8. 9. 30)
 日本ミュージアム・マネージメント学会中・四国支部会副支部長
 (平成 30 年度 ~)
 四国中世史研究会代表
 (令和 7 年度 ~ 8 年度)
 歴史資料保全ネットワーク・徳島運営委員
 (平成 25. 9. 1 ~)
 小林篤正
 鳴門市ドイツ館展示更新検討会委員
 (令和 6. 12. 3 ~)

3. 講師の派遣

館外からの依頼を受けた講師派遣等を、月日・担当者・依頼者・内容・場所の順に記す (内容に依頼者・場所が表現されている場合は依頼者・場所を省略)。

なお、幼・小・中・高校からの依頼による出前授業、教員の研修への講師派遣については、「Ⅱ普及教育」の「2. 学校教育等支援事業」に記載している

(p.21 ~ 25 参照)。

4 月 20 日 辻野泰之
 徳島化石研究会第 52 回少年少女地学班化石採集会の講師 (南あわじ市灘地野)
 4 月 26 日 辻野泰之
 姫路市科学館企画展「くらべてわかる! アンモナイト」関連講演会で講演「恐竜時代の変った形をしたアンモナイトの話」
 5 月 17 日 大塩啓一郎
 博物館アワカルト講座 第 1 回共通テーマ「生と死」「生と死への祈り」(海洋自然博物館マリンジャム)
 5 月 17 日 鈴木佑弥
 博物館アワカルト講座 第 1 回共通テーマ「生と死」「クモの多様な生と死の世界」(海洋自然博物館マリンジャム)
 5 月 24 日 長谷川賢二
 認定特定非営利活動法人 賀川豊彦記念・鳴門友愛会第 24 回通常総会で講演「山伏たちの中世と近世」(鳴門市賀川豊彦記念館)
 5 月 26 日 茨木 靖
 生涯学習講座「そこがもっと知りたい」(鴨島公民館)
 5 月 30 日 松永友和
 徳島県立総合看護学校の授業科目「阿波の探求」を担当「阿波の地域史—近世の徳島—」
 6 月 1 日 松永友和
 博物館アワカルト講座 第 2 回共通テーマ「文と武」「篠崎小竹と大塩平八郎—徳島藩家老稲田家ゆかりの大坂人—」(徳島県立文書館)
 6 月 6 日 松永友和
 徳島県立総合看護学校の授業科目「阿波の探求」を担当「阿波の地域史—近現代の徳島—」
 6 月 7 日 辻野泰之
 一般社団法人ジオカレッジで講演 (香川県東かがわ市地域の地質や産出化石) (香川県東かがわ市やまびこ交流センター)
 6 月 8 日 辻野泰之
 一般社団法人ジオカレッジで講演と実習 (アンモナイトをはじめとする和泉層群の化石) (香川県東かがわ市 やまびこ交流センター)
 6 月 11 日 長谷川賢二
 徳島県シルバー大学校大学院歴史・文化講座で講演「中世の社会と信仰」(徳島県立総合福祉センター)
 6 月 13 日 松永友和
 徳島県立総合看護学校の授業科目「阿波の探求」を担当「阿波藍の歴史—徳島発展の礎—」
 7 月 13 日 外村俊輔
 徳島県立高丸山千年の森の野外観察会「高丸山の昆

虫観察会」の講師（上勝町高丸山）
 7月19日 小布施彰太
 阿波かつうら恐竜フェスティバル2025の「化石発掘体験」の講師（勝浦町人形文化交流館）
 7月20日 小布施彰太
 阿波かつうら恐竜フェスティバル2025の「化石発掘体験」の講師（勝浦町人形文化交流館）
 7月24日 長谷川賢二
 小松島市教育委員会「小松島のふるさと講座」で講演「喜田貞吉の日本民族史論」（小松島市立図書館）
 7月26日 小布施彰太
 阿波かつうら恐竜フェスティバル2025の「化石発掘体験」の講師（勝浦町人形文化交流館）
 7月29日 外村俊輔
 徳島河川国道事務所「水生生物調査による吉野川水質調査」講師（東みよし町黒川原谷川）
 7月30日 大橋俊雄
 阿波市市場町成人講座で講演「画家二代 守住貫魚と勇魚」（八幡公民館）
 8月2日 小布施彰太
 荘川化石フォーラム2025で講演「徳島の恐竜研究最前線」（岐阜県高山市荘川総合センター）
 8月4日 井藤大樹
 吉野川交流推進会議「交流体験 in よしのがわ（下流編）～おさかな博士の川魚かんさつ～」講師（鮎喰川）
 8月8日 外村俊輔
 徳島河川国道事務所「水生生物調査による吉野川水質調査」講師（吉野川市山川町吉野川）
 8月10日 辻野泰之
 徳島化石研究会第53回少年少女地学班化石採集会（イベント）（博物館のバックヤード見学など）講師（徳島県立博物館地学収蔵庫及び石工室）
 8月10日 小林篤正
 徳島市「「戦後80年」戦争の記憶を次世代へ 徳島大空襲と平和への願い パネル・資料展」記念講演会「徳島大空襲の経験—平和への願いをこめて—」の講師（徳島市立図書館）
 8月14日 小布施彰太
 阿波かつうら恐竜フェスティバル2025の「恐竜ミニ講演会と化石観察会」の講師（レヴィタかつうら）
 8月26日 坂東 泰
 徳島県シルバー大学校小松島校で講演「鳥居龍蔵の中国西南部調査とその反響—同時代の中国知識人の反応を例に一」（小松島市総合福祉センター）
 8月27日 長谷川賢二
 徳島県シルバー大学校大学院歴史・文化講座で講演

「四国遍路成立の前夜」（徳島県立総合福祉センター）
 8月30日 小林篤正
 博物館アワカルト講座 第3回共通テーマ「博物館の表と裏」「はじめての企画展『モンゴルのフィールドワーカー鳥居きみ子』をふりかえる」（徳島県立博物館講座室）
 8月30日 井藤大樹
 博物館アワカルト講座 第3回共通テーマ「博物館の表と裏」「脊椎動物展示の裏と表」（徳島県立博物館講座室）
 8月31日 庄武憲子
 徳島県立総合教育センター新未来とくしま講座で講演「徳島の風流踊」（徳島県立総合教育センター）
 9月4日 中尾賢一
 一般社団法人 阿波市観光協会開催の講演会で講演「「阿波の土柱講演会」地球の歴史と自然の奇跡 土柱のみどころガイド～特に中央構造線との意外な関係について～」（阿波地域交流センター）
 9月18日 松永友和
 徳島県シルバー大学校鳴門校で講演「江戸時代の旅と「鳴門」見物」（鳴門・大塚スポーツパーク）
 9月24日 庄武憲子
 徳島県シルバー大学校大学院歴史・文化講座で講演「民俗学」（徳島県立総合福祉センター）
 10月5日 鈴木佑弥・中尾賢一
 松茂町教育委員会主催観察会に講師として派遣「海辺の生き物を探そう」（松茂町月見ヶ丘海岸）
 10月5日 外村俊輔
 博物館アワカルト講座 第4回共通テーマ「光と闇」「光と闇に生きる昆虫」
 10月12日 外村俊輔
 徳島県建設技術センター「文化の森の昆虫」（文化の森公園）
 10月15日 長谷川賢二
 徳島県シルバー大学校大学院歴史・文化講座で講演「戦国軍記と阿波三好氏の落日」（徳島県立総合福祉センター）
 10月21日 松永友和
 石井町ふるりの歴史を学ぶ会で講演「阿波藍をめぐる藍商・紺屋と藩政の動向」（石井町中央公民館）
 10月26日 中尾賢一
 鳴門教育大学 理科教育課程学生対象博物館見学（徳島県立博物館バックヤード・常設展示室）
 11月8日 松永友和
 大塩事件研究会創立50周年企画「天保擾乱—大塩平八郎の実像—」展の関連行事で講演「大塩平八郎と篠崎小竹—徳島藩ゆかりの大坂人—」（大阪府立

中之島図書館)

11月 3日 植地岳彦

レキシルとくしま開館30周年記念事業 関連講演会・ミニシンポジウム「邪馬台国時代の朱について—瀬戸内東部から探る—」のパネルディスカッションにパネラーとして参加(板野町文化の館)

11月 4日 植地岳彦

シルバー大学校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(小松島市総合福祉センター)

11月15日 植地岳彦

「鳴門市板野郡の歴史・文化を学ぶ—第6回・国指定史跡 鳴門板野古墳群を巡る—」で講演と現地での解説(天河別神社古墳群など)

11月17日 長谷川賢二

歴史文化倶楽部月例講座で講演「山伏の中世から近世への推移」(徳島県郷土文化会館)

11月19日 磯本宏紀

シルバー大学校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(阿南市ひまわり会館)

11月23日 辻野泰之

第23回恐竜の里ウォークラリーへの講師として協力(勝浦町)

12月17日 松永友和

徳島県シルバー大学校大学院歴史・文化講座で講演「大塩平八郎と阿波・徳島」(徳島県立総合福祉センター)

12月21日 松永友和

T-over 人権教育研究所・人権こども塾4期第14講で講演「戦争と平和を考える—徳島大空襲を中心に—」(徳島県立博物館)

1月10日 辻野泰之

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金による「化石と地層の見学会」に講師として協力(鳴門市瀬戸町島田島)

1月11日 松永友和

新未来とくしま講座(第4回)で講演「大塩の乱と徳島藩 〜大塩のルーツは阿波国!?〜」(徳島県立総合教育センター)

1月21日 小林篤正

徳島県シルバー大学校阿南校で講演「近代徳島における生活史」(阿南ひまわり会館)

1月31日 植地岳彦

令和7年度明治大学・徳島大学・徳島県連携講座「先史・古代の徳島について」で講演(明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール)

2月16日 松永友和

徳島県シルバー大学校上板校で講演「江戸時代後期

の阿波藍と徳島藩」(上板町老人福祉センター)

2月19日 大塩啓一郎

令和7年度徳島市文化財保勝会研修会で講演「考古学からみた徳島市内の城」(徳島市役所13階第1研修室)

2月28日 辻野泰之

放送大学「まなびの森」で講演「徳島県の恐竜時代の地層と化石」(徳島県立図書館)

3月 7日 外村俊輔

社会福祉法人カリヨン「身近な虫に関する豆知識」(徳島県立博物館)

4. 大学教育への寄与

(1) 大学非常勤講師の受諾

令和7年度に、博物館職員が委嘱を受けた大学非常勤講師は次のとおりである。

植地岳彦

四国大学非常勤講師(博物館実習Ⅰ)

(令和7.4.3～7.9.23)

井藤大樹

四国大学非常勤講師(博物館実習Ⅰ)

(令和7.4.3～7.9.23)

磯本宏紀

徳島大学非常勤講師(博物館経営論)

(令和7.4.10～7.9.30)

松永友和

鳴門教育大学嘱託講師(博物館経営論)

(令和7.4.1～8.3.31)

長谷川賢二

愛媛大学非常勤講師(日本史特講Ⅰ)

(令和7.9.24～8.3.31)

(2) 博物館実習生の受け入れ

博物館実習は、博物館法施行規則第1条において、学芸員となる資格を取得するために「大学において修得すべき博物館に関する科目」と規定されているものの一つで、登録博物館または博物館相当施設における実習で修得することになっている。

当館では、大学からの依頼により、原則として県内大学の学生及び県出身の学生を受け入れることにし、夏休み期間中に実習を行っている。4月1日～5月15日が受付期間で、希望者が多い場合は調整を行い、20人程度をめどに受け入れることにしている。

7年度は、8月26日(火)～8月30日(土)に実習生の受け入れを行った。なお、一部の学生について

は、他の集中講義の日程が重複したため、別日程で補講を行った。

実習生は12人で、大学別の内訳は次のとおりである。

鳴門教育大学	7人
徳島大学	1人
四国大学	1人
愛媛大学	1人
神戸学院大学	1人
東京都立大学	1人

カリキュラムは下表のとおりである。実習生をA・Bの2班に分けて、学芸員等職員が指導にあたり、資料の整理や調査、普及教育などに関する実習を行った。



博物館実習の様子

(3) 学芸員養成科目開講への協力

徳島県と徳島大学、鳴門教育大学、四国大学とのあいだの協定（年報22号参照）に基づき、学芸員資格の取得を希望している3大学の学生のために、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」の開講に協力した。講義は、当館職員の他に、大学教員、近代美術館・文書館職員が共同で担当した。博物館講座室を会場とした。

各科目の日程、受講者数は次のとおりである。

- ①博物館資料保存論 9月2日～4日、9日、10日
徳島大5人、鳴門教育大8人、四国大33人
- ②博物館展示論 2月24日～28日
徳島大3人、鳴門教育大7人、四国大27人
- ③博物館教育論 3月3日～7日
徳島大2人、鳴門教育大7人、四国大28人

5. 学会・研究会等の運営への寄与

(1) 学会・研究会等の開催

令和7年度に当館学芸員が担当し、当館及び文化の森の施設を会場として開催された学会・研究会等はない。

(2) 当館が事務局等を引き受けている学会・研究会等

●徳島地域文化研究会

主として徳島県域をフィールドとする民俗学・文化

●令和7年度 博物館実習カリキュラム

		A 班 (6名)		B 班 (6名)	
		実習名【場所】	担当者	実習名【場所】	担当者
8/26 (木)	午前	館長あいさつ【実習室】	戸川	館長あいさつ【実習室】	戸川
		ガイダンス、館内施設見学【館内】	磯本	ガイダンス、館内施設見学【館内】	磯本
	午後	美術工芸資料の取り扱い【講座室】	松浦	植物標本の整理【実習室、分析室、生物収蔵庫】	内藤・茨木
8/27 (木)	午前	歴史資料の整理【実習室】	坂東	地学資料の整理【地学収蔵庫】	中尾
	午後	地学資料の整理【地学収蔵庫】	辻野	歴史資料の整理【実習室】	矢野
8/28 (木)	午前	博物館のIPM【実習室、展示室ほか】	植地	考古資料の整理【実習室】	大塩
	午後	魚類標本の整理【液浸収蔵庫】	井藤	博物館のIPM【実習室、展示室ほか】	植地
8/29 (金)	午前	広報物の発送作業【講座室】	丸山・鉄谷	広報物の発送作業【講座室】	丸山・鉄谷
	午後	無セキツイ動物標本の整理【実習室、液浸収蔵庫】	鈴木	地学資料の整理【地学収蔵庫、石工室】	小布施
8/30 (土)	午前	民俗資料の整理【一時保管庫】	磯本	昆虫標本の作製【文化の森総合公園、実習室】	外村
	午後	博物館協議会連携講座「アワカルト講座」聴講	小林	博物館協議会連携講座「アワカルト講座」聴講	小林

人類学研究者によって構成されており、研究会やシンポジウム（年2回程度）、会誌「徳島地域文化研究」の発行（年刊）等を行っている。

●四国民具研究会

四国地域をフィールドとする民具研究者により構成されており、研究会の開催（年2回程度）、会報「四国民具通信」の発行、会誌「民具集積」の発行（年刊）、調査報告書の発行、資料の調査研究等を行っている。

●四国民俗学会

四国地域の民俗研究者により構成されており、研究会の開催（年1回程度）、会誌「四国民俗」の発行（年刊）、資料の調査研究等を行っている。

●阿波魚類研究会

魚類に興味・関心のある徳島県内の研究者や愛好家によって主に構成されており、総会の開催（年1回程度）や、県内の魚類に関する調査・研究、観察会等を行っている。

●徳島博物同好会

陸棲無脊椎動物に興味・関心のある徳島県内の研究者や愛好家によって主に構成されている。阿波学会に「クモ類・貝類班」として参加、調査を行うとともに、調査結果を阿波学会紀要にて報告している。

6. 博物館ネットワーク

(1) 四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部

四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部は、四国地区の博物館及び相当施設の連絡・協議組織で、現在74館（園）が加盟している。4県が持ち回りで2年ずつ会長・事務局をつとめることになっており、令和6～7年度は当館が会長館をつとめている。

7年度の役員会・総会等は、次のとおり開催された。

●7年度役員会・総会等

①役員会

日時：9月17日（水）13：00～13：45

会場：徳島県立博物館3階講座室

議題：令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告
令和7年度事業計画及び予算その他

②総会

日時：9月17日（水）14：00～14：45

会場：徳島県立博物館3階講座室

議題：令和6年度事業報告、決算報告及び監査報告
令和7年度事業計画及び予算その他

③講演

日時：9月17日（水）15：00～16：15

会場：徳島県立博物館3階講座室

演題：「博物館が『未来への責任』を果たすために
～改正法施行後の状況から考える～」

講師：半田昌之氏（日本博物館協会専務理事）

③研修会

日時：9月18日（木）9：40～10：50

会場：徳島市立徳島城博物館 講座室

報告：「ユニバーサルミュージアム事業について」

講師：竹内利夫氏（徳島県立近代美術館）

報告：「台湾との交流について」

講師：長谷川賢二（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館）

④視察

日時：9月18日（木）11：00～12：00

場所：徳島市立徳島城博物館

内容：「徳島城博物館の沿革・取り組みについて」

根津寿夫氏（徳島市立徳島城博物館）

「常設展および企画展の見学」

岡本佑弥氏（徳島市立徳島城博物館）

(2) 徳島県博物館協議会

徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立された。設立当時31館であった加盟館は、その後増減を経て、8年3月末現在では50館になっている。当館が事務局をつとめている。

●令和7年度事業

①役員会の開催

6月25日（水） 徳島県立文書館

2月25日（水） 徳島県立近代美術館

②総会の開催

日時：6月25日（水）15：00～16：50

場所：徳島県立文書館

議事：令和6年度事業報告及び決算報告

令和6年度監査報告

令和7・8年度役員選出

令和7年度事業計画及び予算その他

研修：徳島県立文書館の取組み、徳島県立文書館
第72回企画展「徳島と博覧会」展示解説、
徳島県立文書館収蔵庫案内

案内：横井尚徳氏（徳島県立文書館）、嵐大二郎
氏（徳島県立文書館）、関 麻希氏（徳島
県立文書館）

参加者：37人

③加盟館園の職員状況と入館者数一覧の作成・配布

④徳島県博物館協議会ニュース No.78～80 を発行・配布

⑤研修会の開催

日時：11月7日（金）13：30～16：00

場所：徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課美波庁舎、日和佐うみがめ博物館 カレッタ

研修：日和佐うみがめ博物館カレッタの取組、日和佐うみがめ博物館カレッタの視察

説明・案内：平手康市氏（日和佐うみがめ博物館 カレッタ）

参加者：22人

⑥博物館アワカルト講座の開催

第1回 共通テーマ「生と死」

日時：5月17日（土）13：30～16：00

会場：海陽町海洋自然博物館マリニジャム

竹ヶ島のサンゴの生と死

木村素子氏（海陽町海洋自然博物館マリニジャム）

生と死への祈り

大塩啓一郎（徳島県立博物館）

クモの多様な生と死の世界

鈴木佑弥（徳島県立博物館）

第2回 共通テーマ「文と武」

日時：6月1日（日）13：30～16：00

会場：徳島県立文書館 講座室

武田神全塾・学問と交流

金原祐樹氏（徳島県立文書館）

武士の「武」

根津寿夫氏（徳島市立徳島城博物館）

篠崎小竹と大塩平八郎—徳島藩家老稲田家ゆかりの大坂人—

松永友和（徳島県立博物館）

第3回 共通テーマ「博物館の表と裏」

日時：8月30日（土）13：30～16：00

会場：徳島県立博物館 講座室

はじめての企画展「モンゴルのフィールドワーカー 鳥居きみ子」をふりかえる

小林篤正（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館）

「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」展について

久米千裕氏（徳島県立近代美術館）

脊椎動物展示の表と裏

井藤大樹（徳島県立博物館）

第4回 共通テーマ「光と闇」

日時：10月5日（日）13：30～16：00

会場：美郷ほたる館 多目的ルーム

「板東俘虜収容所」と捕虜政策の“光と闇”—近代日本はいかに変わったのか？—

長谷川純子氏（鳴門市ドイツ館）

光に逃げた夫と闇に残された妻—考古学的視点でみる黄泉の国神話—

村田昌也氏（徳島市立考古資料館）

光と闇に生きる昆虫

外村俊輔（徳島県立博物館）

(3) 人権資料・展示全国ネットワーク

人権資料・展示全国ネットワーク（略称「人権ネット」）は、人権確立のための研究、教育、啓発に寄与することを目的に、人権に関する資料の収集保管、調査研究、展示等を行う博物館、資料館、人権センター、研究所等により、平成8年に結成された。現在、30機関・団体が加入している。

7年度は、津市の三重県人権センターで第30回総会、松阪市の松浦武四郎記念館でフィールドワークが行われた（11月27日（木）～28日（金））。

(4) 西日本自然史系博物館ネットワーク

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワークは、平成12～13年度に文部科学省の委嘱を受け行われた環瀬戸内地域自然史系博物館ネットワーク推進事業の継承と発展を図るため、大阪市立自然史博物館及び兵庫県立人と自然の博物館の主導により、個人参加によるゆるやかな連携組織として16年4月27日に設立された。博物館学芸員及び関係者150人が参加している。

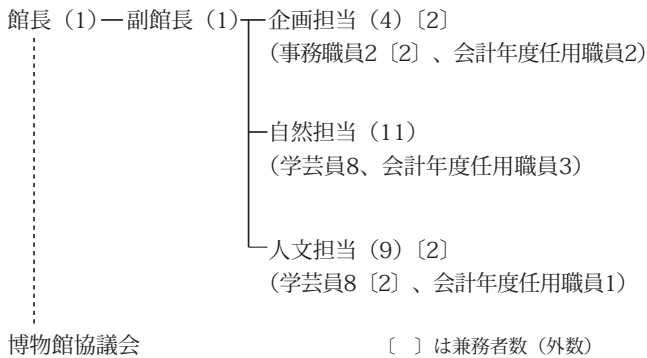


博物館アワカルト講座「博物館の表と裏」

VIII 管理運営・マネジメント

1. 組織・職員

(1) 組織図（令和8年4月1日現在）



(2) 職員名簿（令和8年4月1日現在）

館長	戸川 美史
副館長	中澤 晴子
〈企画担当〉	
課長補佐	近藤 玲（考古） （鳥居龍蔵記念博物館課長補佐本務）
係長	丸山 直生
〃	佐々木奏美
主査兼係長	小川 明子（二十一世紀館主査兼係長本務）
会計年度任用職員	荒川 範子
〃	細川 香菜
〈自然担当〉	
課長	茨木 靖（植物）
上席学芸員	中尾 賢一（地学）
〃	辻野 泰之（地学）
主任	井藤 大樹（動物）
主任学芸員	小布施彰太（地学）
〃	鈴木 佑弥（動物）
〃	外村 俊輔（動物）
〃	内藤 芳香（植物）
会計年度任用職員	宮田正友美
〃	宗像 史恵
〃	宮本 真愛
〈人文担当〉	
課長	庄武 憲子（民俗）
上席学芸員	磯本 宏紀（民俗）
専門学芸員	松永 友和（歴史）

主 席	大橋 俊雄（美術工芸）
〃	長谷川賢二（歴史）
主 任	小林 篤正（歴史） （鳥居龍蔵記念博物館主任本務）
主任学芸員	坂東 泰（歴史） （鳥居龍蔵記念博物館主任学芸員本務）
〃	松浦 靖也（美術工芸）
学 芸 員	大塩啓一郎（考古）
〃	矢野 大輔（歴史）
会計年度任用職員	峯 綾乃

(3) 人事異動

〈令和8年4月1日付、転入者のカッコ内は前職〉

転 出：	植地 岳彦・室長補佐、文化振興課文化資源活用室課長補佐（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター派遣）へ 鉄谷雅史・係長、牟岐町立牟岐中学校教諭へ
転 入：	近藤 玲・課長補佐（文化資源活用課課長補佐） 佐々木 奏美・係長（徳島市大松小学校教諭）

(4) 令和7年度会計年度任用職員

荒川 範子	（令和7.4.1～8.3.31）
藤重 芽里	（令和7.4.1～8.3.31）
宮田正友美	（令和7.4.1～8.3.31）
宗像 史恵	（令和7.4.1～8.3.31）
小林 亮介	（令和7.4.1～8.3.31）
峯 綾乃	（令和7.4.1～8.3.31）

2. 予算

2月現計予算額（2月補正後の予算額）を下に示す。

●令和7年度博物館費（2月現計予算額）（単位：千円）	
予算総額	94,593
管理運営	8,929
展覧	6,419
調査研究	1,918
収集保存	15,056

普及教育	1,431
文化の森アドベンチャー事業	33,640
日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業	27,200

3. 文化の森の連携事業

(1) 文化の森全館連携事業

文化の森全館でのイベントとして、5月5日の「文化の森こどもの日フェスティバル」、8月11日の「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日の「文化の森秋祭り」、2月11日の「文化の森ウィンターフェスティバル」を開催した。

(2) 文化の森開園 35 周年記念事業

7年度に文化の森は開園 35 周年を迎えたことから、文化の森 6 館による夜間の共同イベント「文化の森よるあそび」(9月19日)を行った。博物館ではその一環として「とくしまナイトミュージアム」を開催した。
なお、博物館では企画展「タイムトリップ 中世！一くらしのモノがたりー」、「ポケモン化石博物館 (好奇心を満たす旅「文化の森」アドベンチャー事業)」を開園 35 周年の主たる事業と位置づけて開催した。

(3) 文化の森学習応援事業

学校の長期休業期間にあわせ、学習場所として環境の整っている博物館、近代美術館、図書館、文書館、二十一世紀館の貸館スペースを学習室として開放した。

4. 文化の森長寿命化事業

施設の長寿命化に向けた取り組みを計画的かつ効率的に行うため、中長期保全計画にもとづき令和 6 年度より事業を推進している。
7年度は、企画展示室等の照明設備の更新についての検討と常設展示室コミュニケーションゾーンの壁紙張り替え作業を行った。

5. 防災及び危機管理

(1) 防災及び危機管理体制

危機管理全般については、文化の森振興センターを中心に、文化の森全館の館長・副館長が協議しながら、

対応する体制を整えている。また、防災について、文化の森 4 館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、鳥居龍蔵記念博物館と文化の森の警備、設備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、非常時に備えている。

(2) 防災訓練

二十一世紀館を中心に行われた防火防災訓練(10月21日及び2月27日)に参加した。また、県組織として随時行われる各種訓練にも参加し、防災意識を高めた。

6. 博物館協議会

博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。

令和 7 年度は協議会を 1 回開催した。

● 7 年度博物館協議会

日時：10月10日(金) 14:00～16:00

会場：博物館講座室

議事：①令和 6 年度事業実施状況について

②令和 7 年度予算及び事業概要について

●徳島県立博物館協議会委員名簿

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区分	氏 名	役 職 等
学校教育	生駒 佳也	徳島県立阿南光高等学校教諭
社会教育	森脇 崇文	徳島市立徳島城博物館主査・学芸員
	福井 春菜	公募委員(徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター自然観察指導員)
	平川恵実子	鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授
学識経験	宮岡真央子	福岡大学人文学部教授
	徳原 香	株式会社あわわ めぐる、事業部編集長
	瀬戸 恵深	株式会社エフエムびざん放送部ディレクター
	町田 哲(会長)	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
	西 記代子(副会長)	四国大学文学部講師
家庭教育	森脇佳代子	阿南市立羽ノ浦小学校 PTA

7. 各種研修会への参加

当館に事務局を置く徳島県博物館協議会の総会・研修会のほかに、各種の研修会等に職員を派遣し、博物館職員としての意識改革と資質の向上に努めている。

●国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会（文化庁）

会 期：6月17日（オンライン開催）

参加者：植地岳彦、松浦靖也

●公開承認施設担当者会議（文化庁）

会 期：6月18日（オンライン開催）

参加者：植地岳彦、松浦靖也

●令和7年度日本博物館協会支部長会・参与会（（公財）日本博物館協会）

会 期：7月1日

会 場：黒田記念館（オンライン併用）

参加者：戸川美史

●第32回全国博物館長会議（文化庁・（公財）日本博物館協会）

会 期：7月2日

会 場：文部科学省講堂

参加者：戸川美史

●令和7年度（第11回）全国歴史民俗系博物館協議会年次集会

会 期：7月10日

会 場：香川県立ミュージアム

参加者：磯本宏紀、松永友和、松浦靖也、矢野大輔

●第73回全国博物館大会

会 期：11月19日～21日

会 場：大阪市中央公会堂

参加者：戸川美史

●第30回人権資料・展示全国ネットワーク総会

会 期：11月27～28日

会 場：三重県人権センターほか

参加者：矢野大輔

●全日本博物館学会・日本博物館協会 緊急合同フォーラム

会 期：12月15日（オンライン開催）

参加者：長谷川賢二、矢野大輔

●令和7年度市町村文化財専門職員等研修会（徳島県文化資源活用課）

会 期：2月18日（徳島市）

参加者：大塩啓一郎、矢野大輔

●令和7年度被災文化財対応基礎研修（独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター）

会 期：2月20～3月5日（オンライン開催）

参加者：矢野大輔

●第11回保存環境調査・管理に関する講習会 ニュウハクシミに関する講習会（独立行政法人国立文化財機構）

会 期：3月9日（オンライン開催）

参加者：植地岳彦

●第19回四国ミュージアム研究会

会 期：3月15～3月16日

会 場：宇多津町保健センターほか

参加者：磯本宏紀、小林篤正、鈴木佑弥、松浦靖也、矢野大輔

8. 視察等博物館関係来訪者

6月 5日 山形県みらい企画創造部 相田健一氏
ほか

6月11日 蜂須賀正子氏

6月14日 京都芸術大学 梅崎由起子氏

6月15日 文京学院大学 川越仁恵氏

6月27日 立命館大学 中村豊氏

8月11日 兵庫県立歴史博物館 藁科宥美氏

9月19日 名古屋市博物館 深谷 淳氏ほか

9月24日 福井県立歴史博物館 乾 陽子氏、伊藤大生氏

10月 8日 愛媛県立総合科学博物館 和田英夫氏
ほか

11月21日 安芸市立歴史民俗資料館 浜渦美智氏
ほか

12月 3日 桑名市博物館 杉本竜氏、刈谷市歴史博物館 永井優香子氏

IX 中期活動目標と自己評価

1. 中期活動目標（令和 6 年 3 月 12 日策定）

生涯学習社会の進展等、博物館を取り巻く状況の大きな変化を受け、博物館活動の基本である資料の収集・保存や調査研究、展覧、普及教育等の事業に加えて、近年は、学校教育の支援や社会貢献、博物館活動への県民参画等、新たな課題への取り組みが求められるようになってきた。その一方で、財政状況悪化による運営予算の削減、事業評価、及び公的施設の運営の見直し等がすすめられるようになってきた。

こうした状況の変化を踏まえ、徳島県立博物館では平成 16 年度以来、4 期 20 年間（第 1 期：平成 16 ～ 20 年度、第 2 期：21 ～ 25 年度、第 3 期：26 ～ 30 年度、第 4 期：31 ～ 令和 5 年度）にわたり、中期活動目標とそれにもとづく点検・評価を行いながら、事業の改善と活性化をすすめてきた。

ちょうど、第 1 期活動目標にもとづく活動が終わる 20 年度、博物館法が改正され、運営状況の評価と運営の改善に必要な措置を講ずるための努力義務に関する内容が盛りこまれた。また、第 2 期目標にもとづく活動をすすめていた 23 年度には、文部科学省から「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、博物館運営の点検・評価の実施とそれにもとづく改善、それらの内容の公表について努力するよう求められた。こうした法制面での動向からも、徳島県立博物館における中期活動目標の策定・運用は適切な取り組みといえることができ、今後も継続的に推進することが必要だと考えられる。

近年では、社会教育施設である博物館の役割は広がりつつあり、観光や地域への貢献等も期待されている。令和 4 年度には博物館法が改正され、国際博物館会議（ICOM）（注 1）プラハ大会では新たな博物館の定義が採択された。このように博物館を取り巻く状況は大きく変わりつつあり、求められる役割も多様化・高度化していると言える。だからこそ、これまで以上に、地域に根差し、学術的な裏付けのある資料収集・保存や調査研究といった、しっかりとした土台を保つことで、良質かつ多面的なサービスの実現、求められる役割への対応が可能になると考えられる。

令和 5 年度をもって第 4 期活動目標の期間が終了したことから、これまでの成果を踏まえて、ここに第 5 期目標（6 ～ 10 年度）をまとめた。

（注 1）

国際博物館会議（ICOM）プラハ大会で採択された「博物館の定義」の日本語訳（ICOM 日本委員会による）は次のとおりである。

博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。

(1) 第 4 期中期活動目標の総括

中期活動目標にもとづく事業改善と活性化に取り組むようになった平成 16 年度以来、事業の目標が明確に可視化されるとともに、達成度が客観的に示されるようになり、事業の課題や問題点を明らかにすることができるようになった。情報を共有することで、職員の意識改革をすすめ、利用者にとって満足度の高いサービスを提供できるよう努めてきた。

第 2 期活動目標では、第 1 期の経験を活かし、徳島県立博物館の基本理念及び基本的性格（注 2）を再確認しながら、「県民とともに」を基調とする博物館の使命（存在意義や役割）をまとめたうえで、個々の事業やその目標、評価指標を位置づけることにした。

基本理念及び基本的性格と、使命とを一体化した形で、事業の目指すべき方向を明確にしたのが第 2 期の特徴で

あり、これにあわせて評価指標等の見直しも行い、より丁寧な点検・評価をすすめることができた。ただ、基調とした「県民とともに」を推進するには、さらに意識的な方向付けが必要と考えられ、課題を残すことになった。

これを受け、第3期では、「県民とともに」を確かなものとするため、使命の再検討を重点的にを行い、新たに「『連』県民とのつながりを大切にする博物館」を加えることで、博物館の発信力を強化して、県民とのコミュニケーションの充実に力を注ぐ方針を明確にした。また、これに伴い、事業区分を再編することにし、「県民協働・参画」を新たに設けることにした。その他、各事業の目標や評価項目、指標等についても、実情を踏まえた点検・評価によって博物館活動のステップアップを図った。

第4期では、第3期の「県民とともに」の基本路線の重視・継続を図り、より一層の「県民協働」の深化を模索した。公募型ボランティア、恐竜化石発掘調査、常設展示室 IPM（総合的有害生物管理）調査等がその代表例である。ただ、令和元年度から5年度にかけての新型コロナウイルス感染症の流行とそれにとまなう様々な制約により、各事業における連携や交流をとまなう活動は縮小を余儀なくされた。

そうしたなかでも、第4期中には常設展のリニューアルを行い、令和3年8月より運用を開始した。リニューアルした常設展は、「徳島まるづかみ―いのち」と「とき」のモノ語り―」をコンセプトとし、徳島の自然、歴史、文化を概観できるものである。この常設展リニューアルのプロセスでは、県民参画型ワークショップの開催や県民との協働による展示等、県民とともに事業を展開し、ハード面の整備を進めた。今後は、これまでの「県民とともに」の基本路線の一層の深化に加え、博物館という拠点を活かし、地域との連携や交流をすすめることが求められている。

（注2）

「徳島県立博物館の基本理念及び基本的性格」とは、「徳島県立博物館基本構想」（昭和59年1月）に示され、博物館の活動目標・指針となってきたものである。その内容は次のとおりである。

〈基本理念〉

①郷土に根ざし世界に広がる博物館

徳島の自然、歴史、文化の資料を総合的に展示し、全国的・世界的なかかわりについても理解できる施設

②開かれた博物館

博物館の活動に県民のだれでもが参加でき、楽しみながら学び、考え、豊かな知識を高めることのできる施設

③研究を大切にする博物館

学術的な調査研究、資料の収集を通して、常に新しい展示と情報を広く提供する施設

④文化財を守り自然の保全をめざす博物館

県民の貴重な文化的資料を永久に保管するとともに、文化財と自然の保護に努める施設

〈基本的性格〉

①人文科学（考古、歴史、民俗、美術〈近代美術を除く〉）・自然科学（動物、植物、地学）の両者が有機的に結びついた総合博物館とします。

②収集保存、調査研究、展示、普及教育の4つの機能を備え、本県の文化、学術、教育および生涯学習センターとしての役割を果たします。

③国内外の博物館、研究機関等と緊密な協力体制をとります。また、文化の森総合公園に建設が予定されている民家資料展示場、植物園等の施設はもちろん、県内の博物館、博物館相当施設、類似施設等と相互協力し、その中核的博物館としての性格をもつものとします。

（2）第5期中期活動目標の策定の経緯

近年、予算の減少や施設の老朽化、設備の長寿命化等の運営上の問題に加え、少子高齢化や縮小社会の顕在化等、当館を含む博物館を取り巻く状況は厳しさを増している。また、ユニバーサル化や文化観光の推進等取り組むべき課題が増えている。

令和4年度には博物館法が改正され、令和5年4月1日に施行された。この改正では、他の博物館等との連携及び地域の多様な主体との連携・協力により、地域の活力向上に取り組むことが追加される等、博物館事業についての見直しが行われた。同法に新たに追加された内容は、これまでの当館の取り組みとも合致するものであるが、地

域の持続と活性化に貢献することが一層求められている。

そこで、第5期中期活動目標の策定にあたっては、これまで4期20年間の活動を振り返り、新たな時代にふさわしい使命及び活動目標についての検討を行った。その結果、これまでの「県民とともに」という路線を一層深化、発展させるとともに、地域の持続と活性化に貢献することを新たに使命に加えることとした。

(3) 徳島県立博物館の使命 ※ p.2 参照

徳島の自然、歴史、文化の交流拠点—だれもがつどえる博物館、楽しく学べる博物館—

徳島県立博物館は、世界的な視点を踏まえながら、徳島の自然、歴史、文化についての資料・情報にもとづき、体験と学びの場を創ります。また、県民のみなさんとともに活動し、地域の持続と活性化に貢献します。

「知」知と出会う博物館：展示、普及教育

博物館は、多様な資料・情報にもとづき、県民のみなさんが楽しく学べる場を創ります。

「探」地域の魅力を探る博物館：調査研究

博物館は、県民のみなさんとともに様々な資料を調べ、新たな地域の魅力を見つけます。

「伝」未来にまもり伝える博物館：資料の収集・保存と活用

博物館は、県民のみなさんとともに資料を集め、「みんなの宝」として受け継ぎ、未来にまもり伝えます。

「連」つながりを大切に、だれもがつどえる博物館：情報の発信と公開、県民協働・参画、シンクタンクとしての社会貢献

博物館は、県民のみなさんと連携し、だれもがつどえる場を創ります。

博物館では、効率的でバランスのよい運営を心がけながら、以上の使命を実現するため努力していきます。

(4) 第5期中期活動目標の推進方法

中期活動目標とは、使命を実現するために、今後5年間（令和6～10年度）の活動目標を事業ごとに定め、年度ごとに評価を行うとともに、事業改善につなげていくためのものです。その推進にあたっては次の点に留意する。

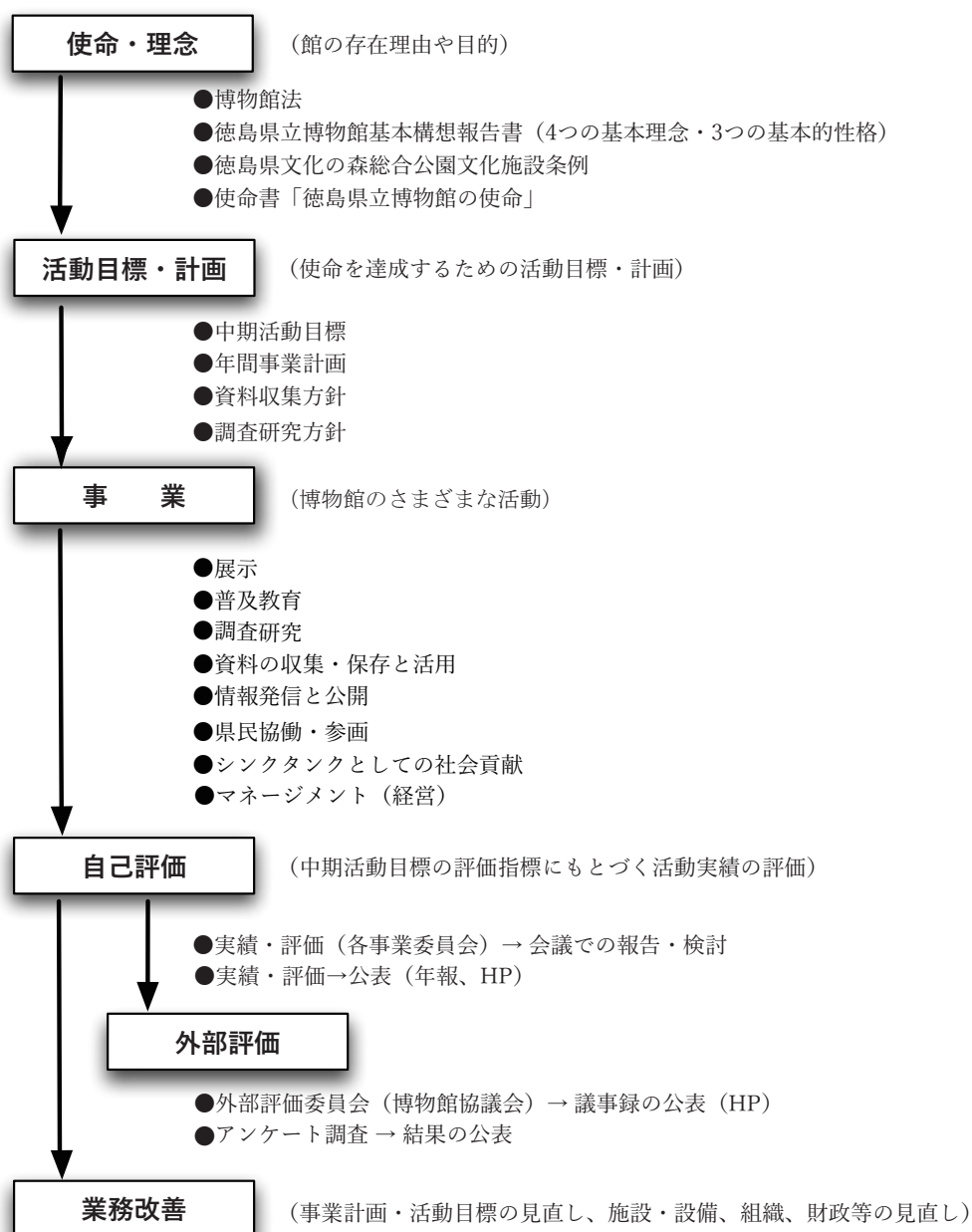
- ・中期活動目標は、博物館協議会に諮ったうえで公表する。
- ・それぞれの活動目標にもとづき、年度計画を立てて活動を推進する。
- ・年度末には活動実績の評価を行い、その結果を年報やホームページに掲載するとともに、次年度以降の活動計画に反映させる。
- ・活動実績及び評価の結果についての博物館協議会での議論を経て、外部評価意見としてホームページに記載するとともに、出された意見を次年度以降の活動の改善に役立てる。
- ・活動目標と評価指標・目標値については毎年度見直しを行い、必要があればより適切な形に改める。

(5) 事業別の中期活動目標と評価指標

徳島県立博物館の使命を実現するために行う事業は、次のとおりである。

- ・「知」知と出会う博物館：展示、普及教育
- ・「探」地域の魅力を探る博物館：調査研究
- ・「伝」未来にまもり伝える博物館：資料の収集・保存と活用
- ・「連」つながりを大切に、だれもがつどえる博物館：情報の発信と公開、県民協働・参画、シンクタンクとしての社会貢献
- ・効率的でバランスのよい運営：マネジメント（経営）

中期活動目標の推進手順



①展示

だれもが楽しく学び、新しい発見や体験ができるよう、実物資料や最新の情報にもとづき、県民のみなさんや関連機関と連携しながら、徳島及び関連する地域の自然、歴史、文化について幅広く展示します。(使命:「知」知と出会う博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
1-1 常設展の改善・充実	新しい資料の追加、研究成果の反映、展示技法の改善等により、常設展の改善・充実を図ります。	常設展観覧者数	年間の観覧者数	40,000人/年	
		観覧者の満足度	観覧者の展示内容に対する満足度	80%	
		展示替え回数	展示替え及びコレクション展示等の開催回数	10回/年	
		展示室内の改善・修繕の実施状況	設備等の改善・修繕状況及び展示補助具の追加・改善の状況		映像機器のメンテナンスを含む

70 中期活動目標と自己評価

1-2	魅力ある企画展の計画的開催	調査研究の成果を活かすとともに、県民のニーズを反映しながら、多様なテーマの企画展を計画的に開催します。	企画展観覧者数	1日あたりの観覧者数	自然 250人 総合 150人 人文 100人	
			観覧者の満足度	観覧者の展示内容に対する満足度	80% / 回	
			展示への注目度	マスコミ報道等件数	5件 / 回	
1-3	多様な展示の開催促進	企画展以外に、特別陳列等の多様な展示を開催します。	特別陳列等の開催回数	企画展以外の主催展示の開催回数	2回 / 年	常設展示室以外のロビー等における展示を含む
			特別陳列観覧者数	1日あたりの観覧者数	自然 300人 総合 200人 人文 100人	
			観覧者の満足度	観覧者の展示内容に対する満足度	80% / 回	特別陳列のみ
			展示への注目度	マスコミ報道等件数	5件 / 回	特別陳列のみ
1-4	他機関との共同による展示等の促進	文化の森内での共催展や館外での移動展等により、各種の展示を促進するとともに、県内の博物館等の施設を支援します。	文化の森内での共催展の開催回数	当館の関わりが補助的なもの	2回 / 年	
			移動展等館外での展示の開催回数	文化の森外の博物館等において当館を主催者に含む展示の開催回数	2回 / 年	
1-5	観覧者による展示理解への支援	展示解説等を行うことで、展示内容を観覧者にわかりやすく伝えます。また展示解説シートや企画展図録等を発行します。	展示解説等、展示内容を理解するための各種活動の実施状況			
			展示解説シート等の配布・設置状況			
			企画展図録等の発行状況	年間の刊行冊数	2冊	
1-6	県民との協働による展示の推進	県民との協働により、一層魅力のある展示を目指します。	県民との協働による展示の実施状況			

②普及教育

徳島及び関連する地域の自然、歴史、文化について、だれもが楽しく体験し、学ぶことができる多様な学習機会を創出するため、生涯学習を推進するとともに、学校や地域における教育を支援します。（使命：「知」知と出会う博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
2-1	だれもが参加しやすい普及教育事業の取り組み	だれもが参加しやすい普及教育事業の取り組み状況			
2-2	県民のニーズを反映した普及行事の開催	普及行事実施回数	主催する普及行事の実施回数	76回 / 年	学芸員数 (19) × 4件 / 年
		参加者の満足度	事後アンケートにおける満足回答者の割合		
		アウトリーチ活動数	他館との共催による普及行事(展示を除く)	5回 / 年	移動展の展示解説を算入する
2-3	県民との協働による普及行事の推進	県民との協働し、魅力あふれる普及行事を推進します。	県民との協働による普及行事の実施状況		県民からの協力を受けた行事を含む
2-4	学校や地域における教育への支援	学校や地域との連携・協働により、授業や研修、資料貸出、職場体験、遠足等の受け入れ、講演会や研修会等への講師派遣等を行い、地域の教育力の向上を支援します。	学校や地域における利用促進に向けた取り組み		
		出前授業及び館内授業件数	児童・生徒等を対象とした学校等及び博物館での授業	19件 / 年	学芸員数 (19) × 1件 / 年
		資料貸出件数	学校等への資料貸出	10件 / 年	
		研修件数	教員等を対象とする研修の受入		
		職場体験等件数	生徒等を対象とする職場体験等の受入		
		遠足件数			
		講師派遣等件数	7-2の講師派遣等件数のうち普及教育に係わるものの件数		
2-5	普及的記事の執筆推進	身近な自然、歴史、文化に関する理解を手助けするため、雑誌等への解説記事の執筆をすすめます。	普及的記事の執筆数	42件 / 年	学芸員及び企画担当職員数 (21) × 年2本
			博物館ニュースの発行回数	4回 / 年	

③調査研究

徳島及び関連する地域の自然、歴史、文化に関する新たな価値の発見のため、基礎的な調査研究及び博物館学的調査研究を、県民のみなさんや関連機関と連携しながら、全国的・世界的な視野で推進します。また、地域の魅力を発信するため、研究成果を展示や普及教育等の活動に還元します。（使命：「探」地域の魅力を探る博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
3-1 調査研究活動の推進	徳島及び関連する地域の自然、歴史、文化に関する基礎的な調査研究及び博物館学的調査研究を積極的にすすめます。	課題調査実施状況	課題調査として予算化された研究テーマ	2 件 / 年	
		計画的な個別調査研究の実施状況	課題調査以外の研究テーマの実施状況	57 件 / 年	学芸員数 (19) × 年 3 件
3-2 外部研究機関等との連携の推進	他の博物館や大学、研究団体、学会、研究者との共同研究を積極的にすすめます。	共同研究件数	他機関やアマチュア研究者との研究件数	15 件 / 年	
		共同研究プロジェクト件数	上記のうちプロジェクト化された共同研究の件数	4 件 / 年	科研費プロジェクト等の研究分担を含む
3-3 県民参画型調査研究の推進	博物館の調査研究活動に県民のみなさんが参画できるプロジェクトを企画し、実施します。	県民参画型調査の件数		2 件 / 年	
3-4 外部資金の獲得による調査研究事業の推進	研究補助金等を獲得し、研究活動の推進を図ります。	研究補助金等の申請・採択件数	科研費等公的な補助金及び民間の研究補助金等による競争的研究資金	申請 5 件 / 年 採択 2 件 / 年	科研費プロジェクト等の研究分担を含む
3-5 調査研究成果の公表	博物館の調査研究の成果を学術論文や学会発表、研究報告書の出版、インターネットでの公開、マスコミ等への資料提供を通じ公表します。	学術的著述数	年報「調査研究」本文の学術的著述の件数	38 本 / 年 (査読付き 6 本 / 年)	学芸員数 (19) × 年 2 本
		学会・研究会での発表件数	学会や研究会での口頭・ポスター発表の件数	38 件 / 年	学芸員数 (19) × 年 2 回
		研究成果のデジタルアーカイブ化	インターネットでの研究成果の公開	2 件 / 年	・ HP での研究報告掲載論文等の公開 ・ 調査データ等の HP 等での公開
		マスコミへの資料提供件数	5-1 の資料提供件数のうち調査研究に係わるものの件数	3 件 / 年	

④資料の収集・保存と活用

「みんなの宝」を未来に伝えるため、徳島及び関連する地域の自然、歴史、文化についての資料を県民のみなさんの協力のもと、全国的・世界的な視野で継続的に収集し、適切な環境のもとで保管します。また、収集した資料を地域の持続と活性化に資するものとするため、調査研究や展示で利用するほか、他の博物館や研究者等への貸し出しや提供を図り、幅広く活用します。（使命：「伝」未来にまもり伝える博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
収集					
4-1 継続的な資料の収集	資料収集方針にもとづき、採集・購入・寄贈等による継続的な収集をすすめ、バランスのとれた特色あるコレクションづくりを行います。	収蔵資料点数	R5 年度の収蔵資料点数実績 +20,000 点 (年 4,000 点 × 5 年)	R10 年度末までに 600,000 点	採集、購入、寄贈等による 収蔵資料の増加数を見込む
4-2 寄託資料の受入の促進	県内の貴重な資料の安全な保管と展示公開の促進を図るため、資料の寄託を受け入れます。	寄託資料件数			
		新規寄託件数		3 件 / 年	
4-3 文献資料の充実	資料を活用するうえで不可欠な文献資料の充実に努めます。	図書冊数	R5 年度の収蔵図書（雑誌類を除く）冊数実績 +500 冊（年100 冊 × 5 年）	R10 年度末までに 15,300 冊	寄贈、購入等による図書冊数の増加を見込む
		購入雑誌タイトル数			
保存					
4-4 収蔵資料の整理・登録の促進	収蔵資料の整理・登録をすすめるとともに、資料を適切に管理し、活用を図るうえで不可欠なデータベースの整備を図ります。	収蔵資料 DB 登録率	(DB 登録点数 / 収蔵資料点数) × 100	R10 年度までに 50% を目指す	
4-5 資料の安全な保存	薬剤の適切な使用と、収蔵庫等の資料保存環境における定期的な点検・清掃作業等を組み合わせて、資料保存に取り組みます。	燻蒸の実施	燻蒸回数	3 回 / 年	
		収蔵庫点検	点検回数	24 回 / 年	チェックリストに基づく点検
		展示室点検	点検回数	12 回 / 年	チェックリストに基づく点検
		企画展示室・歴史民俗収蔵庫の空気環境調査	空気環境の点検回数	2 回 / 年	
		新たな防虫・防菌対策の検討	検討実績		

72 中期活動目標と自己評価

4-6	収蔵スペースの確保	収蔵資料の増加に伴い、不足しがちな収蔵スペースの確保のための工夫をします。	収蔵スペースの狭隘対策状況及び他館の情報収集等			
活用						
4-7	展示における利用促進	収蔵資料の展示における利用・公開の促進を図ります。	展示利用点数	常設展、企画展等での利用点数		寄託資料の利用も含む
4-8	貸出等の促進	貸出や提供等による収蔵資料の活用を図ります。	資料特別利用等件数	学校への貸出（2-2 学校への資料貸出件数を参照）を除く	60 件 / 年	
4-9	資料収集保存活動に対する理解の促進	積極的な情報発信を行うことにより、資料収集保存活動に対する理解の促進を図ります。	マスコミへの情報提供・ホームページへの掲載・記事執筆等件数		19 回 / 年	学芸員数（19）× 1 回 / 年

⑤情報の発信と公開

博物館を有効に活用してもらうため、博物館活動に関する情報を多様なメディアを通じて発信します。また、多くの人に博物館活動への理解を深めてもらえるよう、情報発信を通じた交流を進めます。（使命：「連」 県民とのつながりを大切にする博物館）

中期活動目標の項目		中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
5-1	マスコミへの資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報を積極的に資料提供するよう努めます。	資料提供件数	マスコミに対して資料提供を行った数（月間催し物案内を含む）	30 件 / 年	
			マスコミ取材報道件数	新聞・雑誌等が取材・報道した数	100 件 / 年	
			マスコミ出演等件数	学芸員等がマスコミに出演した数	15 件 / 年	
5-2	広報活動の推進	広報関係出版物の内容改善、配布ルートの新規開拓等をすすめながら、広報活動を推進します。	年間催し物案内発送件数（発送回数）	年間催し物案内の発送先の件数（発送した回数）	600 件（1 回） / 年	
			月間催し物案内発送件数（発送回数）	月間催し物案内の発送先の件数（発送した回数）	各 80 件（12 回） / 年	
			博物館ニュース発送件数（発送回数）	博物館ニュースの発送先の件数（発送した回数）	各 1,100 件（4 回） / 年	
5-3	ホームページによる情報発信の推進	学芸員等による積極的な情報発信を促し、ホームページの充実を図ります。また、子どもから大人まで、さらに外国人や障がい者等、だれもが情報にアクセスできるよう努めます。	HP 総アクセス数	HP 上のすべてのコンテンツへの延べアクセス件数	10,000,000 件 / 年	
			HP の内容の更新回数	新たに作成したり更新したページの数	70 ページ / 年	
			ユニバーサルな視点による HP の改善	HP の内容改善に向けた取り組み状況		
			デジタルアーカイブ化の推進	新たに作成したり更新したページの数		
5-4	SNS による情報発信	情報発信の推進のため、SNS による情報発信を促進します。	SNS の投稿数	新規投稿回数	210 回 / 年	学芸員及び企画担当職員数（21）× 10 回 / 年
5-5	他機関との連携による広報の推進	他機関と連携し、より広範囲かつ多様な受け手への情報発信に取り組みます。	他機関との連携による情報発信の件数	文化の森各館、博物館関連団体、各種ポータルサイト、各種連携事業等を通じた情報発信の件数	15 件 / 年	

⑥県民協働・参画

県民の自主的な学びや地域活動の活性化を促進するため、県民のみなさんと一緒に活動し、だれもが互いにつながる拠点となることを目指します。（使命：「連」 つながりを大切にし、だれもがとどえる博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
6-1	友の会活動の充実と活性化	友の会会員数	友の会（個人・家族）の会員総数	250 人 / 年	R5 年度の会員数からの増加を目指す
		個人会員		50 人	
		家族会員		200 人（50 組）	
		会員の継続率	当該年度継続率	前年度会員の 70%	
		個人会員			
		家族会員			
		友の会行事実施回数		6 回 / 年	
		展示利用率	観覧者として入館した会員の割合	50%	

6-1	友の会活動の充実と活性化	友の会の指導・育成に努めるとともに、自主的な活動を支援し、友の会活動の充実、活性化を図ります。	個人会員			
			家族会員			
			延べ利用者数	観覧者として入館した会員の延べ人数		
			個人会員			
			家族会員			
			会報の発行回数		2回 / 年	
6-2	公募ボランティアとの協働の推進	県民との協働により各種事業を推進するため、ボランティアを公募し、博物館活動への参画を促します。	ボランティア登録者数		32人	各分野(7)及び企画担当(1)×4人
			ボランティア活動回数	会合等を含む活動の延べ回数	24回	2回 / 月
6-3	各種事業での県民協働の推進	県民との協働により、魅力ある展示や普及行事及び調査研究活動を推進します。	県民との協働により実施した展示、調査、普及行事等の実施件数		5件 / 年	1-6、2-3、3-3、6-2の該当分の再掲

⑦シンクタンクとしての社会貢献

博物館は、その活動を通じてさまざまな資源（資料・情報・学芸員の知識）を蓄積するシンクタンクです。地域の持続と活性化に貢献するため、県民への生涯学習支援や自治体及び各種機関・団体への協力等をはじめとして、博物館の蓄積した資源を活用します。（使命：「連」つながりを大切にし、だれもがとどえる博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
7-1	レファレンス利用者の拡大	レファレンス件数	レファレンス記録 DB における記録件数	500 件 / 年	
		周知状況	レファレンス業務の周知取り組み状況		
7-2	講師派遣等の推進	講師派遣等件数	学校等への出前授業を除いた講師派遣等の件数		普及教育に係わるものを「2-4 講師派遣等件数」に抽出 学校等への出前授業は「2-4 出前授業件数」を参照
		講演会等の受講者数			
7-3	自治体及び各種機関・団体への専門知識の提供	委員等受託件数	学会・博物館関連団体の委員等を除く		
		機関・団体等への協力状況			
7-4	大学教育への寄与	非常勤講師受託件数			
		学生・院生指導人数			
		博物館実習生受入人数			
		学芸員養成講座受講者数	3 科目（博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論）の延べ受講者数		
7-5	学会・研究会の運営への寄与	学会等開催数	学会・研究会の大会・例会・シンポジウム等の開催数		
		学会等役員受託数	学会・研究会における役員・委員等の受託数		
		学会等事務局受託数	当館が引き受けている学会・研究会の事務局数		
7-6	博物館施設の連携強化への貢献	博物館関連団体委員等受託数	博物館関連団体や他館の委員・役員等の受託数		
		博物館関連団体加入数	当館が加入している博物館関連団体の数		
		連携事業等の実施数	移動展・移動講座や他館との共催事業、資料保存等の支援の実施回数		

74 中期活動目標と自己評価

⑧マネージメント（経営）

長期的視野に立ち、博物館が地域の持続と活性化に一層貢献できる組織となるよう努めます。だれもが利用しやすい博物館とするため、施設の改善、博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討、職員の意識改革と専門的資質の向上を図ります。また、適切な博物館評価システムの運用等により、博物館活動の改善と活性化、利用者の増大を図ります。（使命：効率的でバランスのとれた運営）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
8-1 利用しやすい博物館をめざす施設の改善	わかりやすい案内表示やバリアフリー化、安全対策等に配慮し、高齢者や障がい者、外国人にとっても快適で安全な利用しやすい施設となるよう、日常的な点検・改善を行います。また、講座室の貸出を行い、博物館利用の機会を増やします。	点検・改善の状況			
8-2 博物館認知度の向上と利用者層の拡大	博物館活動の活性化と広報の強化により、県内及び近隣地域での博物館の認知度を高め、博物館利用者の範囲の拡大と利用者増に結びつけます。	県民の博物館利用状況			
		県外利用者の割合			
8-3 県民参画の仕組みづくり、博物館運営支援組織のあり方等の検討	友の会会員やボランティア等によるさまざまな博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討を行うとともに、友の会を母体とした博物館の運営支援組織のあり方について検討します。	ボランティア導入事業件数			
8-4 設置者による理解及び外部資金の獲得	博物館の使命、当館が果たしている幅広い役割等に対する設置者の理解を得るとともに、財政的支援等が得られるよう努力します。また、各種外部資金の獲得に努め、より効率的な運営を目指します。	博物館予算の状況			
		外部資金獲得数	申請件数、採択件数		
8-5 防災意識の向上と危機管理体制の強化	地震・津波等の自然災害や火災、盗難、負傷者の発生等に備え、文化の森各館と協力して防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。また、県内で発生する災害に対して、県内博物館同士の救援態勢や相互援助の体制を整備するよう検討します。	防災訓練の実施状況			
		危機管理体制の整備状況	収蔵庫の耐震化措置		
		地震、津波等広域災害時の救援体制確立			
8-6 職員の意識改革と資質の向上	職員一人ひとりが博物館の社会的役割及び当館の使命を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう意識改革と資質の向上を図ります。	国や博物館関係団体等による研修への参加件数		5 件 / 年	
8-7 博物館評価システムの運用	博物館活動の中期活動目標にもとづく自己点検評価、博物館協議会による外部評価、結果の公開という適切な博物館評価システムを運用するとともに、来館者アンケートを活用して博物館活動の改善に役立てます。	中期活動目標の状況			
		自己点検評価の状況			
		外部評価の状況			

2. 令和 7 年度実績と自己評価

(1) 展示

●中期活動目標及び 7 年度実績

中期活動 目標の項目		評価指標	指標の目標値	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績
1-1	常設展の改善・充実	常設展観覧者数	40,000 人 / 年	37,799 人	42,198 人	48,606 人
		観覧者の満足度	80%	99% (8～9 月)	96% (8～9 月)	99% (8 月)
		展示替え回数	10 回 / 年	19 回 (自然史コレクション 3 回、歴史・文化コレクション 4 回、県民コレクション 2 回、学芸員活動紹介コーナー 2 回、徳島セクション 7 回、ロビー等での小展示 1 回)	18 回 (自然史コレクション 3 回、歴史・文化コレクション 4 回、県民コレクション 2 回、学芸員活動紹介コーナー 2 回、徳島セクション 5 回、地球セクション 1 回、ロビー等での小展示 1 回)	20 回 (自然史コレクション 3 回、歴史・文化コレクション 5 回、県民コレクション 2 回、学芸員活動紹介コーナー 2 回、徳島セクション 5 回、地球セクション 1 回、ロビー等での小展示 2 回) (※同じ資料の場面替えは除く)
		展示室内の改善・修繕の実施状況		・映像コンテンツの制作 ・演出型ライティングシステムの導入 ・樹間標本タッチングコーナーの修繕 ・インクルーシブデザインワークショップの実施 ・ホームページ、Facebook、YouTube、X (旧Twitter)、Instagram 等での PR ・他館、各種団体等による視察対応 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各種対策 (5 類感染症への移行後は、それに即して対応)	・映像コンテンツの制作 ・「生物の多様性」の展示替え ・資料ラベルの英訳追記 ・中国語版解説パンフレットの作成 ・キッズスペースの安全確保 (転落防止柵の設置) ・ホームページ、Facebook、YouTube、X (旧Twitter)、Instagram 等での PR ・他館、各種団体等による視察対応	・「コミュニケーションゾーン」及び「地球セクション」の壁紙の張り替え ・専門業者による常設展 (「先史・古代の徳島」、「徳島の祭り」と芸能)、「徳島の自然とくらし」の展示資料の清掃 ・券売機の QR コード決済の導入 ・ホームページ、Facebook、YouTube、X (旧Twitter)、Instagram 等での PR ・他館、各種団体等による視察対応
1-2	魅力ある企画展の計画的開催	企画展観覧者数	自然 250 人 / 日 総合 150 人 / 日 人文 100 人 / 日	284 人 (かがやく生きもの:11,340 人、40 日) 59 人 (朱を求めて:1,895 人、32 日)	119 人 (海からどんぶらこ:4,767 人、40 日) 894 人 (トクシマ恐竜展:45,597 人、51 日)	669 人 (ポケモン化石博物館:49,535 人、74 日) 116 人 (タイムトリップ 中世!:4,521 人、39 日)
		観覧者の満足度	80%	97% (朱を求めて) 97% (かがやく生きもの)	96% (海からどんぶらこ) 97% (トクシマ恐竜展)	97% (タイムトリップ 中世!) 98% (ポケモン化石博物館)
		展示への注目度	5 件 / 回	5 件 (朱を求めて) 5 件 (かがやく生きもの)	9 件 (海からどんぶらこ) 10 件 (トクシマ恐竜展)	6 件 (タイムトリップ 中世!) 13 件 (ポケモン化石博物館)
1-3	多様な展示の開催促進	特別陳列等の開催回数	2 回 / 年	1 回 立体画像でみる地形と博物館資料	2 回 アットゥシと太布 板東俘虜収容所	1 回 こどもの世界
		特別陳列観覧者数	自然 300 人 / 日 総合 200 人 / 日 人文 100 人 / 日	179 人 (立体画像でみる地形:6,783 人、38 日)	140 人 (アットゥシと太布:6,981 人、50 日) 120 人 (板東俘虜収容所:1,195 人、10 日)	202 人 (こどもの世界:5,264 人、26 日)
		観覧者の満足度	80% / 回	94% (立体画像でみる地形)	99% (アットゥシと太布) 100% (板東俘虜収容所)	97% (こどもの世界)
		展示への注目度	5 件 / 回	1 件 (立体画像でみる地形)	6 件 (アットゥシと太布) 5 件 (板東俘虜収容所)	6 件 (こどもの世界)
1-4	他機関との共同による展示等の促進	文化の森内での共催展の開催回数	2 回 / 年	2 回 台湾世界を行く、文化の森人権啓発展	2 回 鳥居きみ子、文化の森人権啓発展	2 回 ポケモン化石博物館、中国西南部の旅人
		移動展等館外での展示の開催回数	2 回 / 年	3 回 勝浦町周辺の恐竜時代の地層と化石、君も植物学者になろう!、徳島大空襲	4 回 勝浦町周辺の恐竜時代の地層と化石、徳島大空襲、勝浦町の恐竜化石、海洋ごみに触れて考えてみよう!	6 回 勝浦町周辺の恐竜時代の地層と化石、日本植物学黎明期の研究家、美馬のちいさな生き物たち、徳島と世界の恐竜、戦後 80 年など (※飛び出せ!文化の森の 1 回も含む)
1-5	展示理解への支援	展示解説等、展示内容を理解するための各種活動の実施状況		企画展展示解説 6 回	企画展展示解説 5 回	企画展展示解説 3 回
				企画展関連行事 3 回	企画展関連行事 11 回	企画展関連行事 5 回
				特別陳列展示解説 6 回	特別陳列展示解説 2 回	特別陳列展示解説 3 回
					特別陳列関連行事 5 回	

76 中期活動目標と自己評価

1-5	展示理解への支援	展示解説等、展示内容を理解するための各種活動の実施状況		歴史・文化コレクション展示解説 8 回	歴史・文化コレクション展示解説及び関連行事 11 回	歴史・文化コレクション展示解説 13 回
					自然史コレクション展示解説 3 回	自然史コレクション展示解説 2 回
					県民コレクション展示解説 2 回	県民コレクション展示解説 5 回
						ロビー小展示等展示解説 4 回
						ホワイトボード展示展示解説 1 回
						移動展展示解説等 4 回
				クイズラリー 12 回	クイズラリー 12 回	クイズラリー 12 回
				キッズスペース活用イベント 14 回	キッズスペース活用イベント 23 回	キッズスペース活用イベント 24 回
				常設展活用イベント 5 回	常設展活用イベント 5 回	常設展活用イベント 5 回
		展示解説シート等の配布・設置状況		歴史・文化コレクション 5 件	歴史・文化コレクション 4 件	歴史・文化コレクション 5 件
1-6	県民との協働による展示の推進	県民との協働による展示の実施状況	2 冊	企画展図録 1 冊	企画展図録 2 冊 特別陳列（アイヌ工芸品展） 図録 1 冊 中国語版常設展示室解説パンフレット	企画展図録 1 冊
				徳島県立博物館展示案内 1 冊		
				県民コレクション「文化の森の植物」、「県民としらべる！徳島の魚」	特別陳列「アットウシと太布」、県民コレクション「樋口コレクション 八万町のガのひみつ」、「坂東コレクション：坂東治男氏が集めたクモたち」	県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション」、「博物館展示室の環境調査報告展」

●自己評価

(1 - 1) 常設展の改善・充実

- ・令和 7 年度の常設展観覧者数は 48,606 人であり、目標値（40,000 人／年）を上回った。なお、6 年度の常設展観覧者数は 42,198 人であり、6,408 人の増加であった。
- ・常設展観覧者数が増加した理由として、企画展「ポケモン化石博物館」（会期：10/4～12/28）開催にともなう増加（6 年 10～12 月では 7,195 人、7 年 10～12 月では 19,593 人、前年比で 12,398 人の増加）、遠足件数の増加（6 年度 162 件→7 年度 211 件）などが考えられる。
- ・なお、企画展「ポケモン化石博物館」については、アンケート結果によれば、来館者のうち 54%が県外居住者であった。このことから、当館を初めて訪れた来館者が、常設展も観覧した可能性が高い。
- ・8 月に常設展アンケートを実施した。観覧者の満足度は 99% と高く、目標値（80%）を上回った。
- ・展示替え回数は 20 回で、目標値（10 回）を大幅に上回った。内訳は、自然史コレクション 3 回（「ドイツの化石」、「東北の植物」、「魚類化石展」）、歴史・文化コレクション 5 回（「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚」、「戦後 80 年戦争の記憶を伝える」、「米とくらし」、「発掘！阿波の城」、「新出！断絶した人形座の資料」）、県民コレクション 2 回（「徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」、「学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展」）、学芸員活動紹介コーナー 2 回、徳島セクション 5 回（徳島恐竜コレクション 1 回、先史・古代の徳島 1 回、徳島のまつりと芸能 1 回、徳島の自然とくらし 2 回）、地球セクション 1 回（生物の多様性 1 回）、受付横やロビー等での小展示 2 回（「徳島県から新種発見！！」、「木下覺氏植物標本コレクション」）である。
- ・8 年 1 月に、常設展の「先史・古代の徳島」、「徳島の祭りと芸能」、「徳島の自然とくらし」のコーナーにおいて、学芸員による清掃が困難な箇所について、専門業者による清掃を実施した。
- ・8 年 1 月に、常設展の券売機に QR コード決済を導入した。
- ・8 年 3 月に、「コミュニケーションゾーン」及び「地球セクション」の壁紙の張り替えを実施した。
- ・6 年度に引き続き、ホームページや Facebook、YouTube、X、Instagram などを活用し、積極的に常設展の情報発信を行った。
- ・他館、各種団体等による視察に対応した。

(1 - 2) 魅力ある企画展の計画的開催

- ・7 年度は企画展 2 回（「タイムトリップ 中世！ーくらしのモノがたりー」、「ポケモン化石博物館」）を実施した。
- ・企画展の 1 日あたりの観覧者数は、「タイムトリップ 中世！」が 116 人（総観覧者数：4,521 人、開催日数：39 日）で、目標値（人文 100 人／日）を上回った。「ポケモン化石博物館」は 669 人（総観覧者数：49,535 人、開催日数：74 日）で、目標値（自然 250 人／日）を大幅に上回った。

- ・観覧者の満足度は、「タイムトリップ 中世！」が97%、「ポケモン化石博物館」が98%で、目標値（80%）を上回った。
- ・企画展への注目度の指標として、展示内容が報道された件数を取り上げている。「タイムトリップ 中世！」が6件、「ポケモン化石博物館」が13件で、目標値（5件）を上回った。
- ・企画展については、学術性、新規性、娯楽性等の諸要素をバランス良く取り入れた展示を、計画的に組み込むことを心掛けている。また、予算が少ない中で、外部資金の獲得や予算要求の方法を工夫することによって、展示内容や広報の充実を図ることを検討し、実施している。今後も多くの観覧者の満足を得られるよう、展示内容の工夫や効果的な広報に努めていきたい。

(1-3) 多様な展示の開催促進

- ・特別陳列等の開催回数は1回（「民俗資料にみる こどもの世界」）で、目標値（2回／年）に達しなかった。
- ・特別陳列の1日あたりの観覧者数は、「こどもの世界」が202人（総観覧者数：5,264人、開催日数：26日）で、目標値（人文100人／日）を上回った。
- ・観覧者の満足度は、「こどもの世界」が97%で、目標値（80%）を上回った。
- ・特別陳列への注目度の指標として、展示内容が報道された件数を取り上げている。「こどもの世界」が6件で、目標値（5件）を上回った。

(1-4) 他機関との共同による展示等の促進

- ・国立科学博物館との共催により、企画展「ポケモン化石博物館」を、また、鳥居龍蔵記念博物館との共催により、企画展「中国西南部の旅人—鳥居龍蔵と高原の少数民族—」を開催した。
- ・移動展や「飛び出せ！文化の森」をはじめとする館外での展示の開催回数は6回で、目標値（2回）を上回った。
- ・移動展を5回（サテライト展示「勝浦町周辺の恐竜時代の地層と化石」、美馬市立図書館「日本植物学黎明期の研究家～鴨島町出身の笠井文夫の足跡を辿る～」、美馬市立図書館「VIVA! 美馬のちいさな生き物たち」、勝浦町図書館「徳島と世界の恐竜×復元画」、徳島市立図書館「「戦後80年」戦争の記憶を次世代へ」）を開催した。また、二十一世紀館主催による「飛び出せ！文化の森」に協力して、「ゆめタウン徳島」において、博物館資料（おもに地学資料）を展示した。
- ・博物館とその他機関との連携による移動展等は、当館単独では難しい分野、資料、地域、施設での展示を可能にするため、引き続き実施していきたい。

(1-5) 展示理解への支援

- ・企画展の展示解説を3回、関連行事を5回、特別陳列の展示解説を3回、歴史・文化コレクションの展示解説を13回、自然史コレクションの展示解説を2回、県民コレクションの展示解説を5回、ロビー小展示の展示解説を4回、ホワイトボード展示の展示解説を1回、移動展の展示解説及び講演会を4回行った。
- ・子ども向け展示解説の一環として、クイズラリーを12回実施した。また、キッズスペースを活用した子ども向けイベント「こどもゆさん」を24回（12日間）実施した。
- ・文化の森全体で実施する比較的規模の大きい常設展活用イベントを4回実施した（「文化の森こどもの日フェスティバル」、「文化の森サマーフェスティバル」、「文化の森秋祭り」、「文化の森ウィンターフェスティバル」）。その他、コミュニケーションゾーン活用イベントを1回実施した（「藍の葉っぱで遊ぼう」）。
- ・歴史・文化コレクションの展示に合わせ、展示解説シート等を作成し、配布した。
- ・企画展図録を1冊（「タイムトリップ 中世！—くらしのモノがたり—」）発行した。目標値（2冊）に達しなかった。

(1-6) 県民との協働による展示の推進

- ・県民コレクション「徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」、「学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展」を県民と協働で開催した。

78 中期活動目標と自己評価

(2) 普及教育

●中期活動目標及び 7 年度実績

中期活動		評価指標	目標値	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績
目標の項目						
2-1	だれもが参加しやすい普及教育事業の取り組み	だれもが参加しやすい普及教育事業の取り組み状況		・社会福祉施設等による利用促進に向けた受入態勢の検討 ・子ども向けイベント「クイズラリー」や「こどもゆさん」の開催 ・SNS による広報の推進 ・専用フォームによる普及行事の申込の開始	・社会福祉施設等に対する観覧料免除適用の拡充等受入態勢の改善 ・「クイズラリー」や「こどもゆさん」の実施 ・SNS による広報の推進	・社会福祉施設等に対する観覧料免除の継続 ・「クイズラリー」や「こどもゆさん」の実施 ・SNS による広報の推進
2-2	県民のニーズを反映した普及行事の開催	普及行事実施回数	76 回 / 年	85 回	97 回	109 回
		参加者の満足度		93% (8 行事)	93% (12 行事)	93% (15 行事)
		アウトリーチ活動数	5 回 / 年	4 回	3 回	10 回
2-3	県民との協働による普及行事の推進	県民との協働による普及行事の実施状況		6 件（公募ボランティア 3 件、普及行事 3 件）	4 件（イベントボランティア 1 件、普及行事 3 件）	5 件（イベントボランティア 1 件、普及行事 4 件）
2-4	学校や地域における教育への支援	学校や地域における利用促進に向けた取り組み		・学校教育支援事業の学校向けチラシの配付 ・「教員のための博物館の日 in 徳島」の開催 ・「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の開催	・学校教育支援事業の学校向けチラシの配付 ・チラシやニュース等の電子データの送付 ・「教員のための博物館の日 in 徳島」の開催 ・「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の開催	・学校教育支援事業の学校向けチラシの配付 ・チラシやニュース等の電子データの送付 ・「教員のための博物館の日 in 徳島」の開催 ・「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の開催
		出前授業及び館内授業件数	19 件 / 年	36 件	43 件	33 件
		資料貸出件数	10 件 / 年	7 件	8 件	11 件
		研修件数		7 件	3 件	3 件
		職場体験等件数		7 件	11 件	7 件
		遠足件数		132 件（学校 75 件、社会福祉施設等 57 件）	162 件（学校 94 件、社会福祉施設等 68 件）	211 件（学校 116 件、社会福祉施設等 95 件）
		講師派遣等件数		36 件	47 件	57 件
2-5	普及的記事の執筆推進	普及的記事の執筆数	42 件 / 年	43 件	43 件	53 件
		博物館ニュース発行回数	4 回 / 年	4 回	4 回	4 回

●自己評価

(2 - 1) だれもが参加しやすい普及教育事業の取り組み

- ・遠足等での福祉施設からの利用促進のため、近年増加している社会福祉施設等の受け入れ態勢の改善を進めている。だれもが安心して利用してもらえるよう工夫しながら対応している。
- ・子どもたちに楽しみながら学んでもらえるよう、「クイズラリー」や子ども向けイベント「こどもゆさん」を継続して実施した。また、参加者をより増やすために「こどもゆさん」のあり方について検討を加えた。
- ・当館の取り組みを知ってもらえるよう、SNS (Instagram、X、Facebook、YouTube) を積極的に活用し、多様な人々へ普及行事等の広報に努めた。

(2 - 2) 県民のニーズを反映した普及行事の開催

- ・普及行事の実施回数は 109 回で、目標値 (76 回) を上回った。
- ・普及行事を 12 シリーズで実施した。分野やテーマによって参加者数は異なるが、全体を通じて、生物・地学・歴史に関する行事、屋外で実施する行事、ものづくりなどの活動をとまなう行事に、多数の申し込みがあった。
- ・普及行事に対する参加者の満足度は、93%であった。
- ・文化の森以外の施設で実施するアウトリーチ活動は 10 回で、目標値 (5 回) を上回った。海陽町立博物館での「海部自然・文化セミナー」が 3 回、「移動展関連行事」が 3 回 (徳島市立図書館 1 回、美馬市立図書館 2 回)、「飛び出せ！文化の森」ユニバーサルミュージアム推進事業が 4 回であった。

(2 - 3) 県民との協働による普及行事の推進

- ・イベントボランティアを公募し、「文化の森ウィンターフェスティバル」において、各種の催し物を実施した。
- ・普及行事については、「野外自然かんさつ」、「生きものしらべ隊」、「ミュージアムトーク」、「コレクションセクション関連行事」を県民との協働により実施した。今後も、県民との協働による運営を模索したい。

(2-4) 学校や地域における教育への支援

- ・学校教育における博物館の利用を促進するため、出前授業や資料貸出など、学校教育支援事業の内容を説明した学校向けチラシを校長会等で配付した。また、教育現場における DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展に伴い、6 年度の 9 月以降は県教育委員会を介して、県立学校の教員に対し、チラシやニュース等の広報物を電子データでも送付している。
- ・「教員のための博物館の日 in 徳島」を開催し、教員に対する博物館の活用促進を図った。また、鳥居龍蔵記念博物館との共催により、「令和 7 年度鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」を開催し、中学生・高校生による地域研究の取り組みを支援した。
- ・7 年度の出前授業及び館内授業件数は 33 件で、目標値(19 件)を上回った。その内訳は、徳島市が 14 件と最も多く、吉野川市 7 件、石井町 4 件と続く。校種別では、幼稚園 1 件、小学校 27 件、中学校 2 件、高等学校 3 件であった。授業の内容は、その半数が「かわる道具とくらし」（小学校 18 件）だった。また、「戦争と人びとのくらし」（小学校 2 件）、「昆虫について」（小学校 1 件、幼稚園 1 件）、「地層や化石について」（小学校 2 件、高校 1 件）も複数回実施した。「地層や化石について」のうち 1 件は、山梨県の高校の出前授業「地層・和泉層群の地層と化石産状の観察」を、兵庫県南あわじ市において実施したものである。
- ・7 年度の資料貸出件数は 11 件で、目標値（10 件）を上回った。
- ・7 年度の教員研修は 6 年度と同じ 3 件であった。
- ・7 年度の職場体験・インターンシップ等は 7 件で、6 年度より 4 件減少した。内訳は、中学校 5 件、高等学校 2 件であった。
- ・7 年度の遠足は 211 件（学校 116 件、社会福祉施設等 95 件）であり、6 年度の 162 件から 49 件増加した。
- ・学校 116 件については、校種別に未就学（幼稚園・こども園等）が 41 件、小学校 67 件、中学校が 2 件、高等学校が 6 件であり、6 年度の 94 件から 22 件増加した。
- ・社会福祉施設等 95 件については、6 年度の 68 件から 27 件増加した。
- ・学校や地域における教育への支援として、講師派遣等の件数を取上げている。7 年度は 57 件であった。

(2-5) 普及的記事の執筆推進

- ・普及的記事の執筆数は 53 件で、目標値（42 件）を上回った。
- ・「博物館ニュース」を 4 回発行し、目標値（4 回）に達した。

(3) 調査研究

●中期活動目標及び 7 年度実績

中期活動		評価指標	指標の目標値	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績
目標の項目						
3-1	調査研究活動の推進	課題調査等の実施状況	2 件 / 年	2 件 (外部との共同 2)	2 件 (外部との共同 2)	2 件 (外部との共同 2)
		計画的な個別調査研究の実施状況	57 件 / 年	56 件	65 件	77 件
3-2	外部研究機関等との連携の推進	共同研究件数	15 件 / 年	26 件	40 件	24 件
		共同研究プロジェクト件数	4 件 / 年	12 件	11 件	13 件
3-3	県民参画型調査研究の推進	県民参画型調査の件数	2 件 / 年	3 件	4 件	2 件
3-4	外部資金の獲得による調査研究事業の推進	研究助成金等の申請・採択件数	申請 5 件・採択 2 件 / 年	申請 9 (代表 5・分担 4)・採択 6 (代表 4・分担 2) (継続 5)	申請 5 (代表 2・分担 3)採択 2 (代表 2・分担 0) (継続 8)	申請 9 (代表 6・分担 3)採択 2 (代表 1・分担 1) (継続 8)
3-5	調査研究成果の公表	学術的著述数	38 本 / 年 (査読付き 6 本 / 年)	46 本 (査読付き 18)	49 本 (査読付き 13)	51 本 (査読付き 18)
		学会・研究会での発表件数	38 件 / 年	24 件	23 件	22 件
		研究成果のデジタルアーカイブ化	2 件 / 年	2 件	2 件	6 件
		マスコミへの資料提供件数	3 件 / 年	2 件	2 件	5 件

●自己評価

(3-1) 調査研究活動の推進

- ・課題調査として「西祖谷の神代踊再考—継承と再興に向けて—」を実施した。
- ・令和6年度までの「日本最古級恐竜化石含有層発掘調査・発信プロジェクト」を継承し、7年度より新たに「日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業」として実施した。
- ・課題調査等の合計件数は2件であり、目標値（2件）に達した。
- ・各学芸員が実施計画にもとづいた77件（目標値は57件〔学芸員数×3件〕）の個別調査研究を実施し、それぞれで成果を得た（p.28～31「分野別（個別）調査研究」を参照）。
- ・学芸員による館内公表会（セミナー）を3回実施した。

(3-2) 外部研究機関等との連携の推進

- ・他機関等の研究者との共同研究数は24件で目標値（15件）を上回った。
- ・共同研究プロジェクトとは、他機関や研究者等との共同研究のうち、予算的措置を伴う共同研究のことをさす。「西祖谷の神代踊再考—継承と再興に向けて—」、「日本最古級恐竜化石含有層の調査」、「鳴門海峡地域の地質図幅及び陸海シームレス地質情報集の作製のための調査」、「井藤正一日記の翻刻及び調査研究」、「フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発に関する調査研究」、「ラオスとベトナムのカルスト地における植物の多様性評価」の6件であった。また、科学研究費補助金（以下「科研費」）等による共同研究プロジェクトは、「移動する釣り漁民集団による海域ネットワークの歴史と変遷の解明と文化資源化」、「民族誌アーカイブズとフィールド調査の接合による植民地初期台湾の先住民族社会の探究」、「19世紀以降の東アジア世界における海藻の生産・流通・消費に関する総合研究」、「朝鮮海出漁資料からみた植民地社会の実態研究」、「日本列島における腐食性鱗翅目昆虫の適応放散と幼虫腸内フローラの網羅的解明」、「絶滅危惧植物の保全における博物館標本種子の利用可能性の評価」、「博物館と市民が共同で調査から研究成果の活用までを実施する活動のモデルケースの構築」の7件であった。合計13件で、目標値（4件）を大幅に上回った。

(3-3) 県民参画型調査研究の推進

- ・7年度の県民参画型調査は2件で、目標値（2件）に達した。「海流種子等の漂着状況に関する調査」、「日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業」を実施した。

(3-4) 外部資金の獲得による調査研究事業の推進

- ・7年度の研究助成金等による調査研究事業は、研究代表者として6件、研究分担者として3件、合計9件の申請をした（7年4月及び7年9月申請）。7年度の研究助成金等の新規採択は2件だった。ともに目標値の申請数（5件）、採択数（2件）に達した。新規採択の課題は、「博物館と市民が共同で調査から研究までを実施する活動のモデルケースの構築」と「湿地環境が水面性クモ類の生活史形質におよぼす影響の解明」である。
- ・6年度からの継続課題は、研究代表者として3件（「ナガレホトケドジョウにおける色彩多型の発現機構とその地理的分布成立過程の解明」、「移動する釣り漁民集団による海域ネットワークの歴史と変遷の解明と文化資源化」、「中世阿波の土器・陶磁器からみた地域文化・流通の基礎的研究」）、研究分担者として5件（「日本列島における腐食性鱗翅目昆虫の適応放散と幼虫腸内フローラの網羅的解明」、「民族誌アーカイブズとフィールド調査の接合による植民地初期台湾の先住民族社会の探究」、「19世紀以降の東アジア世界における海藻の生産・流通・消費に関する総合研究」、「朝鮮海出漁資料からみた植民地社会の実態研究」、「絶滅危惧植物の保全における博物館標本種子の利用可能性の評価」）で、それぞれ研究を遂行した。
- ・7年度は、6年度からの継続課題に新規採択の課題を加えると実施した課題は10件であり、活発な調査研究を推進できていると評価できる。今後も積極的な研究企画やネットワーク形成のための努力を継続していくことが重要である。
- ・研究課題については、博物館の特性を生かした課題（例えば、分野の枠を越えた共同研究や地域住民と連携した共同研究、博物館学に関連したもの等）を設定する等の工夫が必要である。

(3-5) 調査研究成果の公表

- ・学術論文数は52本（目標値：38件〔学芸員数×2〕）、うち査読付き論文は18本（目標値：6件）であった。学術論文数、査読付き論文数は、ともに目標値を大幅に上回った。
- ・学会・研究会での発表は22件だった。6年度より1件少なく、目標値（38件〔学芸員数×2〕）に達しなかった。学会・研究会への参加の奨励、参加のための旅費の確保が課題である。

- ・研究成果のデジタルアーカイブ化として、徳島県立博物館研究報告第36号の論文掲載と、「阿波市・美馬市脇町から新種のクモを発見『バンドウヤミサラグモ』として記載」、「徳島県の眉山と剣山から新種のガを2種発見『トガリゴマフシロハビロキバガ』、『ホソバゴマフシロハビロキバガ』として記載」、「徳島県牟岐町内妻川から発見された四国初記録の魚類（タメトモハゼ）について」、「令和7年度の発掘調査で新たに発見された恐竜化石2点について」、「四国初記録かつ分布の北限記録となる希少魚類（ハヤセボウズハゼ）の発見について」の6件をホームページに掲載し、目標値（2件）を上回った。
- ・マスコミへの資料提供は、「阿波市・美馬市脇町から新種のクモを発見『バンドウヤミサラグモ』として記載」、「徳島県の眉山と剣山から新種のガを2種発見『トガリゴマフシロハビロキバガ』、『ホソバゴマフシロハビロキバガ』として記載」、「徳島県牟岐町内妻川から発見された四国初記録の魚類（タメトモハゼ）について」、「令和7年度の発掘調査で新たに発見された恐竜化石2点について」、「四国初記録かつ分布の北限記録となる希少魚類（ハヤセボウズハゼ）の発見について」の5件であり、目標値（3件）を上回った。論文や学会発表等による成果についても、各分野で積極的に公表に努めた。

(4) 資料の収集・保存と活用

●中期活動目標及び7年度実績

中期活動		評価指標	目標値	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績
目標の項目						
収集						
4-1	継続的な資料の収集	収蔵資料点数	R10 年度末で 600,000 点	605,294	643,514	655,902
		新規資料増加点数	4,000 点	27,810	38,220	12,388
4-2	寄託資料の受入の促進	寄託資料件数		71	74	78
		新規寄託件数	3 件 / 年	0	3	4
4-3	文献資料の充実	図書冊数	R10 年度末で 15,300 冊	14,832	14,964	15,044
		購入雑誌タイトル数		31	31	31
保存						
4-4	収蔵資料の整理・登録の促進	収蔵資料 DB 登録率	50%	45.6%	44.4%	44.1%
4-5	資料の安全な保存	燻蒸の実施	3 回 / 年	3 回 (燻蒸庫 3)	3 回 (燻蒸庫 2+ 全室 1)	3 回 (燻蒸庫 1+ 移動式燻蒸庫 2)
		収蔵庫点検	24 回 / 年	自然 10 回 人文 9 回	自然 7 回 人文 9 回	自然 12 回 人文 10 回
		展示室点検	12 回 / 年	12 回	12 回	12 回
		企画展示室・歴史民俗収蔵庫の空気環境調査	2 回 / 年	パッシブインジケータなどによる空気環境調査を実施	ガス検知管などによる空気環境調査を実施	ガス検知管などによる空気環境調査を実施
		新たな防虫・防菌対策の検討			新たな燻蒸ガスの試用及び IPM 導入についての検討	新たな燻蒸ガスを使用した燻蒸 IPM 導入についての検討
4-6	収蔵スペースの確保	収蔵スペースの状況および他館の情報収集等		収蔵スペースの急激な切迫化。視察の実施。	収蔵スペースの急激な切迫化。視察の実施。	収蔵スペースの急激な切迫化。対策の検討
活用						
4-7	展覧における利用促進	展示利用点数		1,457	1,404	1,218
		常設展での利用点数		752	697	571
		常設展以外の展示での利用点数		705	707	647
4-8	貸出等の促進	資料特別利用等件数	60 件 / 年	58	59	79
4-9	資料収集保存活動に対する理解の促進	マスコミへの情報提供・ホームページへの掲載・記事執筆など	19 件 / 年	県民コレクション「県民としらべる！徳島の魚」などの展示で情報発信	展示や博物館ニュース、研究報告などで情報発信	展示や博物館ニュースなどで情報発信

●自己評価

(4-1) 継続的な資料の収集

- ・収蔵資料点数は、令和6年度末時点で643,514点であり、7年度末時点では655,902点となった。
- ・新規資料点数は、12,388点で、目標値(4,000点)を上回った。新規資料のうち特に多かったのが、植物の10,521点で、県民からの大規模コレクション(10,000点の木下コレクション)を一括して受け入れたためである。
- ・購入資料件数は7件(7点)であった。その内訳は、地学分野で5件(5点)、歴史分野で2件(2点)である。

いずれも1点あたりの購入金額が100万円未満のため、資料収集委員会は開催されなかった。

(4-2) 寄託資料の受入の促進

- ・新規寄託は4件で、目標値(3件)を上回った。

(4-3) 文献資料の充実

- ・図書及び雑誌は博物館の重要な資料の一部であり、調査研究や展示、普及教育活動などの状況の表れでもあるため、目標値を設定している。
- ・図書冊数は、15,044冊で、新規受入図書冊数は、80冊(内、寄贈26冊、購入54冊)であった。
- ・購入雑誌タイトル数は、31タイトルであった。

(4-4) 収蔵資料の整理・登録の促進

- ・収蔵資料のデータベースへの登録率は、記録を取り始めた平成16年度には40.0%であった。18年度から増加しはじめ、19年度以降、目標値(50%)にわずかに届かないレベルで推移した。29年度に登録率が50.0%となり、いったん目標値に達したものの、7年度は6年度に引き続いての大規模コレクションの受け入れに伴い、登録点数が289,512点、登録率が44.1%となり、目標値を下回った。

(4-5) 資料の安全な保存

- ・7年度は、燻蒸庫燻蒸を1回、移動式燻蒸車での燻蒸を2回実施し、目標値(3回)に達した。
- ・平成25年1月から、収蔵庫の定期点検を実施している。収蔵庫あるいは収蔵庫内の区画ごとに資料の安全な保管の強化に努めており、26年度以降、目標値(24回)を定めた。7年度は自然担当で12回、人文担当で10回の点検で、目標値に達しなかった。
- ・平成28年6月から、学芸員が月に1回程度常設展示室の点検を実施し、文化財害虫のモニタリングや、温湿度の計測を行っている。7年度は12回実施し、目標値(12回)に達した。
- ・6年度に引き続き、7年度も生物収蔵庫、歴史民俗収蔵庫及び特別収蔵庫で、ガス検知管による空気環境調査を2回実施し、目標値(2回)に達した。その結果、基準値以下であったが、有機酸の濃度の上昇が確認された。空気環境の適正化のため、生物収蔵庫、歴史民俗収蔵庫、生物液浸収蔵庫、特別収蔵庫1、地学収蔵庫でケミカルフィルターを交換した。
- ・開館から30年が経過し、資料保存に関する設備・機器についても老朽化が進んでおり、定期点検や修繕が必要になっている。温湿度の点検に使用しているデジタル温湿度計の湿度を、アスマン式通風乾湿計を用いて校正した。
- ・文化の森総合公園害虫等駆除及び防除業務は、平成26年度以降、検査範囲に常設展示室も加えている。7年度も引き続き、トラップ設置・害虫出現状況の調査を行った。
- ・寄贈や寄託を受けた資料のなかで、虫害が目立つもの、またその恐れがあるものについては、燻蒸庫燻蒸及び移動式燻蒸車での燻蒸に先んじて二酸化炭素を用いた殺虫処理を行っている。7年度は3回実施した。
- ・燻蒸用ガス「エキヒュームS」が令和7年3月末で販売停止となり、7年度より、燻蒸用ガスである「ヴァイケーン」を試用した。また、6年度に引き続き、IPMの導入について検討を進めた。

(4-6) 収蔵スペースの確保

- ・6年度に寄贈を受けた昆虫標本33,750点などに加え、7年度にも植物標本10,000点の大規模な資料の寄贈があり、収蔵スペースの不足は年々深刻な状況になっている。収蔵スペースを確保するために、置き場所の変更や収納の高密度化、収蔵ケースや容器の工夫などに努めているが、それにも限度がある。今後、研究者やコレクターの高齢化、少子高齢化に伴う家じまいなどによる、資料の受入要請の増加が予想される。資料の受け入れは慎重に行うとともに、引き続き具体的な対策を考えていきたい。

(4-7) 展覧における利用促進

- ・収蔵資料の活用状況を把握するための指標として、展示利用点数(館蔵資料と寄託資料の合計)を記録している。7年度の利用点数は1,218点(うち館蔵資料654点、寄託資料19点)であった。そのうち常設展(コレクションセクションなど)において571点(うち館蔵資料272点、寄託資料4点)、常設展以外の展示(企画展や特別陳列など)において647点(うち館蔵資料382点、寄託資料15点)の資料を利用した。

(4-8) 貸出等の促進

- ・収蔵資料活用の指標の一つとして、資料特別利用(収蔵資料の閲覧・貸出・模写・複製・撮影・出版物掲載など)等件数を設けている。これは、他館への展示のための貸し出しや研究者向けの資料の貸し出し、マスコミや出版

社への画像の提供などを含んでいる（学校への貸し出しは含んでいない。これについては〔Ⅱ普及教育〕を参照のこと）。7年度は79件で、目標値（60件）を上回った。なお、79件のうち、資料の貸し出しは18件、写真・映像の提供は61件であった。その他、外部から依頼を受ける資料調査にも数多く対応している。

（4－9）資料収集保存活動に対する理解の促進

- ・資料収集保存活動に対する理解を促進するため、様々な取り組みを行っている。7年度は、自然史コレクションにて3回（「ドイツの化石―水野吉昭氏のフンスリュック粘板岩の化石コレクション―」、「東北の植物」、「魚類化石展」）、歴史・文化コレクションにて5回（「阿波ゆかりの画家 守住貫魚・勇魚―あらたな寄贈資料を中心に―」、「戦後80年 戦争の記憶を伝える」、「米とくらし」、「発掘！阿波の城」、「新出！断絶した人形座の資料」）、県民コレクションにて2回（「徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」、「学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展」）、常設展示室におけるホワイトボード展示にて1回（「阿波市・美馬市から見つかった新種のクモ バンドウヤミサラグモについて」）、博物館常設展の受付横やロビー等にて2件（「徳島県から新種発見！！」、「木下覺氏植物標本コレクション」）、館外での展示・移動展にて1回（「VIVA! 美馬のちいさな生き物たち」）の展示をとおして資料の収集・保存などを紹介した。
- ・徳島県立博物館ニュースにおいて、「館蔵品紹介」として2件の記事を執筆した。また、県民から寄贈された大規模な植物標本コレクションについて、マスコミに向けて情報提供する（1件）とともに、県民が収集したクモ類標本について、ミュージアムトーク「ここまでわかった！徳島のクモたち」にて紹介し（1件）、資料収集保存活動に関する情報を発信した。資料収集保存活動に対する理解の促進に関する情報発信は計18回で、目標値（19回）に達しなかった。

（5）情報の発信と公開

●中期活動目標及び7年度実績

中期活動目標の項目		中期活動目標の内容	評価指標	目標値	5 年度実績	6 年度実績	7 年度実績
5-1	マスコミへの資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報を積極的に資料提供するよう努めます。	資料提供件数	30 件 / 年	23 件	27 件	33 件
			マスコミ取材報道件数	100 件 / 年	106 件	93 件	106 件
			マスコミ出演等件数	15 件 / 年	11 件	19 件	26 件
5-2	広報活動の推進	広報関係出版物の内容改善、配布ルートの新規開拓等をすすめながら、広報活動を推進します。	広報手段の新規開拓状況		チラシやポスターの有効な配布	チラシやポスターの有効な配布	チラシやポスターの有効な配布
			広報関係出版物発送状況				
			年間催し物案内発送件数（発送回数）	600 件（1 回） / 年	875 件（1 回）	1,028 件（1 回）	1,386 件（1 回）
			月間催し物案内発送件数（発送回数）	各 80 件（12 回） / 年	各 82 件（12 回）	各 79 件（12 回）	各 79 件（12 回）
			博物館ニュース発送件数（発送回数）	各 1,100 件（4 回） / 年	各 1,137 件（4 回）	各 1,181 件（4 回）	各 1,217 件（4 回）
5-3	ホームページによる情報発信の推進	学芸員等による積極的な情報発信を促し、ホームページの充実を図ります。また、子どもから大人まで、さらに外国人や障がい者等、だれもが情報にアクセスできるよう努めます。	H P 総アクセス数	10,000,000 件 / 年	12,321,021 件	14,812,262 件	25,467,571 件
			H P の内容の更新回数	70 ページ / 年	83 ページ / 年	73 ページ / 年	83 ページ / 年
			ユニバーサルな視点による HP の改善		・4 年度リニューアルした HP を引き続き運用した。	・4 年度にリニューアルした HP を引き続き運用した。	・4 年度にリニューアルした HP を引き続き運用した。 ・「ご利用案内（設備・サービス）」を改善した。 ・「こどもゆさん」でのイベント案内を随時行った。
			デジタルアーカイブ化の推進		23 点	33 点	34 点
5-4	SNS による情報発信	情報発信の推進のため、SNS による情報発信を促進します。	SNS の投稿数	210 回 / 年	109 回	201 回	168 回 (Facebook、X、Instagram 各 168 回)
5-5	他機関との連携による広報の推進	他機関と連携し、より広範囲かつ多様な受け手への情報発信に取り組みます。	他機関との連携による情報発信の件数	15 件 / 年		17 件 / 年	18 件 / 年

●自己評価

(5-1) マスコミへの資料提供等の推進

- ・令和7年度の資料提供件数は33件で、目標値(30件)を上回った。調査研究成果について資料提供を行ったことにより増加した。引き続き積極的に資料提供を行っていく必要がある。
- ・マスコミ取材報道件数は、新聞・雑誌によって取材・報道された件数である。7年度は106件で、目標値(100件)を上回った。当館の展示、調査研究等の事業が報道されたもののほか、マスコミによる取材に対するコメント等が報道された例も多い。
- ・マスコミ出演等件数は26件で、目標値(15件)を上回った。内容は、企画展や常設展コレクション展示等の展示に関するものや、調査研究成果の公表に関するものが多かった。

(5-2) 広報活動の推進

- ・7年度は従来の広報活動に加え、チラシやポスター等の配布先の新規開拓を行った。チラシやポスター等の配布先を企画展等のテーマにあわせて選定し、発送先に追加した。また、香川県東讃地区や兵庫県淡路地区の小・中学校、図書館等を定期的な発送先に追加した。
- ・広報関係出版物として、年間催し物案内を県内の小学校に在籍する全ての児童に配布するなど、学校教育機関へ重点的に配布したほか、社会教育機関、児童福祉施設、観光施設等に配布するなど、近年は発送件数を増加させてきた。
- ・年間催し物案内発送件数は、1,386件(1回)で、目標値(600件(1回))を大幅に上回った。香川県、兵庫県等への配布地域の拡大、保育所やこども園等への配布先の増加によるものである。
- ・月間催し物案内発送件数は、各79件(12回)で、目標値(各80件(12回))にわずかに達しなかった。報道関係機関と県内の図書館等に配布した。
- ・博物館ニュース発送件数は、各1,217件(4回)で、目標値(各1,100件(4回))を上回った。学校教育機関へ重点的に配布し、利用を促している。

(5-3) ホームページによる情報発信の推進

- ・7年度は、ホームページに年間で約2,547万件のアクセスがあり、目標値(1,000万件)を大幅に上回った。5・6年度と比較すると年間を通じたアクセス数の増加がみられ、とくに10月から12月にかけて顕著な増加がみられた。要因として企画展「ポケモン化石博物館」開催との関係が考えられる。
- ・ホームページの内容更新回数は83ページで、目標値(70ページ)を上回った。更新内容は、トップページのほか、普及行事予定、企画展・特別陳列・コレクション展示の案内、ボランティアの募集や活動記録、新規採用された学芸員の紹介、博物館ニュース・年報・研究報告のデジタル公開等である。
- ・6年度に引き続き、自宅で博物館を活用することができるコンテンツ「自宅で博物館を楽しもう!」を継続して提供した。
- ・多言語、文字の大きさや配色、読み上げツール等に対応した新しいホームページシステム(4年度運用開始)を7年度も引き続き運用した。また、「ご利用案内(設備・サービス)」の更新、「こどもゆさん」でのイベント案内の追加等の改善を進めた。
- ・徳島県文化の森デジタルアーカイブ構築事業として、館蔵資料34点のデジタルデータを、2年度より運用している「徳島県立博物館デジタルアーカイブ」サイトに追加した。

(5-4) SNSによる情報発信

- ・7年度はFacebookやX、Instagramの公式アカウントでの更新回数がそれぞれ168回で、積極的な情報発信に努めたものの、目標値(210回)を下回った。企画展「ポケモン化石博物館」では、特定のターゲット層を対象としたSNSによる情報発信を行った。また、YouTubeチャンネルに投稿する動画の制作を進めた。各アカウントともにアクセス数、フォロー数は順調に増加している。

(5-5) 他機関との連携による広報の推進

- ・他機関との連携による情報発信の件数は、18件で目標値(15件)を上回った。文化の森総合公園のHPやチラシ、徳島県立総合大学校まなびーあ徳島、各種ポータルサイトや広報誌等を通じて展示、普及行事等についての情報発信を行った。徳島県博物館協議会、四国地区博物館協議会、(公財)日本博物館協会、人権ネット、関西文化の日、くーぼん丸。等のネットワークや関係団体を通じた広報を行った。企画展「ポケモン化石博物館」では連携機関を通じた広報を行った。

(6) 県民協働・参画

●中期活動目標及び7年度実績

中期活動目標の項目	評価指標	目標値	5年度実績	6年度実績	7年度実績
6-1 友の会活動の充実と活性化	友の会会員数	250人/年	229人	247人	201人
	個人会員	50人	45人	39人	42人
	家族会員・家族数	200人(50組)	184人・53組	208人・60組	159人・45組
	会員の継続率	前年度会員の70%	73%	83%	73%
	個人会員		74%	80%	90%
	家族会員		72%	85%	62%
	友の会行事実施回数・参加者数	6回/年	7回・82人	7回・133人	6回・128人
	展示利用率	50%	60%(35%)	61%(32%)	64%(53%)
	個人会員		62%(22%)	64%(23%)	60%(45%)
	家族会員		58%(45%)	58%(38%)	69%(60%)
	延べ利用者数		332人(194人)	303人(173人)	275人(159人)
	個人会員		79人(50人)	61人(35人)	66人(45人)
	家族会員		253人(144人)	242人(138人)	209人(114人)
	会報の発行回数	2回/年	2回	2回	2回
6-2 公募ボランティアとの協働の推進	ボランティア登録者数	32人	イベントボランティア 26人	51人 (イベントボランティア 13人、 恐竜化石発掘ボラン ティア36人、 IPMボランティア2人)	49人 (イベントボランティア 13人、 恐竜化石発掘ボラン ティア35人、 IPMボランティア1人)
	ボランティア活動回数	24回	イベントボランティア 26回	68回 (イベントボランティア 15回、 恐竜化石発掘ボラン ティア41回、 IPMボランティア12回)	51回 (イベントボランティア 6回、 恐竜化石発掘ボラン ティア33回、 IPMボランティア12回)
6-3 各種事業での県民協働の推進	県民との協働により実施した展示・調査・普及行事等の実施件数	5件/年	12件	12件 (イベント1件、展示3件、 調査研究4件、 普及行事3件、 収集保存1件)	10件 (イベント1件、展示2件、 調査研究2件、 普及行事4件、 収集保存1件)

●自己評価

(6-1) 友の会活動の充実と活性化

- ・令和7年度の友の会会員数は201人で、目標値(250人)に達しなかった。個人会員は42人、家族会員は159人・45組で、ともに目標値(個人50人、家族会員200人50組)に達しなかった。
- ・会員の継続率は73%で、目標値(70%)を上回った。
- ・友の会行事の実施回数は6回で、目標値(6回)に達した。参加者数は128人であった。
- ・展示利用率は64%で、目標値(50%)を上回った。
- ・今後も、友の会活動が活性化するように、新規会員の獲得に向けてのPRや友の会行事の充実を図っていきたい。

(6-2) 公募ボランティアとの協働の推進

- ・ボランティア登録者数は49人で、目標値(32人)を上回った。
- ・ボランティア活動回数は51回で、目標値(24回)を大幅に上回った。
- ・平成17年度より実施しているイベントボランティアについて、7年度は13人(継続10人、新規3人)が登録し、各々活動に取り組んだ。
- ・イベントボランティア13人を生きもの班・地学班・考古班に分け、各班で班活動等を行い、ウィンターフェスティバルにおいてイベントを実施した。イベントボランティア全体及び班ごとの活動回数は、延べ6回であった。
- ・恐竜化石発掘ボランティアについて、7年度は35人の登録があり、活動回数は延べ33回であった。
- ・IPMボランティアについて、7年度は1人の登録があり、活動回数は延べ12回であった。

(6-3) 各種事業での県民協働の推進

- ・県民との協働による展示・調査・普及行事等の実施件数は10件で、目標値(5件)を上回った。
- ・県民との協働によるイベントは、2月11日の「ウィンターフェスティバル」(生きものトリアスロン、化石タッチング、おゆまるメンコであそぼう)の1件であった。

- ・県民コレクションの「徳島鉱石クラブコレクション：クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」、「学芸員のタマゴと調べた！博物館展示室の環境調査報告展」の2件の展示について、県民との協働により開催した。
- ・調査研究については、「日本最古級恐竜化石含有層の調査・文化観光活用事業」、「漂着物の調査」の2件を県民との協働により実施した。
- ・普及行事については、「野外自然かんさつ」、「生きものしらべ隊」、「ミュージアムトーク」、「コレクションセクション関連行事」の4件を県民との協働により実施した。
- ・資料の収集・保存については、常設展示室のIPM調査を大学生（学芸員資格取得中）と実施した。

(7) シンクタンクとしての社会貢献

●中期活動目標及び7年度実績

中期活動目標の項目	評価指標	目標値	5年度実績	6年度実績	7年度実績
7-1 レファレンス利用者の拡大	レファレンス件数	500件/年	265	575	404
	周知状況		HPへの記載	HPへの記載	HPへの記載
7-2 講師派遣等の推進	講師派遣等件数		33	47	57
	講演会等の受講者数		(848)	(1302)	(2310)
7-3 自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	委員等受託件数		19	33	32
	機関・団体等への協力状況		0	0	0
7-4 大学教育への寄与	非常勤講師受諾数		3	4	5
	学生・院生指導人数		0	0	0
	博物館実習生等受入人数		16(8大学)	14(8大学)	12(6大学)
	学芸員養成科目受講者数		95	140	203
7-5 学会・研究会の運営への寄与	学会等開催数		3	1	0
	学会等役員受託数		15	18	22
	学会等事務局受託数		4	5	5
7-6 博物館施設の連携強化への貢献	博物館関連団体委員等受諾数		11	15	14
	博物館関連団体加入数		6	6	6
	連携事業等の実施数		19	24	24
			移動展3回（かんきつテラス徳島、美馬市立図書館、徳島県戦没者記念館）、徳島県博物館協議会講演会・研修会、海陽町立博物館・福井県立恐竜博物館等との連携、博物館アワカルト講座	移動展4回（かんきつテラス徳島、あいばーと徳島、徳島県物産観光交流プラザ、県庁ふれあいセンター）、四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部講演会・研修会、徳島県博物館協議会講演会・研修会、海陽町立博物館・福井県立恐竜博物館等との連携、博物館アワカルト講座	移動展6回（飛び出せ！文化の森、かんきつテラス徳島、美馬市立図書館2回、勝浦町図書館、徳島市立図書館）、四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部講演会・研修会、徳島県博物館協議会講演会・研修会、海陽町立博物館・福井県立恐竜博物館等との連携、博物館アワカルト講座、姫路市科学館講演、賀川豊彦記念講演

●自己評価

(7-1) レファレンス利用者の拡大

- ・令和7年度のレファレンス件数は404件で、目標値（500件）に達しなかった。分野別の件数では、歴史が90件と最多であり、次いで植物が73件、考古が51件であった。職業別の割合では、一般からの問合せが234件(58%)で最多であり、次いでマスコミ・出版関係が109件（27%）と続いている。
- ・レファレンス業務は、博物館の蓄積した資源の有効活用の方法であり、シンクタンク機能の中核でもある。自然と歴史、文化に関する身近な相談所として博物館に親しんでもらえるよう、機会をとらえて周知を進めていく必要がある。

(7-2) 講師派遣等の推進

- ・7年度の講師派遣は57件で、依頼数は6年度の47件から10件増加した。
- ・派遣先の受講者数は、2,310人であった。

(7-3) 自治体及び各種機関・団体への専門知識の提供

- ・各種委員会等の委員等受託数は32件であった。
- ・委員等に委嘱されずに各種機関・団体への協力を求められることもあるが、公共性の高いものについては、レファレンス業務や講師派遣等により可能な範囲で対応していることが多い。

(7-4) 大学教育への寄与

- ・7年度の大学における非常勤講師の受託数は5件で、6年度より1件増加した。
- ・7年度の博物館実習生の受入人数は12人で、6年度に比べて2人減少した。
- ・7年度は、学生・院生の研究指導はなかった。
- ・県内で学芸員養成を行っている徳島大学、鳴門教育大学、四国大学の「博物館資料保存論」、「博物館教育論」、「博物館展示論」について、大学や近代美術館、文書館と協力し、博物館講座室を会場として共同開講した。7年度は、延べ203人を指導した。

(7-5) 学会・研究会の運営への寄与

- ・7年度は学会や研究会の当館における開催は無かった。
- ・学会等役員受託数は22件であった。
- ・学会等の事務局受託数は5件で、6年度と同数であった。

(7-6) 博物館施設の連携強化への貢献

- ・博物館関連団体の委員等受託数は14件であった。
- ・博物館関連団体加入数は6件で、6年度と同じである。これらのうち2件は当館が事務局を引き受けている。
- ・他館等との連携事業数は24件で、6年度と同数であった。7年度は移動展を6回開催した。また、当館が事務局を担当している四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部で講演会・研修会を、徳島県博物館協議会において研修会を実施した。福井県立恐竜博物館、海陽町立博物館など、県内外の博物館との連携事業を行った。また、徳島県博物館協議会の事業の一環として、博物館アワカルト講座を継続している。

(8) マネージメント（運営）

●中期活動目標及び7年度実績

中期活動目標の項目	評価指標	目標値	5年度実績	6年度実績	7年度実績
8-1 利用しやすい博物館をめざす施設の改善	点検・改善の状況		常設展示室・企画展示室の点検や見直し 講座室貸出1件	常設展示室・企画展示室の点検や見直し 講座室貸出1件	常設展示室・企画展示室の点検や見直し 講座室貸出1件
8-2 博物館認知度の向上と利用者層の拡大	県民の博物館利用状況 県外利用者の割合		常設展・企画展におけるアンケート調査 「朱を求めて」16% 「かがやく生きもの」15%	常設展・企画展におけるアンケート調査 「海からどんぶらこ」8% 「トクシマ恐竜展2024」30%	常設展・企画展におけるアンケート調査 「タイムトリップ中世!」31% 「ポケモン化石博物館」54%
8-3 県民参画の仕組みづくり、博物館運営支援組織のあり方等の検討	ボランティア導入事業件数		2件（公募ボランティア事業、恐竜化石発掘調査）	3件（イベントボランティア事業、恐竜化石発掘調査、IPMボランティア）	3件（イベントボランティア事業、恐竜化石発掘調査、IPMボランティア）
8-4 設置者による理解及び外部資金の獲得	博物館予算の状況 外部資金獲得数		2月補正後 87,037千円 （文化庁補助15,000千円含む） 申請10、採択6、継続5	2月補正後 67,149千円 （文化庁補助11,975千円含む） 申請5、採択2、継続8	2月補正後 94,593千円 申請9、採択2、継続11
8-5 防災意識の向上と危機管理体制の強化	防災訓練の実施状況 危機管理体制の整備状況 地震、津波等広域災害時の救援体制確立		自衛消防隊の防火防災訓練 10月17日 2月27日 新型コロナウイルス感染症拡大防止（5類感染症への移行後は、それに即して対応）	自衛消防隊の防火防災訓練 10月23日 3月12日 収蔵庫の耐震化、非常時体制の整理	自衛消防隊の防火防災訓練 10月21日 2月27日 凍結乾燥機を新規購入し、災害時の資料保存体制を強化した。
8-6 職員の意識改革と資質の向上	国や博物館関係団体等による研修への参加件数	5件/年	文化庁等の研修 被災文化財基礎研修他	文化庁等の研修 国宝・重要文化財防災・防犯対策研修会他(10件)	文化庁等の研修 国宝・重要文化財防災・防犯対策研修会他(14件)
8-7 博物館評価システムの運用	中期活動目標の状況 自己点検評価の状況		第4期中期活動目標の運用 4年度事業自己点検・評価を年報、HPに掲載	第5期中期活動目標の運用 5年度事業自己点検・評価を年報、HPに掲載	第5期中期活動目標の運用 6年度事業自己点検・評価を年報、HPに掲載

8-7	博物館評価システムの運用	外部評価の状況		博物館協議会 9月22日 2月2日（書面開催）	博物館協議会 9月24日	博物館協議会 10月10日
-----	--------------	---------	--	-------------------------------	-----------------	------------------

●自己評価

(8-1) 利用しやすい博物館をめざす施設の改善

- ・令和7年度の講座室の有料貸し出しは、1件であった。

(8-2) 博物館認知度の向上と利用者層の拡大

- ・7年度は、企画展「タイムトリップ 中世！一くらしのモノがたりー」、「ポケモン化石博物館」を開催し、アンケート結果によれば、県外利用者の割合はそれぞれ31%、54%であった。いずれも例年と比べ、県外利用者の割合が著しく高かった。その要因として、前者ではお盆の帰省による影響が考えられ、後者では県外の内訳は、香川県が突出して多く、愛媛県・高知県及び関西周辺の各県が上位を占めたことから、これらの各県では巡回展である本展が開催されなかったことが要因として考えられる。
- ・各種団体からの依頼により入館料の減免を行っている。7年度は24件であった。

(8-3) 県民参画の仕組みづくり、博物館運営支援組織のあり方等の検討

- ・イベントボランティアと職員の協働を継続し、「ウィンターフェスティバル」でのイベントなどを実施した。
- ・県民参画のあり方については、昨年度に引き続き公募ボランティアとして、恐竜化石発掘調査、IPM ボランティアの活動を行った。

(8-4) 設置者による理解及び外部資金の獲得

- ・外部資金は、日本学術振興会科学研究費補助金等公的な研究助成を計9件申請し、新規採択2件、継続8件であった。

(8-5) 防災意識の向上と危機管理体制の強化

- ・文化の森6館で組織された自衛消防隊の防災訓練を、10月（防火訓練）と2月（防災訓練）に行った。
- ・様々な災害や非常事態に対応できるよう、県の施策と連動しながら、職員各人の防災意識の喚起と危機管理体制の強化に努めたい。

(8-6) 職員の意識改革と資質向上

- ・7年度は、各種研修会12件（徳島県博物館協議会関係以外）に職員延べ23人を派遣し、目標値（5件）を大幅に上回った（オンラインでの参加を含む）。

(8-7) 博物館評価システムの運用

- ・令和7年3月に策定した第5期中期活動目標にもとづいて、6年度事業の自己評価を行った。その内容については、年報やホームページに掲載した。また、博物館協議会において討議いただいた（外部評価）。

X 観覧者等統計

減免範囲の変更などにより、無料観覧者数の変動が生じているので、開館以来一貫した基準での統計にはなっていない。経年的な観覧者数の推移を見る場合、注意が必要である。

●令和 7 年度 常設展観覧者数

(単位:人)

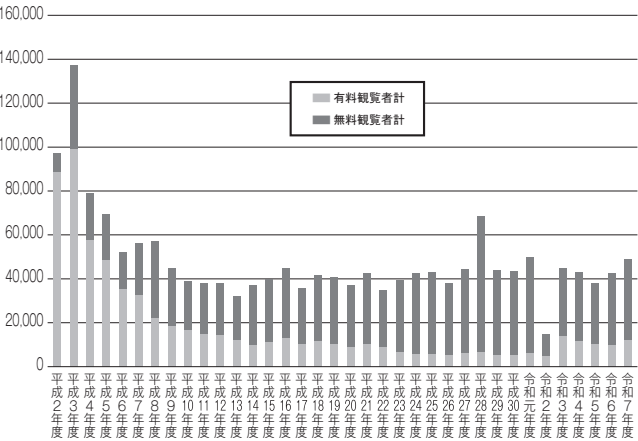
月	開館 日数	有 料 観 覧 者							無 料 観 覧 者																				観覧者 総数	
		個 人			団体(割引20%)				有料 観覧者 計	学 校 教 育										社会福祉施設等		個 人								無料 観覧者 計
		一般	高校・ 大学生	小・中 学生	一般	高校・ 大学生	小・中 学生	幼稚園等		小学校		中学校		高 校		計		施設	人数	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他					
								園数		人数	校	人数	校	人数	校	人数	校									人数	校	人数		
4月	26	283	7	8	298	12	6	614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29	242	11	13	70	233	467	1,065	1,679			
5月	27	275	18	3	356	8	10	670	1	31	14	956	0	0	1	25	16	4	65	378	52	41	85	506	1,655	3,794	4,464			
6月	25	355	17	5	422	3	2	804	1	19	3	214	1	37	0	0	5	4	51	197	21	23	101	214	290	1,167	1,971			
7月	27	443	22	8	505	3	4	985	1	28	0	0	0	0	1	17	2	11	151	387	52	27	109	315	689	1,775	2,760			
8月	28	1,096	57	0	1,120	27	0	2,300	4	176	0	0	0	0	0	0	4	22	313	1,383	198	99	191	667	2,240	5,267	7,567			
9月	25	402	33	2	371	17	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	68	359	39	14	126	467	1,046	2,119	2,944			
10月	27	777	32	13	762	16	18	1,618	7	303	17	1,250	0	0	1	8	25	4	72	593	52	33	175	263	1,426	4,175	5,793			
11月	26	358	20	14	336	6	15	749	4	130	24	1,317	0	0	1	43	29	10	160	1,320	158	66	108	495	6,251	10,048	10,797			
12月	24	676	48	12	671	28	15	1,450	4	120	2	45	0	0	1	8	7	4	69	380	44	28	169	186	504	1,553	3,003			
1月	23	304	16	5	309	36	0	670	3	40	1	12	0	0	0	0	4	2	29	131	19	7	78	346	472	1,134	1,804			
2月	24	326	35	4	296	14	1	676	3	40	2	20	1	27	0	0	6	2	16	383	35	29	102	390	1,315	2,357	3,033			
3月	26	423	56	2	379	30	3	893	7	188	2	126	0	0	0	0	9	2	29	206	50	39	83	325	852	1,898	2,791			
計	308	5,718	361	76	5,825	200	74	12,254	35	1,075	65	3,940	2	64	5	101	107	71	1,052	5,959	731	419	1,397	4,407	17,207	36,352	48,606			

●令和 7 年度 企画展観覧者数

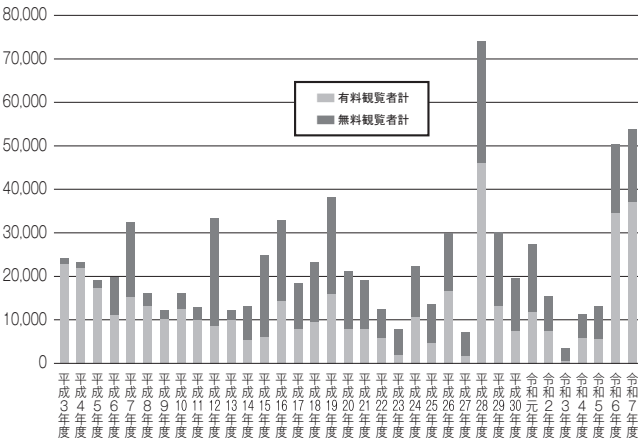
(単位:人)

企画展名	開催期間	開催 日数	有 料 観 覧 者								無 料 観 覧 者																	観覧者 総数	
			個 人			団体 (割引20%)		減免 (割引50%)	有料 観覧者 計	学 校 教 育							社会福祉 施設等		個 人					無料 観覧者 計					
										幼稚園・保育園					小学校		中学校								高 校		計		施設
			一般	高校・ 大学生	小・中 学生	一般	高校・ 大学生	小・中 学生	高齢者	園 人数	校 人数	校 人数	校 人数	校 人数	校 人数	施設	人数	小学生	中学生	高校生	障がい者	その他							
第1回企画展 ータイムトリップ中世！くらしのモノがたりー	R7. 4.26 R7. 6. 9	39	829	29	0	364	11	0	403	1,636	4	176	0	0	0	0	0	4	176	29	425	791	135	79	196	1,083	2,885	4,521	
第2回企画展 ポケモン化石博物館	R7. 7.19 R7. 9.16	74	24,669	1,155	8,674	33	39	84	872	35,526	0	0	43	2,612	0	0	0	0	43	2,612	0	0	0	0	0	2,244	9,153	14,009	49,535
合 計		113	25,498	1,184	8,674	397	50	84	1,275	37,162	4	176	43	2,612	0	0	0	0	47	2,788	29	425	791	135	79	2,440	10,236	16,894	54,056

●常設展観覧者数 (平成 2 ～令和 7 年度)



企画展観覧者数 (平成 3 ～令和 7 年度)



90 観覧者等統計

●常設展観覧者数累計（平成2～令和7年度）

（単位：人）

年 度	開館 日数	有 料 観 覧 者												無 料 観 覧 者												観覧者 総 数				
		個 人			団体（割引 20％）			減免（割引 50％）						有料 観覧者 計	学 校 教 育								個人 小・中・高 士・日・青 休養期間	社会福祉 施設等 施設 人数	高齢者 障がい者		その他	無料 観覧者 計		
		一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	大 人			高校・ 大学生	小・中 学 生	幼稚園等		小学校		中学校		高校		計									
								高齢者	障がい者	計			園数		人数	校	人数	校	人数	校	人数	校							人数	
2	118	49,512	4,218	16,163	6,686	76	1,603	9,788	571	10,359	57	48	88,722		55	4,877	6	640	12	1,972	73	7,489				1,066	8,555	97,277		
3	301	55,578	4,749	20,287	6,876	271	1,421	9,319	709	10,028	19	53	99,282		202	26,165	44	6,960	21	2,443	267	35,568				2,267	37,835	137,117		
4	299	33,150	3,318	12,505	3,285	194	420	4,482	446	4,928	48	13	57,861		114	10,781	23	3,709	14	3,305	151	17,795	1,401			2,076	21,272	79,133		
5	300	28,762	2,413	10,974	2,629	251	364	3,306	239	3,545	2	3	48,943	5	293	118	12,204	22	2,939	6	832	151	16,268	1,398		2,871	20,537	69,480		
6	299	20,640	1,712	8,149	1,807	159	330	2,399	150	2,549	5	18	35,369	38	2,547	90	7,980	22	3,246	9	730	159	14,503	1,195		1,080	16,778	52,147		
7	300	19,950	1,353	7,556	867	220	217	2,639	243	2,882	3	0	33,048	27	1,542	99	8,641	20	3,311	4	253	150	13,747	2,085		7,493	23,325	56,373		
8	305	13,294	922	5,326	891	44	96	1,699	144	1,843	3	15	22,434	30	1,788	81	8,114	18	2,780	7	776	136	13,458	1,390		19,839	34,687	57,121		
9	306	11,115	791	3,957	706	149	53	1,563	219	1,782	17	3	18,573	24	1,261	80	6,059	21	2,994	7	746	132	11,060	829		14,258	26,147	44,720		
10	307	10,039	700	4,008	446	28	93	1,129	135	1,264	1	11	16,590	16	990	52	3,823	8	988	5	954	81	6,755	1,337		14,209	22,301	38,891		
11	307	8,778	642	3,595	390	148	89	1,027	179	1,206	1	21	14,870	25	913	62	4,323	12	1,472	7	583	106	7,291	1,881		13,846	23,018	37,888		
12	306	8,653	484	3,351	456	153	132	1,371	241	1,612	1	10	14,852	33	1,270	58	3,654	11	1,905	6	546	108	7,375	2,161		13,744	23,280	38,132		
13	306	6,950	418	2,810	608	3	56	1,217	132	1,349	3	8	12,205	20	920	58	2,771	14	1,409	6	441	98	5,541	2,275		12,017	19,833	32,038		
14	306	7,661	372	130	381	68	89	1,126	206	1,332	1	0	10,034	25	1,158	42	3,382	8	1,006	6	630	81	6,176	11,373		9,766	27,315	37,349		
15	307	8,724	363	111	380	117	2	1,490	125	1,615	1	0	11,313	27	1,365	55	4,105	5	447	6	571	93	6,488	11,732		10,264	28,484	39,797		
16	305	9,769	393	114	608	63	1	1,803	208	2,011	1	4	12,964	38	1,393	73	4,063	13	730	8	282	132	6,468	13,532		11,705	31,705	44,669		
17	306	7,570	281	73	356	95	2	1,616	271	1,887	0	1	10,265	32	1,240	52	3,440	11	789	2	314	97	5,783	10,432		9,157	25,372	35,637		
18	307	8,917	413	46	566	5	0	1,451	176	1,627	0	1	11,575	39	1,579	61	4,472	12	605	5	511	117	7,167	11,252		11,481	29,900	41,475		
19	308	7,651	351	78	504	13	2	1,480	230	1,710	3	0	10,312	34	1,453	62	4,056	8	609	3	257	107	6,375	10,448		13,497	30,320	40,632		
20	306	6,785	386	54	474	37	0	1,122	177	1,299	0	2	9,037	33	1,364	56	3,241	6	543	2	54	97	5,202	10,352		12,580	28,134	37,171		
21	307	7,608	357	71	661	38	1	1,330	325	1,655	1	2	10,394	33	1,397	69	4,892	15	828	5	454	122	7,571	11,042		13,422	32,035	42,429		
22	306	6,631	307	53	634	40	4	1,308	265	1,573	2	0	9,244	31	1,420	54	3,596	10	512	6	280	101	5,808	8,795		11,207	25,810	35,054		
23	309	4,552	218	79	784	71	4	766	316	1,082	6	7	6,803	30	1,471	62	3,548	10	751	5	503	107	6,273	9,043		17,412	32,728	39,531		
24	308	4,675	184	52	598	0	1	254	44	298	0	0	5,808	34	1,783	53	3,641	5	154	5	403	97	5,981	9,602		2,706	18,448	36,737	42,545	
25	307	5,148	195	55	585	32	8	-	-	-	-	-	6,023	28	1,332	52	3,017	3	218	3	194	86	4,761	10,356		2,875	19,140	37,132	43,155	
26	306	3,884	237	38	844	157	4	-	-	-	-	-	5,164	24	1,273	56	3,212	6	220	7	406	93	5,111	8,277		3,343	16,050	32,781	37,945	
27	292	4,200	197	47	1,721	84	19	-	-	-	-	-	6,268	19	1,137	56	3,115	0	0	1	37	76	4,289	8,774		4,860	20,235	38,158	44,426	
28	308	4,809	178	45	1,753	19	12	-	-	-	-	-	6,816	26	937	58	2,852	3	91	1	25	88	3,905	15,409		6,112	36,211	61,637	68,453	
29	308	3,673	177	49	1,653	112	3	-	-	-	-	-	5,667	32	1,274	63	3,102	3	189	7	299	105	4,864	9,204		4,498	19,915	38,481	44,148	
30	308	3,636	164	45	1,785	48	12	-	-	-	-	-	5,690	41	1,519	77	3,364	3	138	2	20	123	5,041	7,818		4,778	20,184	37,821	43,511	
元	307	4,098	131	56	1,896	140	21	-	-	-	-	-	6,342	22	1,095	107	4,311	0	0	5	77	134	5,483	8,950		5,128	23,897	43,458	49,800	
2	116	3,178	109	98	1,579	13	30	-	-	-	-	-	5,007	3	110	5	60	1	3	1	19	10	192	2,752		1,231	5,050	9,225	14,232	
3	195	8,619	260	72	4,902	79	30	-	-	-	-	-	13,962	18	705	90	3,792	5	134	2	13	115	4,644	7,044		3,894	15,309	30,891	44,853	
4	307	5,567	226	47	5,498	91	41	-	-	-	-	-	11,470	31	1,026	88	4,039	9	321	2	29	130	5,415	6,611		4,400	14,894	31,320	42,790	
5	308	4,362	235	52	5,402	172	29	-	-	-	-	-	10,252	24	611	87	3,057	7	267	3	70	121	4,005	6,201		4,611	12,730	27,547	37,799	
6	305	4,163	228	54	5,153	113	25	-	-	-	-	-	9,736	30	842	50	2,877	4	202	5	146	89	4,067	7,364	44	707	5,213	15,111	32,462	42,198
7	308	5,718	361	76	5,825	200	74	-	-	-	-	-	12,254	35	1,075	65	3,940	2	64	5	101	107	5,180	7,109	71	1,052	5,804	17,207	36,352	48,606
計	10,196	402,301	27,682	100,200	64,364	3,303	5,214	53,685	5,751	59,436	175	220	662,895	872	39,008	2,497	178,626	368	34,681	196	34,681	3,933	277,919	232,315	44	707	53,649	462,431	1,077,021	1,738,522

*平成24年9月より、高齢者（65歳以上）及び障がい者は無料。

●企画展観覧者数累計（平成3～令和7年度）

（単位：人）

年度	名 称	開催期間	開催 日数	有 料 観 覧 者												無 料 観 覧 者					観覧者 総数	
				個 人			団体（割引20%）			減免（割引50%）						有料観 覧者計	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	その他		無料観 覧者計
				一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一 般	障がい者	計	高校・ 大学生	小・中 学 生								
平成 3 (1991)	里帰り文化財名品展	H3.4.5 ～H3.5.5	27	5,474	286	787	58	30	0	1,497	22	1,519	20	0	8,174	-	-	-	513	513	8,687	
	和泉層群の化石	H3.7.21 ～H3.9.1	37	4,755	547	2,594	62	0	161	259	15	274	0	2	8,395	-	-	-	259	259	8,654	
	人形芝居がやってきた	H3.10.11～H3.11.10	27	1,381	35	138	246	0	500	323	7	330	0	0	2,630	-	-	-	217	217	2,847	
	阿波の刀剣	H4.2.18 ～H4.3.22	29	2,723	210	277	38	0	0	462	40	502	0	0	3,750	-	-	-	299	299	4,049	
	平成3年度小計		120	14,333	1,078	3,796	404	30	661	2,541	84	2,625	20	2	22,949	-	-	-	1,288	1,288	24,237	
4 (1992)	四国の古墳	H4.4.24 ～H4.5.24	26	2,566	256	745	169	55	31	473	21	494	0	0	4,316	-	-	-	387	387	4,703	
	甲虫の世界	H4.7.21 ～H4.8.30	36	8,404	603	6,032	163	0	116	264	20	284	0	5	15,607	-	-	-	349	349	15,956	
	徳島の指定文化財	H4.10.20～H4.11.15	24	1,299	56	79	144	0	0	439	9	448	0	0	2,026	-	-	-	407	407	2,433	
	平成4年度小計		86	12,269	915	6,856	476	55	147	1,176	50	1,226	0	5	21,949	-	-	-	1,143	1,143	23,092	

年度	名 称	開催期間	開催 日数	有 料 観 覧 者												無 料 観 覧 者					観覧者 総数	
				個 人			団体（割引20%）			減免（割引50%）						有料観 覧者計	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	その他		無料観 覧者計
				一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一 般 高齢者 障がい者	計	高校・ 大学生	小・中 学 生									
5 (1993)	祈り・のろい・はらい	H5.4.20 ～H5.5.23	29	1,989	362	492	0	0	0	236	8	244	0	0	3,087	-	-	-	274	274	3,361	
	南アメリカの自然	H5.7.24 ～H5.9.5	38	6,745	561	3,835	191	6	313	284	13	297	1	0	11,949	-	-	-	257	257	12,206	
	鳥居龍蔵の見たアジア	H5.10.12 ～H5.11.21	37	1,524	79	148	84	21	83	460	7	467	1	0	2,407	-	-	-	1,201	1,201	3,608	
	平成5年度小計		104	10,258	1,002	4,475	275	27	396	980	28	1,008	2	0	17,443	-	-	-	1,732	1,732	19,175	
6 (1994)	人間に光あれ	H6.4.26 ～H6.5.29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,811	462	2,098	-	7,371	7,371		
	祖谷 その自然とくらし	H6.7.26 ～H6.9.4	36	1,910	131	444	104	0	41	336	12	348	0	1	2,979	-	-	-	266	266	3,245	
	描かれた弥生人のくらし	H6.10.7 ～H6.11.13	33	800	56	184	61	0	236	209	3	212	0	0	1,549	-	-	-	258	258	1,807	
	東洲斎写楽と役者絵の世界	H7.3.4 ～H7.3.19	14	4,883	521	432	57	0	0	719	21	740	0	5	6,638	-	-	-	697	697	7,335	
	平成6年度小計		112	7,593	708	1,060	222	0	277	1,264	36	1,300	0	6	11,166	4,811	462	2,098	1,221	8,592	19,758	
7 (1995)	よみがえる古代の輝き	H7.4.21 ～H7.5.21	26	2,595	279	601	6	10	561	446	18	464	0	0	4,516	-	-	-	468	468	4,984	
	貝の世界	H7.7.22 ～H7.9.3	38	5,837	490	3,773	77	0	183	416	37	453	0	3	10,816	-	-	-	2,127	2,127	12,943	
	戦争から豊かな未来へ	H7.10.17 ～H7.11.19	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,103	499	4,016	-	14,618	14,618		
	平成7年度小計		94	8,432	769	4,374	83	10	744	862	55	917	0	3	15,332	10,103	499	4,016	2,595	17,213	32,545	
8 (1996)	銅鐸の美	H8.4.2 ～H8.5.12	36	2,199	362	528	2	0	843	485	30	515	27	0	4,476	-	-	-	1,524	1,524	6,000	
	鉱物の世界	H8.7.19 ～H8.9.1	39	3,631	432	1,908	24	0	0	359	22	381	5	1	6,382	-	-	-	981	981	7,363	
	目で見える博物学	H8.10.18 ～H8.12.1	39	1,214	75	245	2	37	487	210	12	222	1	0	2,283	-	-	-	455	455	2,738	
	平成8年度小計		114	7,044	869	2,681	28	37	1,330	1,054	64	1,118	33	1	13,141	-	-	-	2,960	2,960	16,101	
9 (1997)	阿波の近世絵画	H9.4.22 ～H9.5.18	24	1,214	52	38	4	0	267	445	7	452	0	0	2,027	-	-	-	379	379	2,406	
	吉野川の自然	H9.7.18 ～H9.8.31	39	2,612	233	914	0	0	0	448	27	475	0	1	4,235	-	-	-	938	938	5,173	
	ネアンデルタール人の復活	H9.9.20 ～H9.10.26	32	2,196	187	573	43	13	553	369	19	388	4	0	3,957	-	-	-	664	664	4,621	
	平成9年度小計		95	6,022	472	1,525	47	13	820	1,262	53	1,315	4	1	10,219	-	-	-	1,981	1,981	12,200	
10 (1998)	海はむすぶ	H10.4.21 ～H10.5.24	30	937	43	157	3	3	24	184	17	201	0	0	1,368	-	-	-	465	465	1,833	
	チョウとガ	H10.7.18 ～H10.8.30	38	4,456	183	3,349	38	0	141	249	37	286	0	9	8,462	-	-	-	2,427	2,427	10,889	
	瀬戸内海のおいたち	H10.10.10 ～H10.11.23	39	971	40	260	12	0	1,202	227	17	244	0	6	2,735	-	-	-	584	584	3,319	
	平成10年度小計		107	6,364	266	3,766	53	3	1,367	660	71	731	0	15	12,565	-	-	-	3,476	3,476	16,041	
11 (1999)	大名行列	H11.4.20 ～H11.5.23	30	1,752	74	298	0	7	725	442	26	468	0	1	3,325	-	-	-	426	426	3,751	
	伊能忠敬が描いた日本	H11.9.10 ～H11.10.11	28	2,189	267	461	3	22	133	475	22	497	0	5	3,577	-	-	-	659	659	4,236	
	新発見考古速報展 発掘された 日本列島99	H11.10.24 ～H11.11.21	25	1,861	128	297	111	49	46	532	38	570	0	1	3,063	-	-	-	1,688	1,688	4,751	
	平成11年度小計		83	5,802	469	1,056	114	78	904	1,449	86	1,535	0	7	9,965	-	-	-	2,773	2,773	12,738	
12 (2000)	藍のよそおい	H12.4.18 ～H12.5.21	30	1,851	96	52	9	0	0	626	22	648	0	0	2,656	-	-	-	383	383	3,039	
	さよなら20世紀－カメラがとら えた日本の100年	H12.6.1 ～H12.7.9	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6,745	6,745	6,745	
	侵入者たち	H12.7.18 ～H12.9.10	48	3,374	240	2,134	21	0	79	288	36	324	0	6	6,178	-	-	-	1,669	1,669	7,847	
	世紀末大博覧会	H12.10.20 ～H12.11.26	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,888	741	5,155	-	15,784	15,784		
	平成12年度小計		145	5,225	336	2,186	30	0	79	914	58	972	0	6	8,834	9,888	741	5,155	8,797	24,581	33,415	
13 (2001)	クントゥル・ワシ神殿の発掘	H13.4.6 ～H13.5.6	27	3,326	267	520	38	0	179	838	42	880	1	5	5,216	-	-	-	821	821	6,037	
	門出のセレモニー	H13.7.17 ～H13.8.26	36	889	65	89	55	0	0	224	6	230	1	0	1,329	-	-	-	489	489	1,818	
	信仰と美術	H14.2.19 ～H14.3.21	27	2,087	112	125	53	37	18	1,075	37	1,112	0	0	3,544	-	-	-	760	760	4,304	
	平成13年度小計		90	6,302	444	734	146	37	197	2,137	85	2,222	2	5	10,089	-	-	-	2,070	2,070	12,159	
14 (2002)	貝化石が語る海の記憶	H14.4.12 ～H14.5.12	27	2,125	47	32	0	0	0	300	11	311	0	0	2,515	-	486	2,545	771	3,802	6,317	
	海道をゆく	H14.7.20 ～H14.9.1	39	1,108	51	0	6	0	0	210	11	221	0	0	1,386	-	55	1,051	702	1,808	3,194	
	古代のわざ	H14.10.11 ～H14.11.10	27	1,148	37	4	28	0	0	347	14	361	0	0	1,578	-	60	1,618	468	2,146	3,724	
	平成14年度小計		93	4,381	135	36	34	0	0	857	36	893	0	0	5,479	-	601	5,214	1,941	7,756	13,235	
15 (2003)	歴史を決めた戦い	H15.4.22 ～H15.5.25	30	1,930	67	15	0	0	0	558	29	587	0	0	2,599	-	483	1,567	704	2,754	5,353	
	アイヌ工芸品展	H15.7.19 ～H15.8.31	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	317	2,455	7,657	10,429	10,429	
	アンモナイトのすべて	H15.10.17 ～H15.11.24	34	2,892	106	35	32	0	0	524	25	549	0	0	3,614	-	266	3,757	1,458	5,481	9,095	
	平成15年度小計		102	4,822	173	50	32	0	0	1,082	54	1,136	0	0	6,213	-	1,066	7,779	9,819	18,664	24,877	
16 (2004)	サメの世界	H16.4.24 ～H16.5.30	32	6,328	182	67	36	33	0	521	51	572	0	1	7,219	-	182	6,622	2,681	9,485	16,704	
	エビとカニ	H16.8.12 ～H16.9.20	34	5,008	112	20	7	2	0	386	31	417	0	1	5,567	-	128	3,689	2,581	6,398	11,965	
	石とくらし	H16.10.22 ～H16.11.28	33	1,138	16	31	22	0	0	304	12	316	0	1	1,524	-	55	1,795	767	2,617	4,141	
	平成16年度小計		99	12,474	310	118	65	35	0	1,211	94	1,305	0	3	14,310	-	365	12,106	6,029	18,500	32,810	
17 (2005)	縄文の美	H17.4.26 ～H17.5.29	30	2,254	100	20	3	12	0	619	26	645	0	0	3,034	-	187	2,388	650	3,225	6,259	
	絶滅	H17.7.22 ～H17.8.31	36	3,482	157	0	9	0	0	355	27	382	0	0	4,030	-	227	3,355	1,528	5,110	9,140	
	ふるさと再発見	H17.10.22 ～H17.11.27	32	595	14	6	0	0	0	411	10	421	0	0	1,036	-	29	1,451	529	2,009	3,045	
	平成17年度小計		98	6,331	271	26	12	12	0	1,385	63	1,448	0	0	8,100	-	443	7,194	2,707	10,344	18,444	

92 観覧者等統計

年度	名 称	開催期間	開催 日数	有 料 観 覧 者											無 料 観 覧 者					観覧者 総数	
				個 人			団体（割引20％）			減免（割引50％）					有料観 覧者計	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	その他		無料観 覧者計
				一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一 般	高年齢者 （65歳以上）	障がい者	計	高校・ 大学生							
18 (2006)	奇跡の化石たち	H18.4.28～H18.6.18	45	3,900	113	32	106	0	0	538	41	579	0	0	4,730	-	273	5,189	1,640	7,102	11,832
	世界の種と実	H18.7.22～H18.8.31	36	3,076	122	0	4	0	0	373	71	444	0	0	3,646	-	142	3,187	1,114	4,443	8,089
	海人の見た世界	H18.10.7～H18.11.26	44	789	13	2	30	0	0	334	24	358	0	0	1,192	-	74	1,535	563	2,172	3,364
	平成18年度小計		125	7,765	248	34	140	0	0	1,245	136	1,381	0	0	9,568	-	489	9,911	3,317	13,717	23,285
19 (2007)	ミネラルズ	H19.4.27～H19.6.3	33	3,245	119	34	193	3	1	408	65	473	0	0	4,068	-	371	4,307	1,117	5,795	9,863
	世界の甲虫	H19.7.21～H19.9.24	58	9,043	143	7	182	1	0	768	193	961	0	0	10,337	-	200	8,156	5,451	13,807	24,144
	新発見考古速報展 発掘された 日本列島2007	H19.11.13～H19.12.9	24	890	24	19	77	0	1	457	63	520	0	0	1,531	-	35	974	1,716	2,725	4,256
	平成19年度小計		115	13,178	286	60	452	4	2	1,633	321	1,954	0	0	15,936	-	606	13,437	8,284	22,327	38,263
20 (2008)	郷土の発見	H20.4.26～H20.5.25	26	292	35	0	3	0	0	149	9	158	0	0	488	-	28	1,217	1,172	2,417	2,905
	動物大集合	H20.7.19～H20.8.31	38	4,454	106	0	119	1	0	441	120	561	0	0	5,241	-	196	4,249	2,966	7,411	12,652
	香りの世界	H20.10.18～H20.11.24	33	1,630	68	6	63	1	0	436	46	482	3	0	2,253	-	132	2,161	1,104	3,397	5,650
	平成20年度小計		97	6,376	209	6	185	2	0	1,026	175	1,201	3	0	7,982	-	356	7,627	5,242	13,225	21,207
21 (2009)	シーラカンス	H21.4.25～H21.6.14	44	5,212	202	46	202	1	1	628	139	767	1	1	6,433	-	528	6,498	2,017	9,043	15,476
	生誕200年 守住貫魚	H21.10.17～H21.11.23	33	755	16	3	32	0	0	635	43	678	0	1	1,485	-	23	1,191	982	2,196	3,681
	平成21年度小計		77	5,967	218	49	234	1	1	1,263	182	1,445	1	2	7,918	-	551	7,689	2,999	11,239	19,157
22 (2010)	ヒマラヤ	H22.4.29～H22.6.6	34	1,927	40	9	93	0	0	916	50	966	0	0	3,035	-	143	2,112	619	2,874	5,909
	藍染めの表象	H22.10.5～H22.11.11	30	709	52	1	23	0	0	429	35	464	0	0	1,249	-	103	1,467	718	2,288	3,537
	聖地★巡礼	H23.2.11～H23.3.21	34	960	50	6	22	0	0	426	49	475	0	0	1,513	-	21	394	1,091	1,506	3,019
	平成22年度小計		98	3,596	142	16	138	0	0	1,771	134	1,905	0	0	5,797	-	267	3,973	2,428	6,668	12,465
23 (2011)	人形☆ひとがた	H23.4.23～H23.6.5	38	488	43	0	28	0	0	249	140	389	1	1	950	-	327	2,394	777	3,498	4,448
	描かれた地震	H23.10.21～H23.11.27	33	500	45	5	31	0	0	274	24	298	0	0	879	-	56	1,687	689	2,432	3,311
	平成23年度小計		71	988	88	5	59	0	0	523	164	687	1	1	1,829	-	383	4,081	1,466	5,930	7,759
24 (2012)	ほねほねワールド	H24.7.20～H24.9.2	39	6,710	187	0	209	2	0	668	137	805	2	0	7,915	-	206	5,806	3,531	9,543	17,458
	日本のわざと美	H24.10.20～H24.11.25	32	1,567	28	4	62	0	0	1,212	-	1,212	-	-	2,873	-	47	1,266	803	2,116	4,989
	平成24年度小計		71	8,277	215	4	271	2	0	1,880	137	2,017	2	0	10,788	-	253	7,072	4,334	11,659	22,447
25 (2013)	天下の台所大坂と徳島	H25.4.27～H25.6.9	38	754	44	1	27	0	0	398	-	398	-	-	1,224	-	43	2,026	794	2,863	4,087
	エイリアン・スピーシーズ	H25.7.19～H25.9.1	40	2,912	60	0	87	0	0	358	-	358	-	-	3,417	-	134	3,612	2,302	6,048	9,465
	平成25年度小計		78	3,666	104	1	114	0	0	756	-	756	-	-	4,641	-	177	5,638	3,096	8,911	13,552
26 (2014)	いただきま～す！	H26.4.25～H26.6.8	39	825	33	1	37	21	0	240	-	240	-	-	1,157	-	306	2,326	862	3,494	4,651
	まんまるワールド	H26.7.19～H26.8.31	38	2,732	34	0	390	3	0	639	-	639	-	-	3,798	-	106	2,931	2,838	5,875	9,673
	空海の足音 四国へんろ展〔徳 島編〕	H26.10.25～H26.11.30	32	7,098	-	-	203	-	-	4,415	-	-	-	-	11,716	-	110	1,275	2,424	3,809	15,525
	平成26年度小計		109	10,655	67	1	630	24	0	5,294	-	879	-	-	16,671	-	522	6,532	6,124	13,178	29,849
27 (2015)	瓦から見る古代の阿波	H27.4.24～H27.6.7	39	458	18	3	112	2	0	355	-	355	-	-	948	-	34	1,977	1,259	3,270	4,218
	阿波木偶箱まわしの世界	H27.10.31～H27.11.29	26	240	21	0	114	2	5	472	-	472	-	-	854	-	64	660	1,390	2,114	2,968
	平成27年度小計		65	698	39	3	226	4	5	827	-	827	-	-	1,802	-	98	2,637	2,649	5,384	7,186
28 (2016)	自然だいすき！みんなの自然コ レクション	H28.4.20～H28.6.12	47	1,769	35	18	640	6	5	327	-	327	-	-	2,800	-	55	3,645	2,856	6,556	9,356
	トクシマ恐竜展	H28.7.15～H28.9.19	59	27,275	251	11,848	35	1	86	3,155	-	3,155	-	-	42,651	-	-	-	19,625	19,625	62,276
				(当日一般200円引)			(当日一般200円引)			(当日一般200円引)											
	徳島藩絵師のすがお	H28.10.22～H28.11.20	26	233	11	0	62	0	0	331	-	331	-	-	637	-	10	744	1,053	1,807	2,444
29 (2017)	平成28年度小計		132	29,277	297	11,866	737	7	91	3,813	-	3,813	-	-	46,088	-	65	4,389	23,534	27,988	74,076
	ザ・モンスター～海と陸のへん てこ生物たち～	H29.7.22～H29.9.10	45	7,391	115	9	2,766	23	1	1,512	-	1,512	-	-	11,817	-	207	7,320	6,642	14,169	25,986
	江戸幕府と徳島藩－幕藩制改革 からみる江戸時代－	H29.10.14～H29.11.19	32	466	13	13	181	2	1	622	-	622	-	-	1,298	-	213	1,304	1,280	2,797	4,095
30 (2018)	平成29年度小計		77	7,857	128	22	2,947	25	2	2,134	-	2,134	-	-	13,115	-	420	8,624	7,922	16,966	30,081
	阿波漁民ものがたり－海を渡り 歩いた漁師たちの5つの話－	H30.4.27～H30.6.10	39	364	22	0	311	0	0	451	-	451	-	-	1,148	-	0	1,455	1,725	3,180	4,328
	ジャングルいきもの図鑑	H30.7.20～H30.9.9	52	3,589	42	0	1,816	10	0	885	-	885	-	-	6,342	-	0	172	8,824	8,996	15,338
令和 元 (2019)	平成30年度小計		91	3,953	64	0	2,127	10	0	1,336	-	1,336	-	-	7,490	-	0	1,627	10,549	12,176	19,666
	ミネラルズ2019	H31.4.27～R1.6.2	36	2,048	69	23	1,006	14	0	649	-	649	-	-	3,809	-	0	1,523	3,408	4,931	8,740
	とくしまの恐竜時代	R1.7.19～R1.9.8	45	4,424	38	4	2,222	10	0	1,290	-	1,290	-	-	7,988	-	171	508	10,043	10,722	18,710
2 (2020)	令和元年度小計		81	6,472	107	27	3,228	24	0	1,939	-	1,939	-	-	11,797	-	171	2,031	13,451	15,653	27,450
	蔵出し！とくしま“宝もの”展	R2.5.9～R2.6.14	32	187	13	21	122	2	1	154	-	154	-	-	500	-	15	170	505	690	1,190
	甲虫すごいぜ！	R2.7.11～R2.8.30	44	4,028	41	6	2,176	12	4	642	-	642	-	-	6,909	-	80	3,345	4,469	7,894	14,803
令和2 (2020)	令和2年度小計		76	4,215	54	27	2,298	14	5	796	-	796	-	-	7,409	-	95	3,515	4,974	8,584	15,993

年度	名 称	開催期間	開催 日数	有 料 観 覧 者												無 料 観 覧 者					観覧者 総数	
				個 人			団体（割引20%）			減免（割引50%）						有料観 覧者計	一 般					
				一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般	高校・ 大学生	小・中 学 生	一 般	障がい者 高齢者	計	高校・ 大学生	小・中 学 生	一般		高校・ 大学生	小・中 学 生	その他	無料観 覧者計		
3 (2021)	徳島おふだコレクション～はら いたまえ きよめたまえ～	R3.10.15～R3.11.21	33	245	13	4	124	5	2	219	-	219	-	-	612	-	14	2,207	698	2,919	3,531	
	令和3年度小計		33	245	13	4	124	5	2	219	-	219	-	-	612	-	14	2,207	698	2,919	3,531	
4 (2022)	阿波の画壇をたのしむ～近世の 画人と作品～	R4.4.22 ～R4.5.29	34	206	13	1	72	0	0	283	-	283	-	-	575	-	33	761	608	1,402	1,977	
	ネコ展	R4.7.16 ～R4.8.28	39	3,032	106	0	1,434	32	0	613	-	613	-	-	5,217	-	132	2,223	1,717	4,072	9,289	
	令和4年度小計		73	3,238	119	1	1,506	32	0	896	-	896	-	-	5,792	-	165	2,984	2,325	5,474	11,266	
5 (2023)	朱を求めて～若杉山辰砂採掘遺 跡からみる徳島の弥生時代～	R5.4.22 ～R5.5.28	32	312	16	1	147	3	0	305	-	305	-	-	784	-	28	579	504	1,111	1,895	
	かがやく生きもの～光をまっ た生きものの不思議な世界～	R5.7.21 ～R5.9.3	39	2,811	43	12	1,407	19	5	618	-	618	-	-	4,915	-	119	3,639	2,667	6,425	11,340	
	令和5年度小計		71	3,123	59	13	1,554	22	5	923	-	923	-	-	5,699	-	147	4,218	3,171	7,536	13,235	
6 (2024)	海からどんぶらこ～知られざる 漂着物の世界～	R6.4.26 ～R6.6.9	39	749	32	14	429	9	8	351	-	351	-	-	1,592	-	87	1,788	1,300	3,175	4,767	
	トクシマ恐竜展2024	R6.7.19 ～R6.9.16	51	18,342	268	8,158	1,912	24	1,017	3,241	-	3,241	-	-	32,962	-	0	0	12,635	12,635	45,597	
	令和6年度小計		90	19,091	300	8,172	2,341	33	1,025	3,592	-	3,592	-	-	34,554	-	87	1,788	13,935	15,810	50,364	
7 (2025)	タイムトリップ中世！～くらし のモノがたり～	R7.7.19 ～R7.8.31	39	829	29	0	364	11	0	403	-	403	-	-	1,636	-	79	926	1,880	2,885	4,521	
	ポケモン化石博物館	R7.10. ～R7.12	74	24,669	1,155	8,674	33	39	84	872	-	872	-	-	35,526	-	0	0	14,009	14,009	49,535	
	令和7年度小計		113	25,498	1,184	8,674	397	50	84	1,275	-	1,275	-	-	37,162	-	79	926	15,889	16,894	54,056	
総計				3,285	281,787	12,158	61,724	21,729	596	8,144	51,975	2,166	49,726	68	57	440,404	24,802	9,122	144,468	186,919	365,311	805,715

（※）平成 14 年度から小・中学生及び高校生の土・日曜日、祝・休日、長期休業日における観覧料が無料となり、学校教育による観覧料も無料となった。これに伴い、無料観覧者の計数基準が変更されている。
（※）平成 24 年 9 月から障がい者とその介助者 1 人の観覧料が無料となった。

●総利用者数累計（平成 2 ～令和 7 年度）

（単位：人）

年度	常 設 展		常設展観覧者合計	企画展観覧者	特別陳列観覧者	移動展等	普及行事	その他	利用者総数
	有料観覧者	無料観覧者					普及行事参加者		
平成 2 年度	88,722	8,555	97,277	0	0	—	646	—	97,923
3 年度	99,282	37,835	137,117	24,237	0	—	1,387	—	162,741
4 年度	57,861	21,272	79,133	23,092	6,712	—	1,718	—	110,655
5 年度	48,943	20,537	69,480	19,175	4,090	—	1,686	—	94,431
6 年度	35,369	16,778	52,147	19,758	3,165	—	2,843	—	77,913
7 年度	33,048	23,325	56,373	32,545	5,358	—	4,132	—	98,408
8 年度	22,434	34,687	57,121	16,101	0	—	2,419	—	75,641
9 年度	18,573	26,147	44,720	12,200	0	—	2,232	—	59,152
10 年度	16,590	22,301	38,891	16,041	0	—	1,890	—	56,822
11 年度	14,870	23,018	37,888	12,738	22,372	—	2,461	—	75,459
12 年度	14,852	23,280	38,132	33,415	1,850	—	4,513	1,561	79,471
13 年度	12,205	19,833	32,038	12,159	5,766	—	3,634	2,137	55,734
14 年度	10,034	27,315	37,349	13,235	5,850	1,328	3,414	1,735	62,911
15 年度	11,313	28,484	39,797	24,877	10,015	—	4,501	2,628	81,818
16 年度	12,964	31,705	44,669	32,810	8,924	898	3,692	4,829	95,822
17 年度	10,265	25,372	35,637	18,444	7,323	7,419	5,944	4,629	79,396
18 年度	11,575	29,900	41,475	23,285	7,200	481	6,143	6,763	85,347
19 年度	10,312	30,320	40,632	38,263	5,168	5,381	5,140	75,854	170,438
20 年度	9,037	28,134	37,171	21,207	7,517	6,249	6,041	11,963	90,148
21 年度	10,394	32,035	42,429	19,157	24,781	1,614	8,535	35,260	131,776
22 年度	9,244	25,810	35,054	12,465	10,364	5,376	10,329	30,071	103,659
23 年度	6,803	32,728	39,531	7,759	15,336	1,663	6,594	9,979	80,862
24 年度	5,808	36,737	42,545	22,447	13,344	1,824	10,797	6,097	97,054
25 年度	6,023	37,132	43,155	13,552	10,008	742	13,089	4,629	85,175
26 年度	5,164	32,781	37,945	29,849	1,537	8,512	10,189	5,391	93,423
27 年度	6,268	38,158	44,426	7,186	12,963	2,506	9,212	17,579	93,872
28 年度	6,816	61,637	68,453	74,076	2,167	92,572	9,146	7,550	253,964
29 年度	5,667	38,481	44,148	30,081	19,687	0	8,206	15,924	118,046
30 年度	5,690	37,821	43,511	19,666	8,635	18,131	7,250	7,722	104,915
令和元年度	6,342	43,458	49,800	27,450	14,832	21,375	8,648	7,263	129,368
2 年度	5,007	9,225	14,232	15,993	3,693	21,276	1,560	5,334	62,088
3 年度	13,962	30,891	44,853	3,531	1,888	812	1,628	3,087	55,799
4 年度	11,470	31,320	42,790	11,266	5,338	19,180	7,432	5,616	91,622
5 年度	10,252	27,547	37,799	13,235	6,783	21,496	7,263	4,239	90,815
6 年度	9,736	32,462	42,198	50,364	8,176	14,652	18,413	4,757	138,560
7 年度	12,254	36,352	48,606	54,056	5,264	35,284	11,925	4,588	159,723
累 計	675,149	1,063,373	1,738,522	805,715	266,106	288,771	214,652	287,185	3,600,951

・特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数。
・その他に、出前授業の人数を加算（平成 25 年度～）

●特別陳列観覧者数累計（平成4～令和7年度）（単位：人）

展 示 会 名	開催期間	開催 日数	観覧者 総数
第1回館蔵品展	平 5. 2.16～ 3.21	29	6,712
掘ったてよ阿波	平 6. 2. 1～ 2.27	23	4,090
掘ったてよ阿波	平 7. 1.13～ 2. 5	21	3,165
第2回収蔵品展	平 8. 2.16～ 3.17	27	5,358
第3回館蔵品展「自然コレクション」	平11. 7.17～ 8.29	38	22,372
写生大会作品展	平12.12. 5～12.24	18	1,850
勝瑞時代—細川・三好氏と阿波—	平13.10.25～11.25	32	5,766
丹波マンガン鑛山の記録 —在日コリアンの労働史—	平14. 6.25～ 7. 7	12	1,195
楠コレクションの美術・歴史資料	平15. 1.21～ 3. 2	36	4,655
知里幸恵生誕100年記念巡回展 自由の 天地を求めて—知里幸恵『アイヌ神謡曲 集』への道—	平15. 7.19～ 7.27	8	1,317
日本刀の美 —赤羽刀とその他の館蔵品—	平16. 1.27～ 3. 7	35	8,698
収蔵品展	平16. 6.18～ 7.19	28	5,703
ひまわり作品展	平16.12.17～12.19	3	3,221
トクシマ・木工芸の道具と技	平18. 1. 8～ 1.29	19	3,475
吉野川の渡し	平18. 2.18～ 3.19	26	3,848
旅と祈りの道—阿波の巡礼—	平19. 1.19～ 3.18	51	7,200
徳島城下町の世界	平20. 1.17～ 3. 2	40	5,168
空から見た徳島	平21. 1.27～ 3.15	42	7,517
蝶に魅せられて —愛好家たちのコレクション—	平21. 7.18～ 8.30	38	9,777
八万町の昔を探ろう	平21. 9.19～10. 4	14	1,886
マンダラ —チベット・ネパールの仏たち—	平21.12.12～22. 2. 7	44	13,118
海を渡った人形と戦争の時代	平22. 7.17～ 9. 5	44	10,364
博物館の宝もの	平23. 7.15～ 9. 4	46	15,336
海からどんぶらこ—浜辺の漂着物—	平24. 4.27～ 6.10	39	12,642
阿波盆踊図屏風	平24. 9.25～10. 3	8	702
みんなの化石コレクション	平25.10.18～12. 1	39	10,008
国立公文書館所蔵資料展	平26. 3. 7～ 3.19	11	1,537
シェルズ	平27. 7.18～ 8.30	38	12,963
古代の彩り 徳島の朱	平28.12. 3～12.25	20	2,167
日本のアザラシと極地の動物たち	平29. 4.15～ 6.11	50	16,800
よみがえる、ふるさとの“たからもの” —大津波被災文化財の再生から未来へ—	平29.12.16～30. 1.21	26	2,887
県指定有形文化財 青蓮院十一面観音菩薩立像	平30. 9.21～ 9.30	9	2,664
ごっついで那賀川—博物館資料で見る那 賀川流域の自然とくらし—	平30.10.13～11.18	37	5,971
ヒロシマ原爆展	令元. 7.10～ 7.30	18	5,731
博物館60周年記念展とくしまタイムトラ ベラー—過去・現在・未来—	令元.10. 5～11.10	31	6,364
「板東俘虜収容所」の世界展	令元.12.12～ 2. 1.19	28	2,498
八杵神社所蔵重要文化財 二品家政所下文—地域で伝えた文化財—	令 2. 3.26～ 4. 5	10	444
徳島まるづかみ展 第1期	令 2.11. 3～12. 3	27	3,488
徳島まるづかみ展—コミュニケーション で展示を楽しもう！—	令 3. 4.23～ 5.30	26	1,888
阿波の旅人	令 4.10.15～11.27	38	5,338
立体画像でみる地形と博物館資料	令 5.10.14～11.26	38	6,783
アットゥシと太布—糸がつなぐ文化	令 7. 1.11～ 3. 9	50	6,981
板東俘虜収容所—戦争の向こう側に見え たもの 捕虜たちが残した大戦史	令 7. 3.20～ 3.30	10	1,195
民俗資料にみるこどもの世界	令 7. 4.26～ 5.25	26	5,264
合 計		1,253	266,106

●移動展観覧者数（平成14～令和7年度）（単位：人）

展 示 会 名	開催期間	開催 日数	観覧者 総数
昆虫の世界（海南町立博物館）	平14.10.26～11.24	26	1,328
日本画書展—江戸から昭和まで—（藍住町 歴史館藍の館）	平16.12. 2～12.27	26	898
戦争体験（藍住町立図書館）	平17. 8. 3～ 8.18	14	2,342
昆虫展（藍住町立図書館）	平17. 8.19～ 9.11	21	3,210
北アメリカの植物（松茂町立歴史民俗資料館）	平18. 2. 4～ 3. 5	26	1,867
海陽町の指定植物・北アメリカの植物（海 陽町立博物館）	平18. 7.22～ 8.27	32	481
牟岐大島の考古資料（牟岐町海の総合文化センター）	平19. 4.26～ 5.15	20	353
阿波の板碑（阿南市立阿波公方・民俗資料館）	平19. 6. 5～ 7.22	42	197
中世阿波の板碑（藍の館）	平19. 8. 2～ 8.27	24	4,540
くらしの中の藍染め（東かがわ市歴史民俗資料館）	平19.10.20～11.18	26	291
丹波恐竜フェスティバル（兵庫県立人と自 然の博物館）	平20. 5. 3～ 5. 5	3	4,339
和泉層群の化石（東かがわ市歴史民俗資料館）	平20. 7.19～ 8.31	38	523
海部郡の古代・中世（日和佐図書・資料館）	平20. 7.19～ 9. 7	44	431
那賀川平野の貝化石（阿南市立阿波公方・ 民俗資料館）	平20. 9.25～11. 9	41	956
達磨絵百態 横山天然の世界（藍の館）	平21. 4. 4～ 4.29	22	250
知らせる道具・広告（東かがわ市歴史民俗資料館）	平21. 7.18～ 8.31	39	425
浜辺の植物（海陽町立博物館）	平21. 7.25～ 8.30	32	401
国会議事堂の石（阿南市立阿波公方・民俗資料館）	平21. 9.25～11. 5	36	318
世界の昆虫（吉野川市美郷ほたる館）	平21.11.21～22. 1.25	52	220
「ジオブラザ阿南」那賀川流域と県南部地域 の化石展—化石が教えてくれるもの—（阿 南市科学センター）	平22. 7.17～ 8.15	26	1,431
「旅をするチョウ・アサギマダラと県南の トンボ展」（日和佐図書・資料館）	平22. 7.21～ 9. 5	41	820
巡回展「海を渡った人形と平和の願い」① （貞光ゆうゆう館）	平22. 9.18～ 9.20	3	1,467
巡回展「海を渡った人形と平和の願い」② （海陽町立博物館）	平22. 9.23～10. 3	10	360
巡回展「海を渡った人形と平和の願い」③（松茂 町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館）	平22.10. 9～10.17	8	1,242
空から見た徳島（日和佐図書資料館）	平23. 7.22～ 9.11	44	1,663
阿波の遠洋漁業（日和佐図書資料館）	平24. 9. 6～ 9.30	19	439
生物多様性大博覧会「徳島県の自然史」（郷土文化会館）	平25. 1.26・ 27	2	1,385
立体写真でみる 38 年前の海部郡の海辺（日 和佐図書資料館）	平25. 7. 5～ 7.31	22	493
九州・五島行き—以西底曳き網漁業—（美 波町由岐公民館）	平25.10.25～11. 4	11	249
ミニ・アンモナイト展（アミコ）	平26. 4.15～ 5.13	28	8,512
空から見た徳島（佐那河内ネイチャーセンター）	平27. 7. 1～ 9.30	78	1,366
漂着物展（海陽町立博物館）	平27.10. 3～10.18	14	640
朱を考古学する（阿南市文化会館）	平27.12. 6～28. 1. 6	26	500
「シカとカモシカ」パネル展（那賀町四季美谷温泉）	平28. 4.18～10. 9	175	8,012
移動展「阿波の道を歩く芭蕉をめざした男・ 酒井弥蔵 ×現代アーティスト・大久保英治」 展（つるぎ町織本屋）	平28.10. 1～10.31	30	320
移動展「阿波の道を歩く芭蕉をめざした男・ 酒井弥蔵 ×現代アーティスト・大久保英治」 展（鳴門市立図書館）	平28.11. 5～11.30	23	4,052
移動展「阿波の道を歩く芭蕉をめざした男・酒井 弥蔵 ×現代アーティスト・大久保英治」展（海陽 町立博物館）	平28.12.10～29. 1.22	33	282
移動展「県障害者の集い」（あわぎんホール）	平28.11.27	1	15
阿南市ミニ展示会「阿南市の赤色顔料採掘遺跡」 （阿南市文化会館）	平29. 1.14～ 2.26	35	320
戦中・戦後の暮らし（徳島県戦没者記念館）	平30. 7.16～ 8.15	21	1,463
かつうらの恐竜時代（勝浦町立図書館）	令元. 9.14～ 9.23	10	288
あわぎん恐竜時代展（阿波銀ブラザ）	令 2. 1.10～ 1.29	20	6,263
恐竜化石展—かつうらの恐竜時代—（勝浦 町立図書館）	令 2. 8. 1～ 8.30	26	1,132
徳島まるづかみ展 県西編（美馬市立図書館）	令 2.12.18～ 3. 1.18	22	5,269
徳島まるづかみ展 県南編（海陽町立博物館）	令 3. 2. 9～ 3.14	30	574

移動展「漂着物展」(美馬市立図書館)	令 4. 7.22～ 8.15	38	9,505
移動展「鳥居龍蔵の見た 120 年前の木頭」(木頭文化会館)	令 4. 8. 6～ 9.10	35	87
移動展「ビーチコーミング DE 松茂の Sea を See ろう」(松茂町歴史民俗資料館)	令 4.10.12～12. 3	44	1,893
移動展「君も植物学者になろう!」(美馬市地域交流センター)	令 5. 8. 3～ 8.31	24	11,399
移動展「徳島大空襲」(徳島県戦没者記念館ーあしたへー)	令 6. 2. 1～ 2.29	29	1,206
移動展「徳島大空襲」(あいぽーと徳島)	令 6. 7.20～ 8.25	32	1,029
移動展「県庁ホールおおびとさん」(徳島県庁)	令 6. 9.17～10.18	22	5,935
移動展 美馬市立図書館令和7年度企画展「VIVA! 美馬のちいさな生き物たち」(美馬市立図書館 2階フリースペース)	令 7. 7.25～ 9. 4	48	14,424
移動展 阿波かつうら恐竜フェスティバル 2025 企画展「徳島と世界の恐竜×復元画」(勝浦町図書館 郷土資料展示室)	令 7. 7.19～ 8.17	28	1,775
移動展「「戦後 80 年」戦争の記憶を次世代へ徳島大空襲と平和への願い パネル・資料展」(徳島市立図書館)	令 7. 7.23～ 8.15	23	7,369
合 計		1,645	126,549

●人権啓発展等観覧者数（平成 4 ～令和 7 年度）

(単位:人)

展 示 会 名	開催期間	開催 日数	観覧者 総数
2000年度同和問題啓発展	平12. 8.26～ 9. 8	12	1,561
2001年度同和問題啓発展	平13. 8. 4～ 8.12	8	1,290
〃 第 2 回	平13.12. 4～12. 9	6	847
2002年度同和問題啓発展	平14. 7.27～ 8. 4	8	1,066
〃 第 2 回	平14.12. 3～12. 8	6	669
2003年度人権問題啓発展	平15. 8. 2～ 8.10	8	1,414
〃 第 2 回	平15.12. 2～12. 7	6	911
2004年度人権問題啓発展	平16. 8. 7～ 8.15	8	1,568
〃 第 2 回	平16.12. 7～12.12	6	753
2005年度人権問題啓発展	平17. 8. 6～ 8.14	8	1,594
〃 第 2 回	平17.12. 6～12.11	6	656
2006年度人権問題啓発展	平18. 8. 5～ 8.13	8	1,532
〃 第 2 回	平18.12. 5～12.10	6	589
2007年度人権問題啓発展	平19.12. 4～12. 9	6	589
2008年度人権問題啓発展	平20.12. 2～12. 7	6	599
2009年度人権問題啓発展	平21.12. 1～12. 6	6	430
2010年度人権問題啓発展	平22.11.30～12. 5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平23.12. 6～12.11	6	383
2012年度人権問題啓発展	平24.12. 4～12. 9	6	356
2013年度人権問題啓発展	平25.12. 4～12.10	6	341
2014年度人権問題啓発展	平26.12.10～12.16	6	315
2015年度人権問題啓発展	平27.12. 9～12.15	6	270
2016年度人権問題啓発展	平28.12. 9～12.15	6	244
2017年度人権問題啓発展	平29.12. 6～12.12	6	227
2018年度人権問題啓発展	平30.12. 5～12.11	6	382
2019年度人権問題啓発展	令元.12. 4～12.10	6	278
2020 年度人権問題啓発展	令 2.12. 9～12.15	6	447
2021 年度人権問題啓発展	令 3.12. 8～12.14	6	305
2022 年度人権問題啓発展	令 4.12. 7～12.13	6	262
2023 年度人権問題啓発展	令 5.12. 6～12.12	6	348
2024 年度人権問題啓発展	令 6.12. 4～12.10	6	383
合 計		204	21,279

●館内各種展示観覧者数（平成 28 ～令和 7 年度）

(単位:人)

展 示 会 名	開催期間	開催 日数	観覧者 総数
連携展示「阿波の道を歩く芭蕉をめざした男・酒井弥蔵 ×現代アーティスト・大久保英治」展	平28. 7.20～ 8.28	36	56,984
ロビー展示「植物化石」	平28. 9. 1～29. 2. 2	128	19,364
ロビー展示「植物標本」	平29.12. 5～30. 3.31	75	5,906
ロビー展示「博物館の催し物」	平30. 4. 1～ 7. 4	82	7,597
ロビー展示「写真で見る地層」	平30.10.25～31. 2.22	98	9,071
ロビー展示「写真で見る徳島の遺跡①」	令元. 5. 8～ 9. 3	102	13,231
ロビー展示「写真で見る徳島の遺跡②」	令 2. 2.27～ 3.31	29	1,593
ロビー展示「写真で見る徳島の遺跡②」	令 2. 4. 1～10. 4	146	10,850
ロビー展示「草木染め」	令 2.10. 6～11. 1	24	1,297
ロビー展示「馬型はにわ」	令 2.10.20～11.22	30	1,791
ロビー展示「徳島まるづかみ展・県央編 第 2 期」	令 2.12. 1～ 3.31	98	3,797
ロビー展示「徳島まるづかみ展・県央編 第 2 期」	令 3. 4. 1～ 4.25	22	812
ロビー展示「鳥居龍蔵が見た120年前の木頭」	令 4.11.15～ 5. 1. 9	43	3,042
ロビー展示「四国の風流踊り」	令 5.11.21～ 6. 3.31	108	8,891
ロビー展示「1970年からこんにちはー2025年大阪・関西万博に向けてー」	令 6.12.17～ 7. 3.30	84	7,688
合 計		1,105	151,914

●その他（啓発展を除く共催事業）観覧・参加者数（平成 15 ～令和 7 年度）

(単位:人)

展 示 会 名	開催期間	開催 日数	観覧者 総数
21 世紀館との共催事業（アイヌ工芸品展）	平15. 7.19～ 8.31	38	303
全国高等学校総合文化祭	平16. 7.30～ 8. 3	5	2,508
人形ウィーク	平17. 8.20～ 8.28	8	1,824
ふれあい生きもの展	平18. 3.25～ 3.26	2	555
子どもの絵	平18. 4.29～ 5. 7	8	3,341
愉快な森のコンサート	平18. 5. 5	1	950
日本古生物学会	平19. 2. 2～ 2. 3	2	325
パラタクソノミスト養成講座	平19. 2.17～ 2.18	2	26
第 22 回国民文化祭・とくしま 2007	平19.10.27～11. 4	9	71,244
「天正の落日と曙光ー守護町勝瑞から城下町徳島へー」(徳島城博物館)	平19.12. 4～平20. 1.27	41	4,021
夏休み人権セミナー「戦争とくらし」	平20. 8. 3	1	42
科学体験フェスティバル in 徳島 (徳島大学)	平20. 8. 9～ 8.10	2	1,192
2008 年度鳴門史学会研究大会	平20.10.18	1	80
かんさい自然フェスタ 2008 (大阪市立自然史博物館)	平20.11.15～11.16	2	10,050
科学体験フェスティバル in 徳島 (徳島大学)	平21. 8. 8～ 8. 9	2	1,212
スタジオジブリ・レイアウト展 (21 年度)	平22. 2.20～ 3.31	34	33,618
スタジオジブリ・レイアウト展 (22 年度)	平22. 4. 1～ 4.18	16	25,113
軌跡ー継続と蓄積ー	平22.10.23～11.23	27	4,165
「四国遍路と地域文化」を考える	平23. 2. 5	1	53
鳥居ミュージアムトーク	平23. 3.21	1	70
阿波踊りフェスタ「阿波踊りの絵はがき」	平23. 7.20～ 8.28	36	4,038
科学体験フェスティバル in 徳島 (徳島大学)	平23. 8. 6～ 8. 7	2	1,612
鳥居龍蔵の歩いたアジアの自然	平23.10.29～12. 4	32	1,347
企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」	平24. 1.28～ 3.11	38	2,599
科学体験フェスティバル in 徳島 (徳島大学)	平24. 8. 4～ 8. 5	2	1,772
鳥居ミュージアムトーク	平24. 9.30	1	5
鳥居ミュージアムトーク	平24.11.25	1	27
特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌー北方のまなざしー」	平25. 1.26～ 3. 3	32	5,465
科学体験フェスティバル in 徳島 (徳島大学)	平25. 8. 3～ 8. 4	2	1,751

96 観覧者等統計

特別講演「鳥居龍蔵が愛読した洋書－外国語・学問・文学－」	平25. 8.30	1	50
MT. 第1回「鳥居龍蔵の収集した絵はがきの世界」	平25. 9.29	1	14
MT. 第2回「鳥居龍蔵の沖縄調査に関わった人々」	平25.11.24	1	14
共催事業第63回四国中世史研究会	平25.12.22～12.23	2	47
MT. 第3回「鳥居龍蔵の鹿児島調査」	平26. 1.19	1	14
鳥居企画展「鳥居龍蔵の国内調査－沖縄・南九州－」	平26. 1.25～ 3. 2	32	1,753
第1回 MT.「鳥居龍蔵の宮崎・鹿児島での古墳調査」	平26. 6.15	1	9
第2回 MT.「鳥居龍蔵の諏訪地方調査－諏訪市とその周辺調査について－」	平26. 9.14	1	7
第3回 MT.「鳥居龍蔵の伊那地方調査」	平27.11.23	1	18
第4回 MT.「鳥居龍蔵の諏訪地方調査－岡谷市とその周辺調査について－」	平27. 1.17	1	5
鳥居企画展「よみがえる縄文世界－鳥居龍蔵の信州調査－」	平27年. 1.24～ 3. 1	32	2,827
第1回 MT.「鳥居龍蔵の金海貝塚調査」	平27. 6.14	1	11
科学体験フェスティバル in 徳島(徳島大学)	平27. 8. 9～ 8.10	2	1,743
ufotable15周年展	平27. 9.26～10.12	25	8,180
第2回 MT.「鳥居龍蔵と仏教文化－中国・朝鮮・日本－」	平27.11.22	1	11
第3回 MT.「鳥居龍蔵と黒潮文化－沖縄調査より－」	平28. 1.17	1	26
鳥居企画展「鳥居龍蔵－世界に広がる知の遺産－」	平28. 1.23～ 2.28	32	1,831
開館5周年記念講演会「鳥居龍蔵の再発見－国内外の視点から－」	平28. 2.21	1	199
科学体験フェスティバル in 徳島(徳島大学)	平28. 8. 6～ 8. 7	2	1,689
第1回 MT.「鳥居龍蔵の研究ライフ－その方法と人的交流－」	平28. 6.12	1	15
第2回 MT.「鳥居龍蔵の会った南米の史跡－ブラジルとペルーを中心に－」	平28. 9.25	1	10
第3回 MT.「大正期の鳥居龍蔵と徳島－城山貝塚から勢見山「岩の鼻」へ－」	平28.11.13	1	24
鳥居企画展「遙かなるマチュピチュ－鳥居龍蔵、南アメリカを行く－」	平29. 1.28～ 3. 5	32	2,905
鳥居企画展 記念講演会「日本人によるアンデス考古学調査－鳥居龍蔵の思いを受けて－」	平29. 2. 5	1	51
徳島歴史文化フォーラム	平29. 2.19	1	126
特別陳列「古代の彩り 徳島の朱」関連若杉山遺跡現地見学会	平29. 2.26	1	75
科学体験フェスティバル in 徳島(徳島大学)	平29. 8. 5～ 8. 6	2	1,444
サイエンスフェア2017「おもしろ博士の実験室」ブース出展(あすたむらんど徳島)	平29.10.14～10.15	2	870
第1回 セミナー「あるブラジル移民の見た鳥居龍蔵の調査」	平29. 6.18	1	14
第2回 セミナー「鳥居龍蔵、世界の巨石構造物を探る」	平29. 7.17	1	31
第3回 セミナー「鳥居龍蔵のベストセラー『有史以前の日本』－日本人成立論をめぐる－」	平29. 9.18	1	28
第4回 セミナー「鳥居龍蔵、南方を探る－日本人の起源を求めて－」	平29.11.11	1	21
鳥居企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る－本山彦一との交流－」	平30. 2.10～ 3.18	32	1,746
平成29年度鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	平30. 2.18	1	146
鳥居企画展 記念講演会「日本人はどこから来たのか？」	平30. 3. 4	1	160
科学体験フェスティバル in 徳島(徳島大学)	平30. 8. 4～ 8. 5	2	1,522
サイエンスフェア2018「おもしろ博士の実験室」ブース出展(あすたむらんど徳島)	平30.11. 4	1	765
第1回 セミナー「鳥居龍蔵の近畿調査－日本人起源論との関係で－」	平30. 6.17	1	20
第2回 セミナー「明治時代から大正時代の自然人類学調査の一端－小金井良精の調査例から－」	平30. 7.16	1	20

第3回 セミナー「鳥居龍蔵、郷里を駆ける」	平30. 9.17	1	35
第4回 セミナー「鳥居龍蔵の小学校在学歴－自伝・卒業証書・履歴書を読む－」	平30.11.25	1	17
鳥居企画展「鳥居龍蔵と小金井良精－日本人の起源を求めて－」	平31. 1.26～ 3. 3	32	1,830
平成30年度鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	平31. 2.17	1	86
鳥居企画展 記念講演会「骨が語る日本人の歴史」	平31. 2.24	1	75
科学体験フェスティバル in 徳島(徳島大学)	令和. 8. 3～ 8. 4	2	1,764
サイエンスフェア2019「おもしろ博士の実験室」ブース出展(あすたむらんど徳島)	令和.11. 4	1	709
第1回 セミナー「鳥居龍蔵と小金井良精－城山貝塚の調査をめぐる－」	令和. 6.16	1	35
第2回 セミナー「鳥居龍蔵と大洲巨石調査を検証する－当館所蔵の資料より」	令和. 7.28	1	35
第3回 セミナー「龍蔵にとって城山貝塚は何だったのか」	令和. 8.25	1	36
第4回 セミナー「日本考古学史上における鳥居龍蔵の再評価－国内評価・研究を通して」	令和. 9.16	1	33
第5回 セミナー「鳥居龍蔵の近畿調査」	令和.10.14	1	28
第6回 セミナー「鳥居龍蔵の未刊原稿群とその周辺－中国からの引き揚げリストをめぐる－」	令和.11.24	1	25
第7回 セミナー「大正期の鳥居龍蔵と本山彦一」	令和.12.22	1	24
第8回 セミナー「鳥居龍蔵と阿波の巨石物－川内村史を中心に－」	令和. 2. 1.19	1	33
鳥居企画展「文化財調査の先覚者 鳥居龍蔵、徳島を探る」	令和. 2. 2. 8～ 3.15	32	1,481
令和元年度鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令和. 2. 2.16	1	76
第1回 セミナー「鳥居龍蔵と南方諸民族－異文化理解の試み－」	令和. 2. 9. 6	1	42
第2回 セミナー「鳥居龍蔵のブラジル調査を振り返る」	令和. 2. 9.27	1	38
第3回 セミナー「鳥居龍蔵の第5回台湾調査の意味するもの－明治末期の日本と台湾を考える－」	令和. 2.10.18	1	26
第4回 セミナー「城山貝塚発掘の影響－住吉派画家・須木一胤の残した手帳から－」	令和. 2.11.8	1	17
第5回 セミナー「西洋世界と鳥居龍蔵」	令和. 2.12.13	1	28
第6回 セミナー「武蔵野会の設立と東京府下の史跡保護運動」	令和. 3. 1.17	1	28
鳥居企画展「鳥居龍蔵の学問と世界」	令和. 3. 2.13～ 3.21	32	546
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令和. 3. 2.21	1	90
鳥居龍蔵生誕150周年記念 国際シンポジウム「鳥居龍蔵と現代社会－その学問と資料の意義を問う－」	令和. 3. 3.21	1	100
鳥居企画展「鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼」	令和. 4. 2. 5～ 3.13	32	783
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令和. 4. 2.26	1	50
鳥居企画展「鳥居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼」記念講演	令和. 4. 3.13	1	52
鳥居企画展「鳥居龍蔵をめぐる人々－世界に広がる学知のネットワーク－」	令和. 5. 2. 4～ 3.12	32	1,247
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令和. 5. 2.18	1	46
記念講演会「鳥居龍蔵の教え子たち」	令和. 5. 3. 5	1	28
鳥居企画展「台湾世界を行く 鳥居龍蔵の見た海・山・ひと・ムラ」	令和. 6. 1.27～ 3. 3	32	1,497
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令和. 6. 2.17	1	66
記念講演会「鳥居龍蔵調査資料と台湾世界」	令和. 6. 2.25	1	140
第1回 セミナー「鳥居龍蔵記念博物館所蔵のガラス乾板－保存と活用を考える－」	令和. 6. 5.26	1	21
第2回 セミナー「鳥居龍蔵とその家族の映像資料」	令和. 6. 6.23	1	18
第3回 セミナー「鳥居龍蔵、中国の石窟寺院を調査する」	令和. 6. 7.28	1	23
第4回 セミナー「鳥居龍蔵の博士号取得と東洋史学」	令和. 6. 9.29	1	18
鳥居企画展「モンゴルのフィールドワーカー 鳥居きみ子」	令和. 6.11. 2～12. 8	32	1,551

記念講演会「鳥居きみ子のフィールドワークー時代を超えた、その意義ー」	令 6.11.24	1	41
第6回 セミナー「鳥居きみ子の生涯について」	令 7. 1.19	1	26
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令 7. 2.15	1	46
記念講演会「鳥居龍蔵調査資料と台湾世界」	令 7. 2.25	1	140
鳥居セミナー第1回「鳥居龍蔵の西南中国調査と清末知識人」	令 7. 5.18	1	18
鳥居セミナー第2回「鳥居龍蔵と三好市三野町で採集された大量の石鏃」	令 7. 6.29	1	15
鳥居セミナー第3回「鳥居龍蔵の趣味と人となりについて」	令 7. 7.20	1	14
鳥居セミナー第4回「鳥居龍蔵の中国仏塔調査」	令 7. 9.21	1	18
鳥居セミナー第5回「鳥居龍蔵の北京移住とその周辺」	令 7.10.19	1	15
鳥居企画展「中国西南部の旅人ー鳥居龍蔵と高原の少数民族ー」	令 8. 1.31～ 3. 8	32	1,603
記念講演会第1回「ミャオ族の文化を探る」	令 8. 2.11	1	71
鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム	令 8. 2.14	1	25
記念講演会第2回「鳥居龍蔵と中国西南部」	令 8. 2.22	1	57
合 計		843	221,012

XI 施設の概要

1. 沿革

昭和 34 年 12 月	旧博物館（徳島県博物館）設置及び開館 （旧博物館に関する沿革は「徳島県博物館 30 年史」参照）
昭和 55 年 1 月	文化の森構想発表
4 月	置県百年記念文化施設等整備基金設置
昭和 56 年 2 月	文化の森懇話会報告書提出
昭和 57 年 3 月	文化の森建設地を徳島市八万町向寺山及び寺山に決定
12 月	博物館基本構想検討委員会を設置
昭和 58 年 3 月	文化の森総合公園を都市計画決定
昭和 59 年 1 月	博物館基本構想検討委員会が「徳島県立博物館基本構想報告書」を知事に提出
4 月	美術品等取得基金設置
5 月	博物館資料収集展示委員会を設置
昭和 60 年 8 月	文化の森総合公園起工式挙行、基盤整備工事に着手 徳島県とアルゼンチン共和国プラタ大学との相互贈与に関する合意書締結
昭和 61 年 3 月	文化の森の各文化施設基本設計（文書館を除く）及び博物館展示基本設計完了
昭和 62 年 3 月	各文化施設実施設計及び博物館展示実施設計完了
8 月	各文化施設（文書館を除く）建設工事着手
昭和 63 年 7 月	博物館展示工事着手
平成 元年 4 月	旧博物館展示室閉室
12 月	博物館・近代美術館・二十一世紀館棟本体工事竣工
平成 2 年 3 月	旧博物館閉鎖
4 月	文化の森総合公園文化施設条例施行により、博物館（徳島県立博物館）及び博物館協議会設置
10 月	博物館展示工事竣工
11 月	文化の森総合公園開園、博物館開館
平成 3 年 2 月	博物館資料収集委員会設置
平成 4 年 3 月	日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所等に指定される
平成 4 年 9 月	博物館観覧料減免要綱の一部改正により、小・中学生及び高校生の第 2 土曜日における常設展観覧料を免除
平成 5 年 3 月	徳島県教育委員会の博物館登録原簿に変更登録（旧博物館の登録〔昭和 35.6〕を変更）
平成 7 年 4 月	博物館観覧料減免要綱の一部改正により、小・中学生及び高校生の第 4 土曜日における常設展観覧料を免除
平成 7 年 7 月 ～8 年 3 月	文化の森総合公園開園 5 周年記念事業「戦後 50 年をみつめて」を実施。博物館では、企画展「戦争から豊かな未来へ」を開催。また、博物館独自に開館 5 周年記念事業を実施
平成 8 年 4 月	博物館管理規則の一部改正により、全祝日・休日の開館を実施。また、博物館観覧料減免要綱の一部改正により、祝日・休日における常設展観覧料を免除
平成 8 年 12 月	重要文化財公開承認施設に認定される（5 年毎更新）

平成 12 年 10 月 ～ 11 月	文化の森総合公園開園 10 周年記念企画展「世紀末大博覧会」を開催
平成 14 年 4 月	博物館観覧料減免要綱の一部改正により、小・中学生及び高校生の土・日曜日、長期休業日における常設展・企画展観覧料、祝日・休日における企画展観覧料を免除。また、学校教育に係る企画展観覧料を免除
平成 15 年 7 月	科学研究費補助金の申請を行うことができる学術研究機関に指定される
平成 17 年 10 月 11 月	文化の森総合公園開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見—15 の人・もの・場所—」を開催
平成 22 年 4 月 ～ 23 年 3 月	文化の森総合公園開園 20 周年記念事業を実施。中核事業は、開園 20 周年記念展「軌跡—継続と蓄積—」や「文化の森サマーフェスティバル」「文化の森 大秋祭り！！」。博物館常設展示室の「リフレッシュ事業」を実施（一部の中・小テーマの更新など）
～ 28 年 3 月	
平成 24 年 9 月	博物館観覧料減免要綱の一部改正により、満 65 歳以上の高齢者の常設展観覧料を免除。また、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳被交付者と介助者 1 名の常設展・企画展観覧料を免除
平成 25 年 3 月	博物館管理規則の一部改正により、12 月 28 日の開館を実施
平成 27 年 4 月	文化の森総合公園開園 25 周年記念事業「ヒトガタをめぐる冒険」を実施。博物館では、企画展「阿波木偶箱まわしの世界—門付け、大道芸」などを開催。また、同じく記念事業「安全安心のモデル事業」の一環として、博物館常設展示室のフレッシュアップ（サインやパネルの更新、多言語解説の導入など）、収蔵庫の耐震対策を実施
平成 30 年 7 月	新常設展基本構想策定
平成 31 年 4 月	新常設展実施設計
～令和元年10月	
令和 2 年 3 月	新常設展構築業務着手
令和 2 年 4 月	教育委員会から知事部局に移管
令和 2 年 8 月	常設展示室閉室
令和 2 年 11 月	文化の森総合公園開園 30 周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える—とくしまデジタルアーカイブ—」を開催
令和 3 年 7 月	新常設展構築業務完了
令和 3 年 8 月	新常設展オープン
令和 6 年 4 月	博物館観覧料減免要綱の一部改正により、保育所、認定こども園の保育に係る常設展・企画展観覧料や社会福祉施設等（保育所・認定こども園を除く）による利用時の常設展・企画展観覧料の免除など、減免対象を拡大
令和 6 年 5 月	博物館法改正に伴い徳島県教育委員会の博物館登録原簿に再登録
令和 7 年 4 月	文化の森開園 35 周年記念事業として、「文化の森よるあそび」を実施。博物館では開園 35 周年の主たる事業として企画展「タイムトリップ中世！—くらしのモノがたり—」、「ポケモン化石博物館(好奇心を満たす旅「文化の森」アドベンチャー事業)」を開催。

2. 施設の概要

- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha（文化の森総合公園全体）
- 建築面積 8,363㎡（3 館棟）
- 延床面積 22,382㎡（4 館合計—積層部分を含めると 23,814㎡）

8,063m² (博物館占用スペース)

●構造規模

鉄筋鉄骨コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階

●設計

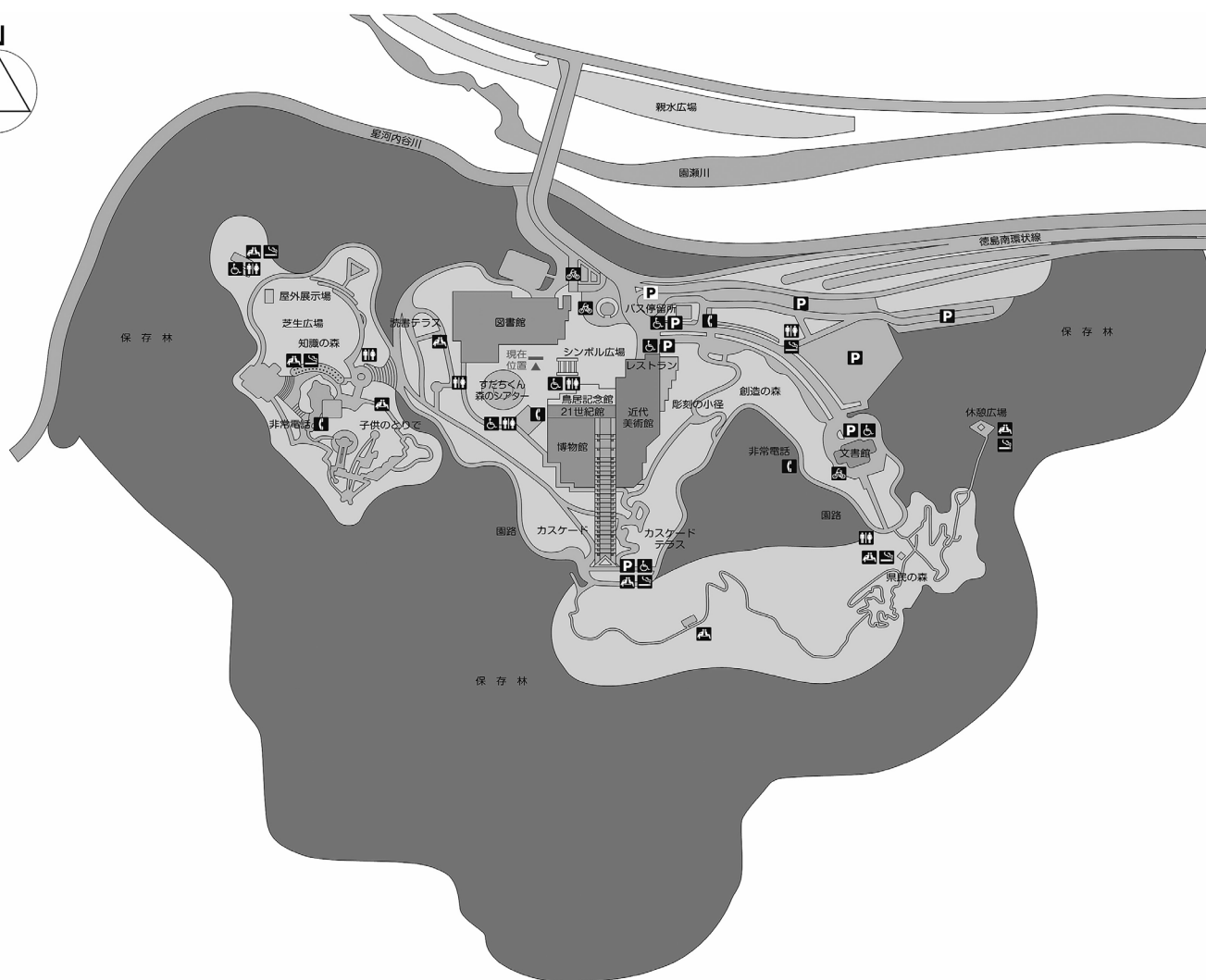
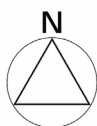
(株)佐藤武夫設計事務所・(株)日建設計・(株)環境建築研究所 共同企業体

●施工

建築……………大成建設・フジタ工業・不動建設・熊谷組・間組 共同企業体
 電気……………四国電気工業・近畿電気工事 共同企業体
 空調……………東洋熱工業・三機工業・ナミレイ 共同企業体
 管……………朝日工業社・大成設備 共同企業体
 エレベータ……………(株)東芝
 家具……………富士ファニチア(株)
 移動展示ケース……………(株)三井
 展示……………(株)丹青社

●新常設展

基本・実施設計……………(株)乃村工藝社
 展示製作……………(株)乃村工藝社



3. 博物館各室面積

1 階	
室 名	面積㎡
企画展示室	325
同 上 準備室	46
地学収蔵庫	186
考古収蔵庫	361
一時保管庫	89
倉 庫	135
冷 凍 室	19
石 工 室	41
その他共用部分※	771
小 計	1,973

3 階	
室 名	面積㎡
暗 室	23
倉 庫	21
倉 庫	15
エレベーターホール	37
湯 沸 室	12
講 座 室	123
実 習 室	146
実習・講座準備室	34
レファレンスルーム	81
館 長 室	53
応 接 室	21
事 務 室	133
研究室（自然史）	106
生物標本作成室	28
飼 育 室	21
研究室（人文）	80
地学考古民俗作業室	64
分 析 室 1	64
分 析 室 2	48
X線撮影室	48
保存処理室 2	100
薬 品 庫	22
資料鑑定室	22
生物液浸収蔵庫	100
電子顕微鏡室	30
書 庫	97
資 料 室	20
書類保管庫	35
その他共用部分※	468
小 計	2,052

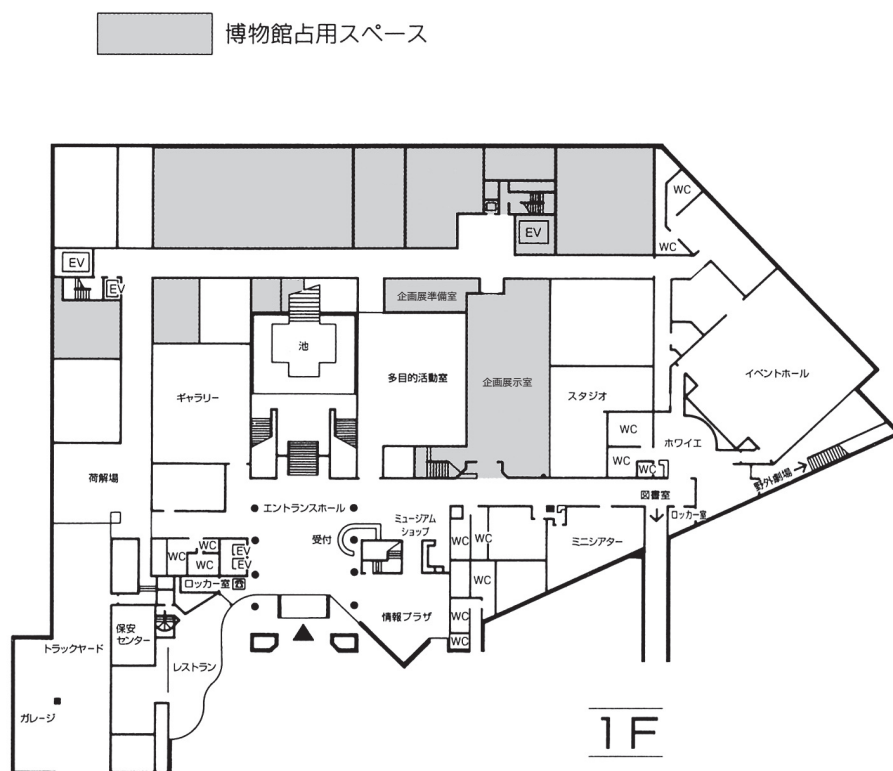
2 階	
室 名	面積㎡
常設展示室	2,495
エレベーターホール	20
その他共用部分※	442
小 計	2,957

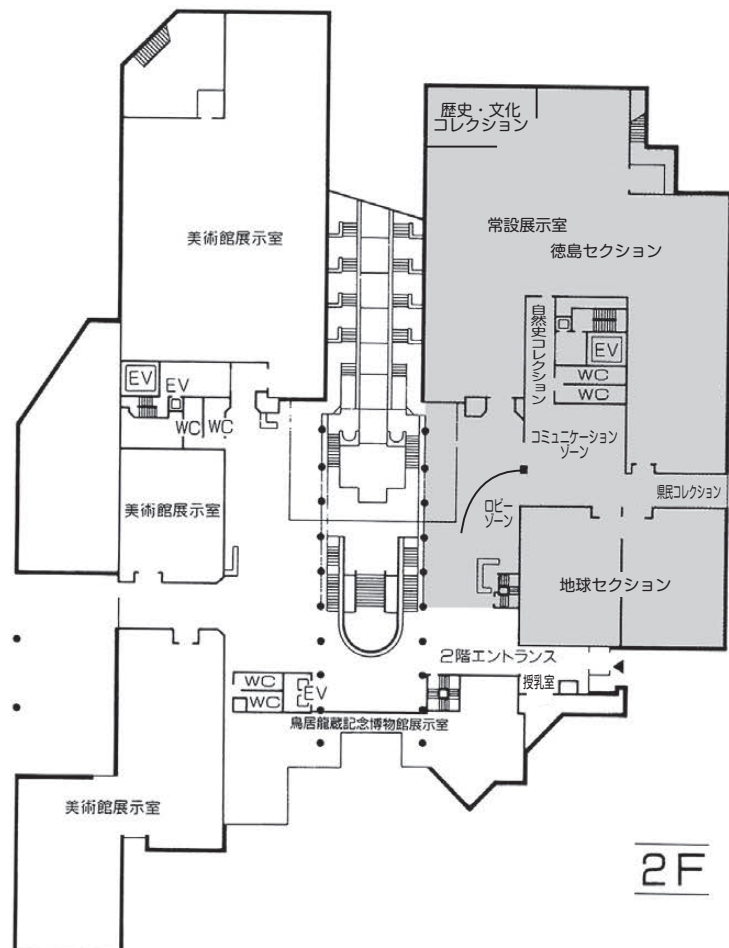
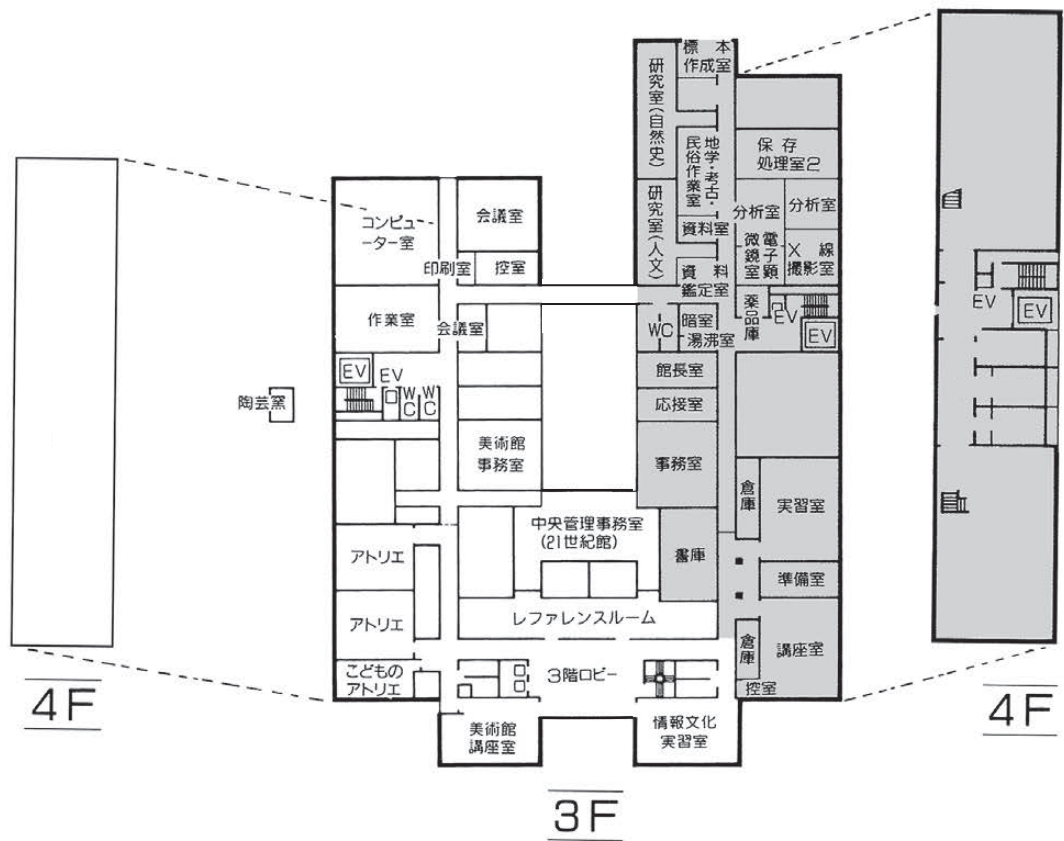
4 階	
室 名	面積㎡
エレベーターホール	45
特別収蔵庫 1	37
特別収蔵庫 2	37
馴 化 室	35
歴史民俗収蔵庫	357
生物収蔵庫	380
その他共用部分※	151
小 計	1,042

屋 1 階	
室 名	面積㎡
その他共用部分※	39
小 計	39

合 計
8,063㎡

※は荷解場、廊下、便所、空調機械室など共用部分の、美術館及び二十一世紀館との案分面積。





XII 例 規

●徳島県文化の森総合公園文化施設条例（抜粋）

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
最近改正 令和5年3月14日 徳島県条例第17号

（設置）

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

（名称及び業務）

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立博物館 （以下「博物館」という。）	(1) 考古、歴史、民俗、美術工芸、動物、植物及び地学に関する実物、標本、模型、文献、写真その他の資料（鳥居龍蔵に関する資料を除く。以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する観察会、講座などの教育普及事業を行うこと。 (4) 考古、歴史、民俗、美術工芸、動物、植物及び地学に関する講座等の文化活動のために博物館講座室を利用に供すること。 (5) その他博物館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

（利用の許可）

第3条 次の表に掲げる文化施設の施設又は用具を利用しようとする者は、あらかじめ、知事の許可（以下、「利用の許可」という。）を受けなければならない。

区 分	施設又は用具
博 物 館	博物館講座室
図 書 館 博 物 館 美 術 館 二十世紀館	情報通信技術を活用した集会等のための用具

（観覧料等）

- 第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。
- 2 利用の許可を受けた者に対しては、別表第2に掲げる額の使用料を徴収する。
- 3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。
- 4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

（損害の賠償）

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、知事その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所 掌 事 務
徳島県立博物館協議会	博物館の運営に関し知事の諮問に応ずるとともに、知事に対して意見を述べること。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 (省略)

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第4条関係）

区 分		単 位	金 額			
			常 設 展		企 画 展	
			個 人	団体（20人以上をいう。以下同じ）	個 人	団 体
博物館資料	小・中学生	1人1回	100円	80円	知事とその都度定める額	
	高校・大学生等	1人1回	200円	160円		
	一 般	1人1回	400円	320円		

(備考)

「小・中学生」とは小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者を、「高校・大学生等」とは高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者を、「一般」とは小・中学生及び高校・大学生等以外の者（学齢に達しない者を除く。）をいう。

別表第2（第4条関係）

区 分	単 位	金 額
博物館講座室	午 前	2,200円
	午 後	3,550円
音響、照明等及び情報通信技術を活用した集会等のための用具	午前、午後又は夜間（集会室1、集会室2、博物館講座室及び美術館講座室にあっては、午前又は午後）	規則で定める額

(備考)

1 「午前」とは午前9時30分から正午までを、「午後」とは午後1時から午後5時までを、「夜間」とは午後6時

から午後9時までをいう。

- 2 午前から午後まで、午後から夜間まで又は午前から夜間まで引き続き利用する場合の使用料の額は、この表の区分に応じたそれぞれの使用料の額を加えて得た額とする。
- 3 営利又は営業のための宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の集会室1、集会室2、博物館講座室、ギャラリー、美術館講座室、イベントホール、多目的活動室、ミニシアター、スタジオ、ミーティングルーム又は野外劇場の使用料の額は、この表及び前項の規定にかかわらず、同表の区分に応じた使用料の額又は同項の規定により算出した使用料の額に百分の五百を乗じて得た額とする。

●徳島県立博物館管理規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第46号

最近改正 令和4年3月18日 徳島県規則第7号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その後においてその日に最も近い休日でない日
- (2) 12月29日から翌年の1月4日までの日

2 知事は、特に必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 知事は、特に必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(用具)

第4条 博物館の情報通信技術を活用した集会等のための用具は、別表のとおりとする。

(利用の許可の申請等)

第5条 徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号。以下「条例」という。）第3条の許可（以下「利用の許可」という。）を受けようとする者は、徳島県立博物館利用許可申請書（別記様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用しようとする日（その日が引き続き2日以上に及ぶときは、その初日。）の前日から起算して3月前の日以後に提出するものとする。ただし、知事が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

(利用の許可等の通知)

第6条 知事は、前条第1項の申請書を受理したときは、利用の許可をするかどうかを決定し、その旨を当該申請者に通知するものとする。

(利用の許可の取消し等)

第7条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可を取り消し、又は施設等の利用の中止を命ずることができる。

- (1) 第5条第3項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき。
- (2) 利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が利用の許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 利用者が偽りその他不正な手段により利用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。
- (4) 利用者が条例又はこの規則の規定に違反したとき。

(利用の内容の変更等)

第8条 利用者は、施設を利用できなくなったとき、又は利用の許可の内容を変更して施設等を利用しようとするときは、直ちにその旨を文書で知事に届け出なければならない。

(遵守事項)

第9条 博物館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）及びこの規則並びに知事が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第10条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者
- (2) 前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第11条 学術その他の目的のために博物館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

別表（第4条関係）

- | | |
|---|-------------|
| 1 | プロジェクター |
| 2 | パーソナルコンピュータ |
| 3 | タブレット |
| 4 | ウェブカメラ |
| 5 | マイクスピーカー |
| 6 | ディスプレイ |

別記様式 省略

●徳島県立博物館協議会規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第40号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

●徳島県行政組織規則（抜粋）

制 定 昭和 42 年 3 月 28 日 徳島県規則第 15 号
最近改正 令和 8 年 3 月 31 日 徳島県規則第 30 号

第 1 章 総則（省略）

第 2 章 事務部局〔博物館に關係する内容のみ〕

第 2 節 出先機関

第 1 款 設置等

（その他の機関の設置等）

第21条 前条第 1 項に規定する機関のほか、次の表の左欄に掲げる部に、それぞれ同表の右欄に掲げる機関を設置する。

部	機 関			
	名 称	設置の目的又は根拠法令	位 置	所管区域又は担当区域
観光スポーツ 文化部	徳島県文化の森 振興センター	徳島県文化の森総合公園 文化施設の運営を総合的 に推進するため	徳島市八万町	

2 次の表の左欄に掲げる機関については、それぞれ同表の右欄に掲げる法令又は条例の規定により設置された機関を当該左欄に掲げる機関を構成する機関とする。

機 関	法令又は条例の規定により設置された機関	
	名 称	位 置
徳島県文化の森 振興センター	徳島県立博物館（以下「博物館」 という。）	徳島市八万町

第 2 款 内部組織及び分掌事務

（分掌事務）

第23条 出先機関の分掌事務は、別表第 4 に掲げるとおりとする。

第 3 款 職及び職務

（所長）

第25条 出先機関に所長（（省略）図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館（省略）にあつてはそれぞれの機関の名称を冠した長（省略）。以下この款において「所長」という。）を置く。

2 所長は、上司の命を受け、当該機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

（副所長等）

第26条 前条に規定する職のほか、次の表の左欄に掲げる職をそれぞれ同表の右欄に掲げる機関に置く。

職	機 関
副 館 長	(1)図書館 (2)博物館 (3)美術館 (4)文書館 (5)二十一世紀館 (6)鳥居記念館

2 副所長、副局長、副校長、副館長、副本部長及び副課長の職務は、上司の命を受け、所長を補佐するものとする。（主幹等）

第28条 前 3 条に規定する職のほか、必要と認めるときは、次の表の左欄に掲げる職を出先機関又はセンター内課等に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
課 長	上司の命を受け、出先機関の重要施策又は重要事業の推進に関する事務又は試験研究のうち高度の知識又は経験を必要とするものを処理する。
課 長 補 佐	上司の命を受け、出先機関又はセンター内課等の重要施策又は重要事業の推進に関する事務に従事する。

上席学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
主 査	上司の命を受け、高度の知識又は経験が必要とする事務に従事する。
専門学芸員	上司の命を受け、高度の知識又は経験が必要とする資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
係 長	上司の命を受け、出先機関又はセンター内課等の事務に関し命ぜられた事項を処理する。
学 芸 係 長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
主 席	上司の命を受け、特に命ぜられた相当の知識又は経験が必要とする事務に従事する。
主 任	上司の命を受け、相当の知識又は経験が必要とする事務又は試験研究の業務に従事する。

(主任主事等)

第29条 第25条から前条までに規定する職のほか、出先機関又はセンター内課等に、別表第3の左欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

第3章 附属機関〔博物館に關係する内容のみ〕

第33条 附属機関の名称及び庶務を担当する組織は、別表第5に掲げるとおりとする。

別表第3 主任主事等の職及び職務

職	職 務
主 任 主 事	上司の命を受け、相当の経験が必要とする事務に従事する。
主 事	上司の命を受け、事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、相当の経験が必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。
学 芸 員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これらと関連する業務に従事する。

別表第4 出先機関分掌事務

出先機関	分 掌 事 務
博 物 館	(1)考古、歴史、民俗、美術工芸、動物、植物及び地学に関する実物、標本、模型、文献、写真その他の資料(鳥居龍蔵に関する資料を除く。以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 (2)博物館資料に関する調査研究を行うこと (3)博物館資料に関する観察会、講座等の教育普及事業を行うこと。 (4)考古、歴史、民俗、美術工芸、動物、植物及び地学に関する講座等の文化活動のために博物館講座室を利用に供すること。 (5)その他博物館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

別表第5 附属機関の名称及び庶務を担当する組織

	名 称	庶務を担当する組織
70	徳島県立博物館協議会	博物館

徳島県立博物館年報 第35号（令和7年度）

令和8（2026）年8月31日 発行

編集・発行：徳島県立博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

（文化の森総合公園）

TEL（088）668-3636 FAX（088）668-7197

E-mail museum@bunmori.tokushima.jp

ホームページ <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

印 刷：グランド印刷株式会社
